打倒英國	松井賢一	・三〇	四六 六四	日本人社出版部
誰を政友會の總裁に推すべきか	野依秀市	非	四六 七四	秀文閣書房
斷乎上海租界を徹收せよ	鹿島準六	・三〇	四六 五九	文松堂
斷種法反對論	高井德次郎	一・〇〇	菊 一七	大日本牧野沃度研究所
地代論史	堀經夫	二・五〇	菊 二九七	大同書院
地方財政改革問題	高砂恒三郎 山根守道	三・五〇	菊 三九六	良書普及會
長期建設期に於ける我國勞働政策	昭和研究會事務局	一・八〇	菊 二五三	東洋經濟出版部
長期建設と日本の財政	岩崎英恭	二・〇〇	菊 二五一	生活社
長期建設と經濟統制	中西寅雄		菊 四一	神戸市經濟部
長期建設への道	原重治 淵脇遂	・六〇	四六 二〇三	警友社
長期戰と經濟建設	板橋菊松	一・四〇	四六 三五三	誠文堂新光社
中央アジヤに於ける民族問題	有村俊雄		菊 五四	東亞研究所內皐月會
中小金融讀本	商工行政調査會	・七〇	四六 一一三	高山書院
中小商工業の組合運動	磯部喜一	一・〇〇	四六 二一七	甲文堂書店
中國土地問題之史的發展	聶國青 勝谷在登譯	二・五〇	菊 二六七	慶應書房
中南米諸國經濟事情（一）	日下明		菊 一四五	日本雜貨中南米輸出聯合會
誅蔣救國論 全世界に告ぐ	溫宗堯 西田當元譯	・四〇	四六 一〇七	昭和書房
賃銀論	增地庸治郎	一・八〇	菊 三一三	千倉書房
圖解物資配給讀本	商工行政調査會	二・二〇	四六 五三六	高山書院
次の大戰と國民	愛野時一郎	一・五〇	四六 二四三	仁川堂
次の戰爭を豫想する	齋藤直幹	二・〇〇	四六 二四四	ダイヤモンド社
津田左右吉氏の大逆思想	蓑田胸喜		菊 一七	蓑田胸喜
帝大の肅正はこれから	平田元吉	・五〇	四六 一七	人文書院
「手續き亡國」目的第一主義	藤田勇	・〇五	四六 二八	大中社
鐵鋼國策の遂行とアウトサイダーの任務	永田耀	・二〇	菊 八	世界經濟情報社
鐵鋼統制の實際知識	佐々木格三 猪俣政義	二・五〇	四六 五三七	人文閣
電氣事業の經營經濟學	田井外茂男	二・九〇	菊 一八五	オーム社
電通をめぐる人々	關豐作	・三〇	四六 一一三	解放社
電力管理案の側面史	吉田啓	二・〇〇	四六 三八一	交通經濟社出版部
電力饑饉の責任者は誰か	片山德次	・一五	菊 二九	電氣新報社

電力國家管理は失敗か	三宅末作		四六 三〇	電氣日日新聞社
電力不足問題の性質と勞働部面への影響並に對策	神谷睦夫		四六 三五	社會事情調査所
ドイツ經濟の驚異	加倉井肅之	二・〇〇	四六 三七四	清和書店
ドイツは勝つ	米國ハーバー 福田澄男譯	・一〇	四六 二五	九州時論社
ドイツ・ファシズムの精神と構造	ロバアト・ブレイディー 日本青年外交協會研究部	三・五〇	菊 四三三	日本青年外交協會
獨逸及び獨逸人の問題	大泉行雄	一・二〇	四六 二〇五	同文館
獨伊勝つか？英佛勝つか？	鎮目國之	・一〇	四六 三八	亞細亞出版社
獨乙經濟學の道	F・ヴウノースケ ン・Hリウトケ 金子弘譯	一・八〇	四六 三五八	日本評論社
獨逸社會政策と勞働戰線	大原社會問題研究所	三・五〇	菊 三六四	栗田書店
獨逸の內幕	A・U・クルツエミンスキイ 古谷晴彥・宮本彪	一・五〇	四六 二七三	今日の問題社
獨逸の食糧供給	渡邊鐵藏	非	菊 一四	渡邊經濟研究所
獨逸の現行税制と租税政策	三菱經濟研究所	一・〇〇	菊 一六八	三菱經濟研究所
獨逸は蘇聯によつて救はれるか	渡邊銕藏	非	菊 三〇	渡邊經濟研究所
獨伊獨裁政の機構	今中次麿	一・〇〇	四六 一九一	日本評論社
獨伊の排撃するユダヤ人問題の全貌	山川直夫	・一〇	四六 三一	東京情報社
獨占價格の理論	栗林雄吉	三・八〇	菊 四三二	日本評論社
獨・チ・合邦後の歐洲情勢	松井明	・二〇	四六 七一	日本青年外交協會
東亞をどうするか	清水芳太郎	一・〇〇	四六 二一五	平凡社
東亞協同體思想研究	日本青年外交協會	非	菊 三五五	日本青年外交協會
東亞協同體の原理	杉原正巳	一・五〇	四六 三五七	モダン日本社
東亞協同體の理念	新明正道	二・〇〇	菊 二一〇	日本青年外交協會
東亞協同體論	加田哲二	二・〇〇	三三五	同
東亞經濟協同體制	都新聞政治部	・八〇	菊 一五八	高山書院
東亞經濟ブロック論	高橋龜吉	三・二〇	菊 五三五	千倉書房
東亞建設下の日本經濟	樋口正德	・五〇	四六 一七六	朝日新聞社
東亞建設戰と財政經濟の再編成	高橋龜吉	一・八〇	四六 四七二	千倉書店
東亞建設と我等の覺悟	加藤惣次郎	・一五	四六 六二	國體宣揚會
東亞厚生之基祕	小坂早五郎		四六 七七	文光堂
東亞「國防國家」建設論	神田孝一	非	菊 一三三	神田孝一
渡邊幾治郎述 東亞新秩序建設の基調	服部文城	・一〇	四六 四三	日本文化中央聯盟

東亞新秩序建設と印度獨立を叫ぶ	山根敏三	一〇	圓	元	興亞文化研究所
東亞新秩序と日本外交政策太平洋問題資料(6)	牛場友彦	六〇	菊	七八	日本國際協會
東亞新秩序と國民組織の問題	金丸計三	五〇	圓	一四三	國策研究會
東亞新秩序建設に伴ふ支那再建の指導精神	東亞研究所	非	賣	三六〇	東亞研究所
東亞新秩序の建設	椎尾辨匡	一〇	圓	五三	財團法人東亞共生會
東亞新秩序論	上田昇	非	菊	一六	神戸實業組合會
東亞の曉	茂木太市	三・五〇	圓	七八	國際聯合通信社
田村幸策述 東亞の新秩序とは何ぞ	宇治田直義	一〇	圓	三〇	東亞同文會
同 (4) 東亞の黎明は麻藥の根絶より	同	非	賣	三一	同
東亞はかく前進する	高橋忠作	非	菊	四〇	國際日本協會
東亞民族の指針 皇道日本の實體	東亞研究會	二・五〇	圓	三三	大亞細亞社
東亞聯盟建設綱領	杉浦晴男	五〇	菊	九二	立命館出版部
東亞聯盟結成論 增補版	伊東六十次郎	一・二〇	菊	二七	東亞思想研究會
東亞聯盟論	宮崎正義	一・五〇	圓	三八	改造社
東京會談と日英雲行怪晴	惠谷信	非	菊	六	惠谷信
東京市政の危機	鳴原和夫		圓	三六	中央自治會
東京帝大肅學の眞相	宮原良造	一〇	圓	三二	パンフレット社
東南アジアの現勢と南方政策	小野孝	一〇	菊	一六	日本政治文藝調査所
東方問題論	嘉治隆一	一・九〇	圓	三七〇	東宛書房
東北帝大經濟學會(八五)研究年報經濟學9	中村重夫	一・四〇	菊	二三二	岩波書店
東北帝大經濟學會研究年報經濟學11	服部英太郎	一・四〇	菊	二四八	同
東洋經濟パンフレットインフレの新發展と統制經濟の動向	飯田清三	二〇	圓	六二	東洋經濟出版社
同 長期建設の意義と我經濟の耐久力、教育改造論	石橋湛山	二〇	圓	八四	同
東洋的社會の理論	ウイットフォーゲル 森谷克己 平野義太郎	三・〇〇	菊	三六	日本評論社
東洋政治學(增補版)	濱薫明	一・八〇	圓	三一〇	巖松堂
東洋不干涉論なぜ極東に干涉するか	三上正毅	一・〇〇	圓	二六七	今日の問題社
東洋文化と支那の將來	井上哲次郎	一・七〇	圓	二九八	理想社
東洋平和之鍵	山內明	二・八〇	菊	二五	日本探檢協會

道德科學經濟學原論	廣池千英	二・五〇	菊	四〇	道德科學研究所
道德社會學	勝谷在登譯(レヴイ・ブリユール)	二・五〇	菊	二九九	東學社
投資の新研究	阿部留太	一・八〇	圓	二四	ダイヤモンド社
當面の經濟對策	高木友三郎	非	賣	三五	新日本同盟
動亂の歐洲と世界戰爭の危機	清水天眼	一〇	圓	二七	昭和書房
動亂歐洲に暗躍するスパイ群	林群平	一〇	圓	元	更生社
統計學	藤本幸太郎	二・〇〇	圓	二六六	千倉書房
統計週間記念講演 事變下の諸問題	瀧田芳藏		圓	三六	富山縣統計協會
統制下の金融經濟讀本	栗栖赳夫	二・二〇	菊	三五一	大與社
統制價格論	松本雅男	三・〇〇	菊	三六〇	森山書店
統制經濟講話	波多野鼎	一・六〇	圓	三〇八	日本評論社
統制經濟讀本	大阪・東日新聞エコノミスト部	二・〇〇	圓	六四八	一元社
統制經濟讀本(五訂改版)	大阪毎日・東京日ユエコノミスト部	一・五〇	圓	五七〇	同
七訂新版 統制經濟讀本	同	二・〇〇	圓	六三六	同
統制經濟下の電力問題	鹽瀨三郎	非	菊	元	電力問題研究所
統制經濟と織物問屋の將來	竹村卓	一・五〇	圓	一九二	文苑社
統制經濟と景氣變動	武村忠雄	二・八〇	菊	四六	有斐閣
統制經濟と組合經營	神戸市經濟部	非	菊	二六一	神戸市經濟部產業研究所
統制時代の經濟思想	野村兼太郎	四・五〇	菊	五六三	日本評論社
德富蘇峯の新黨無要論を爆擊す	野依秀市	非	圓	三六	秀文閣書房
取引所經濟大綱	末高信	二・〇〇	菊	三三〇	明善社
ナチとは何か	アドルフ・ヒトラー 佐藤荘一郎譯	一・六〇	圓	三四三	青年書房
ナチス及ファシストの國家觀	外務省調査部	一・〇〇	菊	一八	日本國際協會
ナチス經濟及經濟政策	慶應義塾大學經濟研究會	二・〇〇	菊	三四四	改造社
ナチス經濟建設	長守善	四・〇〇	菊	四七〇	日本評論社
ナチス國防經濟論	龜井貫一郎	二・〇〇	圓	四二一	東洋經濟出版部
ナチス社會政策の研究	中川與之助	三・八〇	函	四〇九	有斐閣
なぜ事變は終らないか なぜ日・獨・伊軍事同盟は必要か	高山雅郎	一〇	圓	三三	三共書院
內鮮一體論	梶原景親	一〇	圓	三五	昭和書房
內鮮一體論	姜昌基	一・二五	圓	三九	國民評論社

中島・久原をめぐる政友會總裁爭ひの眞相	布施修二郎	・一〇	岡 四〇	今日の問題社
南進政策の再認識	飯澤章治	二・〇〇	岡 四五二	高山書院
南方文化の建設へ	幣原坦	二・八〇	岡 四八	冨山房
難局に直面して皇國及國民の覺悟	川島浪速 牛山雪鞋		菊 二四	東洋學會
ニュースパレード世界の特種	中野五郎	一・五〇	岡 三九	モダン日本社
日英會談の成立と影響	城北散士	・一〇	岡 三	東京情報社
日英經濟會談	三宅鄕太	一・四〇	岡 三〇三	雄山閣
日英果して戰ふか	橋本勇吉	・一〇	岡 三五	讀切講談社
日英若し戰はゞ	本間俊一	・一〇	岡 元	昭和書房
日韓融合一體論	磯部武次郎		非 菊 二〇	興亞協同書院
日支事變解決には日本國民自から立つことを緊吃とす	江藤大吉		菊 四三	日支民俗會議日本事務總局
日支事變經濟史	神永文三	三・八〇	岡 七六〇	議會政治社
日支事變處理之一考察	戶田千葉	一・三〇	岡 一六〇	信義堂書店
日支事變を私は斯く觀る	V・F・フーレンズドルフ	・二〇	岡 天	拓殖奬勵館
日支事變の全貌と對英問題	原田政治	・二〇	岡 三	大中社出版部
日支事變はいつ終るか？	橋本勇吉	・一〇	岡 三五	讀切講談社
日支の將來	米内山庸夫	一・七〇	岡 三〇三	中央公論社
日ソ國交の危機を孕める日露漁業問題に就て	田中丸祐厚		非 岡 二四	日本協會
日ソ漁業問題の解剖	鶴本德太郎	・五〇	岡 一三	函館商工會議所事務研究會
日ソ戰ふの危機	後藤健夫	・一〇	岡 三五	國策研究社
日獨伊軍事同盟の運命	大日本防共同志會調査部	・二〇	岡 四三	大日本防共同志會
日獨破局の眞相とその善後策	古谷榮一	・一〇	岡 五五	亞細亞出版社
日本は如何にすべきか 日米は歐洲大戰に參加するか	山川直夫	・一〇	岡 三〇	東京情報社
日本を狙ふスパイ	仙臺岩太郎 井東一朗	一・二〇	岡 一九三	八雲堂
日本海經濟	堤憲治	二・〇〇	岡 二四四	日滿工業新聞社
日本學の樹立と亞細亞鑛國	正眞正義	・五〇	岡 四八	國民思想指導原理研究會
岩波全書93 續日本經濟史概要	土屋喬雄	・八〇	岡 三九	岩波書店
日本經濟の再編成	笠信太郎	一・七〇	菊 二四	中央公論社
日本經濟をどうするか	河合良成	一・八〇	岡 三五	昭和圖書株式會社
日本經濟年報 第三十八輯	東洋經濟新報社	一・〇〇	岡 二六	東洋經濟新報社

日本憲政基礎史料	宮越信一郎	五・〇〇	菊 四八六	議會政治社
日本憲政史大綱上卷	尾佐竹猛	二・五〇	菊 三六九	日本評論社
日本憲政史大綱下卷	同	三・〇〇	菊 八六〇	千倉書房
日本憲政の本義	田村益喜	・二〇	岡 六三	養正時計籍部
日本國民經濟學	桑原晉	四・二〇	菊 五〇二	千倉書房
日本國家主義運動史	木下半治	二・五〇	岡 五五七	慶應書房
日本古代經濟 交換篇 第三册 坐商・行商	西村眞次	二・五〇	岡 一四七	東京堂
日本古代經濟 交換篇 第五册 貿易	同	三・五〇	菊 二七二	同
日本最近對外政策論攷	池崎忠孝	四・五〇	菊 六五一	第一出版社
日本算育と經濟指導	山本孫一	一・五〇	菊 一二三	成美堂書店
日本産業道	大倉邦彥	二・〇〇	岡 三三三	日本評論社
日本主義運動と小林順一郎	國民政治經濟研究所	・八五	岡 二一〇	國民政治經濟研究所
日本主義認識	近藤榮藏	一・〇〇	岡 二三五	非凡閣
日本主義に生きる	四ツ橋銀太郎	・二〇	岡 四四	興國青年同盟
日本主義文化宣言	倉田百三	一・五〇	岡 三〇〇	人文書院
日本資本主義發達史	高橋龜吉	二・三〇	岡 四二三	日本評論社
日本資本主義發達史	成瀨秀雄 仁藤潔	・九五	非 菊 二八	三笠書房
日本社會學年報	松本潤一郎		非 菊 二〇六	岩波書店
日本社會經濟史論考 第六輯	瀧川政次郎	二・八〇	菊 二八九	日光書院
日本諸學研究(5) 計畫經濟の理論	國弘員人	・八〇	菊 一六七	日本中央文化聯盟
日本食糧經濟論	水野武夫	一・八〇	岡 三九	高陽書院
日本政治思想研究	內田繁隆	三・〇〇	菊 四〇三	南郊社
日本政治の國體的構造	里見岸雄	一・八〇	岡 三九	日本評論社
日本戰時經濟政策	金原賢之助	一・八〇	岡 三六二	千倉書房
日本戰時計畫經濟論	高橋龜吉	三・二〇	菊 五三	同
日本戰時經濟の實證的研究	沖中恒幸	三・八〇	菊 四〇〇	同
日本戰時經濟論	小島精一	一・六〇	菊 二七	春秋社
日本戰時食糧政策	木村靖二	二・五〇	菊 二七〇	白揚社
日本戰時物政策論	金原賢之助	二・五〇	菊 三五	千倉書房
日本の對支投資研究	樋口弘	八・〇〇	菊 七二〇	生活社

日本と新國際主義	田村德治	一・八〇	圓	四五	立命館
日本と世界の新秩序	竹村常次	一・〇	圓	六八	大宇宙研究會
日本の外交	外務省情報部	三・〇	菊	一〇三	文昭社
日本の金融機關 —其の生成と發展—	白井規矩稚	三・八〇	菊	三八三	森山書店
日本の經濟を如何にすべきか	河合良成	非	圓	三〇	日本協會
日本の經濟はどうなるか	東京日日新聞社經濟部	六〇	圓	一七三	東京日日新聞社
日本の正義を諒解せよ	福田利子	非	圓	一六	福田利成
日本の全體主義	小倉鏗爾		圓	三八	錦正社
日本の南進と緊張する南太平洋	松澤直人	一・〇	圓	四〇	アジア研究會
日本の行く道	橋本欣五郎	一・〇	圓	三	富强日本協會
日本は斯く叫ぶ	內藤英雄	一・〇	圓	四	兒玉文化協會
日本は新東亞をどう建設すべきか	河野密	一・〇	圓	四四	國策研究社
日本は石油戰にも勝つ？	原田節夫	三〇	圓	二七	東京自動車商工新聞社
日本はどうなる	大神田軍治		圓	五六	國策協會
資料（27）日本は何を主張するか	水島齊	非	圓	二	國際思想研究所
日本は何を求めるか	堀口昌雄	非	菊	一七	南洋協會
日本は何故世界に怖れられてゐるか	堀內照正	一・〇	圓	五三	新科學社
日本貿易史綱	鶴見左吉雄	七・〇〇	菊	七四	嚴松堂
日本民族は何處へ行く	古屋芳雄	八〇	圓	一三	日新書院
日本目覺めよ！	朱雲成	一・〇〇	菊	三六	大帝國統一社
日滿支ブロック經濟 建設與亞大陸を往く	小林知治	三〇	圓	西	興亞經濟協議會
廿世紀思想六傳統主義絕對主義	落合太郎	一・五〇	圓	二四	河出書房
人間性經濟學	勝田貞次	一・七〇	圓	三六〇	實業之日本社
農業金融の理論と實際	河田嗣郎	二・〇〇	菊	二四	有斐閣
農業經濟學	オブライエン 松田武雄譯	二・〇〇	菊	三四	叢文閣
農村社會の研究	有賀喜左衞門	五・〇〇	菊	五四	河出書房
農村問題の今日と明日	東畑精一	三〇	圓	二〇	日本文化中央聯盟
農地問題の研究（2）	八木芳之助	二・〇〇	菊	七三	有斐閣
同（1）	同	四・〇〇	菊	四八一	同
能率賃金支拂法	井上好一 上田武人	二・八〇	菊	二四六	ダイヤモンド社

バツハオーフェン 母權論	富野敬照				
バルカンに於ける獨逸及英佛伊の經濟爭覇	渡邊鎭藏	非	菊	三	國際經濟研究所
バルカンの政治經濟	仙波太郎	二・〇〇	圓	四六	清和書店
癈園	眞船豐	一・八〇	圓	二九〇	双雅房
背後より見たる日支事變	フレデリック・ウィリアムズ 海軍支那調査部	一・二〇	菊	一三	南支調査會
配電事業の國家管理を斷行せよ	田村健一	一・〇	圓	二五	富强日本協會
配當制限と今後の株式	岡部寬之	七〇	圓	二二	債券之日本社
排英事變克服革新の一體性	本鄕豪	一・〇	圓	三三	日本青年外交協會
白人の橫暴に反抗する有色民族	日本青年外交協會	一・〇	圓	四六	同
白人呼稱廢止論	新井省五郎		圓	一五四	日本印刷所
八紘一宇への進軍	加藤喜孝	一・七〇	圓	三八	養正時評社
發火した歐洲	バーナード・ニューマン 大江專一譯	一・六〇	圓	三五六	今日の問題社
發展過程の均衡分析	中山伊知郎	二・六〇	菊	三五	岩波書店
反共運動の三巨頭	國守武夫	一・〇	圓	三〇	國民政治經濟研究所
反生保獨占論	竹森一則	五〇	圓	二六	保險史誌社
ビスマルクの外交政策	鹿島守之助	三・五〇	菊	三七〇	巖松堂
ヒ總統は如何にして英國を征服したかソ聯邦の狙ふ目的	水島齊		圓	三	國際思想研究所
ヒツトラー外交の秘鑰	伴野文三郎	五〇	圓	一三	教文館
ヒツトラーの極東政策	澤田謙	非	菊	三	大平洋協會
比較政治學	高田眞治 濱薰明	三・〇〇	菊	三八〇	南郊社
東半球に於ける防共鐵壁構成と回教徒	松島肇	非	菊	二五	大日本回教協會
土方成美述 戰時の財政と經濟	田口章太	三〇	圓	八三	日本文化中央聯盟
非常時局讀本	眞崎勝次	五〇	菊	二四	慶文社
非常時經濟の見透し	勝田貞次	一・〇〇	圓	二〇〇	景氣研究社
非常時經濟法令大集成續篇第二卷	山本登美雄		圓	三五八	審美書院
百億豫算と百億貯蓄	石渡莊太郎	一〇	圓	二五	朝日新聞社
百年戰爭の覺悟	澁谷鶴松	非	菊	二九	澁谷鶴松
百億豫算と百億貯蓄	石渡莊太郎	一〇	圓	二五	朝日新聞社
百年戰爭の覺悟	澁谷鶴松	非	菊	二九	澁谷鶴松
平沼內閣	塚田昌夫	三〇・〇〇	菊	五〇〇	平沼內閣編纂所
平沼內閣のプレーン・トラスト 最近の政治事情	繁田淺二		菊	三	繁田淺二
平沼新首相とその政策	大沼廣喜		圓	二五	東京情報社

フアシヨ黨政治論	マルビカーティ	一・三〇	岡 二〇八	理想社出版部	
フランス社會經濟史	獨伊文化研究會譯	二・六〇	菊 三六二	南郊社	米國の經濟恐慌と世界經濟への影響
フランス殖民地守備軍 附アルベール・ガレンヌ大佐の緊急スターリンの水車に水を運ぶ國民主義	大淵彰三				米國の國防計畫とその諸工業に及ぼす影響
復興亞細亞の諸問題	日佛同志會		菊 三	日佛同志會	米國は極東に何の關係があるか
物・物價・生活	大川周明	二・二〇	岡 三九	明治書房	米國は參戰するか
物價統制讀本	鈴木年雄	一〇	岡 三一	昭和書房	米國は戰ふか(英・邦文)
物價統制の根本方針に就て資料(43)	相馬基	二〇	岡 八六	東京日日新聞社	米國は敵か味方か
物資統制の知識	高橋龜吉	三〇	菊 八四	全國産業團體聯合會事務局	米國文化社會學研究
物價問題と國民生活	商工行政調査會	三・五〇	岡 七八	商工行政社	米穀配給統制の諸問題
物價問題の應急策	河上丈太郎 山崎廣	八〇	岡 二〇五	清談社	米穀問題の新展開
覆面のわが敵	日本學術振興會	二・〇〇	岡 五七	日本評論社	變革期支那の認識
ユダの排戰	神田計三	一・八〇	岡 四〇三	六合書院	法及び國民經濟の根本問題
文化政治	松本學	二・〇〇	岡 三七〇	刀江書院	法經會論叢第七輯
文化と外交	市河彦太郎	一・六〇	岡 三〇三	岡倉書房	法と政治
ベンサムとコールリッヂ	ショシュ・スチュアートル 鹽尻公明譯	三・四〇	菊 一七三	有斐閣	共と國防問題
米國極東政策の經濟的基礎	日本國際協會太平洋問題調査部	六〇	菊 九八	日本國際協會	

防共ナチスの經濟政策	ヒヤルマール・シヤハト 最山哲夫譯	一・〇〇	岡 一四三	刀江書院	滿洲開拓民國策之要諦
防諜ニ關スル講演	櫻井忠溫	非	岡 四〇	國華工業株式會社	滿洲國外蒙古併合論
波蘭問題に對する世界の輿論	歐洲事情研究會	二〇	岡 五二	歐洲事情研究會	日滿中央協會
波蘭分割とソ聯邦	野口芳雄		岡 五九	東亞研究所內月會	滿ソ國境の實情
保險經濟學第二卷	近藤文二	三・三〇	菊 三八三	甲文堂	ミル經濟學原理 一
北支經濟案內	高木陸郎	一・四〇	岡 三五二	今日の問題社	同 二
北支經濟讀本(新版)	小島精一	一・八〇	菊 三四	千倉書房	同 三
北支の農業經濟	梨本祐平	二・五〇	菊 三三	白揚社	水戸學と日本の憲政
北支に於ける最近の經濟産業事情	石本五雄	非	岡 六〇	日本商工俱樂部	南支那の資源と其の經濟的價値
北部邊疆の經濟事情	邊羅室	非	岡 六八	邊羅室	南支那の産業と經濟
參考資料(73) 北部邊疆の經濟事情	三井邊羅室	非	岡 七七	三井邊羅室	南支那の寶庫海南島
本邦重要物價の實證的研究	原祐三	四・二〇	菊 六二	千倉書房	民間經濟中樞機關試案
魔都上海地下抗日テロの全貌	杉山清	一〇	菊 三〇	昭和書房	民族心理より見たる政治的社會
守れ!! 權益北方の生命線	武錠史	非	岡 五一	大靖協會	明治大正財政史 第十三卷
滿支の文化工作 三	下村宏・笠森傳繁	二五	菊 八五	啓明會事務所	16 銀行下

明治大正財政史 第十八卷	大藏省	菊	八四	財政經濟學會
同 第二十卷	同	菊	二七	同
名實聯ベンフレット(30)と株式市場 統制經濟の前途	波多野鼎	菊	三二	之宮義雄社
名將政談	堀内文次郎	一・三〇	四	二九 春秋社
蒙疆經濟調査	林貢	非	菊	二三 名古屋市産業部
蒙疆墾殖と對支移民	永田稠	二・〇〇	四	四八 日本力行會
望月圭介の假面を剝ぐ	原田蹟	非	四	五二 原田蹟
門戸開放機會均等主義	英修道	二・〇〇	四	三〇 日本國際協會
ユダの陰謀を擊つ	久坂志郎	一・〇	四	五二 内外書房
ユダヤ人の對日攻勢	武藤貞一	一・五〇	四	三四 同
ユダヤ問題と日本 附國際秘密力の研究	宇都宮希洋	一・八〇	四	五七 同
ユダヤ秘密結社の眞相	百々巳之助	非	四	八二 日獨伊協會
猶太禍	西宮三城	一・五	四	五八 國民安全協會
有價證券擔保事務解說	吉丸儀六	二・〇〇	菊	三三 巖松堂
豫言は的中するか 印度はどうなる	畑中耕一	一・〇	四	三

リストの國民主義經濟學	住谷悦治	一・五〇	三六	河出書房
利子と物價	ヴィクセル 北野熊喜男 服部新一	三・五〇	三三	日本論評社
利潤統制と價格原則	小濱重雄	一・五〇	二五	高陽書院
利平貨殖譚	和田見治	一・五〇	三九	實業之日本社
立憲政友會の革新政策 中島總裁の演說と主義	榊本寛	非	一八	立憲政友會本部
流通經濟の貨幣的機構	山口茂	三・八〇	四三〇	巖松堂
理論經濟學認識論	楠井隆三	五・三〇	二五	有斐閣
理論經濟學の基本問題	杉本榮一	三・二〇	四三	日本評論社
歷代總理大臣施政方針	神崎儲	五・〇〇	四四	與亞文化協會
歷史と社會的均衡 現代思想全書(11)	パレート 戸田武雄譯	一・五〇	二九三	三笠書房
列强の重壓 怖るゝに足らず	大山卯次郎	一・〇	三〇	東亞同文會
列强の戰時金融經濟調査(27)	非	菊	一三	東京銀行集會所
列强國防豫算の加速度的大膨脹	渡邊銕藏	非	三	渡邊經濟研究所
聯邦制度概說	宮澤俊義	二・五〇	三七	中央大學

◇皇紀二千六百年記念出版◇

世界精神史講座 全八卷

宇井伯壽氏 田邊元氏
津田左右吉氏 村岡典嗣氏 贊助

豫約募集
申込締切 五月廿日

現代は世界史上の一大革新期と見ることができよう。今や經濟・政治・思想・民族・一般文化等の諸事象は、すべて世界史的な關連を以て不安動搖の姿を呈せざるはない。更にこの動搖は國際關係に重大な緊張をもたらせてゐる。かかる事態は、まさしく世界人類の精神史上に一大革新の必然性を告げるのでなくて何であらう。あらゆる世界史のものは精神史の現象形態と見られる。精神史を世界史の本質とすれば、世界史に於ける一大轉換期に直面してゐる現代は、それ自らの精神史的根本義を自覺し、それを實踐する民族こそ、時代の指導者、新世界秩序の建設者であり、自ら先驅者としての重大なる責務を擔つて立ち上れる我が日本民族にとつて、自らを自覺することほど、根本的に重大なることはない。かかる精神的局面に處して、世界精神史上最も重要なる諸思想の全體を大觀的に且つ個別的に理解し、更にそれに含まれた主要なる特殊問題を把握することこそ、本講座は時局にかんがみ日本精神の究明と共に支那印度に於ける東洋精神の根源の闡明に特に力を注いだ。弊社は、皇紀二千六百年を迎ふるに際會して一層この企圖の重大性に認め、本講座刊行の目的達成に萬全の用意と努力とを傾倒する決意である。この刊行こそ皇紀二千六百年の記念出版として最も適しき事業と確信する。敢て江湖の御後援と支持とを切望する次第である。

申込略規

申込 書店又は直接本社へ御申込下さい。
體裁 全八卷。菊判九ポ活字各卷平均三四〇頁紙裝函入
配本 四月十日より毎月一册づつ逐次刊行。
會費 申込金不要。毎月金二圓三十錢。
送料 市内六錢 内地十四錢 臺灣滿鮮十八錢。

第一回配本(四月廿日)
第一卷 日本精神 内容見本進呈

第一卷 日本精神
第二卷 支那精神
第三卷 印度精神
第四卷 西洋精神(一)
第五卷 西洋精神(二)
第六卷 世界精神史の諸問題(一)
第七卷 世界精神史の諸問題(二)
第八卷 世界精神史

理想社出版部
振替東京七三八四 電話東銀座三〇三三

呈進錄目圖地 行賣發發 房書段九

最新改造	世界大地圖	軸製	横四尺縱三尺	定價二・五〇	送料・三〇			
最新調査	日本大地圖	軸製	横四尺縱三尺	定價二・五〇	送料・三〇			
最新	支那大地圖	軸製	横四尺縱三尺	定價二・八〇	送料・三〇			
最新改造	世界大地圖		四六全判	定價・五〇	送料・〇六			
最新調査	日本大地圖		四六全判	定價・五〇	送料・〇六			
最新	支那大地圖		四六全判	定價・八〇	送料・〇六			
最新	ヨーロッパ詳細圖		四六半截	定價・五〇	送料・〇三			
北支那詳細圖			四六半判	定價・四〇	送料・〇三			
番地入模範	新大東京全圖		四六全判	定價・四〇	送料・〇六			
中南支詳細圖			四六半截	定價・四〇	送料・〇六			

呈進錄目書圖行發社陽春

昭和十四年度版	東京府中等學校入學試驗問題及模範解答	男子用	定價一圓	送料	女子用	定價九十錢	各十四錢	
陸軍幼年學校 陸軍工科學校 陸軍少年航空兵 海軍少年航空兵	入學試驗問題及び模範解答	四六判	定價・六〇	送料・〇九				
昭和十五年度版	標準東京學校案內	男子用	定價・八〇	送料・一〇	女子用	定價・七〇	送料・〇九	
學習	國史地理理科 三科のねらひどころ	菊	定價・八〇	送料・〇九				
受驗	口頭試問のねらひどころ	菊	定價・五〇	送料・〇九				
受驗	算術のねらひどころ	菊	定價・六〇	送料・〇九				
最新	鐵道員受驗の要領	菊	定價・八〇	送料・〇九				
海軍志願兵受驗の要領		菊	定價・八〇	送料・〇九				

社陽春書版圖出・房書段九圖門地專

振替東京 27116番　振替東京 26667番

東京市神田區神保町三丁目一七番地

電話九段(33)1075番

横井無隣著

六拾七版

心身改造の秘訣 精神統一自修書 内觀錄

〔紙飢饉ニ付此版デ絶版ス〕

定價一圓五十錢

送料十錢

この法は處世の秘訣、藝術の眞髓、信念確立の基調にして、天賦の知性を啓發し、本質的に肚を作る妙諦也。

故に心ある人の渇望を禁ぜざる所にして坐禪の如く辛錬苦修の要なく、刹那に羽化登仙の心境に住し即日心身改造に役立つ萬人必讀の書。

東京市ヶ谷市本牛込村區町　内觀寮　振替東京二八一九六番

發行所　財團法人　糧友會

東京市深川區越中島町
陸軍糧秣本廠内
糧友會
電話深川(64)一六一一番
振替東京一六九〇二番

糧友會編　**日本主要食品榮養圖解**　布表裝　五・〇〇〇　紙表裝　三・〇〇〇　荷造實費　四〇

日本人の日常食物百八十二種を蛋白、脂肪、含水炭素、無機鹽類、ビタミン等が美麗な十色刷原色版で一目瞭然たる圖解。

糧友會編　食品の選擇　榮養價計算　**早見書**　二・五〇　二・一四

最も面倒な榮養價計算が一目で早見し得られる特色あり。他に食品分析表ビタミン表無機鹽類表消化吸收表等食物獻立に關する諸表。

陸軍糧秣本廠編　**基本料理法**　一・五〇　一・一四

料理法は千題萬様であるが、その基本を習へば簡單である。本書は軍隊で研究實施された基本料理である。簡易病人食が附いてゐる。

糧友會編　**軍隊及團隊炊事獻立カード**　三・〇〇　二・二二

この獻立カードがあれば、軍隊、工場、學校、寄宿舍、大宿屋、食堂など至極簡易に立案及榮養價計算が出來る。

岡崎桂一郎著　文部省推薦圖書　**日本米食史**　七・〇〇　五・三〇〇

群籍無量二萬卷の前後七年にしてなつた本書は米食人たる日本人の食に關する小圖書館である肯なる蔵本書は現代主食改善運動の原動力なり。

陸軍糧秣本廠編　**日本兵食史**　上卷五・〇〇　下卷三・五〇　三・三

上代より近代迄の幾多戰陣の兵食狀態を明徴にして武人の日常生活は勿論、時代の經濟、榮養學等前人未踏の分野を開拓せし概觀書。

益田孝著　**益田孝雜話**　二・〇〇　一・二四

大益田翁唯一の記念すべき著書である。茶道談議あり、明治時代英傑の人物論あり、將又翁の豐富なる經驗談がある、人生修養の好著。

川島士路著　實地踏査　**趣味の滿蒙風土記**　二・〇〇　一・二四

獨特の科學的洞察眼をもつて滿蒙を實地踏査すること數回に涉る著者になる風土記である。滿蒙の地理人情風俗を描き出して餘蘊がない。

滿田百二著　**製パン教程**　一・五〇　一・〇〇

製パン工場の施設の能率的、改善、其他管理經營上の知識並に製品の利用皆及上工夫をめぐらさなければならぬ竝に關係諸機關の執筆を得て成つた本書。

糧友會編　**家庭パンと洋菓子の作り方**　一・五〇　一・〇〇

菓子やパンの書籍は數多くあるが、このやうに圖說をし親切に要領を示したものは本書を第一とする。

同　**定庭貯藏壜の詰方**　一・〇〇　一〇〇

家庭で食物を貯藏する事は家計經濟上、趣味生活上最も痛切に感ぜられる、昨今、本書によりて其のコツを知る事が最捷徑である。

糧友會編　**調理士教程**　一・〇〇　一・〇〇

調理士の職務、榮養概念と調理、食物衞生、獻立要領、其他を編纂したもので公衆食物調理を擧る調理士は勿論食關係指導者の好參考資料なり。

日本綜合料理財團　**日本綜合料理**　二・五〇　一・五〇

日支洋料理、圖解炊事、榮養料理、家庭料理、趣味料理は如何に「綜合」されるかを念頭に於て、各方面の料理法を網羅して隨所の書。

雜誌　**糧友**　每號百六十頁　一ケ月　一六錢　一ケ年　一圓九〇錢　前金十二冊　二・三〇　郵稅共　郵稅會員　二錢　農村生活指導小冊子　自第一輯至第七十輯　一部定價十錢

好評の新刊と重版書

不動貯金銀行頭取　牧野元次郎著　**體驗財話**　定價　一・三〇　一〇〇

原口統太郎著　**支那人の心を摑む**　定價　一・三〇　九〇

景氣研究所長　勝田貞次著　**人間性經濟學**　定價　一・七〇　一〇〇

侯爵　德川義親著　**日常禮法の心得**　定價　一・七〇　一〇〇

滿洲重工業總裁　鮎川義介著　**物の見方考へ方**　定價　〇・五〇　九〇

北門取締役　和田見治著　**利平貨殖譚**　定價　一・五〇　一二〇

商工大臣　藤原銀次郎著　**實業人の氣持**　定價　一・五〇　一〇〇

日本曹達社長　中野友禮著　**これからの事業これからの經營**　定價　一・〇〇　一二

食糧會々長　櫻澤如一著　**病氣の治る食物**　定價　一・五〇　九〇

實業之日本社々長　增田義一著　**國策と個人**　定價　一・五〇　一〇〇

東京銀座西一ノ三橋　實業之日本社　振替東京六二三番

▲兒童漫畫ハナカムラ漫畫▲

■賣れる！賣れる！代表的極彩色マンガ■
■學校でも御家庭でも大評判■

芳賀まさを著
ドウブツ學校 定價八十五錢

新關青花著
象さん豆日記 定價八十五錢

謝花凡太郎著
大陸合笑隊 定價八十五錢

渡邊太刀雄著
海陸たんけん隊 定價八十五錢

芳賀たかし著
坊や密林征服 定價八十五錢

小澤よね吉著
ほがらか親善便り 定價八十五錢

▲各冊四六判布表紙函入美裝　全部二色四色印刷▲

謝花凡太郎著
まんが大陸日記 定價壹圓

芳賀たかし著
愉快な小熊 定價壹圓

新關青花著
アフリカ探險 定價壹圓

渡邊辰雄畫
コドモ海洋丸 定價壹圓

芳賀まさを著
南極のペンちやん 定價壹圓

渡邊太刀雄著
良寛さま 定價壹圓

發行所　東京市淺草區淺草橋二丁目八番地　中村書店

昭和圖書の組合圖書

商業組合と工業組合に關する圖書專門刊行

松浦誠之	組合の職員	同	〒〇・六〇
同	商工業組合の定款	三・二〇	〒〇・〇六
小池金之助	組合定款の知識	一・五〇	〒一・一二
同	農事實行組合組	解說	〒〇・六〇
同	組合の事務	二・三〇	〒一・一五
同	工業組合解說	四・五〇	〒二・二二
同	商業組合解說	一・八〇	〒一・一五
同	同業組合	及び準則 組合	一・八〇 〒一・一五
篠田七郎	協同組合の基礎知識		二・三〇 〒一・一五
今井悠	組合諸規程集		二・〇〇 〒一・一五
中瀨勝太郎	組合の會計監査		〒〇・八〇 〒一・〇〇
加藤健之助	農事實行組合		二・五〇 〒一・一五
協同組合研究會	組合登記必携		〒〇・七〇 〒〇・六〇
同	國民健康保險組合と醫療利用組合		一・二〇 〒一・一二
商業組合研究會	商業組合の新目標		一・三〇 〒一・〇〇
秋元博	市場制度の研究		二・三〇 〒一・一五
川端巖著	戰時戰後の工業組合		一・五〇 〒一・二〇
松浦誠之著	商業組合の話（附）百年戰爭と商業組合		一・〇〇 〒一・〇〇
佐野卓雄著	戰時體制と工業組合		一・五〇 〒一・二〇
稻川宮雄著	商業組合經營事例		一・五〇 〒一・二〇

東京麹町富士見町二丁目一番地
社會式株書圖和昭
電話九段(33)三二九二・三二九四
振替東京一二二〇

田中宋榮堂優秀小學生版

學年	書名	著者	定價	送料
一年から四年まで	優等生大全科	火野葦平 櫻木康雄	四〇錢	九錢
五年から高二まで	優等生大全科	野村政夫	六〇	一〇
一年から六年まで	國語と算術	馬場豐二	四五	一〇
三年から四年まで	國語新自習書	馬場豐二	四五	九
五年から六年まで	國語新自習書	八尾秀雄	六〇	一〇
一二三年四五年	中野新算術	福島德平 馬淵冷佑	四五三〇	一〇六
一二三四五六年	佐藤新國語	中村如秋編輯部	四五三〇	一〇六
一年から四年まで	土と兵隊	火野葦平 櫻木康雄	六五錢	六錢
小學生	國史讀本	野村政夫	四五	九
小學生	武道讀本	馬場豐二	四五	九
小學生	劍道讀本	馬場豐二	四五	九
小學生	相撲讀本	八尾秀雄	四〇	九
模範	新式大辭典	福島德平 馬淵冷佑	一、二〇	一〇
小學（五・六高一・二）	國史附圖	中村如秋編輯部	三五	六

發行元 東京市神田區多町二ノ一（振替東京四九二八）
大阪市南區安堂寺橋通三（振替大阪一五四三）
田中宋榮堂

發兌 基督教出版社 圖書目錄進呈
東京市神田區錦町一丁目・電話神田三五一四・振替東京一四五三

國體と基督教

法學博士 大谷美隆著

四六判上製 一四二頁
定價 一、二〇
送料 〇九

國體と基督教とは果して調和し得るものなりや、此問題は久しい宿題であるが、今尙解決されて居ない問題である。聖戰下特に此解決の必要を痛感せられてゐる時、大谷博士は該博なる、學殖を以てあらゆる角度より此問題を檢討し解決を與へられた。大谷博士は憲法學者であり、國體學の權威であるだけに其所論は重要なる意義を有するものと言はねばならぬ。之れを以て日本に於ける基督者は指標を與へられたものと云ふべく又一般識者も基督教の本質を見直すべきである。時變下特に一讀を薦む。

祖國の救ひ

——說教と隨筆——

高柳宇三郎著

四六判 二一四頁
定價 一、一〇
送料 〇九

基督教界の新進新約學者として、令名ある高柳先生の、說教及隨筆三十篇の集錄である。祖國の救ひの爲めに、傳道第一線に活躍しゝつある先生の、信仰と熱と情とが躍動して居る。時局下暗雲低迷の思想界に、一道の光明を見出し得る事と信じ、敢て江湖に送る所以である。

新撰 鋼船構造學 倉田音吉著 定價三・五〇 送料・二一

新撰 木船構造學 倉田音吉著 定價三・五〇 送料・二一

改正法規適用 木造船構造術 桑原周雄著 定價三・〇〇 送料・二一

潜水艦の知識 宗藤良而著 定價一・〇〇 送料・一〇

滿洲日日新聞社編

滿洲年鑑 昭和十五年版 定價一・三五 送料一四

滿洲國地圖 二百萬分ノ一 滿鐵調査部編 定價・八〇 送料六

滿洲日日新聞社編

最新北支那要圖 百五十萬分ノ一 定價・五〇 送料三

最新中南支那要圖 百五十萬分ノ一 定價・七〇 送料三

滿洲童話作品集 定價一・八〇 送料一四

東京市神田區小川町二丁目一

海文堂書店

振替東京八〇九九三
電話神田二七〇二

最新實用塗裝工業並塗料製造法 藤崎喜代太著 定價五・五〇 送料二一

現行海事法令集 海文堂編纂部編 定價七・八〇 送料・三三

ヂイーゼル機關の故障と修整 竹田谷片二著 定價五・〇〇 送料・三三

漁船發動機取扱問答 越田積一編 定價四・五〇 送料・二一

發動機の故障と修理 越田積一編 定價一・五〇 送料・一五

燒玉式發動機 大山文武著 定價二・八〇 送料二一

實用受驗 船舶用發動機講義 大谷春次郎著 定價四・五〇 送料・三三

船用英文通信 宮本吉太郎著 定價二・五〇 送料・二一

●出版目錄御申越次第進呈●

合格の捷徑は先づ指導書の撰擇から

◇中山俊太郎先生著 〔最新刊〕 好評嘖々!!

必ず出る 專檢・高資試驗重要問題 竝 模範解答

四六判美裝 紙數約四百頁 定價一圓三十錢 送料十錢

專檢突破の希望に燃え、文字通り血みどろな勉强を續けつゝある全國獨學受驗生諸君に萬腔の敬意を表したい。元來獨學は敎師に就かない不自然的な學習方法に據るため時々重大な誤りに陷り易いから如何に勉强すべきかを充分研究し能率の擧がる勉學法に據らなければならない。而して從來どんな問題が多く出題されてゐるかを檢べ能率的な學習を行ふのが最もよい。本書は專檢試驗科目の全部を網羅し受驗者自身の實力を試めせるやう問題と解答とを別々に掲げた。重要問題、難問題は特に愼重に取扱ひ苦心を拂つて書かれた。專檢問題集や解答集も既に澤山發行されてゐるが最も良心的な、最も完全な問題解答集として受驗者間に人氣を集めてゐる。直ぐ近所の書店又は發行所へ直接註文せられよ。既出問題の研究出題傾向の研究なくして合格の榮冠は摑めない。

必ず出る 普通文官試驗重要問題 竝 模範解答 四六判美裝三二〇頁 定價一圓廿錢・送料九錢

最新 鐵道職員志願要訣 竝 問題解答 四六判美裝二六〇頁 定價六十錢・送料九錢

全國 遞信講習所生徒志願要訣 竝 問題解答 四六判美裝二〇〇餘頁 定價六十錢・送料九錢

陸軍 少年航空兵・少年電信兵・各科兵科志願要訣 竝 問題解答 四六判美裝二七〇頁 定價七十錢・送料九錢

海軍 各科兵科・少年掌電信兵・少年航空兵・諸工廠工員志願要訣 竝 問題解答 四六判美裝二七〇頁 定價七十錢・送料九錢

發行所 東京市淺草區淺草橋一丁目 振替口座・東京六八〇三番 松陽堂 (全國書店ニアリ)

弘文堂・十四年度新刊・

東京神田駿河臺
振替東京五三九〇九
電話神田二七五二

忘れ得ぬ人々	辰野隆著	價一・七〇	稅・一四
フアウスト研究	木村謹治著	價三・三〇	稅・二二
オデュスセイア（上下）	松浦嘉一 田中秀央 共譯	價各二・〇〇	稅各・二二
條約集關係法令附	安井郁著	價二・五〇	稅・二二
國際法學講義要綱(1)	安井郁著	價二・五〇	稅・二二
法學評論（下）	小野清一郎著	價二・五〇	稅・二二
改訂商法總論	鳥賀陽然良著	價一・七〇	稅・一四
國民經濟學研究	白杉庄一郎著	價三・五〇	稅・二二
アヘン戰爭と香港	矢野仁一著	價一・五〇	稅・一四
アロー戰爭と圓明園	矢野仁一著	價一・五〇	稅・一四
倉石中等支那語	倉石武四郎著	價・五〇	稅・一四
支那語法入門	倉石武四郎著	價・六〇	稅・一四
社會學の基礎問題	神明正道著	價二・五〇	稅・二二
米國文化社會學研究	難波紋吉著	價二・〇〇	稅・二二
日本文化	肥後和男著	價二・五〇	稅・二二
行道佛教學	釘宮武雄著	價三・三〇	稅・二二
學徒の使命	山本饒譯	價二・八〇	稅・二二
カント解釋の問題	高坂正顯著	價二・〇〇	稅・二二
實踐哲學としての西田哲學	柳田謙十郎著	價二・五〇	稅・二二
東洋的無	久松眞一著	價二・八〇	稅・二二
フオイエルバツハ	伊達四郎著	價二・〇〇	稅・一四
プロテイノス	鹿野治助著	價二・〇〇	稅・一四
ショーペンハウエル	龍野健次郎著	價二・〇〇	稅・一四
カント	高坂正顯著	價二・〇〇	稅・二二

京都◇芸艸堂版◇東京

內田清之助	◇鳥と獸	四六判	價二・五〇
同	◇野鳥生態寫眞集 第一輯	四六倍判	價五・〇〇
岡本東洋	◇東洋花鳥寫眞集 動之卷 25冊	四六四倍	各價三・〇〇
同	◇同 靜之卷 25冊	完結	各價三・〇〇
同	◇同 鳥之卷	續刊中	各價三・五〇
結城素明	◇伊豆長八	四六判	價二・五〇
金井紫雲	◇花鳥研究	四六判	價三・〇〇
間直之助	◇競走馬の表情	菊判	價三・〇〇
添田達嶺	◇菅原白龍	四六判	價二・五〇
永島信子	◇日本衣服史	菊判	價一〇・〇〇
山田德兵衛	◇羽子板	四六倍判	價一〇・〇〇
木村小舟	◇推古より天平へ	四六判	價五・〇〇
同	◇天平より藤原へ	四六判	價五・〇〇
榊原紫峰	◇花鳥畫の本質	四六判	價三・〇〇
山本元	◇裱具の栞	四六判	價三・〇〇

金井紫雲藝術叢書

◇花と藝術	圖版三〇	本文	二六八
◇樹木と藝術	同	二九	二七八
◇草と藝術	同	三〇	三一二
◇蔬果と藝術	同	三〇	三二〇
◇動物と藝術	同	二七	二九九
◇魚介と藝術	同	三〇	三一二
◇蟲と藝術	同	二九	三〇五
◇鳥と藝術	同	二九	三二八
◇天象と藝術	同	三〇	三〇四
◇山水と藝術	同	三〇	三〇〇

四六判各冊 金參圓 送料二十一錢

金井紫雲藝術資料

第一期	植物篇	十二冊	完結
第二期	鳥類篇	十二冊	完結
第三期	哺乳類篇	十二冊	完結
第四期	魚介蟲類篇	十二冊	續刊

◇內容見本御申越次第送呈◇

四六倍判各冊 一圓二十錢 送料九錢

發行所 合名會社 芸艸堂

京都市寺町二條南 電話上二九〇番 振替京都一四〇八番

東京市本郷區湯島一 電話下谷三六〇〇番 振替東京四〇九四〇番

早稲田大學教授 商學博士 長谷川安兵衛著

定價貳圓 菊判上製函入 二三五頁 挿入圖表四枚 送料二二錢

新刊

會社分析の基礎知識

誰れにも判る會社眞否鑑別法の元成！ 各家庭に一冊！

會社の内容とか經營が良いか悪いかといふことを鑑別することは難事だが、その鑑別は結局決算報告書を解剖することによつて最も正確に出來る。だが從來この決算報告書の見方に就て學者の書いたものは硬苦しくもあるし無味乾燥だし且つ難かしい。著者は學界の權威であり實際界に精通する學徒として令名あり、多年の研究を土臺として會社批判力又は鑑別眼を養ふために我國の生きた實例を採り興味を持たせつゝ會社分析の基礎知識を說く。初めて誰れにも判る科學的な會社鑑別法が完成した。會社鑑別の顧問書として推賞する。

内容 ◇會社分析總論◇決算報告書の構造◇會社の經營缺陷◇◇單一貸借對照表による會社分析◇分析に用ひられる比率◇連續貸借對照表による會社分析◇損益計算書の分析◇製造會社分析の仕方◇百貨店分析の仕方◇賣出株分析の仕方

早稲田大學教授 商學博士 上坂酉三著

定價三圓十五錢 菊判上製函入 三三五頁 送料二十錢 折込六枚 外地四十錢

新刊

戰時貿易實務の知識

「貿易實務」戰時版の刊行が、當然の時代的要求となつてきた。本書は賣買・爲替・銀行・海運・保險・稅關・倉庫など主要機關に亘る貿易實務に關し、基本的な知識を網羅すると共に、戰時政策遂行の爲に强化または特設されたる輸出及輸入組合・輸出補償・輸出賚金前貸補償・輸入統制・輸入爲替許可・輸出入リンク制等の非常時實務に就ても、極めて懇切な解說を盡してゐる。貿易に志ある人は勿論、苟も貿易を語る人は、まづ以て「貿易すること」の實際的知識を得ることが絕對に必要である。本書は、この貿易知識を獲得する爲の唯一無二の指南書である。

早稲田大學教授 商學博士 長谷川安兵衛著

八版 原價會計概論 菊判美裝函入 四百九十五頁 定價三圓五十錢 送料三十三錢

十版二 株式會社の實際 菊判上製函入 八百四十八頁 定價四圓八十錢 送料三十四錢

三版 株式會社の諸問題 菊判九ポイント美裝函入 六百三十餘頁 定價三圓八十錢 送料三十三錢

發行所 東京泰文社 東京替振 三九六〇六 鶴込牛込卷町四三六

七五一

東京文理科大學教授
東京高等師範學校教授
陸軍教授理學士 問谷力 宮田正彦先生著

受驗補習

代數のちから

文理大 東京高師 教授 問谷力先生評

宮田君が本書を公にさるゝと聞き、汗中充棟も啻ならざる程類書の刊行され居る時、屋上屋を架する嫌ひなきやを懸念したが今本書を播いてそれは單なる杞憂に過ぎなかつたことを知つた。

各例題の下には數題宛の類題をあげ徹底的に了解せしむべく仕組れた本書は、巷間往々見るが如き粗笨なものとは類を異にし、すべてに亘つて些の遺漏もない。余が聲を大にして本書を普く天下の受驗生に推薦する所以である。

本書の特長

1 最近の入試問題を範例にとり、基本的事項の理解を徹底せしめ、代數學實力の涵養を期す。

2 六百二十餘の例題には示唆的方針と模範的解答を述べ、猶ほ類題を擧げて問題解法の鍵を與へた。

3 最近の傾向を示す綜合問題、ぐらふ、整數問題を詳說して、來るべき入試問題を豫測す。

上、下、各四三〇餘頁 定價各壹圓五十錢 特價各八拾錢

東京日本橋區本町四丁目二 榊原文盛堂 東京振替 六六〇九二

二千六百年の記念は良書の熟讀だ！

何れも普及一萬以上百萬部に迫る！

明治天皇御集 昭憲皇太后御集 全	定價・八〇錢	送料・〇九錢
明治天皇御集 全	定價・五〇錢	送料・〇六錢
報德要典 報德記 報德論 分度論 二宮翁夜話 道歌解	定價一・〇〇錢	送料・一四錢
二宮翁夜話（續篇共）	定價・三〇錢	送料・〇六錢
兒玉庄太郎著 石川翁の傳記と歌集	定價一・二〇錢	送料・一〇錢
武藤貞一著 ユダヤ人の對日攻勢	定價一・五〇錢	送料・一〇錢
宇都宮希洋著 猶太問題と日本	定價一・八〇錢	送料・一四錢
栗原荒野註 校註 葉隱（九ポ總ルビ付 註八ポ千三百頁）	定價二・八〇錢	送料・一四錢

東京市本郷區 春木町二ノ五六

內外書房

振替口座東京 六五一一八番

川喜田煉七郎著 四六倍判上製 寫眞凸版二千有餘 改挿入の大豪華版

圖解式 店舗設計陳列全集

全六輯 並製 八圓 上製拾貳圓

★ヒトメで商賣と設計のコツが分る本！
★繪と寫眞で商賣と陳列のコツがつかめる本！
★あらゆる商賣がみんな圖解してある本！

どんな商賣でも必ず繁昌する極祕訣公開！

〔本全集の內容〕

第一輯 菓子店、パン店、喫茶店
第二輯 食料品店、茶店、酒店、クダモノ店
第三輯 飲食店、映畫館、理髮店（看板集）
第四輯 洋品店、デパートマーケット一般論
第五輯 靴店、下駄店、セトモノ店、金物店、刄物店、貴金屬店、蓄音機店、電氣、ラヂオ店、樂器店、玩具店、書籍店、文具店、寫眞器店
第六輯 洋服店、婦人子供服、毛皮店、手藝品店、呉服店、小間物店、化粧品店、藥局、包裝の仕方

醫學博士 杉本淸治先生著 **强腦・强心・强精** 定價二・〇〇

軍事振興會理事 佐藤定勝先生著 **傷病兵更生感話** 定價二・〇〇

教育總監部 白根孝之中尉著 **聖戰の書** 定價一・七〇

金子堅太郎序 丹潔先生著 維新勤王志士 **國事詩歌集** 定價二・〇〇

富田義雄著 日本精神東洋思想 **原典の研究** 定價四・五〇

室伏高信先生著 **日本創世記** 定價二・〇〇

小林節藏先生著 **國民學校實踐體制** 定價三・五〇

勝田勝平先生著 **日本教育思想史** 定價三・〇〇

モナス

東京市小石川區竹早町卅五・電話小石川五四四六番
振替東京六三八五四番

陸海軍 受驗 立身 案內參考書!!

大日本國民中學會
編輯受驗部長 箕輪香村氏 責任編著

書籍は其の內容にある。內容の粗末なものでは役に立たない私は責任を以て內容充實した眞に爲になる是等の各種の書を編纂し諸君に提供する。安心してお買求め下さい。

◀此外の受驗參考書目錄無代進呈▶

- ●陸軍軍人受驗志願入學立身法 定價一圓 送料九錢
- ●海軍軍人受驗志願入學立身法 定價一圓廿錢 送料十錢
- ●陸軍海軍 少年航空兵 志願受驗 立身法 定價一圓 送料九錢
- ●陸軍海軍 少年電信兵 志願受驗 立身法 定價一圓 送料九錢
- ●陸海軍民間 飛行家 志願受驗 立身法 定價一圓 送料九錢
- ●陸軍士官學校試驗問題解答集 定價一圓二〇錢 送料九錢
- ●海軍兵學校·機關學校·經理學校入學試驗問題と解答 定價一五〇錢 送料十四錢
- ●陸軍通信學校入學戶山學校試驗問題模範解答集 定價一圓 送料九錢
- ●陸軍士官學校入學試驗問題全集 定價一圓 送料九錢
- ●陸軍幼年學校入學試驗問題模範解答集 定價一圓 送料九錢
- ●陸軍工科學校入學試驗問題模範解答集 定價一圓 送料九錢
- ●海軍各志願兵採用試驗問題模範解答集 定價一圓 送料九錢
- ●陸軍幼年學校入學試驗問題全集 定價一圓 送料九錢
- ●陸軍士官學校入學受驗案內 定價七十錢 送料六錢
- ●陸軍經理學校入學受驗案內 定價六十錢 送料六錢
- ●海軍兵學校·機關學校·經理學校入學受驗案內 定價一圓 送料九錢
- ●東京陸軍航空學校入學受驗案內 定價六十錢 送料六錢
- ●陸軍幼年學校入學受驗案內 定價六十錢 送料六錢
- ●陸軍工科學校入學受驗案內 定價六十錢 送料六錢
- ●陸軍戰車學校入學受驗案內 定價六十錢 送料六錢
- ●陸軍通信學校入學受驗案內 定價五十錢 送料六錢
- ●陸軍戶山學校軍樂生徒入學受驗案內 定價五十錢 送料六錢
- ●陸軍現役兵志願立身案內 定價一圓 送料九錢
- ●海軍志願兵志願立身案內 定價一圓 送料九錢
- ●海軍甲種飛行練習生受驗案內 定價八十錢 送料九錢
- ●海軍工廠見習工採用受驗案內 定價八十錢 送料九錢

（發行所）
東京市神田區錦町三丁目廿二
文憲堂書店
振替東京五六二四二番
電話神田三七一八番

法律研究學會編・高文受驗叢書新刊と重版

四六判並製カバー附
各冊三百八十頁
各定價金壹圓貳拾錢
送料各九錢

第一篇	第二篇	第三篇	第四篇	第五篇	第六篇	第七篇	第八篇	第九篇	第十篇
三版	三版	再版	再版	三版	三版	七版	三版	三版	新刊
帝國憲法解說	刑法總論解說	刑法各論解說	行政法總論解說	行政法各論解說	刑事訴訟法解說	民法總則解說	物權法解說	債權總論解說	商法總論商行爲法解說
天皇主體說ヲ中心トシタル	客觀說主觀說を對照とせる	最近の判例を中心としたる	新體系を基準とせる	法令實例を對照とせる	判例及問題解說を基準とせる	新體系を基準とせる	學說及判例を對照とせる	學說判例を中心としたる	改正法を中心としたる

發行所 敬文堂書店
東京・牛込・早稻田
振替東京二三七三七

神宮司廳藏版	普及版 古事類苑	全60冊	定價一冊六・〇〇 送料同・二二	今回普及版刊行に依て、何人も容易に此の資庫を入手する機會を得たるは學界の慶事と思ふ。文物の整備は國家の誇であり又强みである。眞に不朽の書を傳ふる絶大の事業である。
笹川種郎博士 共 矢野太郎學士 編	續史料大成	全12冊	定價一冊三・二〇 送料同・一四	記錄は文書と共に最も貴重なる歷史の資料で、其の根底を爲すもの也、本書は成書を其儘刊行するにあらずして、一篇の記錄の各所に散在せるを蒐集改訂し、完璧たらしめたるもの也。
飯田武鄉著	日本書紀通釋	全6冊	定價一冊四・五〇 送料同・二二	日本書紀は我が古代文化の縮圖で、日本民族が形成したる最古文明の記錄也。方今思想界多事なる秋、我が先祖の偉大なる努力を回顧するは最も意義ある事也。切に各位の淸鑑を待つ。
各專門大定校訂	新校 羣書類從	全24冊	定價一冊四・五〇 送料同・二二	今本書を刊行するに當り、細心の要意と嚴密なる出版良心とを以て、各專門家の嚴正なる校訂を經、各卷頭に詳細なる解題を附し、最後に總索引を附し、內容外觀の最善を盡し得た。
各專門大家執筆	新釋 日本文學叢書	全24冊	定價一冊四・五〇 送料同・二二	本書の校訂註釋は獨特の創見であり、一字一句に正確と妥當とを期したる執筆である。更に顧みて、本叢書は最善を盡したる點に於て殆んど遺憾が無い、何人にも推薦し得べきもの。
上田萬年博士 共 山本信哉博士 編	平田篤胤全集	全15冊	定價一冊五・〇〇 送料同・二二	平田篤胤は我が國學界の一大偉人である。本全集は翁の著書全部と、其事蹟學說等を窺ふべきあらゆる資料を蒐集して居る。さうして最も勝れたる最も信賴すべき典據ある全集である。
各專門大家執事	綜合 日本史大系	全25冊	定價一冊二・八〇 送料同・一四	本書は何れも皆研究上の新時期を劃したる曠古の大日本歷史である。我等が祖先の眞の經歷を語つて光榮ある祖國に對する新らしい誇と愛とを我等の心に喚起する眞の日本歷史である。
東京帝國大學藏版 太政官編纂	復古記	全15冊	定價一冊七・五〇 送料同・二二	復古記は其の名の如く、王政復古の顚末を記したる貴重なる文獻也。其の編纂に前後十七ヶ年を費したるを見ても其の完全無比さを裏書さるべきもの、今本文索引全十五冊完成す。
法學博士男爵 阪谷芳郎編	世外井上公傳	全5冊	定價一冊六・〇〇 送料同・二二	井上馨侯ほど波瀾曲折に富んだ生涯を送つたものは無い。公の生涯は宛然小說であり劇である。此の井上公傳は其縮圖であり銀幕である。本書は前後を通じて井上公傳の完璧である。
東京帝大史料編纂所編	讀史備要	全1冊	特價一冊七・五〇 送料同・二二	本書は有史以來現在に至る我祖國の全面容の綜覽、年表、系譜、諸索引の一大集積で、其創意ある編纂法と充實した內容とは國史研究上劃期的の大著で、眞に國史研究の進路を先導するもの。

東京市小石川區竹早町卅二番地 **內外書籍株式會社** 電話小石川一〇五四 振替東京八九六〇

好評權威あるあ漢文の良書

文學博士 三島中洲著	中洲文稿	自第一輯 至第四輯	定價一三・八〇 〒・二四
文學博士 三島中洲著	中洲詩稿	全二冊	定價三・〇〇 〒・一二
文學博士 三島中洲著	史記論贊段解	全一冊	定價・七〇 〒・〇六
文學博士 三島中洲著	日本外史論文段解	全一冊	定價・七〇 〒・〇六
文學士 三島復著	陸象山哲學	全一冊	定價二・二〇 〒・一二
子爵 澁澤榮一著	論語講義	全二冊	定價三・〇〇 〒・二四
二松學舍教授 池田四郎次郎著	日本外史論文箋注	全一冊	定價一・〇〇 〒・〇六
二松學舍教授 池田四郎次郎著	補訂 經解要目	全一冊	定價・七〇 〒・〇六
二松學舍專門學校長 山田準著	陽明學精義	全一冊	定價二・三〇 〒・一二
二松學舍專門學校長 山田準著	傳習錄講本	全一冊	定價一・〇〇 〒・〇六

東京麴町區三番町六番地 **二松學舍出版部**

振替東京一一二一六番・電話九段二〇〇七番

登龍代數學

陸軍經理學校教官
陸軍士官學校前教官
陸軍教授 理學士 松室隆光先生著

四六判上下二冊上四九〇頁下六〇〇頁定價各一・八〇〒各・一四

登龍參考書は最少の勞力と時間とに依り、最大の能率を發揮すべく著述編纂せられたるものにして問題の解法は明快適切、懇切平易にして而も記憶に便なる樣工夫せられてあり、全問題に解答を附してあるから不明のまゝ殘す問題は一題もない、一たび就いて學べば自ら記憶せざるを得ざる獨創になり、筆紙を準備することなく、短時日の間に適確且つ完全なる知識を把握せしめずんば止まず。尙且つ卷末に演習問題を揭げて實力試練の機を與へ、更に受驗直前には本文の例題類題を一瀉千里に讀破するを以て足る等數學の受驗準備或は學習には本書を備ふれば一切他を顧みづして可なり。

中學生の代數學

四六判 五六四頁 定價一・八〇 〒・一四

中學生の幾何學

四六判 五一四頁 定價一・九〇 〒・一四

數學を極く初步より教へる好評の書!!

中學校一二三年生、獨學生諸君!! 數學は基礎よりみつちり正確な知識を得ることが大切です。數學は初學者が少しでも油斷するとなか〳〵むづかしく、面倒になり、之を呑み込むには相當骨が折れ、そのため數學がだん〳〵嫌ひになり勝なものです。

學生諸君に親しまれ、數學の經驗の最も豐富な松室先生のお書きになつた本書は數學をやさしく、面白く飽かせずしかも正確にぐん〳〵實力をつけてくれる名著で、どんな教科書を用ひても必ず教科書と連絡し、內容が諸君の程度にピツタリ合致し學校の成績を良くする中學初年生及び獨學生諸君に好適無二の良友であり、親切な家庭教師です。中學初年級より進む陸軍幼年學校、陸軍工科學校、陸海軍練習生其他の諸學校志望者の入學準備に、或は中學校卒業後進む上級學校志望者の根幹養成に卽刻本書を!!

登龍幾何學 六一〇頁 定價一・九〇 〒・一四
登龍三角法 四〇六頁 定價一・五〇 〒・一四
登龍立體幾何學 四三〇頁 定價一・八〇 〒・一四
登龍算術 五〇六頁 定價一・八〇 〒・一四
登龍代數學問題選集 二五〇頁 定價・六〇 〒・〇九
登龍幾何學問題選集 二二四頁 定價・六〇 〒・〇九

東京市神田區 神保町一丁目 廣文館 振替東京六〇一五四番 電話神田九一七番

軌範物理學

日本大學教授
成城高校前教授
理學士 近藤一二先生著

四六判 六七五頁 定價二・二〇 送料・一四

本書は中等學校教科書の新要目教材に則り、編纂せる類書中最も斬新適切なるものにして教科書の說明の足らざる所を補說し學校に於ける講義問題の整理に資するの外、獨學にて物理學或は化學を學ばんとする人の爲に說明を懇切にし特に進んで高等學校、專門學校等の受驗に應ぜんとする人の爲最近十數年間に於ける入試問題、教科書の重要問題等を精選の上各千餘題を收錄せる受驗準備書中の白眉。兩書の各章の始めには其の章の要項を述べ總括して記憶するに便ならしめてあるから受驗直前には要項のみを最短時間に一瀉千里に讀破し得る。尙本書の說明をより完璧ならしめる爲三色版寫眞版十數葉、圖版各數百個を以てし物理學及化學參考書中最完璧豪華本たるを確信す。

軌範化學

四六判 八〇〇頁 定價二・二〇 送料・一四

軌範物理學問題選集

軌範化學問題選集

四六判 各四百頁餘 定價各・五〇 送各・〇六

本書は物理、化學の徹底的補習並に受驗準備の總仕上げに最も適する樣編纂せるものにして、最近十數年間に於ける上級學校入試に出題されたるもの及將來も出題される傾向ある問題を中心として收錄し、物理化學全體を整備し得る完璧の準備書である

軌範國文解釋

四六判 五四四頁 定價二・〇〇 送料一四

陸軍士官學校教官
陸軍教授・文學士
加藤守光先生著

發刺たる意氣に燃へる全國十數萬受驗生諸君の熱烈眞摯なる要望に應へ、加藤先生が多年陸士教官として入試答案に接し、亦實地指導の豐富なる經驗を以て答案を認める時の受驗生諸君の缺陷を指摘し、國文、漢文獨自の急所、綱領を把握する樣編纂、著述した受驗準備書にして、陸海軍、高專諸學校の受驗參考書として、諸君の國漢入試突破に是非讀破すべき名著にして、聖戰牙城突破に於ける良き援助者たる事を確信す。

軌範漢文解釋

四六判 五五七頁 定價二・〇〇 〒・一四

物理の整備

四六判 四五〇頁 定價一・六〇 〒・一四

日本大學教授
成城高校前教授
理學士 近藤一二先生著

物理、化學はやゝもするとわかりにくゝ且つ無味な學科に考へられ、學生諸君にとつて苦手な科目の一つに數へられ勝なものです。しかし學び方によつては極めてやさしく物理や、化學を理解することが出來るものです。

物理や化學は第一に基礎よりみつちり勉强し正確な知識を修得して置かなくてはなりません。本書は何れも初めて物理化學を學ぶ人にやさしく、くわしく面白く學び得られる樣に書かれた諸君に絕好の良友です。

化學の整備

四六判 四四五頁 定價一・六〇 〒・一四

東京市神田區 神保町一丁目 廣文館 振替東京六〇一五四番 電話神田九一七番

◇昭和15年度新刊圖書總目錄進呈◇

陸軍幼年學校教官・理學士　宮田正彥先生著

受驗準備 算術解法の研究

四六判 394 頁・定價 1 圓・送料 9 錢

本書は、先づ算術解法の基本問題を擧げ、且つこれに導かれる同じ系統の幾多の問題について、その根抵的解釋の指導を試み、加ふるに重要な類題を附して、入試問題解法の實力涵養に努めた。しかも問題の配列は、易より難に漸進的に按配し、初學者をして一を知つて十に通ぜしめるやう叮嚀懇切な工夫を凝らした。

陸軍幼年學校教官・理學士　宮田正彥先生著

一年から三年迄の 代數解法の研究

四六判上製 810 頁・定價 1 圓80錢・送料 14 錢

受驗準備は低學年よりの主義の下に受驗の根抵を與へる樣に編纂してある根抵事項を整理して教科書の程度を徹底的に理解せしめ、知らず知らずに受驗準備の出來るやうにした。一・二・三年生で解き得る最近の入學試驗問題を成るべく多く採り入れ、既習教材と受驗教材との連絡を密接にした。

茨城縣立水戸中學校教諭　塚本勝義先生編

試驗によく出る 時局作文の作成法と模範文例

四六判 360 頁・定價 1 圓・送料 6 錢

極めて合理的に受驗作文作成法を體得することこそ勝利への第一歩であるが、いかなる文章を作るにも文章をみがく技巧よりは文章を生み出す心を養ふことが大切である。特に時局作文は時局知識の養成が重要である。時局文集であると同時に時局理解指針であり、時局理解資料でもある。

東京府立第四中學校教諭　近藤薰明先生著

新訂 國史問題の解釋

四六判 430 頁・定價 1 圓30錢・送料 9 錢

本書は「近藤の國史」として採用校實に 368 校を獲得せる「日本史問題の解釋」を、新時局に即應し且つ新制教授要目に準據して新訂せる完璧書で國史講義として統一せる上に、必出重要問題 2000題を檢討詳解した良書である。高校專門校受驗者必讀の良書である。

發行所　東京市神田區錦町3ノ15　振替東京六四九九番　西東社出版部

高松高等商業學校教授　中村賢二郎著

外國貿易 英語通信文の書き方

類別組立要句索引附　四六判六〇〇頁　定價三圓三十錢　送料十四錢

特色

7654321

コレスポンデンスの理論及び實際を詳述せること
貿易實務を中心として說明の懇切と忠實なること
通信文英和對譯の適切と註釋注意の徹底せること
貿易の指導的圖解を多數挿入して資料とせること
通信文の練習問題と解答を付して英譯の便とせること
七十頁の組立要句索引を附し英譯の便とせること
貿易實務家の參考事項を滿載し附錄とせること

▽貿易實務家・商業教員・商大・高商生必携の書

臺北帝大教授醫博　森於菟著

解剖臺に俯りて

文豪鷗外の御令息として科學的なる頭と怜利なる筆力を以て色彩の多い生活の記錄である。前半はお手のものゝグロものであり後半は私生活及び鷗外ものを取扱れて居る。

三百六十頁　定價一圓三十錢　送料十錢

細谷清著

滿蒙傳說集

滿洲國の現狀は輝しい存在である

過去の遲れてゐた文化より走馬燈を見る如き發展をなしつゝある、而して幾十百千の口碑傳說は未開發になつてゐる、傳說は國民の心臟より流れ出る血であり民族の持つ魂である、本書は十五年滿蒙各方面旅行探究し三百に餘る口碑傳說を蒐集し滿蒙旅行者の研究家に寄與せんとしたものである。

定價一圓八十錢　送料十四錢

蒙古貿易と日本傳茶

寶庫蒙古は特殊なる存在である、又特殊なる產物が多い、磚茶の如き遠くソ聯まで輸出して居る。本書は蒙古の特殊なる貿易を研究し磚茶を專門的に研究されたものである。

菊版四百頁　定價三圓五十錢　送料十四錢

無線通信士檢定受驗用

交通地理學

和田忠臣著　定價一圓三十錢　送料十錢

東京市神田區神保町一ノ三九
振替東京三四七五七　丸井書店

石野の代數

解法の眞髓

四六判・五五〇頁・定價一圓六十錢・送料十四錢

★石野勝五郎先生著★

全卷新構想に成る
受驗界待望の名著

石野勝五郎先生の令名は今更喋々の要はない。あの透徹した、精密周到なる講義、一絲亂れず、簡にして要を得、而も烈々たる信念と氣魄とを以て滿天下學生に呼びかくるあたり、受驗界の王者たる亦宜なるかなである。

本書は先生の言にもある如く系統立ち、且つ徹底したる代數、幾何の知識を授け、よつて以て貴重なる受驗生諸君のエネルギーを最有効に使用せしめんが爲に著はされたものである。加之、最近入試問題等の傾向に關する指導、並びに重要公式定理表等を加へたるは錦上更に花を添へたるものとして賞嘆の的である。

四六判・五〇〇頁・定價一圓五十錢・送料十四錢

石野の幾何

解法の眞髓

受驗徹底研究叢書

國史合格答案の確把	定六〇	送〇六
假定法の徹底的研究と入試問題	定四〇	送〇六
VERVALの徹底的研究と入試問題	定八〇	送〇六
前置詞の徹底的研究と入試問題	定五〇	送〇六
受驗英和公式の研究	定六〇	送〇六
受驗和英公式の研究	定六〇	送〇六
代數學の徹底的整理	定六〇	送〇六
國文要語の研究	定四〇	送〇六

（以下續々刊行）

◆既刊 合格確把版◆

堀川三四郎著 定價二、〇〇・送一〇
自習受驗新編英文解釋法

藤井 富俊著 定價一、五〇・送一〇
國文基礎知識と解釋の研究

林 昌平著 定價一、六〇・送一〇
代數學重要事項整理と問題選集

神戸 榮著 定價一、五〇・送一〇
自習英文法作文教本上級用

東京市神田區司町二ノ十四
司書院
振替東京四七七〇七番
電話神田三一一二番

革新的な新機軸を出せる中學の全科！

◆"虎の卷"と"全科詳解"と"參考書"を纏めた

新制準據各科指導 中學一年生の研究室 第一學期用

新制準據各科指導 高女一年生の研究室 第一學期用

新制準據各科指導 實業學校一年生の研究室 第一學期用

◆豫習・復習になくてならぬ好伴侶是非一冊を！

こんな本の欲しい人に

1 中學校女學校等の全科詳解の欲しい人に！
2 "虎の卷"は"いけぬと言はれた一年生に！
3 虎の卷より詳しい說明講義のほしい人に！
4 一年の入門講義を一冊に纏めてあるあを！
5 非常時に澤山の參考書は"らぬ學生に！
6 中・女學生の入學祝の氣のきいた贈物に！

各冊
菊版四百頁口繪四頁
典雅美裝、挿繪豐富
定價金一圓二十錢
送料金十錢

各學年各學期順次刊行中

懸賞學習問題
澤山あり應募下さい

東京市神田司町二丁目
パイロット社
振替東京一五〇一〇

株式會社 定評ある

大阪屋商店調査部編纂 株式年鑑 ◈ 內容見本進呈

辭書的精密なる年鑑

財界の羅針盤

▲發行部數壹萬部限（再版せず） ▲紙數壹千貳百餘頁 ▲定價七圓
▲裝幀 菊判總クロース上製函入（附錄主力株相場高低表二枚） ▲送料 地方 廿貳錢 市內 六錢

× × × × ×

本書內容

株式相場—取引所—セメント、煉瓦—肥料、化學工業—製糖—麥酒、水產、製粉、製菓—製作工業—製紙、木材、皮革、護謨—鑛業、製煉—電燈、電力—瓦斯—鐵道、自動車、航空—船舶、造船、造渠、運輸—紡績、人絹、人織、毛織、製麻、生糸—土地、建物—百貨店—キネマ—雜事業—銀行—信託—保險—公、社債明細表—配當利子支拂場所（貿易、金融、財政）一般統計〔各事業に關する諸統計は夫々其項の末尾に揭載す〕

本年鑑は、幾多の特色を有し、類書中最良の書といふ御定評を頂いてをりまず。又その內容は年を逐うて、いよ〳〵充實整備してまゐりました。銀行、會社は勿論、苟も實業に關心を持たれる人士の座右には、是非御備へ置かれねばならない至寶であります。

大阪北區梅田新道 電話北 三一九七一 五六一 五七五二 番
大阪屋商店調査部編纂 株式會社大阪屋書院
東京神田區美土代町一ノ八 電話神田 二二二八番
東京日本橋區河岸中央大學前 振替東京八一二三八番

七六四

青年學校及技能者養成所用教科書

所要目準據・昭和十五年版

青年學校教科書 男子本科用 五年制	東京帝大教授 文學博士 戶田貞三 東京文理大教授 理學博士 土井不曇 共著	男子本科用	一—四〇	一—五
青年學校教科書 男子本科用 四年制	同	男子本科用	一—四〇	四—五
青年學校教科書 男子制本科用 五年制	同	男子制本科用	一—二〇	五
青年學校教科書 男子制本科用 四年制	同	男子制本科用	一—二〇	四
女子青年學校教科書 普通學科用	東京府視學官 加藤キイ 青年學校 家庭科教科書	普通科男子用	上・下	三五
女子青年學校教科書 女子本科用 二年制	同	女子本科用	一—五〇	二—五五
女子青年學校教科書 女子本科用 三年制	同	女子本科用	一—五〇	三—八〇
青年學校教科書 修身及公民科・普通學科	東京帝大教授 文學博士 戶田貞三	修身及公民科	上・下	三五
青年學校教科書 修身及公民科	東京府青年學校教諭 五味保義	修身及公民科	上・下	八〇
女子青年學校教科書 修身及公民科・普通學科	東京文理大助教授 肥後和男	修身及公民科	上・下	三五
工業道徳（德性涵養科）	東京府青年學校教諭 文學博士 戶田貞三	全三冊		一—三三〇
厚生國語	東京文理大教授 理學博士 土井不曇	全一冊		五〇
厚生國史	東京文理大助教授 肥後和男	全一冊		五〇
厚生理科	東京文理大教授 理學博士 土井不曇	全一冊		五〇
工業數學	東京工業大學教授 理學博士 渡邊孫一郎	全二冊		五〇

厚生省 工場事業場技能者養成令に準據

株式會社 文學社 東京市神田區美土代町一ノ八 振替東京三七八番・電話神田三五一番

七六五

杵屋栄蔵著 **三絃譜長唄稽古本** 五十篇 出版 一冊 ・三五

望月太左衛門著 **望月流譜附長唄囃子手附** 十四篇迄出版 一冊 一・〇〇

中内蝶二校訂 **長唄大全** 七篇迄出版 一冊 二・三〇

漸進老人編 **長唄研精會新曲集** 三篇迄出版 一冊 二・五〇

杵屋勝太郎作曲 **長唄新曲集** 第一篇 一二・〇〇編

杵屋六左衛門 杵屋勘五郎作曲 **新曲長唄集** 第一篇 一・〇〇

稀音家六四郎作曲 **稀音家六四郎作曲小集** 三冊 絹表裝美本 一冊 二・〇〇

宇井桃水先生序 中巻 **長唄研精會新曲集** 洋裝美本 一冊 一・〇〇

町田博三編 註解付 **長唄選集** 洋裝美本 一冊 一・〇〇

町田博三著 **長唄の方と彈き方** 四六形洋裝插入 一冊 一・六〇

宇井桃水序 増補 **長唄の心得** 洋裝美裝 一冊 一・五〇

小谷青風著 **長唄を說く** 洋裝美裝 一冊 一・五〇

中内蝶二校 **長唄の友** 上巻 洋紙用 一冊 一・八〇

同 **長唄の友** 下巻 洋紙用 一冊 一・八〇

同 中巻 **長唄百番** 五十八版 クロース表紙 一冊 一・〇〇

同 中巻 **續長唄百番** 二十版 クロース表紙 一冊 一・〇〇

山崎青雨編 中巻 **新曲長唄百番** 洋裝美本 一冊 一・二〇

清元宗家編輯 **清元大全(床本)** 布製紙上低半紙 一冊 二・五〇

清元大全(六番本) 改良土佐半紙十二編迄一冊 一・〇〇

清元梅吉校訂 **清元流正本** 六編迄出版 一冊 二・五〇

清元延壽太夫題字 **清元全集** クロース金文字 定價 二・〇〇

清元宗家選 **清元選集** クロース金文字 定價 一・五〇

井口菊奴著 **清元心得帳** 洋裝美本 定價 一・八〇

清元太兵衛選 **清元集** 洋裝美本 定價 六〇

市川三升校 小唄稽古本 **都の華** 美濃紙半切改良 特價 二・五〇

吉田草紙庵著 小唄稽古本 **續都の華** 美濃 半紙改 定價 二・五〇

吉田草紙庵校訂 **懷中都の華** 袖珍 四〇 美 定價 一・二〇

伊原青々園序 **小唄名曲大全第一編** 土佐上質用紙 一冊 二・〇〇

吉田草紙庵校閲 **小唄名曲稽古本** 第八編迄出版 一冊 二五

豐竹巖太夫監修 **義太夫佐和利百段** 活字 和裝 定價 一・八〇

尾上梅幸著 新修 **梅の下風** 寫眞入顏ろ美本 絹表 定價 二・三〇

松本幸四郎著 掌松 校訂 **松のみどり** 寫眞入顏ろ美本 絹表 定價 二・三〇

伊原青々園校 演劇と舞踊の圖解 小道具の巻 凡廿章 豊定價三 二・〇〇

東京日本橋區人形町三丁目 **法木書店** 電話茅場町六四五〇番 振替東京四七七三四番

リンネ著

植物の屬

植物文献刊行會 第十回刊行書

LINNAEI,C., GENERA PLANTARUM

(Ed. 5. Holmiae, 1754)

(第五版の覆製)

(本冊) 菊判・特厚漉木炭紙・原本通り背角革・平クロース

(別冊) 中井猛之進博士解說＝著者肖像・ウプサラ植物圖・著者舊邸内書庫・著者遺愛食器の四枚寫眞入

本書は「植物の種類」と共に不朽の文献で、一九〇五年維納府に開催された萬國植物命名規約會議の折、規準となつた書で、原本は珍本に屬する高價本であります。

實費 **金六圓八拾錢** 〒三十三錢

申込所 東京本郷帝大正門前 井上書店内

植物文献刊行會 電話小石川四三五四 振替東京一二七〇七

本會の既刊書

第一回 シーボルト **日本植物誌** 絶版

第二回 シーボルト **日本有用植物誌** 絶版

第三回 トウンベルジュ **日本植物誌** 四・八〇

第四回 トウンベルジュ **日本植物圖譜** 絶版

第五回 リンネ **植物の種類** 絶版

第六回 トウンベルジュ **日本植物論文集** 七・五〇

第七回 リンネ **植物の種類補遺** 四・五〇

第八回 シーボルト **あぢさゐ屬短評** 絶版

第九回 サージェント **日本森林植物誌** 六・三〇

絶版となつた物は數倍の高價を唱えて居ります

學生の爲めの

古典文學叢書

1 萬葉集の鑑賞 文學士 築瀬一雄著
2 竹取物語の鑑賞 文學士 三谷榮一著
3 土佐日記の鑑賞 文學士 臼田甚五郎著
4 源氏物語の鑑賞 文學士 村井順著
5 平安朝女流日記の鑑賞 文學士 丸山雄二郎著
6 古今和歌集 新古今和歌集 の鑑賞 文學士 佐伯仁三郎 文學士 窪田章一郎 共著
7 徒然草の鑑賞 文學士 築瀬一雄著
8 謠曲の鑑賞 文學士 小林靜雄著
9 芭蕉の俳句連句の鑑賞 文學士 浪本蕉一著
10 蕪村・一茶名句の鑑賞 文學士 暉峻康隆著

四六判上製 各二百餘頁
★清楚な近代風裝幀、各卷口繪一葉の他挿入圖版入り
定價各一册 壹圓 送料十四錢

推薦の辭

文學博士 五十嵐力先生

文學博士 武田祐吉先生

日本の古典は古くして新しきものである。この古きものを古きに終らしめずして新しくするのが、生きた教育家の任務である。古典を新時代化し平易化して今度興文閣から新に刊行された「學生の爲めの古典文學叢書」は此の手近なれども大なる目的の爲めに創試されたものであるわが親愛なる青少年諸子は本叢書によつて、容易に我が古典文學の精髓に觸れ、日本精神の重要なる現れの一部に直面して、意義深く現代に生きる所以の道を見出すことが出來るであらう

發行所 興文閣 東京市神田區神保町一ノ三五 振替東京四三〇八 電話神田一〇八番

ロシヤはどう出るか	大内 俊	八〇	圓	二九〇
ロシヤ民族の國民性	島田 滋		錢	六三
勞働國策と總同盟	松岡駒吉	一五	錢	二六
勞働奉仕制の意義及業務	權田保之助	一七〇	圓	二三四
勞働法と時代精神	後藤 清	四五	錢	五〇〇
勞働力開發の具體策	宇野信三	五〇〇	錢	一三四
露領漁業問題と我等の要望	橋口九十馬		非	一九
論說・史話・隨筆 新日本經濟說話	原 祐三	二五〇	圓	四六
調書第十六編 我國金融事情（第一卷）	金融研究會		非	三六
我國における非宗教團體の治安維持法違反事件に關する調査資料（その二）	楠原祖一郎		錢	三
我國貿易の趨勢と日滿支經濟ブロック	日本商工會議所		錢	五
我が國體と警察及民衆	河野庄二郎		非	二五
我カ國體ト國家	高野 弘		非	一八〇
我が財政經濟の概要	中央聯盟			

我が戰時經濟を論ず	大阪毎日新聞社		錢	三五
我等は何故開戰したか	大英帝國情報部		非	一六
渡邊製鐵所は何處へ往く	中井倭人	一〇	圓	三六

（一九）數學

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
改訂微分學演集	大上茂喬	三・九〇	菊 四〇二	文明社
經濟學研究のための基礎數學	寺尾琢磨	一・五〇	四 一九一	慶應出版社
高等教育數學概要	園正造	二・二〇	菊 一九〇	裳華房
工業數學平面三角法	藤井鹿三郎	三・二〇	菊 二九二	修教社
工業青年數學	野村勝一郎	一・一〇	菊 一四八	工業圖書株式會社
最小自乘法	三戸森確郎	三・五〇	菊 三〇五	同
算術の研究授業	中野恭一	一・八〇	菊 二九三	賢文館
新教科書に立脚する算術學習の心理と其取扱	武政太郎	二・〇〇	菊 二七四	モナス
趣味の世界數學讀本	小倉金之助	二・五〇	四 三二八	啓文社
趣味の世界數學史物語	鏡淵稔	二・〇〇	四 三四八	同
數學文化史	吉岡修一郎	二・五〇	四 三七一	河出書房
數學讀本	高見豊	三・八〇	菊 四三六	春陽堂
數學隨筆數のユーモア	吉岡修一郎	一・八〇	四 四七六	誠文堂新光社
水量「メートル」	香月久	二・七〇	菊 二〇〇	水道社
中等教科書トシテノ數學	森井慶太郎	一・五〇	菊 一〇五	東京修文館
二次元問題	宮本慶巳	二・六〇	菊 二二四	修教社書院
微分積分學概要	山田欽一	一・五〇	菊 一二三	裳華房
微分積分學（二）	藤原松三郎	七・五〇	菊 六四四	內田老鶴圃
微分積分學（緒論）	渡邊義勝	三・三〇	菊 三二〇	同
微分學通論	山崎榮作	六・五〇	菊 五五一	同
百萬人の數學	竹內時男	一・八〇	四 二一七	三教書院
百萬人の數學上卷	ランスロット・ホグベン 今野武雄 山崎三郎	二・〇〇	菊 三七八	日本評論社
平面三角法附表	掛谷宗一 蓮池良太郎	二・八〇	菊 二冊	南山堂
平面三角法通論（附錄別冊）	山崎榮作	六・五〇	菊 二冊	內田老鶴圃
例題詳解計算法	坂元左馬太	一・五〇	菊 一三三	鐵道圖書局

（二〇）理學

物理○動物○植物
化學○鑛物○天文

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
一般物理 力學篇	向井正幸	五・〇〇	菊 四五二	コロナ社
一般物理化學	千谷利三	一三・〇〇	菊 一〇一三	內田老鶴圃
岩波全書 岩石學1	坪井誠太郎	・八〇	菊 二五九	岩波書店
同 18 改訂生理學上	橋田邦彥	・八〇	菊 二五五	同
同 膠質化學	玉蟲文一	・八〇	菊 二六一	同
同 九〇宇宙	松隈健彥	・八〇	菊 一六三	同
有機化學	漆原義之	一・七〇	菊 一九三	共立社
有毒植物寫眞及解說	刈米達夫	一・七〇	四 一三四	三省堂
有機化學提要	井上敏	二・八〇	菊 二七二	前野書店
有機化學の進步	小竹無二郎 赤堀四郎	六・〇〇	菊 五〇九	共立社
醫科物理學	藤村信次	六・五〇	菊 四一一	金原商店
陰極線管及陰極線式テレビジョン	淺尾莊一郎 外一氏	二・〇〇	菊 一六五	共立社
ウイルソン細胞上	篠遠喜人	九・〇〇	菊 四三〇	內田老鶴圃
宇宙の實相	E・ハッブル 相田八之助譯	一・八〇	四 一四一	恒星社
繪で說いた生物の謎	ローランド 菊池重三郎譯	一・六〇	菊 一一七	新潮社
應用初等力學	福井儉三	一・八〇	菊 一七〇	太陽社
應用觸媒概說	崎川範行	一・三〇	菊 約二〇〇	共立社
應用化學精義	友田宜孝	四・五〇	菊 五七六	山海堂
音響・學序說	栗原嘉名芽	三・八〇	菊 三一二	共立社
音響科學	八木秀次	四・五〇	菊 四四四	オーム社
化學總論	山名寧雄	一・八〇	菊 一八二	太陽堂
化學新叢	西澤勇志智	一・五〇	四 二六〇	同文館
改訂化學語彙	松原行一	三・五〇	菊 二八一	日本化學會
化學分析	工業教育研究會	一・五〇	菊 二五六	工業教育振興會
改訂增補滿洲の地質及鑛產	遠藤隆次	四・〇〇	菊 二四六	三省堂

改訂增補 圖解採鑛學	日野神兒	二・三〇	森北海道石炭鑛業會 二九六
胚と鴨	黒田長禮	三・〇〇	岡修教社
書換へられたる物理學 樺太植物圖誌第二卷 てんなんせう科もくれん科	竹内時男	二・〇〇	岡内田老鶴圃
現代の物理學	菅原繁藏	一八・〇〇	森樺太植物圖誌刊行會 九六九
原色野外鳥類圖譜	藤岡由夫	二・八〇	菊岩波書店 三四
原子核物理實驗(電子)	下村彙史	三・〇〇	岡三省堂 一六三
輕合金	中川重雄	一・五〇	菊共立社 一四五
高等物理學實驗指針	澤本八衞	一・二〇	岡同 二一〇
高等物理學(上)改稿版	物理學測定研究會	六・五〇	菊三省堂 五〇
高等化學深論第三卷(3) 金屬篇全卷總索引附	竹内潔	三・二〇	菊岩波書店 四二六
高周波の生物學的研究	森元七	八・五〇	菊内田老鶴圃 八三〇
工學物理	杉田平十郎	二・五〇	岡新科學社 三三三
航空物理學	竹内時男	四・〇〇	菊有象堂出版部 三五九
合成燐光體	佐々木達治郎	三・〇〇	菊共立社 二五三
	箱守新一郎	二・〇〇	同 一七三

酵素化學總論	田所哲太郎	四・〇〇	菊丸善株式會社 四六
子供科學知識(1) 天體の驚異	吉田弘 松原盆太	一・二〇	岡目黒書店 三八
地球と人生	同	一・二〇	岡同 二四一
氣象の變化	同	一・二〇	岡同 二六九
地殻の構造	同	一・二〇	岡同 三〇八
動物の世界	同	一・二〇	岡同 二八〇
植物の世界	同	一・二〇	岡同 二四〇
最新高等動物學 —講義と實驗—	池田嘉平	四・五〇	菊三省堂 三七七
シートン動物記(6)	内山賢次	一・五〇	岡三五一 白揚社
新版大綱日本植物分類學	本田正次 向坂道治	五・八〇	菊厚生閣 四〇八
講物理學	森本彌三八	四・〇〇	菊京極書店 五二
實驗電氣化學(上)	武井武	四・五〇	菊共立社 二五五
實驗酵素化學(全)	大谷武夫	七・五〇	菊科學書院 五六
實驗發生學(上)	市川衞	五〇	税弘文堂 一七二
實用化學便覽	龜山直人	七・五〇	化學工業時報社

植物學綜說(7)稻の生理	中山包	二・〇〇	岡内田老鶴圃 二〇六
植物病理學大系第一卷	中田龍五郎 日野巖	三・三〇	菊養賢堂
觸媒化學 石炭液化・タール水素添加	山口昌三 外一氏	三・〇〇	菊同 二〇〇
觸媒化學 合成石油	藤村健次 吉村倫之助 熊谷直記	三・〇〇	菊尚賢堂
觸媒化學 水性瓦斯反應 硬化油		三・〇〇	約同 三五〇
支那古代史と天文學館	飯島忠夫	三・六〇	菊恒星社 三三
人事管理十二講	高田琴三郎	四・二〇	岡嚴松堂 六二
進化學說の史的批判	E・ウンタアマン 島村孝一譯	一・〇〇	岡大東出版社 一六八
生物學新叢	湯淺明	一・五〇	岡同文館 三七
生理化學研究	エリアス・ルブリント 江上不二夫譯	四・八〇	菊叢華房 二五〇
生理植物學	纐纈理一郎	一〇・〇〇	菊明文堂 八九〇
生化學實驗法(定性篇)	藤井暢三	五・五〇	税南山堂 二七〇
星座の親しみ	山本一清	一・二〇	岡恒星社 一〇八
增訂改刻 應用鑛物學	岩崎重三	六・五〇	菊内田老鶴圃 四九九
ダイヤモンド フイルム 産業全書(17)	富士寫眞フイルム會社研究所	一・四〇	岡ダイヤモンド社 一四
大日本菌類誌(二ノ二)	伊藤誠哉	三・五〇	菊養賢堂 二五〇

大日本植物誌 ウラボシ科(1) チシダ亞科	伊藤洋	五・〇〇	税三省堂 三四五
ヒメノガステル亞目 スツポンタケ亞目	小林義雄	二・三〇	税同 九〇
ユキノシタ科	原寬	三・五〇	税同 一五二
炭水化物概論	三宅捷	三・七〇	菊岩波書店 四〇〇
彈性體の力學	玉城嘉十郎	三・五〇	菊内田老鶴圃 三七
地震學 地球物理學 本邦分献目錄 1	石本巳四雄 河角廣	三・〇〇	税古今書院 一〇〇
通俗精解色彩現論 大要と染色	中島武太郎	二・〇〇	岡丸善株式會社 二〇九
附屬標本	同	二・五〇	岡一箱 同
天文と宇宙	荒木俊馬	三・八〇	岡四九三 恒星社
天文曆法と陰陽五行說	飯島忠夫	四・二〇	菊三四四 同
電氣磁氣學	宮部宏	一・二〇	約二五〇 久野書店
電解化學及電池	田中正三郎	三・八〇	菊三〇六 内田老鶴圃
動物記(第二册)	E・T・シートン 内山賢次譯	二・五〇	岡五一九 白揚社
動物神經學 無背椎動物篇	鈴木直吉	二・五〇	岡四三四 同
		八・〇〇	岡五八五 丸善株式會社

動物を語る	鈴木哲太郎	一・二〇	圓	二九五	宮越太陽堂書房
動物の面白い自然生活	ワッチガム・シーアス杉浦淺一譯	・五〇	圓	一二九	一粒社
等角寫像の應用	佐々木達治郎	三・五〇	圓	二七六	冨山房
東亞植物圖說 第三卷第一輯	中井猛之進	一・五〇	參		春陽堂
原色日本昆蟲圖說	江崎悌三外二氏	二・〇〇	圓	四八五	三省堂
日本動物分類十卷八編十二號 昆蟲綱鞘翅目（鞘翅群・鞘翅目）	中條道夫	四・五〇	圓	三二〇	同
日本盆栽大觀	小林憲雄	七・〇〇	參	二〇〇	叢文會
地	朝比奈泰彥	三・〇〇	圓	一四〇	三省堂
日本隱花植物圖鑑	小日山直登	一・一〇	圓	五八	大陸經濟研究所
日滿重工業の再編成	中村清二	豫約四・五〇	圓	五六四	物物理化學實驗法
熱學及び光學器械	入來重盛	一・〇〇	圓	一二	河出書房
博物學要綱動物篇	藤本治義	・八〇	圓	七六	西ヶ原刊行會
同 地質鑛物編	小野嘉七	三・五〇	圓	二四一	同
薄荷及合成薄荷					理化學書院
發光吸收分光化學分析法	太秦康光	三・三〇	圓	二三五	養賢堂
酸酵化學實驗法	高橋偵造	一・八〇	圓	一五三	共立社
廢物更生化學	川西正鑑	二・七〇	圓	二七一	工光堂書店
光	文泰順	・二五	參	五三	燈臺社
物理實驗學第四卷 彈性及音響	中村清二	四・五〇	圓	四三九	河出書房
同 原子物理學（下）第九卷		四・五〇	圓	四一二	同
同 光學 第六卷		四・五〇	圓	六三四	同
物理實驗學第二卷		四・五〇	圓	四九六	同
同 第一卷 物理實驗總論		四・五〇	圓	四四三	同
同（第十二卷）		四・五〇	圓	三九一	同
物理化學實驗法	鮫島實三郎	六・〇〇	圓	四九六	裳華房
物理學原論	安西通可	四・五〇	參	二九七	同
文化の物理學	庄司彥六	一・二〇	圓	二六	內田老鶴圃
分光化學分析法要說	植村琢	一・三〇	圓	九三	修教社
無機化學原論 結晶化學篇	柴田榮一	七・八〇	圓	五七八	養賢堂
無機製法化學	木村愚	三・〇〇	圓	二六〇	內田老鶴圃

木材化學 改訂增補版	三浦伊八郎 西田岇二	七・五〇	圓	七三三	丸善株式會社
野生動物記	內山賢次（ヘンリー・シングス）譯	二・〇〇	圓	四〇三	三笠書房
量子物理學（6）	杉浦義勝外一氏	三・五〇	圓	二冊	共立社
同 （5）	共立社	豫約	圓	四冊	同
同 （7）	仁科芳雄	三・五〇	圓	三冊	同
理科實驗の原理と實踐	桑原理助	一・五〇	圓	二二五	晃文社
理化學史物語（新訂版）	宮道馨	二・九〇	圓	三四七	東洋圖書株式合資會社
例題解說 材料力學	馬場秋次郎	四・五〇	圓	三五九	太陽堂書店
わが有機化學（改刻三版）	山岡望	五・〇〇	圓	三六九	內田老鶴圖

（二一）醫學・衞生

○醫學○診斷○治療○藥學○衞生

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
アナフイラキシイ概論	石川光昭	二・三〇	圓	一二六	吐鳳堂
明るい家庭醫學	慶應海外醫事研究會	一・六〇	圓	二九六	春秋社
イタリヤの青年運動	岡田博道	・五〇	圓	一三三	日本青年館
遺傳と人生	神名勉聰	二・〇〇	圓	二三八	雄風館書房
遺傳・體質・混血	谷口虎年	二・三〇	圓	三〇一	吐鳳堂
胃腸病は斯くして必ず治す	服部二郎	一・三〇	圓	三八	光明思想普及會
胃及び十二指腸潰瘍	友田正信	一五・〇〇	參	八三六	金原商店
異常兒論	下田光造	・三五	圓	七〇	大道學館
醫化學	兒玉桂三正宗	八・〇〇	參	四六八	金原商店
醫療制度改惡案を解剖す	渡邊房吉	・四〇	圓	二六	醫事公論社

醫療制度改革案を解剖す	渡邊房吉	・七〇	圓	一六八	日新書院
醫事公論シリーズ 一 ハイネ・メヂン氏病	瀨尾一雄	・八〇	圓	一五五	醫事公論社
同 二 ズルフオンアミド製劑の化學療法	同	一・三〇	圓	二九二	同
醫療革新に關する建議書	石井集弐	一・九〇	圓	二四六	石井集一
醫學的心理學	三宅鑛一	四・五〇	圓	三五二	南江堂
榮養と食餌療法	石崎仲三郎 柿坂茂	二・八〇	圓	三六四	京文社
溫泉療法	高安愼一	六・〇〇	豪	二八	金原商店
溫泉療養實話集	日本溫泉協會 日本旅行協會	一・〇〇	圓	三六〇	博文館
簡明看護學前篇	石川信男	二・八〇	圓	三四六	南山堂
同 後篇	同	二・五〇	豪	二七五	同
簡明家畜解剖學	田中醇	三・八〇	圓	二九三	文永堂書店
簡明看護學	石川信男	二・八〇	圓	三四六	南山堂
化學療法の啓蒙	安田德太郎	二・〇〇	圓	三三四	東洋經濟出版部
眼科診療の實際	庄司義治	一三・〇〇	豪	六二一	南山堂

眼底圖譜	石原忍	一八・〇〇	豪		金原商店
海外輓近の產科婦人科綜說（第一輯）	篠田紘 外一氏	二・〇〇	豪	一六三	產科婦人科中央雜誌發行所
看護婦養成の實際	西尾幾治	二・五〇	圓	三四	南江堂
解剖學實習手引（全十册）	島田吉三郎	五・〇〇	豪	一〇册	金原商店
解剖と生理衞生	石崎仲三郎	三・八〇	圓	四三六	モナス
解剖臺に凭りて	森於菟	一・三〇	圓	二八四	丸井商店
各科專門診療醫典 下卷	石川貞吉	七・〇〇	豪	一〇九四	南山堂書店
同 上卷	同	七・〇〇	圓	二〇三	同
各科に必要なる小手術の實際	上田靜夫	一〇・〇〇	圓	四八七	診療と經驗社
家畜細菌實習	近藤正一 河島俊一	四・〇〇	圓	三三	克誠堂書店
家庭醫學精典	坂下南陽	三・三〇	圓	八八	國民圖書協會
家庭に於ける診斷と治療	益井蓊	二・八〇	圓	六二一	學藝社
家庭診斷と食餌看護法	長濱繁 柿坂茂	一・五〇	圓	二四	下田文榮堂 醫學書店
開腹術の前後第三輯	松尾巖	三・〇〇	豪	三八	消化器病研究會
學童健康讀本	柳澤信賢	一・五〇	圓	二八	實業之日本社

學校職員身體檢查法要領	右文館編輯部	二・〇〇	圓	一三	右文館
キユリー療法	佐藤美實	三・五〇	豪	一八八	克誠堂書店
近世病理學總論	今裕	六・五〇	豪	三六二	南山堂
近世助產學（下）	酒井春吉	三・八〇	圓	二九〇	金原商店
基礎看護學	永井幸一郎	五・〇〇	圓	五〇〇	鳳鳴堂
基礎內科學	藤井尙久	四・五〇	圓	三〇五	金原商店
急性肺虛脫の臨牀	石山福二郎	四・〇〇	圓	三五〇	同
癖の直し方	宇佐玄雄	二・〇〇	圓	四八	人文書院
玄米か白米か	國谷秀	・五〇	圓	一二六	極東福音社
傑出人腦の研究	緒方富雄	五・五〇	豪	一七〇	岩波書店
血淸學講義（講本）	緒方富雄		圓	三五〇	緒方富雄
現代日本の代表的十大健康法	大野俊一	一・五〇	圓	三五三	潮文閣
健康と長壽	小澤修造	二・〇〇	圓	二八五	創元社
經路經穴學	駒井一雄	一〇・〇〇	圓	七六四	春陽堂書店
外科中心精說實際治療書	竹村文祥	七・五〇	圓	六一〇	東西醫學社

外科臨牀診斷指針	三藤寬	四・五〇	約	四三〇	南山堂
外科手術後療法	有光藤三郎	七・五〇	豪	五七八	南江堂
外科診斷の指針	鈴木五郎	一〇・〇〇	圓	五五五	吐鳳堂
結核性諸病及精神的治癒	脇田政孝	一・〇〇	圓	一八〇	光明思想及會
結核と闘つた天才達	上村忠雄	一・四〇	圓	三五八	山雅房
結核は必ず療る	厚生省保險院	一・〇〇	圓	四四	新潮社
高周波醫學の理論と實際	綿貫英助	一・八五	圓	二七	ラヂオ科學社
口腔細菌學提要	長雜幸	五・〇〇	豪	一四三	長雜幸
最近の肺結核療法	兒玉豐治郎	一・八〇	圓	一四四	兒玉研究所
最新實驗柔道整復術全書	木葉幸四郎	一〇・〇〇	圓	一〇〇〇	關西柔道整復術研究會
最新外科手術の實際	原勇三	一五・〇〇	豪	六二六	南山堂書店
細胞學遺傳學文獻抄錄集	メンデル會	七・〇〇	豪	三四六	帝大內メンデル會
細菌學及免疫學	木村廉	七・五〇	豪	一七九	金原商店
細菌及免疫學綱史	志賀潔	四・〇〇	圓	三五七	南山堂書店

試驗室檢査技術提要	鄕　晃太郎	一・〇〇	菊	八六	克誠堂書店
神經の新醫學	服部仁郎	一・五〇	図	四三	普及會
神經病診斷學	三浦岱榮	三・〇〇	菊	二五一	鳳鳴堂
神經痛ロイマチス全治法	平山綜一	一・五〇	図	三六	實業之日本社
神經の新醫學	服部仁郎	一・〇〇	図	四三	普及會
新外科學（上）	本名文任	九・〇〇	菊	四七	金原商店
同　（各論上）	石井吉五郎外四氏	一四・〇〇	菊	九五	南江堂
新法醫學	藤原敎悅郎	五・〇〇	菊	三九	金原商店
新撰看護學全書（上）	雉居龍太	四・〇〇	菊	六八	南山堂
新撰看護學敎科書	本庄快三	三・八〇	菊	五六	同
新撰眼科學	菅沼定男	一〇・〇〇	菊	三〇	同
同　（上）	同	九・〇〇	菊	三〇〇	同
新撰產婆學敎科書	篠田　紘	四・五〇	菊	五〇四	同
新撰レントゲン診斷學入門（全）	田宮知耻夫	八・〇〇	菊	四二四	同
新撰產科學（上）	磐瀨雄一	五・〇〇	菊	三六二	同
新撰產科手術學	磐瀨雄一	五・〇〇	菊	三〇二	南山堂書店
小外科操典	盛彌壽男	九・〇〇	菊	三六八	金原商店
小生理學	大塚藤吉	五・五〇	菊	三四四	同
小兒肺炎の診療	大原清之助	三・五〇	菊	一二九	同
小兒腎炎及ネフローゼ	武田幸夫	二・三〇	菊	一三三	南山堂
兒童心身健康の調査と指導	大伴　茂	三・八〇	菊	三八九	培風館
銃後の保健と職業病	式場隆三郎	一・九五	図	四四三	ダイヤモンド社
重要疾患の早期診斷と療法	金原商店	三・五〇	菊	四五九	金原商店
腎臟病食養學	大森憲太郎	二・五〇	図	三四	吐鳳堂
齒冠補綴及架工義齒學	細野來馬	一〇・〇〇	菊	五六	同
食物だけで病氣が療る新食養療法	櫻澤如一	一・五〇	図	二八三	實業之日本社
食物による健康と幸福	同	一・八〇	図	一九九	成史書院
食餌療法と其の實際	岡　通	六・〇〇	菊	五五	南山堂
診療室から	吉村忠一	一・五〇	図	一五〇	醫界展望社
腫脹及腫瘤ノ診斷	醫學業績研究會	八・〇〇	菊	四四二	敬文社出版部

耳鼻咽喉科學各論	西端驥一	九・〇〇	菊	五九	鳳鳴堂
身體計測と體力測定の實際	竹村　一	一・五〇	図	一七八	日本學童保健協會
身體論	佐藤通次	二・〇〇	図	二八〇	大日本社
進化論とそれ以前	弓削達勝	一・八〇	図	三九	照文社
受驗用助產婦學全（改訂增補九版）	白木正博	三・九〇	菊	四〇四	南山堂書店
（漢文）實例法醫學及犯罪搜査實話	小南又一郎	二・〇〇	菊	一五六	南江堂
症候上より見たる產婦人科診斷治療學	李士瀛譯	六・〇〇	菊	四八一	鳳鳴堂書店
生理學下卷	中島　精	六・〇〇	菊	三六	南山堂
生理學講義第三編（緒論）	上野一晴	六・〇〇	菊	三六	同
生藥學	竹中繁雄	一・五〇	菊	九四	南江堂
第四性病	下山忠典	六・五〇	菊	四六	同
第十回日本醫學會會誌	市川篤二	四・二〇	菊	二七	南山堂書店
大日本柔道史	小川誠三	非	菊	七二	第十回日本醫學會
大日本小兒科全書Ⅶ編小兒臨牀幷液學第二册各論一	丸山三造	三〇・〇〇	菊	二七〇	講道館
大日本小兒科全書第七編第三册	佐藤彰	八・〇〇	菊		金原商店
大日本內科全書第十四卷第三册溫泉療法	鈴木保	一〇・〇〇	菊	四〇〇	同
大日本小兒科全書第二十二編小兒齒牙疾患	佐藤彰他一氏				
大日本內科全書第十卷第二册溫泉療法	高安愼一	六・〇〇	菊	三八	同
大日本小兒科全書第八册第2021編第2册	島峰徹	六・五〇	菊	一六三	同
大日本內科全書第五卷第一册胃・十二指腸	檜垣麟三	六・五〇	菊	一六三	同
同神經系及運動器疾患(1)神經系疾患總論腦疾患	小山武夫	七・〇〇	菊	二〇〇	同
大日本眼科全書第十五卷第三册交感性眼病	小澤修造	六・五〇	菊	一三〇	同
對症診療叢書便秘・下痢及嘔吐	西野忠次郎	六・五〇	菊	二九二	同
誰にもわかる素人診斷の知識	弓削經一外一名	九・〇〇	菊	四五八	同
青年期の研究	永井幸一郎	三・七〇	菊	三五八	鳳鳴堂
性と性格（下）	石崎仲三郎	一・五〇	図	一八三	河田書院
性の現象	村上啓夫	四五	菊	三三三	弘文堂
創傷及其療法	伊藤堅逸	一・五〇	菊	一五七	大洋社
體位向上體育大觀	茂木藏之助	三・〇〇	菊	二五一	南山堂
	柿坂　茂	三五・〇〇	菊	二五〇	國民體育振興會
	辻村主良				

體位向上兒童の生理衛生	岡田道一	二・三〇	図	二七七	明治圖書株式會社
知識人の爲の頭腦强健法	式場隆三郎	一・五〇	図	二八四	三笠書房
調劑學（下卷）	眞保紀一	五・五〇	図	四八	科學書院
中耳炎	島居惠二	三・五〇	菊	二五六	金原商店
注射注液療法の實際	梅室純三	五・〇〇	洋	二九二	醫界展望社
圖解眼科手術學第二輯	佐藤勉外五氏	七・五〇	菊	二一一	金原商店
手を以て病氣を治す法	平賀臨	三・〇〇	図	三三一	二松堂
電氣診斷及治療學	田原鎭雄	五・五〇	洋	二九五	南山堂
圖說 トラコーマの診斷及び治療	中村康	八・五〇	洋	一四三	金原商店
戸田新細菌學	戸田忠雄	一〇・〇〇	洋	五九六	南山堂
突發性疾患と其處置	入澤達吉・田廣重	三・五〇	洋	二九九	金誠商店
內科レントゲン診斷學	田宮知耻夫	二五・〇〇	菊		南山堂書房
內科學（上）	竹內松次郎外四氏	一〇・〇〇	洋	七七五	金原商店
同 中卷	飯塚直彥外四氏	一〇・〇〇	洋	五七三	同
同 下卷	同 外六氏	一〇・〇〇	洋	七五二	同

內科・外科・產科・婦人科 腹部觸診ノ實際	岩男督	三・六〇	菊	二五〇	金原商店
生きの研究	伊藤千代藏	一・八〇	図	三四	博聞堂
日本人體解剖圖譜下	伊澤好爲國府田敏一	一二・〇〇	洋	二七三	南山堂
日本人の體力	吉田章信	三・五〇	菊	三〇二	藤井書店
日本耳鼻咽喉科學全書（第三十二分冊）第五卷ノ三	久保猪之吉	一・二〇	洋		克誠堂書店
（第三十三分冊）第六卷ノ三	同		洋		同
（第三十六分冊）第十卷ノ六	同	七〇	洋	四〇	克誠堂
（第三十五分冊）第二卷ノ四	同	一・五〇	洋	六〇	同
（第三十四分冊）第三卷ノ五	同	二・〇〇	洋		同
日本食養立言	小出不亡	一・〇〇	図	一四	東都書籍株式會社
日本病理學會々誌（第二十九卷）	緒方知三郎	二〇・〇〇	洋	六六	東京帝大內日本病書學會
日本醫籍錄醫學博士錄醫事法規	醫事時論社	三五・〇〇	約	三〇〇〇	二冊 醫事時論社
日佛混合文小皮膚科學完（上）	大矢全節	三・五〇	洋	六〇	克誠堂
人間の榮養學及醫學	櫻澤如一	一・六〇	図	三八	大日本法令出版株式會社

熱發を主訴とする疾患の診斷と治療	上田靜夫	五・〇〇	洋	三四九	診療と經驗社
腦ノ病理組織標本ノ作リ方	武谷止孝	三・八〇	図	二六六	金原商店
腦力集中法及休養法講義	式場屋三郎	二・〇〇	菊	二五六	白揚社
人及び人の力	永井潛	一・五〇	図	三七三	人文書院
皮膚科泌尿器科學大系（泌尿器科學）第一卷第一册 世界泌尿器科學史	大矢全節	八・〇〇	洋	五四九	南江堂
同 皮膚科學第二十一卷第二十八册 爪の疾患	岡村龍彥	七・〇〇	菊	約	三九〇 同
同 皮膚科學第十四卷第十七册 乾癬	谷村忠保櫻根太郎	五・五〇	菊	四三五	同
彩色皮膚病圖譜上卷	土肥慶藏	一八・〇〇	菊	一二四	同
美容醫學講話 皮膚と美容	遠山郁三		菊	九圖	
泌尿器科學	橋本喬	一・八〇	図	二八〇	明善社
病弱から全健康へ	志賀亮	八・五〇	菊	四七八	金原商店
病理組織標本の見方と鑑別診斷の付け方	中村古峽	二・八〇	図	四六	日本精神醫學會
百萬人の生理學	濱崎幸雄	八・〇〇	洋	三六一	南山堂
	林巒	一・八〇	図	三九	三教書院

婦人科學粹	橋爪一男	一・五〇	図	一六〇	南山堂
ホルモンの秘密	瀨川二郎	一・五〇	図	二六	天松堂
剖檢ヨリ檢鏡マデ	參木錦司	二・〇〇	図	一五	金原商店
法醫學と犯罪搜査	古畑種基	一・六〇	図	二七九	人文書院
マラリア學（診斷と治療）	石井信太郎	二・五〇	菊	一七三	金原商店
Atlas der Topographischen Anatomie des Pferdes 全	馬體局處解剖圖				
茂木各科各論（改訂版）上卷	茂木藏之助	八・〇〇	洋	五三	南山堂
茂木外科各論中卷	同	九・〇〇	洋	五九	同
茂木外科總論（改訂版）	同	八・〇〇	洋	六四	南山堂
模範看護學（上）（下卷）	懸田克躬	三・九〇	菊	四八	同
	同	三・九〇	菊	五一五	同
藥理學	貫文三郎非		洋	四五	九州醫學專門學校
藥學大全書（第九卷）	松元竹二	三・〇〇	菊	四八	非凡閣
（第二卷）	同	三・〇〇	菊	四〇〇	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
藥學大全書（第七卷）	松元竹二	三・〇〇	菊 四二九	非凡閣
同（第八卷）	同	三・〇〇	菊 四一九	同
同（第十卷）	同	三・〇〇	菊 三八八	同
藥草と療法	石崎仲三郎 柿坂茂	三・〇〇	四 四四八	モナス
優生斷種法に就いて	民族衛生研究會	非	菊 二五	民族衛生研究會
豫防及び衛生器の說明書	垂水角藏	非	四 三二	ホーム商會
豫後附隨症狀・合併症・併發症・後胎症及び治療の療	山田詩郎	一二・〇〇	菊 八九一	金原商店
養生時論集	田村益喜	二・五〇	菊 三五〇	養正時評社書籍部
淋疾の最新物理療法	杉田平十郎	・五〇	菊 二一四	新科學社
臨牀家畜蕃殖學	佐藤繁雄	二・五〇	菊 一七九	克誠堂
臨牀より見たる藥理學の實際	山口壽	一五・〇〇	菊 一二五六	金原商店
臨牀外科學	高島令三	一五・〇〇	菊 六六五	同
療養上の心得	高田畊安	一・四〇	四 三〇六	白十字會
療養眞髓	延島市郎	二・五〇	四 三〇六	黍明會
冷感症とその治療	ヒツチマン博士 ベルグラー博士 大槻憲二 高水力太郎譯	一・八〇	菊 一二五	東京精神分析學研究所
勞働の衛生學	石川知福	三・五〇	菊 二九九	三省堂
我邦に於ける醫療報酬及び醫藥品統制	小峰茂之	一・二〇	菊 一四〇	克誠堂書店

（二二）商業（簿記）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
アドヴアンスト・ビジネス・コレスポンデンス	石井卓爾	二・四〇	菊 三一〇	川瀨日進堂
有限會社設立案內	佐野福藏	三・三〇	菊 一二〇	松山房
賣掛會計の實務	白崎豐	三・八〇	菊 三〇〇	ダイヤモンド社
大阪商業史料集成（第五輯）	黑羽兵治郎	三・〇〇	菊 三四〇	商大經濟研究所
同（第五輯）	同	三・〇〇	菊 三四七	丸善株式會社
歐洲動亂と貿易對策	大阪市產業部貿易課		菊 一二七	大阪市產業部貿易課
歐洲戰亂と我が輸出貿易	加納友諒	非	菊 一九	日本護謨製品輸出組合
會社會計論	佐藤孝一	・八〇	菊 一〇七	巖松堂
會社稅務會計原理	片岡政一	六・五〇	菊 七六七	千倉書房
會計學講話	太田哲三	二・〇〇	菊 二三四	高陽書院
會計學要論	杉本秋男	三・〇〇	菊 四〇〇	同文館
會計監査	原口亮平	二・〇〇	菊 四七五	千倉書房
各國の商業銀行統制史（下）	アレン・コープ・ダーク ウイザリツヂ 東京銀行集會所譯	非	菊 二五六	東京銀行集會所
各國通商の動向と日本	赤松祐之	四・〇〇	菊 六二〇	日本國際協會
頭註改正商法	有斐閣	・六〇	菊 六三五	有斐閣
改正商法通論	寺尾元彥	三・八〇	菊 五一九	巖松堂
改訂官廳會計	花田七五三	二・〇〇	菊 四六〇	東洋出版社
同 商品配給論	小林行昌	三・五〇	菊 四二七	巖松堂
同 新商法大要全	野津務	三・〇〇	菊 四九一	有斐閣
加除式 商工實務要覽 上下	門馬卯太郎	一・〇〇	菊	日本行政學會
海上保險契約論（上卷）	今村有		菊 五一四	巖松堂書店
開港と生絲貿易（上）	藤本實也	二五・〇〇	菊 七六七 上中下 三冊	開港と生絲貿易刊行會
開港と生絲貿易中卷	同	二五・〇〇	菊 七四〇 三卷揃 上中下 三冊	刀江書院
開港と生絲貿易（下卷）	同	二五・〇〇	菊 七二〇	開港と生絲貿易刊行會
化學商品貿易要覽下卷	化學工業經濟研究所	六・〇〇	四 五〇三	東京藥品日報社

價値理論と商業論	堀新一	三・八〇	圓	五八	南郊社
近世支那外國貿易史	米谷榮一	三・五〇	續	三八	生活社
近世商業組織の研究	富本又次	二・五〇	菊	三〇七	有斐閣
企業豫算統制と標準原價計算	陶山誠太郎	一・五〇	圓	一六四	大同書院
教科目新經營論	野々村運市	一・二〇	圓	二四	成美堂書店
銀行支店統制と聯絡	深澤三夫	一・二〇	圓	一七八	文雅堂書店
銀行新支店長學	新城圓治	一・一〇	圓	一八六	同
銀行の統計事務	森川喬生	一・五〇	圓	二八一	同
銀行取引と商慣習	井上勝馬	一・二〇	圓	二〇五	同
銀行員給與の合理化	武田與一	一・二〇	圓	一九六	同
組合監査の話	米澤恒雄	一・八〇	圓	三〇	高陽書院
組合の會計監査	中瀨勝太郎	八〇	圓	一三〇	昭和圖書株式會社
經營（第二册）	經營經濟研究會	一・五〇	菊	三九	森山書店
原價計算研究（第一卷）	土岐政藏	二・五〇	菊	二七八	同
コールマネー・マーケット	淺見審三	二・〇〇	菊	二三三	東洋經濟出版部
廣告の作り方と出し方	市山盛雄	一・三〇	圓	三九三	峯文社
廣告の作り方	編輯研究會	一・五〇	圓	二八	厚生閣
廣告心理學	W・D・スコット 松宮三郎譯	三・五〇	菊	四三七	子倉書房
廣告の常識	栗屋義純	一・二〇	圓	二九七	同
小口貸付事務	藤城敬二	一・二〇	圓	二〇五	文雅堂書店
小賣業統制論	芳谷有道	四・〇〇	菊	四七三	千倉書房
工業會計（上）	陶山誠太郎	二・〇〇	圓	四二七	東洋出版社
公私小賣市場の研究	服部文四郎	一・八〇	菊	三三六	同文館
最新商品學	原猛雄	非	菊	一九一	平野書店
最新式各種小賣店繁榮策	大塚政晨	二・〇〇	圓	三八	大洋社出版部
再保險の發展	佐波宣平	二・八〇	菊	二七八	有斐閣
三訂增補會計學	黑澤清	三・五〇	菊	六八	千倉書房
新訂デパートメントストア	松田愼三	二・八〇	菊	三七六	日本評論社
新訂商業概論	福田敬太郎	一・八〇	菊	三八七	千倉書房
新會社法の重要諸點	小林德三郎	一・二〇	圓	二三五	文雅堂書店

新商賣往來	谷孫六	・六〇	圓	二七〇	商戰社
新興商品解說	吉岡幸作	・三〇	菊	九〇	同文館
新生命保險讀本	本城俊明	一・〇〇	菊	一六三	保險政策雜誌社
信託業論	新庄博	二・〇〇	菊	八〇	千倉書房
信用狀及信用指圖書	稻坂梧	三・八〇	菊	四五三	銀行問題研究會
人的事業大系(1)銀行篇	松下傳吉	五・〇〇	菊	五五五	中外產業調査會
支那商業史	王孝通 平田泰吉譯	三・五〇	菊	三七	生活社
支那銀行論	吳承禧 玉木英夫譯	二・五〇	菊	二八七	叢文閣
重要商品の解說	中外商業經濟部	一・八〇	圓	四八三	千倉書房
小資本開業案內	商店界	一・八〇	圓	四八一	誠文堂新光社
實際に出來る代用品の製造と販賣法	三好貢 松川英逸	一・八〇	圓	三〇六	誠光堂
實踐會計學	橋本良平	四・〇〇	圓	三八四	十全社書房
昭和日本外國貿易第二回半十三年易四半期表期下編	大藏省	一・五〇	菊	三三七	大藏財務協會
商業教授の實際上卷	茅根貞元	三・八〇	菊	五二四	大日本圖書株式會社
商業政策概論（下卷）	平野常治	二・三〇	菊	五三二	嚴松堂
商業概論	松葉榮重	二・三〇	菊	二八九	三笠書房
商業組合經營事例	稻川宮雄	一・五〇	圓	三三三	昭和圖書株式會社
商業會計論（上）	佐藤孝一	二・七〇	菊	二四六	東京泰文社
商品擔保と物資統制	鍋島克己	一・一〇	圓	二〇五	文雅堂書店
商品の基礎知識	中外商業經濟	二・八〇	圓	二〇三	千倉書房
新訂商品學の常識	佐藤弘	一・二〇	圓	二八一	同
商店は幾らまで儲けて良いか	倉本長治	・九〇	圓	一九一	昭和圖書株式會社
商店勞務管理	三好豐太郎	一・二〇	菊	一九〇	森山書店
商工實務要覽（上）	門馬卯太郎	非	菊		日本行政學會
（下）	同	非	菊		同
商工業組合の定款	松浦誠之	二・二〇	菊	三三三	昭和圖書株式會社
商學概論	增地庸治郎	一・五〇	圓	三四	雄風館
商道先驅	江澤富吉	一・五〇	圓	一三	四海書房
商法は何う變るか	島本英夫	一・五〇	圓	二九五	立命館出版部
戰時貿易實務の知識	上坂酉三	二・五〇	菊	三三五	昭和圖書株式會社

戰時株式取引所論	松本信次	一・五〇	圓	三三五	日本評論社
戰時戰後の商店經營	半谷眞武	一・八〇	圓	三四八	昭和圖書株式會社
戰時日本貿易論	木村增太郎	二・二〇	圓	三四三	改造社
宣傳讀本	倉本長治	一・八〇	圓	三二六	誠光堂
製品型錄	日本製鐵株式會社	二・五〇	圓	四三六	丸善株式會社
ソヴエトロシアの銀行・信用・貨幣	アーサー・アーノルド 白須篤之介譯	四・五〇	圓	五四五	慶應書房
孫子と商戰	三輪善兵衞	三・〇〇	圓	三一〇	丸見屋商店
貸借對照表の作成と吟味	渡部寅二	二・二〇	圓	二四六	雄風館書房
對印輸出貿易事情	坂上武士	非	圓	三三一	日本綿糸布印度輸出協會
長期建設と銀行經營	石卷良夫	一・二〇	圓	二三五	文雅堂書店
中小商工員の待遇の實際	藤本卯之助	八五	圓	一四六	尙立堂書店
手形取引の特殊研究	井上勝馬	一・二〇	圓	二三〇	文雅堂書店
轉換途上の中小商工業	比佐友香	五〇	圓	一八〇	朝日新聞社
動的貸借對照表論	ヱ・シュマーレンバッハ 土岐政藏譯	二・六〇	圓	二五九	森山書店
動的貸借對照表論	同	二・六〇	圓	五八	同

統制商品の解說	長谷川茂雄	一・八〇	圓	三九三	商工行政社
統制下の商店經營	野元伊太郎	一・六〇	圓	二八二	千倉書房
取引開拓の合法性	白石剛	一・一〇	圓	二二六	文雅堂書店
同業組合及準則組合	小池金之助	一・八〇	圓	二四七	昭和圖書株式會社
內國爲替事務の簡易化	黑澤靜也	一・一〇	圓	二三二	文雅堂書店
日本戰時貿易政策と輸出入リンク制度論	中井省三	三・二〇	圓	二四〇	千倉書房
日本戰時貿易論	平尾彌五郎	二・五〇	圓	二五〇	同
日本政府登錄商標大觀 第三卷	小島周平		圓		帝國商工協會
日本商人史	日本歷史地理學會	二・五〇	圓	三七二	日本學術普及會
上野陽一ハンドブック(上)	上野陽一	四・五〇	圓	五五五	同文館
被保險利益の構造	加藤由作	二・五〇	圓	二四九	嚴松堂
物品會計監査	神馬新七郎	三・八〇	圓	三三〇	ダイヤモンド社
貿易の常識	上坂酉三	一・二〇	圓	三三六	千倉書房
貿易理論の研究	松井清	二・三〇	圓	二四一	有斐閣
貿易通信研究	虎尾正助	三・〇〇	圓	二六〇	文友堂

簿記原理大綱(改訂版)	上野道輔	二・八〇	圓	三四二	有斐閣
保險科學網要	未高信	三・六〇	圓	四〇八	明善社
牧野頭取の銀行論	瀧川辰郎	三・五〇	圓	七四六	會通社
輸出振興より貿易改善の急務と貿易商許可制論	神田未保非		圓	三三	神田未保
割引諸契約書と帳式	青木定次郎	一・二〇	圓	二二五	文雅堂書店

(二三) 工學 (機械)

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
アルミニウム合金の表面處理法	小久保定次郎	四・〇〇	圓	三八	内田老鶴圃
亞麻工業績篇 亞麻紡績	阿部松治	三・五〇	圓	二〇九	紡織雜誌社
陰極線オシログラフ	笠井完一	一・〇〇	圓	七六	共立社
鑄物用木型工作法	李子潤二郎	一・三〇	圓	二九	三省堂
鑄物ニ關スル外國文獻集	石川發喜治	五・〇〇	圓	四九九	文部省內日本學術振興會
鑄物作業心得	久富茂直	一・三〇	圓	一四三	三省堂
上田電氣機械工學 第三編 電氣機械檢査	上田輝雄外二氏	六・五〇	圓	四六五	太陽堂
浮游選鑛學	ペターゼン 船越友一郎譯	四・五〇	圓	二四〇	工元社
運轉取扱心得講義	佐々木茂	二・五〇	圓	三八二	鐵道研究社
X線管並にX線裝置	田中正道	一・三〇	圓	一〇二	共立社

X線金相學	大日方一司	七・〇〇	〔菊〕 二三〇	アグネ工學社	化學工業讀本 第十輯 化學工業藥品製造法	柳富之祐	一・二〇	〔菊〕 一三六	大阪工研協會
鉛蓄電池	江崎數一	三・〇〇	〔関〕 三六六	日本電池株式會社 ジーエスニユース編輯部	化學工業讀本 第五輯	同	一・二〇	〔菊〕 一五七	同
鉛蓄電池	角間瀧三郎 中島清逸	一・八〇	〔菊〕 一七三	東洋書籍出版協會	化學機器圖集第十一編	淺田彌平 中野義雄	一〇・〇〇	〔菊〕 四五〇	化學工業時報社
大型眞空管	幾島英	二・〇〇	〔菊〕 二九一	ラヂオ科學社	化學工業講話	東京商工會議所	一・八〇	〔関〕 三四四	丸善株式會社
歐洲大戰と我國電氣化學工業の動向	電化工業新聞社	・八〇	〔菊〕 一四七	電化工業新聞社	化學機械	古田正	四・〇〇	〔菊〕 三六二	有象堂
改訂增補 金井測量學（上）	金井彥三郎	二・八〇	〔菊〕 三〇八	金井三保	解訂機構學	楠本幹夫	・九八	〔菊〕 一四四	山海堂
改訂版 和洋建築構造	山村弘	二・八〇	〔菊〕 三六二	工業圖書株式會社	各種標準規格鐵鋼材料 薄鋼板機械製作法	佐藤武典	三・〇〇	〔菊〕 二三二	中央工學會
改訂國產機械圖集 改訂版	日本機械學會	一・五〇	〔菊〕 三二〇	日本機械學會	近世機械學 第六卷 機械設計	宮城音五郎	二・〇〇	〔菊〕 一五七	丸善株式會社
改定增補舶用眞空管式 無線電信電話	對島米吉	三・六〇	〔菊〕 三三七	厚生閣	近世機械學(3) 機構學	同	二・〇〇	〔菊〕 一五二	同
改版建築構造學	內藤多仲	四・五〇	〔菊〕 五七〇	早稻田大學出版部	金屬の腐蝕及防蝕下卷	山本洋一	七・五〇	〔菊〕	共立社
改版鐵道運轉取扱の理論と運用 下卷	鈴木東司	二・五〇	〔菊〕 五〇〇	鐵道時報局	金屬石鹼	新井洋吉	二・五〇	〔菊〕 一九五	工業圖書株式會社
カベ 堊	岸田日出刀	二・五〇	〔関〕 三一一	相模書房	金屬材料V用途別索引	波多野貞夫	二・八〇	〔菊〕 一四三	岩波書店
界電電解	加藤二郎	一・七〇	〔菊〕 一三七	共立社	金屬電弧熔接	ハリス 原田基一譯	二・五〇	〔菊〕 一八四	コロナ社
化學工業讀本(11) 電氣鑛金	柳富之祐	二・〇〇	〔菊〕 二三一	大阪工研協會	金屬組織學	デッシユ 吉岡正三譯	六・五〇	〔菊〕 五五二	同
化學工業讀本 第九輯	同	一・二〇	〔菊〕 一四四	同	金屬製品の防蝕法	山本洋一	一・五〇	〔関〕 一九四	共立社

金屬材料及鑄造板金便覽	加藤俊男	一・六〇	〔関〕 二一八	京文社	機械工の養成はどうすればよいか	清家正	一・二〇	〔菊〕 約四三〇	パワー社出版部
技術と國策	宮本武之輔	一・五〇	〔関〕 三三二	科學主業工業社	機械工作法 熟練作業まで	林富久	二・八〇	〔関〕 四九四	中央工學會
汽罐士讀本	武田晴爾	二・五〇	〔菊〕 三〇〇	厚生省內汽罐協會	機械信號機及聯動裝置	藤原孝一	一・二〇	〔菊〕 三七七	鐵道保線研究會
汽罐士必携讀本	前田八郎	二・六〇	〔菊〕 三一〇	汽罐士同窓會	機械工作の實際	關根俊治	二・五〇	〔菊〕 二〇七	長嶺玉文堂
橋梁工學（下卷）	常山道三	一・三〇	〔菊〕 一六三	共立社	機械製圖及部分設計	宮原英夫	一・八〇	〔菊〕 一八八	淀屋書店
橋梁工學	青木楠男 牧野喬	三・二〇	〔菊〕 四二六	アルス	機關車檢修の理論と實際	武井・小森・大月技師	四・七〇	〔菊〕 五七三	東洋書籍出版協會
機械工業講話	東京商工會議所	一・八〇	〔関〕 三五八	丸善	軍需工業の展望	伊元富爾	二・〇〇	〔関〕 四〇〇	高山書院
機械仕上げ法便覽	加藤俊男	一・六〇	〔関〕 二一一	京文社	空中地上寫眞測量	カー・シユヴイデフスキー 武田通治譯	二・五〇	〔菊〕 一八〇	古今書院
機械の戰時統制	笹沼操 渡野且任	一・六〇	〔関〕 二一二	商工行政社	現代日本建築土木並其資材大觀	建築資料協會	非	〔菊〕 二五六	城南書院
機械設計資料	工業調査協會	二・六〇	〔菊〕 二三一	工業圖書株式會社	系統式最新工業用器畫法	田中萬次郎 外一氏	一・六五	〔菊〕 二冊	山海堂
機械設計資料	同	四・五〇	〔菊〕 三三八	同	(一)平面幾何圖法 (二)立體幾何圖法全二冊	海軍航空本部 野島新之亟	非	〔菊〕 約八〇	野島好文堂
實修機械工作法下卷	諸中文一	一・一〇	〔菊〕 二九〇	同	航空發動機公差假規格	關根仁	三・二〇	〔菊〕 三一五	東學社
機械工學便覽	日本機械學會	一一・〇〇	〔関〕 二二八七	日本機械學會	航空船工學	今泉善夫	三・五〇	〔菊〕 二四一	太陽堂書店
機械工作法	山內弘	三・五〇	〔菊〕 二七〇	マルス社	稀有金屬の化學	奧澤篤次郎	二・三〇	〔関〕 三六五	慶應書房
機械工作法及工作機械	新井忠吉	三・〇〇	〔菊〕 三三五	アルス	計畫的配給論				

輕合金の熱處理	小久保定次郎	二・三〇	圖	一四九	共立社
建築統制（第一編）	伊藤憲太郎	一・一〇	圖	三九	工業圖書株式會社
建築保健工學 第二部	伊藤正文	二・八〇	圖	二六三	同
曾禰達藏・中條精一郎建築事務所作品集					
建築土木資料集覽 昭和十四年版	黒崎幹男非		圖	一九五	中條建築事務所
	畠中士郎		圖	四七五	建築土木資料集覽刊行會
建築構造力學	小山喜久男	一・八〇	圖	二四八	海・山堂
建築施工仕様・積算	堀口・甚吉	一・八〇	圖	一九三	鐵道圖書局
建築讀本	福井義長	一・二〇	圖	二九	淀屋書店
元素原料鑛物	鈴木廉三九	四・八〇	圖	四九五	昭晃堂
コレステリン誘導體	川崎近太郎	二・七〇	圖	一七八	岩波書店
コンクリート作業	近藤泰夫	一・五〇	圖	一二八	共立社
コンクリート要覽	日本ポルトランドセメント同業會	五・〇〇	圖	六五四	丸善
コンクリート及鐵筋コンクリート	當山道三	一・二〇	圖	一五一	共立社
工場の福祉增進施設	中川義次	四・五〇	圖	五〇九	保健衛生協會
工場の窓から	森理一	一・〇〇	圖	一七	日滿工業新聞社
工場と工作機械	相澤次郎	三・三〇	圖	三〇五	ラヂオ科學社
工場機械設備	古田正	三・五〇	圖	三〇三	有象堂出版部
工場設置案内	福田清作・三木清一	六・八〇	圖	九三五	松山房
工學工業年報 昭和十四年	日本工學會	三〇・〇〇	圖	二	工學と工業社
工學概論	南種康博	二・三〇	圖	二三四	同文館
工作機械及び工作法 上卷	中川三郎	二・五〇	圖	二三〇	太陽堂
工業立地の研究	川西正鑑	五・〇〇	圖	六五六	日本評論社
工業再編成論	川端巖	二・八〇	圖	二九八	森山書店
工業數學 電氣工學圓圖線圖	小串孝治	四・〇〇	圖	三八八	修教社
工業用電氣爐	向山幹夫	二・〇〇	圖	一七六	共立社
工業分析化學實驗（上卷）	平野四藏	一・三〇	圖	一九	同
工業熱力學（第二卷）	シューレ・川下研介譯	三・五〇	圖	二八八	コロナ社
工業用材料（第三卷）	淺川勇吉外三氏譯	三・五〇	圖	七三三	同
工業用鋼鐵（構成と性質）（上）	三橋鐵太郎	四・〇〇	圖	三五三	同
工業用鋼鐵下卷	オーバホッフェル・三橋鐵太郎譯	五・八〇	圖	五一	同

工業振動學下卷	テイモシエンコ・谷下市松譯	三・五〇	圖	二九四	コロナ社
工業力學	服部鼎	二・〇〇	圖	二四〇	山海堂
鑛山講話第七十九册 時局と我邦の鑛業	石川成章		圖	一九	日本鑛山協會
鑛物と鑑定	矢口武雄	三・五〇	圖	三三六	研鑛社
鑛物鑑職の實際と鑛山探檢	谷山四方一	二・八〇	圖	三〇七	厚生閣
鑛床學上卷	木下龜城	四・七〇	圖	五〇三	工業圖書株式會社
航空寫眞測量	滿洲航空株式會社		圖	二九五	川流堂
航空發動機圖集	工業調査協會	四・〇〇	圖	二四四	工業圖書株式會社
航空燃料	遠藤永次郎	四・五〇	圖	三九八	丸善株式會社
光學用ガラス及新興ガラス	田端耕造	一・七〇	圖	二三	共立社
光電裝置の應用及基礎	山内二郎外二氏	一・七〇	圖	一四〇	同
鋼索と麻索	池田良之助	二・〇〇	圖	二九	關西製鋼株式會社
鋼鑄物	谷山巖	二・〇〇	圖	二〇〇	三省堂
交流瓦路學	安宅彦三郎	二・八〇	圖	二七一	叢文閣
國策の線に沿ふ新興各種代用品の製作法	佐藤己之吉	二・五〇	圖	二八八	中央工學會
國體館建設資料集錄 第一輯	江藤哲二				
工業力學	軍司健二	三・五〇	圖	四七九	鐵道研友社
根底から築く運轉理論 高周波測定法及測定機器	大槻由之助	二・八〇	圖	三八四	ラヂオ科學社
最新採炭學（上）	三川一一	五・〇〇	圖	五四八	松柏書院
最新鐵道工學	小林廣二	一・六〇	圖	一六四	鐵道圖書局
最新工場管理法	太田正吉	一・〇〇	圖	二七	淀屋書店出版部
最新河川工學	宮本武之輔	一・四〇	圖	一七六	工業圖書株式會社
最新鑛山測量學	古島辰已	六・五〇	圖	約四七〇	叢文閣
最新炭礦工學	久保山雄三	七・〇〇	圖	二四三	公論社
最新機關車綱要 十四年版	東京鐵道局運轉部	一・九〇	圖	三〇一	東洋書籍出版協會
最新電氣工作讀本	杉浦宗三郎	一・二〇	圖	二九	テンセン社
最新火力發電設備	可兒英雄	一・六〇	圖	二〇七	工業圖書株式會社
最新力織機學	中島猛治	二・〇〇	圖	二一〇	同
最新各種罐詰製造講義 增訂版下	日本罐詰協會	七・〇〇	圖	九〇二	日本罐詰協會
最新土木應用力學	岡村雅夫	二・四〇	圖	二五三	鐵道圖書局

最新機械製圖讀本	杉浦宗三郎	一・二〇	図	二一二	テンセン社
最新採炭學	三川一一	五・〇〇	菊	五五一	松柏書院
最新建築工事實費見積	高藪良二	二・四〇	菊	二四九	再製絹絲に關する研究
最新道路工學及都市計畫	櫻井盛男	三・〇〇	菊	二〇八	再訂増補 機械設計學（下）
最新住宅讀本	平尾善保	四・〇〇	菊	五六二	酸素アセチレン鎔接と截斷作業法
最近の工作機械 附 工作機械製造事業法及關係法規	尾崎文藏	一・〇〇	図	二五四	素人にも解る鑛山の知識
最近ノ工作機械 附 工作機械關係法規	同	一・〇〇	図	二五四	住宅の批判と設計
最近工業組合簿記解說	岡本正道	二・五〇	菊	二九九	住宅建築圖集
最近研究機械工場管理法	野村大度	二・六〇	菊	二四五	新研究齒車 下卷
材料試驗法增訂第二版	山田良之助	五・五〇	菊	三九四	住宅の考究
材料力學	小野鑑正		菊	五九〇	新編機械工學大意
材料力學	楠本幹夫	八・九	菊	一五〇	新編ラヂオ讀本
材料力學（下）	湯淺龜一	八・〇〇	菊	六一六	新撰鋼船構造學

挫屈理論	仲威雄	五・五〇	菊	三七三	コロナ社
再製絹絲に關する研究	大森臺三郎	六・〇〇	菊	一三〇	紡織雜誌社
再訂増補 機械設計學（下）	杉村伊兵衞 田中萬次郎	四・八〇	菊	六七八	養賢堂
酸素アセチレン鎔接と截斷作業法	西原伸吉	二・五〇	菊	一八一	長嶺玉文堂
素人にも解る鑛山の知識	吉井魯齋	一・八〇	図	二七一	成社
住宅の批判と設計	伊藤甫	二・〇〇	菊	二一〇	鐵道圖書局
住宅建築圖集	清水組	非	菊	二三	清水組
住宅の考究	前田松韻	二・〇〇	菊	一七三	吉田工務店
新研究齒車 下卷	藤野篤之	五・八〇	菊	五四二	藤野篤之
新定義による木型鑄物製作法	伊勢上政一	二・二〇	菊	一九八	竹原文泉社
新編機械工學大意	森永三三郎	一・七〇	菊	一九〇	淀屋書店
新編ラヂオ讀本	溝上銈 根岸巖	一・二〇	菊	二七	日本放送協會出版部
新撰鋼船構造學	倉田音吉	二・五〇	菊	二七七	海文堂出版部
新訂工場設備	大槻喬	一・八〇	菊	三八五	共立社
新訂工業會計の常識	村瀨玄	一・二〇	図	二四〇	千倉書房

新研究齒車（上）	藤野篤之	五・八〇	菊	六一〇	藤野篤之
新航用測器・同附圖	井關貢	六・八	菊	二册	海文堂
新興産業の基礎知識9 代用品工業	勝田貞次	一・八五	四六	一九三	春秋社
同 9 工作機械	同	一・八五	四六	一七三	同
同 7 人造石油	同	一・八五	四六	一七二	同
新建築詳細圖集（1）	吉岡保五郎	三・五〇	菊	一八〇	新建築社
實習ミーリング盤作業法	森道雄	一・八〇	四六	二一二	京文社
實技指導コンクリート細工	飯野香	一・五〇	四六	二六二	東學社
實驗用ガラス裝置細工法	李漢英	二・五〇	菊	二三四	修教社書院
實用農藝全書測量	千種虎正 近坂百一	一・二〇	菊	二五〇	明文堂
實用土木工法	高田和夫 廣田久重	一・五〇	四六	二三三	常磐書房
實用放送工學（上）	日本放送協會	三・〇〇	菊	四四五	日本放送協會
實用常識電氣學	小野寺長	五・〇〇	菊	五六五	太陽堂書店
實用工業礦物便覽	內田義信		四六	五五〇	昭晃堂
實用齒車設計と計算法	森道雄	二・二〇	四六	三三五	工友社

實用測量學	渡邊本太郎 外一氏	二・〇〇	菊	二四	工業圖書株式會社
實用機械工作便覽	加藤俊男	三・八〇	四六	六四八	京文社書店
實用電氣測定	津田吉文	一・四〇	菊	一四六	吉田工務所
實用保存食品製造法	星忠太郎	一・二〇	四六	三〇七	誠文堂新光社
實用送配電	前川幸一郎	二・八〇	菊	二三三	共立社
實用鑄造鍛造法	松田道太郎	一・八〇	四六	二六二	明窓社
初級基礎電氣工學	吉田光治	二・〇〇	菊	二三四	工業圖書株式會社
初級電氣工學（改訂版）	河喜多能一 矢幡源三	一・八〇	菊	二八八	同
照明設計	谷鹿光治	非	菊	二一	東京電燈株式會社
照明用放電管	山內二郎	一・八〇	菊	一三三	共立社
勝守友二 非	勝守友二	非	菊	三一	日本纖維協會
農林省副業課	農林省副業課	三・〇〇	四六	二一〇	西ケ原刊行會
蒸氣原動力 下卷	高瀨謙一譯	三・五〇	菊	四八三	コロナ社
蒸汽罐	小川芳太郎	三・五〇	菊	三五一	アルス
支那工業組織論	岡崎三郎	一・八〇	菊	一四五	生活社

支那鑛業論	ハインリッヒ・パウエル 高山洋吉譯	一・六〇	圀 二七	日本評論社
支那及滿蒙の建築	伊藤清造	四・五〇	圀 六四七	大阪屋號書店
支那の工業機構	尾崎五郎	三・五〇	圀 四五三	白揚社
磁氣材料	門馬貞三	一・五〇	圀 一〇四	尙賢堂
眞空管	小林正次	二・八〇	圀 二六〇	共立社
眞空管回路	千葉茂太郎	二・二〇	圀 二〇五	同
寫眞及印刷材料化學	長口宮吉	五・五〇	圀 四八八	工業圖書株式會社
仕上工・作業	松村貞次郎外一名	一・二〇	圀 二三三	水理と水源
信號及聯動裝置	永田茂	二・五〇	圀 二七八	精密機械器具材料（上）
醬油及味噌	深井冬史	三・八〇	圀 三七八	太陽閣
自動車便覽	オートモビル社	三・五〇	圀 四四〇	オートモビル社
重工業經營の分析	渡邊昌太郎	一・五〇	圀 二七五	東洋經濟出版部
食料工業	鈴木梅太郎	七・五〇	圀 七二	丸善株式會社
潤滑劑及び潤滑法	山口文之助	三・五〇	圀 三五	山海堂
秦皇島金山嘴間興亞港都建設計畫案	杉本好太郎	非	圀 三三〇	杉本好太郎

觸媒化學に於ける觸媒及應接觸反應に於ける工學的諸問題	久保田勉之助	三・〇〇	約 三五〇	修教社書院
ステンレススチールと對熱鋼	內田俊一	一・四〇	圀 一五六	工業圖書株式會社
スーパーヘテロダイン受信機	荻原進	二・二〇	圀 一六四	修教社書院
スフ糸紡績技術教程	藤野良雄	二・五〇	圀 二四三	紡織雜誌社
スポンヂゴムの研究	新井幸長	三・五〇	圀 二四三	紡織雜誌社
水理と水源	森山藤吉郎	二・五〇	圀 一〇七	東榮社
精密機械器具材料（上）	齊藤美代司	五・〇〇	圀 五六六	成美堂
精密器械航空計器	橋本宇一	三・〇〇	圀 一九九	誠文光堂
戰時支那工業大鑑	同	三・〇〇	圀 三五五	アルス
戰時支那工業大鑑	野上五郎	二・〇〇	圀 二六二	日本工業新聞社
戰時體制下に於けるアルミ工業の確立に就いて	日本工業新聞上海支局	二・〇〇	圀 二六三	同
戰時下の我が化學工業	永田耀	二・〇	圀 二〇	世界經濟情報社
織維の顯微化學的研究法	中村猛	二・五〇	圀 三九九	野田經濟研究所出版部
織維工學便覽	近藤良男	七・〇	圀 五〇	紡織雜誌社
織維工業會	四・八〇		圀 七九八	修教社書院

織維研究と顯微鏡	小原龜太郎	一・三〇	圀 八七	紡織雜誌社
旋盤と旋盤の使ひ方	加藤欽也	三・五〇	圀 三三一	長嶺玉文堂
旋盤工作の第一步（附）日本標準規格	近藤稔	二・五〇	圀 三三一	大都書房
旋盤基本工作法	宮脇保治	三・五〇	圀 三五八	太陽堂書店
旋盤實地工作法	今井敏雄	二・三〇	圀 四九四	知進社
設計・施工溫室溫床の建築並煖房	本多昇	二・五〇	圀 二七四	明文堂
石炭	岡新六	七・八〇	圀 六九四	共立社
西洋酒	本多紀元	四・五〇	圀 四〇一	工業圖書株式會社
選鑛法	金澤一雄	一・五〇	圀 二三四	共立社
絕緣ワニス コンパウンド	横田兼吉	二・五〇	圀 二七一	日立評論社
製鋼及び製鋼機械	米田英夫	二・八〇	圀 二〇五	修教社書院
ソヴシツツ 電氣機械 第一卷	和田重暢 岡村忠雄 三好義太郎	三・八〇	圀 二九八	尙賢堂修教社
ソヴエツト 空軍と航空工業	澤宣治	二・二〇	圀 三四九	白揚社
ソ聯自動車の概要	非		圀 一六	自動車技術協會
綜合檢車讀本	大阪鐵道局運輸部		圀 五二九	大阪鐵道局運輸部

增補 再生ゴムの改訂 研究と綜合化學	森山藤吉郎	六・八〇	圀 二二二	東榮社
增補高級鑄鐵	岡島奈良藏	六・〇〇	圀 三二九	岡島鑄物研究所
其の日から仕事が出來る機械工（形削盤・ミーリング・ラインダー）作業	三宅昭 松村貞次郎	一・二〇	圀 三三三	興文閣
送電問題	前川幸一郎	五・〇〇	圀 四三三	共立社
ダイヤモンド工作機械ド産業全書（4）（改訂版）	十川純夫	一・八〇	圀 二九四	ダイヤモンド社
（16）特殊鋼	錦織清治	一・四〇	圀 一四八	同
第二六回全國研究會資料	日本工業協會		圀 二〇八	日本工業協會
大陸と織維工業（附）地圖	宇野米吉	六・〇〇	約 六五〇	紡織雜誌社
炭鑛讀本	吉見實	一・二〇	圀 二〇七	榮豐石炭鑛業會
探鑛學	藤田義象	五・〇〇	圀 三七三	共立社
ヂイゼル機關の故障と修整	竹田谷片二	五・〇〇	圀 三五〇	海文堂
テイーゼル著 ヂユラルミン及び其の熱處理・ハウトン著 マグネシウム及び其の合金	田尻秀男譯 麻田宏譯	二・五〇	圀 一九八	コロナ社
JES日本標準規格（縮版）合本第三卷	商工省	一・五〇	圀 三五〇	工業調査協會

地質調査用試錐機	小池二郎	三・〇〇	菊 一五〇	株式會社利根ボーリング
地質工學研究(1) 彈性波式地下探査法	渡邊貫 那須信治	一・八〇	四 二〇六	工業雜誌社
窒素工業	横山武一	三・〇〇	菊 二五四	共立社
中小工業ノ工場經營ト管理 前編	波多野貞夫	・五〇	菊 一〇六	日本能率聯合會
茶室寸法圖錄	北尾春道	三〇・〇〇	菊 九頁六八枚	茶室寸法圖錄刊行會
調査(30) 木材糖—製法及用途—	渡邊銕藏	非	菊 三一	渡邊經濟研究所
圖解一般工作 電氣工學	齋藤政雄 奥平秋雄	三・三〇	菊 二九五	文教科學協會
圖說日本蒸汽工業發達史	平澤富藏	非	菊 四一二	ワット誕生二百年記念會
通信用變壓器	尾崎猛	二・五〇	菊 二二八	修教社尚賢堂
ディゼルエンジン	淺川權八	五・〇〇	菊 三八一	淺川七之助
電氣化學アルミニウム・特許集(1)マグネシウム	野口孝重	二・〇〇	菊 一二六七	オーム社
電氣磁氣	横地伊三郎	・八〇	菊 八一	共立社
電氣爐の應用	武井武 外四氏	四・〇〇	菊 四七〇	同
電氣用製圖	加賀美武男 外	一・二〇	菊 一三七	同
電氣實驗法上卷	稲田金次郎	・九〇	菊 一〇二	同

電氣冶金學	武井武	一・三〇	菊 一一〇	共立社
電氣工學講義(三) 交流理論	中村演	・五五	四 四〇六	電氣協會中國支部
電氣工學最近の進歩	倉橋藤治郎	二・〇〇	菊 二三一	工業圖書株式會社
電氣磁氣測定	河喜多能一 矢幡源三	二・八〇	菊 三一三	同
電氣權械構造論	竹内登一	四・五〇	菊 四五一	同
電氣應用	吉田甫十	一・三〇	菊 一五六	同
電氣熔接作業法	大島忠三郎	二・五〇	菊 二〇七	長嶺玉文堂
電氣通信測定法	松本秋男	一・七〇	菊 一六五	コロナ社
電氣製鋼法	石井義雄	二・〇〇	菊 一五五	錦正社
電氣熔接法	小松英一郎	二・五〇	菊 二二〇	東學社
電氣磁氣測定(上)	沼倉三郎	四・〇〇	菊 三五四	アルス社
同 (下)	同	三・五〇	菊 六二七	同
電話技術と法規	伊藤源次	四・二〇	菊 約四〇〇	遞試社
電機用油	小山輔規		菊 一八七	大丸礦油電機合名會社
電弧熔接の實際	山中秀男	二・一〇	菊 二二八	工業圖書株式會社

電子物理學	杉浦義勝	三・八〇	菊 三七〇	共立社
電子工學の基礎	藤田文太郎	六・八〇	菊 五九八	同
電池及蓄電池	中村靜雄 北村寒吉	三・〇〇	菊 二八〇	同
電信・無線電信・テレビジョン	古林博 荒川大太郎 曾根有	四・〇〇	菊 四一〇	アルス
手仕上作業	淵上卯六	一・一〇	菊 一四二	工業圖書株式會社
傳送回路網學(中)	永井健三 神谷六郎	一・七〇	菊 三五四	コロナ社
鐵筋鐵骨斷面算定表	田中正義		菊	工研會
鐵道青年の書	石田靖一	一・五〇	四 四〇七	鐵道研究社
鐵道と稅聞	井原千代吉	二・五〇	四 四五九	同
鐵鋼總覽	鐵鋼報國會	六・五〇	菊 八九一	東洋經濟出版部
鐵鋼の腐蝕と防蝕の研究(增訂改刻)	遠藤彥造	一八・〇〇	菊 七三八	内田老鶴圃
鐵鋼總覽	鐵鋼報國會	六・五〇	菊 九三五	鐵鋼報國會
鐵・鋼分析法	新海重行	三・〇〇	菊 二三七	理化學書院
遞試受驗新講第六卷 電氣事業法規解義	渡邊信一	二・三〇	菊 四一九	オーム社
遞試受驗新講・電燈・電熱	伊藤義雄	二・三五	菊 四四〇	同

遞試受驗新講第一卷 電氣理論	木下隆博	一・九〇	菊 二六四	オーム社
同 第二卷 電氣磁氣測定	須田國雄	二・三〇	菊 三九八	同
土木工學最近の進歩	倉橋藤治郎	二・〇〇	菊 二一五	工業圖書株式會社
土木工學基礎定本 發電水力	神原信一郎	三・〇〇	四 三三五	同文書院
土木(上)靜力學・動力學 工學(上)結構應力・水力學	川口虎雄 外五氏	七・〇〇	菊 七二四	丸善株式會社
土木工學論文抄錄 第二輯	中村孫一		菊 三七七	土木學會
撓角撓度法によるラーメンの解き方	丹羽健藏	一・六〇	菊 一六二	鐵道圖書局
道路・隧道・地下鐵道・擁壁	藤井直透 河西定雄 内山實、末松榮	二・五〇	菊 二七二	アルス
導火線と其爆發	礒谷屯	・五〇	四 一一五	文友堂書店
塗料製造機械及び裝置	石橋正樹	二・三〇	菊 一四六	尚賢堂
東亞重工業論	小島精一	三・二〇	菊 四九一	千倉書房
特殊鋼	F・ラパッツ 川崎正之譯	四・五〇	菊 三七〇	コロナ社
毒瓦斯及試驗法	湯川新太郎	三・五〇	四 四三八	廣川書店
同期機(上卷)	土師寅造	二・六〇	菊 三九三	修教社書院
ナイロン	宇野米吉	五・〇〇	菊 三八三	紡織雜誌社

內燃機	石井定	三・〇〇	菊 二九二	アルス	反毛及び再製毛用機械
內燃機關の電氣點火	澤藤忠藏	三・三〇	菊 二八二	共立社	配電用變電所設計基準
內燃機關燃料	築山周二		菊 三五八	山海堂出版部	輓近の精密機械
內燃機關第三卷	ドヴイレール 林守雄 德江德譯	三・五〇	菊 五七五 八〇四	コロナ社	舶用機關故障の檢討・附圖
內燃機關王デイーゼル	川端勇男	二・〇〇	四 三八〇	改造社	BMW一三二Dc/1型發動機部品表
膠及ゼラチン	伊地知廣	三・五〇	菊 三一三	丸善株式會社	標準機械製圖圖習
日本石炭鑛業大觀	久保山雄三	非	菊 一〇八一	公論社	標準齒車
日本建築史圖錄補遺	天沼俊一	八・〇〇	菊 四三三	星野書店	飛行機設計（上）
日本發送電株式會社大觀	株式會社電氣新報社	三・五〇	菊 四八七	株式會社電氣新報社	同（下）
日本精油化學	平尾子之吉	一〇・〇〇	菊 七七〇	裳華房	飛彈川開發史 水力
荷役及び運搬機	坂本種芳 外二氏	三・二〇	菊 三〇四	有象堂出版部	非常燃料X7號
西陣	秋葉東三	一・〇〇	四 二〇六	慶應書房	非常時局下における電氣事業と資材統制
野崎電氣工學 其一	野崎清武	三・五〇	菊 三一八	野崎工務所	普通日本家屋構造
齒車工作の實際	加藤欽也	二・五〇	菊 二二六	長嶺玉文堂	粉末冶金學
齒車の割出と齒切法	近藤稔	二・五〇	菊 二二六	大都書房	平版印刷術の基礎
	手島淳藏	一・七〇	菊 二二五	修教社書院	
	増田次郎	一・八〇	菊 三一一	電氣協會	
	火兵學會精機協會	六・五〇	菊 一四一	三秀舍	
	商船機關士會	非	菊 五一三 一冊	商船機關士會	
	松村正三郎	非	菊 六七	三菱商事株式會社機械部	
	岡崎堅一	二・二〇	菊 二六八	日本工業社	
	三上新九郎	四・五〇	菊 三一六	修教社書院	
	三木鐵夫	二・八〇	菊 二九四	東學社	
	同	二・八〇	菊 二九〇	同	
	入江士	非	約 菊 二四〇	東邦電力株式會社	
	バンイツク・メースン 吉田醇譯	一・〇〇	四 三一七	紫文閣	
	宮里良成	・三〇	菊 二九	電氣普及會	
	佐久間田之助	一・二〇	菊 一四二	吉田工務所出版部	
	ジョンズ 高橋麟太郎譯	二・五〇	菊 一九四	コロナ社	
	精版印刷株式會社研究部	非	四 一三三	精版印刷株式會社研究部	

ボツシユ機械要素上卷	川田正秋	三・五〇	菊 一七九	コロナ社	
放電現象	藤田文太郎	一・五〇	菊 一五五	共立社	
放電管及び其の工業應用	高橋正一	二・八〇	菊 二四八	同	
本邦に於ける輓近の電氣工學	桑島正夫	五・〇〇	四 五六六	電氣學會	
本邦道路橋輯覽(4)	內務省土木試驗所	二・五〇	菊 約 二一〇	シビル社	
紡織試驗	淺生貞夫	二・六〇	菊 一九六	コロナ社	
紡織要覽（昭和十四年度）	宇野米吉	一〇・〇〇	菊	紡織雜誌社	
紡績原料	工業教育研究會	一・五〇	菊 二四〇	工業教育振興會	
保安設備詳解上卷	雜賀武	三・〇〇	菊 五二三	保安研究會	
保健住宅	山田醇	三・八〇	菊 三〇〇	誠文堂新光社	
保線作業基準並解說	大友勇	二・五〇	菊 三四二	鐵道研友社	
防蝕及着色・塗裝	鹿取一男 青木康造	一・二〇	菊 一一五	三省堂	
防空土木の管見	國友孝	非	四 一六八	防空土木普及會	
滿洲と技術工その養成を語る	大日本工業學會	一・〇〇	四 一八一	大日本工業學會	
滿洲の探檢と鑛業の歷史 別冊附錄 滿洲の探檢及鑛物資源地圖	南滿洲鐵道株式會社	一二・〇〇	菊 二冊	學藝社興亞書院	
見習によくわかる機械製圖の見方と引方	北滿經濟調査所				
無線用受信裝置及送信裝置	岡崎堅一	二・二〇	菊 二六八	新生閣	
無線工學概論	宮崎正香	二・三〇	菊 三三四	ラヂオ科學社	
無線電信電話法典下卷	谷村功	一・九〇	菊 二三一	オーム社	
無線回路	無線技士會館研究委員會	三・五〇	菊 八七七	無線通信社	
無線工學	廣田友義	三・四〇	菊 三三八	有象堂出版部	
無機製造化學（上下）	工業教育研究會	一・三〇	菊 一九六	工業教育振興會	
木材工藝材料	小栗捨藏 宇野昌平	一・三〇 一・二〇	菊 二二九 一一三	共立社	
木材強弱論	工業教育研究會	一・一〇	菊 一六二	工業教育振興會	
木材乾燥論	關谷文彥	四・五〇	菊 三七五	賢文館	
木炭自動車	田中勝吉	四・五〇	菊 三八四	丸善株式會社	
木炭自動者讀本	築山閏二	二・二〇	菊 一七七	共立社	
名席圖解茶室寸法圖錄	相本清三	二・五〇	四 二二七	千峯書房	
	北尾春道	五・〇〇	菊 一冊 六〇枚	洪洋社	

(二四) 交通

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
運轉計畫論	沖島喜八	非賣	菊三六	交友社
歐洲諸國に於けるコンテーナー輸送	尾崎喜治	二・三〇	四二五	鐵輪社
海運各論(一)	麻生平八郎	三・〇〇	菊二九九	明治大學出版部
現場より觀たる鐵道修養隨筆集	飯塚信二	一・五〇	四二三	鐵道青年會出版部
交通文化論	郡菊之助	二・〇〇	四八一	日本評論社
交通統制に關する當選論文集	井上匡四郎	一・八〇	菊四〇九	帝國鐵道協會
交通論概要(下)	松葉榮重	二・八〇	菊三六一	三笠書房
交通機關と交通政策	河津暹	三・六〇	菊三八一	有斐閣
航空要覽	遞信省航空局	一・〇〇	菊一三六	帝國飛行協會
ジャヴア海水路誌 第一卷	水路部	四・〇〇	四一六	水路部
持てる國日本	大河内正敏	一・〇〇	四一八	科學主義工業社
ユンカースJU八六型機附屬自動操縱裝置無電・方向探知取扱說明書	松村正三郎	非賣	菊一五〇	三菱商事株式會社
誘導電動機及試驗法	島田定雄	四・五〇	菊一六八	明光堂書店
陸海軍航空材料規格(アルミニウム及其の合金之部)	陸海軍航空本部	約二〇〇	菊	野島好文堂
陸海軍航空基本部品規格	野島新之丞	非賣	菊約一八〇	同
和英對照機械用語解說集	菊地常武	三・五〇	四五一五	太陽堂書店
ジャヴア海水路誌 第二卷	水路部	三・〇〇	菊三五三	水路部
時局と交通問題	笠松愼太郎	非賣	四一七六	日本交通協會
支那に於ける交通綱の現狀	東洋協會調査部	非賣	菊五〇	東洋協會
支那交通史論	白壽彝	三・二〇	菊二九九	生活社
新訂陸運	牛島俊作	三・二〇	菊三七四	日本海運
水路誌附錄(第三卷)	水路部	一・八〇	四三五五	水路部
增補改訂郵便讀本	增井幸雄	一・八〇	菊三〇五	遞信學館
臺灣鐵道讀本	高田重吉	一・二〇	菊三三四	春秋社
中央アジア橫斷鐵道建設論	渡部慶之進	一・五〇	菊三一四	東亞交通社
地文航海學	湯本昇	三・五〇	菊	嵩山房
鐵道自動車旅客運輸事業經營論(上)	酒井進	三・八〇	菊四八八	鐵道時報局
鐵道自動車旅客運輸事業經營論(下)	三輪清一郎	三・五〇	菊四九三	同
電氣と運輸	同	三・五〇	四三四	電氣ト運輸社事業部
天文航海學	淺田裕通	四・五〇	菊五三九	嵩山房
帝國鐵道會計の知識	酒井進	五・〇〇	菊	鐵道教育會
	大野靖三	三・〇〇	菊二九三	
東亞交通論	植崎敏雄	三・〇〇	菊三六	千倉書房
東洋に於ける英國海運	大阪商船株式會社	非賣	菊一八三	大阪商船株式會社
日本驛鈴論	樋畑雪湖	三・〇〇	約一三〇	國際交通文化協會
日本海運の戰時編成	米田倭文夫	三・五〇	四六六	商工行政社
ハワイ諸島水路誌	海軍省水路部		菊一三〇	海軍省水路部
堀光龜先生交通論集				堀先生還曆祝賀論文集刊行會
還曆祝賀記念	細野日出男	六・〇〇	四	
名鐵客貨車研究	名鐵客貨車研究會	一・八〇	菊二五	交友社

（二五）産業

（農業・園藝・蠶業・家畜・水産）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
朝日東亞リポート(4) 北洋漁業	朝日新聞社東亞問題調査會	三〇	四 一九三	東京朝日新聞社
秋田縣能代川上地方に於ける杉林の成立並更新に關する研究	岩崎直人		菊 六〇五	興林會
石川翁農道要典	石川太朗	一・八〇	四 八九〇	三井報恩會
育種學大要	長尾正人	三・三〇	菊 二七四	養賢堂
園藝綜說 蔬菜園藝	江口庸雄	三・八〇	菊 三七五	西ヶ原刊行會
鹽糖の槇哲	宮川次郎	非	四 三六八	宮川次郎
溫室園藝	高木輝治	三・五〇	菊 三四八	西ヶ原刊行會
歐洲大戰と日本產業の將來	小島緒一	一・六〇	四 三一四	千倉書房
改造文庫 第二部三六篇 情熱 第二部三四篇	スティファン・ツワイグ 豐永喜之譯	三〇	小 一四四	改造社
同 支那游記	芥川龍之介	四〇	菊 三三六	同
改訂最近農業問題十講	小野武夫	三・九〇	菊 四四九	嚴松堂
增補改訂農村產業組合經營の實際	大庭政世	一・八〇	菊 三〇三	高陽書院
家畜疾病豫防學	能美季一	四・九〇	菊 三九六	明文堂
外國研究所要覽(7) イギリスの部	阿部謙一	五五	菊 八八	日本學術興振會
學術產業研究局				
花卉園藝	穗坂八郎	四・三〇	菊 三五五	西ヶ原刊行會
家蠶寄生蟹蛆の物理的驅除法	八木誠政	三・〇〇	菊 七二	同
近世越中灘浦合網漁業史 附圖	山口和雄	三・五〇	菊 一冊 二八七	アチックミューゼアム
近代蠶絲業發達史	明石弘	五・五〇	菊 六二八	明文堂
近代化學產業資料	高島末吉	一〇・〇〇	菊 六二八	產業經濟研究所
漁港論	關口四郎	二・〇〇	菊 九六	大日本水產會
軍需資源論	ブルクス・エメニイ 豐崎稔譯	三・二〇	菊 三四三	河出書房
經濟上より觀たる園藝地域變動論	石川武彥	四・五〇	菊 四三八	日本評論社
米に關する文獻解說	鈴木直二	五・八〇	四 三七八	嚴松堂
國民食糧の現狀—農畜產物に關するもの—	阿部謙一	九五	菊 一〇三	日本學術振興會
國家生活と農業	大槻正男	二・五〇	菊 二八九	岩波書店

耕地整理組合の調査	島野一郎	四・五〇	菊 五三四	三省堂
興亞農民讀本	山崎延吉	八〇	菊 二九六	富民協會
穀物講義	近藤萬太郎	二・五〇	菊 二〇七	養賢堂
珈琲論	大坪正	二・五〇	四 二四九	珈琲論發行所
產業報國運動の基調	助川啓四郎	三〇	四 二八	日本青年教育會出版部
產業進化の基本 リンク制度の現勢	及川曉明	八〇	四 二一五	貿易產業新聞社
產牛經濟に關する調査（岩手縣下閉伊郡定家村）	積雪地方農村經濟調査所	非	菊 五〇	積雪地方農村經濟調査所
產業組合講義錄（第一期第一回）	產業組合實務研究會		菊 三〇〇	產業組合實務研究會
產業安全の叫び其七	協調會產業福利部	一・〇〇	菊 二八四	協調會產業福利部
栽植企業方式論	根岸勉治	五・〇〇	菊 五六五	叢文閣
栽桑學通論	遠藤保太郎	三・八〇	菊 五〇四	明文堂
作物育種學原論	安田倫也	三・〇〇	菊 六九三	西ヶ原刊行會
シエパード犬の蕃殖法 附表	松本有義	一〇・〇〇	菊 三冊	春陽堂
シベリヤ產業要覽	東亞問題研究會	一・二〇	四 一八五	三省堂
銃後農民革新の書	增田亮一	一・五〇	菊 二七〇	泰文館
商業組合法論	稻川宮雄	四・〇〇	四 四三六	有斐閣
實用果樹栽培と果樹園經營の實際	五十嵐孝治	三・八〇	四 五九八	泰文館
實用蔬菜園藝	小田鬼八 中山虎彥	三・〇〇	菊 三八八	明文堂
實驗盆栽の培養と仕立方	丹澤美助	一・八〇	四 三五二	博文館
新興村論	大谷英一	五〇	四 一七九	敎文館
新農村の建設	農林省經濟更生部	八〇	四 五六一	朝日新聞社
煮繭學原論	中川房吉	三・五〇	菊 三九	明文堂
時變下に於ける農村振興對策	木下博夫	非	菊 九	木下博夫
事變下の農村諸問題	長岡保太郎	非	菊 四七	協調會
小學・青年學校農業指導と農場經營	城五平	二・八〇	四 二四四	明治圖書株式會社
關根康喜	關根康喜	一・八〇	四 一六〇	成史書院
紙銃後產業福利と消費組合	金非滿	一〇	四 二四	全國消費組合協會
銃後の養鷄	農林省畜產局		菊 六〇	農林省畜產局
昭和農業發達史	財團法人富民協會	三・〇〇	菊 七〇〇	財團法人富民協會
食用菌蕈類と其の培養	岩出亥之助	五・〇〇	菊 四三	西ヶ原刊行會

支那農業協同組合論	陳殷公 日本青年外交協會研究會	一・二〇	四六 一八五	日本青年外交協會
支那の羊毛	若林友康	一・八〇	四六 三二四	生活社
支那の農民生活	費孝通 仙波泰雄 鹽谷安夫 譯	三・八〇	菊 三六三	同
支那の石炭	季振東 加藤健	一・四〇	四六 一六六	同
支那協同體組合論	陳殷光 高山洋吉譯	一・八〇	菊 一四八	同
支那農業論（下卷）	ロツシング・バツク 三輪孝、加藤健譯		菊 六五三	同
支那事變の處理と我國鐵鋼業の進む道	淺野良三	・二〇	菊 一七	世界經濟情報社
水ダイヤモンド產業全書19	杉浦保吉	二・五〇	四六 五〇八	ダイヤモンド社
水產關係法規	大日本水產會	三・〇〇	四六 一一六	大日本水產會
世界犬種大觀	白木正光	六・五〇	菊半 三一三	犬の研究社
青果配給の研究	石川武彥	五・五〇	四六 五三九	西ケ原刊行會
青年の產業研究	大日本青年團本部	・三五	四六 二〇〇	日本青年館
西洋酒及日本酒	大嶽六郎	三・二〇	菊 三六六	太陽閣
稅制と產業壓迫	高橋龜吉	一・五〇	四六 三四〇	千倉書房
石油配給に關する「產組」の不當進出	黑澤廣道	・一二	菊 二九	燃料政策研究所

製絲法	中川房吉	一・五〇	四六 二九八	明文堂
戰時農業政策の全貌	森德久	一・五〇	菊 四七八	農業經濟調査局
戰時體制と工業組合	佐野卓男	一・五〇	四六 二一七	昭和圖書株式會社
戰時體制下ニ於ケル產業組合ヲ論ズ	野溝勝	・二〇	四六 四三	清談社
戰時產業動員論	E・シエルベニング 救仁鄕繁 龍川貞 譯	二・五〇	菊 三二一	白揚社
戰時經濟早わかり（第十一輯）	大阪毎日新聞社	・二〇	四六 八二	東京日日新聞社
長期建設と農村對策 戰時下の肥料問題	島田日出夫	非	菊 二〇〇	全國購買組合聯合會
ソ聯農業の旱魃問題	的場德造		菊半 一五〇	皐月會
增訂土壤と肥料	麻生慶次郎	一・五〇	四六 二八四	日本評論社
綜合肥料學	松本五樓	八・五〇	菊 七七八	賢文館
タバコ	植原路郎	一・四〇	四六 二二〇	厚生閣
高橋實驗養鷄法	高橋廣治	三・八〇	四六 八四三	泰文館
堆肥	吉田一男	一・二〇	菊半 三一四	明文堂
第三次增訂版柑橘	高橋郁郎	四・八〇	菊 五一四	養賢堂
第七四回帝國議會に於ける北洋漁業問題	森德久	・三五	菊 六七	農村經濟調査局

第九次山林要覽	農林省山林局		四六 三〇七	農林省山林局
擇伐作業論	中村賢太郎	一・五〇	菊 一〇四	西ケ原刊行會
中央より見たる新興朝鮮開發事情	田中麗水	一〇・〇〇	菊 四六四	朝鮮民報社
中支產業要覽	東亞問題研究會	一・二〇	菊半 三三〇	三省堂
乳牛	田畑修一郎	一・六〇	四六 二九五	砂子屋書房
乳と乳製品の化學	齋藤道雄	六・五〇	四六 五三四	西ケ原刊行會
朝鮮の農業機構	印貞植	二・〇〇	菊 二四九	白揚社
長期戰と農業報國	助川啓四郎	・三〇	四六 一一八	日本青年教育會出版部
長期建設と農業政策	田沼征	一・五〇	四六 二四三	財政經濟時報社
庭園植物の害虫防除	上原敬二 加藤常吉	一・八〇	四六 一七六	成美堂書店
轉換期の農業問題	我妻東策	二・〇〇	四六 二九三	叢文閣
東亞の羊毛	金建黃 若林友康譯	一・八〇	四六 三三四	生活社
東亞建設と農業	比佐友香	・二〇	四六 九八	東京朝日新聞社
統制經濟とカルテル・組合	國弘員人	三・〇〇	菊 三五〇	日本評論社
ナチスの木材統制	林業經濟研究會	二・五〇	菊 三三四	日本木材俱樂部

梨の栽培技術	野呂癸己次郎	二・九〇	菊 三〇〇	賢文館
日本農業の機械化	吉岡金市	二・五〇	菊 二八三	白揚社
日本農業の機械化	同	二・五〇	菊 二九三	同
日本農民史	日本歷史地理學會	二・五〇	菊 三七三	日本學術普及會
日本農業勞働論	吉岡金市	二・五〇	菊 二四〇	時潮社
日本產業勞働機構と戰時勞働對策	松村勝治郎	・八〇	菊 一三〇	協調會大阪支所
日本盆栽大觀 天	小林憲雄	七・〇〇	菊半 四〇〇	叢會
日ソ漁業	岡本正一氏外	・八〇	四六 三〇四	水產通信社
南支產業要覽	東亞問題研究會	一・二〇	菊半 二一六	三省堂
二宮尊德新撰集 尊德興國事業要說	二宮尊德翁全集刊行會	非	四六 四五一	二宮尊德翁全集刊行會
西日本に於ける產業福利施設	清原進	非	菊 五四七	協調會福岡出張所
農家經營の要領	松本喜作	一・五〇	四六 二六三	樂浪書院
農業保健精說	重政誠之	三・五〇	菊 四八四	賢文館
農業氣象概說	金川治三郎	二・八〇	菊 二五三	同
農業勞働論（國際的觀察）	ルイズ・イー・ハアワド 帝國農會		菊 四九九	帝國農會

農業經營調査書	帝農農會		菊	一三五	帝國農會
農業の北支那	朝倉昇	一・〇〇	図	一五五	明文堂
農村現地報告	有馬頼寧	一・五〇	図	五〇四	春陽堂書店
農士道	菅原兵治	二・五〇	菊	三三三	刀江書院
農事電化の栞	農事電化協會	一・八〇	図	五六三	農事電化協會
漢譯農事實行組合解說	小池金之助 李容勉譯	一・三〇	図	一三四	昭和圖書 株式會社
農産物取引論	水野武夫	六・〇〇	菊	八五三	日本評論社
農産加工汎論	西田孝太郎	一・二〇	図	三三九	明文堂
農産畜産食品加工法	住江金之	二・七〇	菊	二五四	冨山房
農民の歩みたき道	秀島寅治郎	一・〇〇	図	一六七	泰文館
農林水産用石油配給問題の經緯	徳永清次		菊	一六	全日本農山漁民同盟
バター及びチーズ	沖本佐一	三・八〇	菊	二八五	生活社
パルプ及製紙	米谷稔	三・九〇	菊	三四九	修教社書院
輓近日本産業組合運動	濱田道之助	一・八〇	図	三八二	高陽書院
ひのき分布考（資料）	帝室林野局				帝室林野局
プラステイクス同18	岡田時夫	一・八〇	図	二八六	ダイヤモンド社
不滅の權益—漁業權第一輯	山内大次郎		図	一元	北洋同志會
米穀販賣の理論と實際	竹澤篤二	二・〇〇	菊	二六〇	同文館
米穀配給統制法に就いて	梅原保		菊	三	梅原保
米・麥の販賣と産業組合	土屋光豐外一氏	・九五	菊	二三八	三笠書房
北滿野生哺乳類誌	北滿經濟調査所	五・〇〇	菊	四七三	興亞書院
北支及蒙疆の經濟と林業	淵通義	一・六〇	図	二三三	日本農林新聞社
本邦綿糸紡績史第四卷	絹川太一	四・〇〇	菊	四九八	日本綿業倶樂部
保健政策と産業組合	黒川泰一	・九五	菊	二六三	三笠書房
滿洲國産業要覽	東亞問題研究會	一・二〇	菊	一八八	三省堂
滿洲重要産業の構成	菊地主計	一・八〇	図	三四三	東洋經濟出版部
滿洲農業經營概論	中野清作	非	菊	二三四	三重高等農林學校
蜜蜂の飼ひ方	谷本保夫外一名	一・二〇	図	一七三	泰文館
棉花	日本紡織研究所 庄司麟次郎	四・〇〇	菊	五六	商工行政社
綿業輸出入リンク制度論	美濃部洋次	八・〇〇	菊	七六	

墨西哥國石油業大觀	長松雪夫	一〇・〇〇	菊	四四六	長松雪夫
明治前期勸農事蹟輯錄 上	農林省農務局	一〇・〇〇	菊	八三四	大日本農會
同 下	同	一〇・〇〇	菊	一〇〇四	同
我國護謨産業の國際的地位	加納友諒	非	菊	六一	日本護謨製品輸出組合

（二六）軍事

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
アクイラの戰	白木茂	一・三〇	図 四六	三笠書房
アグネススメッドレイ第八路軍從軍記	町田竹次郎	・五〇	図 一九〇	日本評論社
アーネスト・デュピュイ少佐（資料十六）ゲリラ戰の本質	澤田謙	非	菊 一九	大平洋協會
英國海軍の作戰	エー・シー・ベル 淺野秋平譯	・八〇	図 一七	昭和書房
英國打倒歐洲參戰の主張	野依秀市	一・五〇	図 三七九	秀文閣書房
英國の極東作戰新嘉坡根據地	池崎忠孝	一・八〇	図 二八六	第一出版社
英國の軍備擴張方針	渡邊銕藏	非	菊 三	渡邊經濟研究所
役中讀本	西野清說	二・八〇	図 六三	富文堂
歐洲戰爭を繞りて	小山與四郎	非	図 四〇	海軍有終會
歐洲戰爭を繞りて（其の二）	同	非	図 三五	同

歐洲戰亂と海逸界	林　貢	非	菊 三	名古屋市産業部
歐洲の戰に獨伊が勝つか	城北散士	・一〇	図 三	東京情報社
歐洲動亂は何年續く	聽波早男	・一〇	図 三	協同書房
解らぬムソリーニの心中を衝く	中村常三	一・五〇	図 二八	清和書店
外國から見た敗戰支那	櫻木俊晃	・三〇	図 一四	朝日新聞社
海軍作戰聖戰二周年の回顧	佐藤光貞	一・〇〇	図 三五	六藝社
海上封鎖	讀賣新聞社會部	一・〇〇	図 二五	興亞書院
海鷲實戰記	波多野繁藏	・九〇	図 二四	モナス
家庭防空讀本	片山逸朗	一・〇〇	図 一四	詩學社
輝く聖戰（一）	大澤吉五郎	・二五	図 四	大澤吉五郎
各國戰鬪力の研究	高木義賢	一・〇〇	図 三五	大日本雄辯會講談社
漢口大攻略戰	原　圭二	一・二〇	図 三八	六人社
近代スパイ戰（防空讀本）	川窪計藏	二・〇〇	図 七〇	皇國治道會出版部
鄉土部隊へ	前田千城	一・五〇	菊 一五八	前田千城堂
軍事史物語	松下芳男	一・八〇	図 三二	國民圖書協會
軍擴の嵐	檜山和一	非	菊 二七	海軍協會兵庫縣支部
軍擴の嵐同	非	非	菊 一〇四	同
軍擴の嵐			菊 一〇四	檜山和一事務所
動章の知識	齋藤昌司	一・〇〇	図 二三	同文館
空軍戰略 空中戰鬪篇	北川清一	一・七〇	図 三〇九	東宛書房
空襲	中村正夫譯	一・〇〇	図 一五〇	育生社
空部隊附空中戰鬪の解說	築紫二郎	一・二〇	図 二六	時代社
建設戰記	上田廣	一・〇〇	図 二四九	改造社
建設に甦る新支那大觀 支那事變と無敵皇軍	馬場春吉外一氏	二〇・〇〇	菊 五〇〇	興亞經濟研究所
警防實務知識	警防實務研究會	・六〇	図 二五	警防時代社
皇戰	高島辰彥	二・〇〇	菊 二四	戰爭文化研究所
皇威輝く中支之展望（最新改訂版）	山崎銈二郎		菊 一三	大正寫眞工藝所
國民防空讀本	內務省計畫局	・五〇	図 二六	大日本防空協會
國際スパイ戰	伊東銳太郎	一・〇〇	図 三一〇	日本公論社

此處が前戰だ！	灰原龍平	・一〇	図 二四	森本書院
湖北大作戰の經過と新支那のイデオロギー	畑中　耕	・一〇	図 三四	亞細亞出版社
小崎全集 第六卷 積極的信仰	小崎弘道	二・八〇	図 六一〇	警醒社內小崎全集刊行會
最新戰術原則圖解百題	安西理三郎	二・〇〇	菊 一〇〇	軍事學指針社
最新作戰要務表解全	同	二・八〇	菊 約八〇	同
佐野周二戰地通信	佐野周二	一・六〇	図 三五三	淡海堂
作戰要務令第二部詳解 第一卷	成武堂	一・一〇	菊 三〇八	成武堂
ジュトランド海戰の研究	日高謹爾	二・五〇	図 二八〇	海軍研究社
資料(15)列強の空軍備	渡邊銕藏	非	菊 二六	渡邊經濟研究所
資料(12)ソ聯の戰爭能力	同	非	菊 三	同
支那事變戰記	阿部信夫	一・八〇	菊 三七	大日本雄辯會講談社
支那事變寫眞全輯(四) 武漢、廣東攻略戰	朝日新聞社	二・五〇	菊 一六〇	東京朝日新聞社
支那事變下に再び陸軍記念日を迎へて	陸軍省情報部		図 六二	陸軍省情報部
支那事變從軍記蒐錄 第三篇	宮居康太郎		菊 八二〇	興亞協會
支那事變 平間部隊從軍記念寫眞帖	村川貞二	非	菊 約六〇〇	中支那派遣軍平間部隊
支那事變銕後赤心譜	周藤二郎	二五・〇〇	菊 約八〇〇	合同新聞社
支那事變聖戰寫眞史 徐州より廣東漢口まで	玉井清五郎	一・八〇	菊	忠勇社
支那事變皇軍聖戰史	大澤米造	八・〇〇	菊 三〇〇	東洋文化協會
支那事變皇國之精華	佐藤森三	三〇・〇〇	菊 約一〇〇〇	山梨日日新聞社
支那事變に於ける帝國海軍の行動（その三）	海軍々事普及部		図 三四	海軍々事普及部
支那事變戰史（後篇）	宮居康太郎	三・〇〇	菊 七五九	皇德奉贊會出版部
支那事變に於ける帝國海軍作戰の概要、東亞新秩序の建設と海洋問題	帝國在鄉軍人會本部		図 一九	帝國在鄉軍人會本部
支那事變 銕後之礎	井浪茂三郎	二五・〇〇	菊 横形	靜岡新報社
支那軍はどんな兵器を使つてゐるか	萱場四郎	一・五〇	菊 一九一	モダン日本社
支那制覇戰と太平洋（下卷）	カントロウイチ 廣島定吉譯	四・八〇	菊 四三一	生活社
支那抗日軍の全貌	山下　昶	非	菊 四四	東洋協會
橫溝光暉述 支那事變と思想戰	山崎好道		菊 三七	大阪中央放送局
新兵機と科學戰	竹內時男	一・九〇	菊 二六一	偕成社
新東亞の初幕（西安兵變實記）	蔣介石 宋美齡 高山洋吉譯	一・五〇	図 二〇四	育生社
徐州大會戰	高木義賢		図 三六	大日本雄辯會講談社

進撃日本	石塚恭江	二・〇〇	図	一五三
進撃軍	石塚響一	非	図	四二〇
上海激戦十日間	坂名井深蔵	一・五〇	図	三九七
主力鑑の展戦	兵藤憲二	非	菊	六三
昭和十四年版 海軍要覧	海軍有終会	四・〇〇	菊	七〇〇
同列強の空軍	アサヒグラフ	一・二〇	洋	二五六
スパイ軍隊	市木亮譯（ジョセフ・ゴロム）	四〇	図	一四三
聖戦大観	板谷得三	三・〇〇	洋	
聖戦の眞目的	横田左輔	一〇	図	二〇
聖戦實話 戦線美談	大谷金蔵	六〇	図	一八四
戦争と宣傳	粟屋義純	一・三〇	図	二八三
戦争の實感	加藤政明	一・二〇	菊	二〇六
戦争と人的資源	森本政一		図	四九
戦争の變貌 ソ聯邦の武力に就いて	日本文化協會	非	菊	二八
戦慄スパイ戦線	青木堯介	一・二〇	図	二六六
戦場	櫻木俊晃	一・二〇	図	三八三
戦地と銃後	島崎英世	五〇	図	一四一
戦歿将士 陣中だより	東京日日新聞社	八五	図	四一九
同 陣中だより	五十公野清一	一・五〇	図	四一〇
世界興廃大戦史(三七)歐洲大戦中ノ一	仲小路彰	三・五〇	菊	三六〇
世界大戦の終局	城北散士	一〇	図	三一
世界總力戦	戦争文化研究所	三五	図	一三三
世界の海軍（資料13）	渡邊銕藏	非	菊	一三
世界大戦＝その戦略	リデル・ハート後藤富男譯	六〇	洋	二九六
世界の空軍 ―その現勢及び將來―	中原稔生	一・七〇	図	三八
世界十大戦争を顧る	矢橋三子雄	二・二〇	図	六三
世界の海軍	アサヒグラフ	一・三〇	洋	一二〇
仲小路彰	非		菊	三五五
先遣隊	德永直	一・五〇	図	三八
戦歿	大場彌平	一・七〇	図	三五三
戦ふ	石塚響一	非	図	四二〇
戦ふ戦車	比佐友香	二〇	図	九三
血みどろ従軍記 郷土勇士と一年有半	水谷義雄	六〇	図	二三
中支派遣海軍作家従軍記	戦線文庫		図	二三〇
赤色戦闘機	フォンリヒト・尾崎主稅譯（ホーフェン）	一・三〇	図	三一〇
ソ聯の侵寇を禦ける	高橋忠作	二〇	菊	五三
ソ聯を中心として見た世界戦争の動向	布施勝治	非	図	五三
ソ軍常識	帝國在郷軍人會本部	五〇	洋	二五〇
總力戦に就いて	高島辰彦	一〇	図	六八
第二次世界大戦と日本帝國	淺野利三郎	七〇	菊	二五六
第二次歐洲戦亂の諸原因	イー・ダブリュ・ゼイムス	非	図	二四
大日本帝國陸軍大觀	齋藤與治郎		洋	三〇〇
大戦外交讀本	外務省情報部	六〇	図	一六六
大戦の思ひ出	吉江喬松（アラン）岡倉正雄	一・六〇	図	三一〇
太原攻略戦記	山を拔く	九〇	図	二九〇
闘ふ翼（陸鷲従軍記）	園野信夫	一・二〇	図	二四一
戦ふ戦車	比佐友香	二〇	図	九三
血みどろ従軍記 郷土勇士と一年有半	水谷義雄	六〇	図	二三
中支派遣海軍作家従軍記	戦線文庫		図	二三〇
長期建設への途	比佐友香	四〇	図	二九
長期戦の覺悟と軍事の要諦	鈴木一馬	一五	図	五四
次の世界大戦にどんな武器が使はれるか	椎名一雄	一〇	図	三〇
帝國及列國の陸軍	陸軍省	三〇	図	二三〇
同			図	二三〇
帝國海軍	猪伏清	三・八〇	図	六七五
ドイツ戦話集	山岸光宣他譯	五〇	洋	一八四
ドイツは勝つ	イー・ダブリュ・ゼイムス（米國ハーバー福田澄男譯）	七〇	図	二五
東亜新秩序の建設と帝國海軍	海軍省軍事普及部		図	四〇
東亜新秩序の建設と帝國海軍	海軍軍事普及部	一〇	図	四四
東亜協同體と太平洋戦争	原勝	一五	図	七〇
獨ソ條約と世界大戦	山川直夫（フリッチ・シェデル・ンベル經濟問題研究所譯）	非	菊	二六一
獨逸と短期戦	東京朝日新聞社	二〇	図	三一
獨伊に使して	兒玉璋一	非	菊	二六八
泥の擔架	山中峯太郎	一・〇〇	図	三六
東京朝日新聞社	戦争文化協會	非	図	二六六
東京日日新聞社	戦歿将士陣中だより	五〇	図	三九七
東京日日新聞社	同列強の空軍	一・二〇	洋	二五六
東京朝日新聞社	世界大戦＝その戦略	一〇	図	二〇
東京朝日新聞社	世界の空軍 ―その現勢及び將來―	一・七〇	図	三八
東京朝日新聞社	世界の海軍	一・三〇	洋	一二〇
東京朝日新聞社	赤色戦闘機	二・〇〇	図	三一〇
東京朝日新聞社	戦ふ戦車	二〇	図	九三
東京朝日新聞社	獨逸と短期戦	二〇	図	九三
東京朝日新聞社	獨伊に使して	六〇	図	二三
東京朝日新聞社	泥の擔架	一・〇〇	図	三六
東京朝日新聞社	進撃日本	二・〇〇	図	一五三
東京朝日新聞社	進撃軍	非	図	四二〇
東京朝日新聞社	上海激戦十日間	一・五〇	図	三九七
東京朝日新聞社	主力鑑の展戦	非	菊	六三
東京朝日新聞社	昭和十四年版 海軍要覧	四・〇〇	菊	七〇〇
東京朝日新聞社	同列強の空軍	一・二〇	洋	二五六
東京朝日新聞社	スパイ軍隊	四〇	図	一四三
東京朝日新聞社	聖戦大観	三・〇〇	洋	
東京朝日新聞社	聖戦の眞目的	一〇	図	二〇
東京朝日新聞社	聖戦實話 戦線美談	六〇	図	一八四
東京朝日新聞社	戦争と宣傳	一・三〇	図	二八三
東京朝日新聞社	戦争の實感	一・二〇	菊	二〇六
東京朝日新聞社	戦争と人的資源		図	四九
東京朝日新聞社	戦争の變貌 ソ聯邦の武力に就いて	非	菊	二八
東京朝日新聞社	戦慄スパイ戦線	二・二〇	図	二六六
東京朝日新聞社	戦場	一・二〇	図	三八三
東京朝日新聞社	戦地と銃後	五〇	図	一四一
東京朝日新聞社	戦歿将士陣中だより	八五	図	四一九
東京朝日新聞社	同 陣中だより	一・五〇	図	四一〇
東京朝日新聞社	世界興廃大戦史(三七)歐洲大戦中ノ一	三・五〇	菊	三六〇
東京朝日新聞社	世界大戦の終局	一〇	図	三一
東京朝日新聞社	世界總力戦	三五	図	一三三
東京朝日新聞社	世界の海軍（資料13）	非	菊	一三
東京朝日新聞社	世界大戦＝その戦略	六〇	洋	二九六
東京朝日新聞社	世界の空軍 ―その現勢及び將來―	一・七〇	図	三八
東京朝日新聞社	世界十大戦争を顧る	二・二〇	図	六三
東京朝日新聞社	世界の海軍	一・三〇	洋	一二〇
東京朝日新聞社	仲小路彰	非	菊	三五五
東京朝日新聞社	先遣隊	一・五〇	図	三八
東京朝日新聞社	戦歿	一・七〇	図	三五三
東京朝日新聞社	戦ふ	非	図	四二〇
東京朝日新聞社	戦ふ戦車	二〇	図	九三
東京朝日新聞社	血みどろ従軍記 郷土勇士と一年有半	六〇	図	二三
東京朝日新聞社	中支派遣海軍作家従軍記		図	二三〇
東京朝日新聞社	赤色戦闘機	二・〇〇	図	三一〇
東京朝日新聞社	ソ聯の侵寇を禦ける	二〇	菊	五三
東京朝日新聞社	ソ聯を中心として見た世界戦争の動向	非	図	五三
東京朝日新聞社	ソ軍常識	五〇	洋	二五〇
東京朝日新聞社	總力戦に就いて	一〇	図	六八
東京朝日新聞社	第二次世界大戦と日本帝國	七〇	菊	二五六
東京朝日新聞社	第二次歐洲戦亂の諸原因	非	図	二四
東京朝日新聞社	大日本帝國陸軍大觀		洋	三〇〇
東京朝日新聞社	大戦外交讀本	六〇	図	一六六
東京朝日新聞社	大戦の思ひ出	一・六〇	図	三一〇
東京朝日新聞社	太原攻略戦記	九〇	図	二九〇
東京朝日新聞社	闘ふ翼（陸鷲従軍記）	一・二〇	図	二四一
東京朝日新聞社	戦ふ戦車	二〇	図	九三
東京朝日新聞社	血みどろ従軍記 郷土勇士と一年有半	六〇	図	二三
東京朝日新聞社	中支派遣海軍作家従軍記		図	二三〇
東京朝日新聞社	長期建設への途	四〇	図	二九
東京朝日新聞社	長期戦の覺悟と軍事の要諦	一五	図	五四
東京朝日新聞社	次の世界大戦にどんな武器が使はれるか	一〇	図	三〇
東京朝日新聞社	帝國及列國の陸軍	三〇	図	二三〇
東京朝日新聞社	同		図	二三〇
東京朝日新聞社	帝國海軍	三・八〇	図	六七五
東京朝日新聞社	ドイツ戦話集	五〇	洋	一八四
東京朝日新聞社	ドイツは勝つ	七〇	図	二五
東京朝日新聞社	東亜新秩序の建設と帝國海軍		図	四〇
東京朝日新聞社	東亜新秩序の建設と帝國海軍	一〇	図	四四
東京朝日新聞社	東亜協同體と太平洋戦争	一五	図	七〇
東京朝日新聞社	獨ソ條約と世界大戦	非	菊	二六一
東京朝日新聞社	獨逸と短期戦	二〇	図	三一
東京朝日新聞社	獨伊に使して	六〇	図	二三
東京朝日新聞社	泥の擔架	一・〇〇	図	三六
東京朝日新聞社	戦歿	一・七〇	図	三五三
東京朝日新聞社	戦場	一・二〇	図	三八三
東京朝日新聞社	戦地と銃後	五〇	図	一四一
東京朝日新聞社	戦歿将士陣中だより	八五	図	四一九
東京朝日新聞社	同 陣中だより	一・五〇	図	四一〇
東京朝日新聞社	世界興廃大戦史(三七)歐洲大戦中ノ一	三・五〇	菊	三六〇
東京朝日新聞社	世界大戦の終局	一〇	図	三一
東京朝日新聞社	世界總力戦	三五	図	一三三
東京朝日新聞社	世界の海軍（資料13）	非	菊	一三
東京朝日新聞社	世界大戦＝その戦略	六〇	洋	二九六
東京朝日新聞社	世界の空軍 ―その現勢及び將來―	一・七〇	図	三八
東京朝日新聞社	世界十大戦争を顧る	二・二〇	図	六三
東京朝日新聞社	世界の海軍	一・三〇	洋	一二〇
東京朝日新聞社	仲小路彰	非	菊	三五五
東京朝日新聞社	先遣隊	一・五〇	図	三八
東京朝日新聞社	戦歿	一・七〇	図	三五三
東京朝日新聞社	戦ふ	非	図	四二〇
東京朝日新聞社	戦ふ戦車	二〇	図	九三
東京朝日新聞社	血みどろ従軍記 郷土勇士と一年有半	六〇	図	二三
東京朝日新聞社	中支派遣海軍作家従軍記		図	二三〇
東京朝日新聞社	赤色戦闘機	二・〇〇	図	三一〇
東京朝日新聞社	ソ聯の侵寇を禦ける	二〇	菊	五三
東京朝日新聞社	ソ聯を中心として見た世界戦争の動向	非	図	五三
東京朝日新聞社	ソ軍常識	五〇	洋	二五〇
東京朝日新聞社	總力戦に就いて	一〇	図	六八
東京朝日新聞社	第二次世界大戦と日本帝國	七〇	菊	二五六
東京朝日新聞社	第二次歐洲戦亂の諸原因	非	図	二四
東京朝日新聞社	大日本帝國陸軍大觀		洋	三〇〇
東京朝日新聞社	大戦外交讀本	六〇	図	一六六
東京朝日新聞社	大戦の思ひ出	一・六〇	図	三一〇
東京朝日新聞社	太原攻略戦記	九〇	図	二九〇
東京朝日新聞社	闘ふ翼（陸鷲従軍記）	一・二〇	図	二四一
東京朝日新聞社	戦ふ戦車	二〇	図	九三
東京朝日新聞社	血みどろ従軍記 郷土勇士と一年有半	六〇	図	二三
東京朝日新聞社	中支派遣海軍作家従軍記		図	二三〇
東京朝日新聞社	長期建設への途	四〇	図	二九
東京朝日新聞社	長期戦の覺悟と軍事の要諦	一五	図	五四
東京朝日新聞社	次の世界大戦にどんな武器が使はれるか	一〇	図	三〇
東京朝日新聞社	帝國及列國の陸軍	三〇	図	二三〇
東京朝日新聞社	同		図	二三〇
東京朝日新聞社	帝國海軍	三・八〇	図	六七五
東京朝日新聞社	ドイツ戦話集	五〇	洋	一八四
東京朝日新聞社	ドイツは勝つ	七〇	図	二五
東京朝日新聞社	東亜新秩序の建設と帝國海軍		図	四〇
東京朝日新聞社	東亜新秩序の建設と帝國海軍	一〇	図	四四
東京朝日新聞社	東亜協同體と太平洋戦争	一五	図	七〇
東京朝日新聞社	獨ソ條約と世界大戦	非	菊	二六一
東京朝日新聞社	獨逸と短期戦	二〇	図	三一
東京朝日新聞社	獨伊に使して	六〇	図	二三
東京朝日新聞社	泥の擔架	一・〇〇	図	三六

渡洋爆撃隊實戰記	海軍省	一・一〇	圓	二九六	
ナチス獨逸の防共活動	黒潮會		參	四九	非凡閣
日本兵食史論 中卷	佐藤晃一	一・一〇	圓	二九	日露大戰秘史
日本兵制史	小澤滋	一・三〇	圓	三六	永沼挺進隊
日本憲兵昭和史（上）	日本歷史地理學會	二・五〇	菊	三〇四	爆發した歐洲の宣傳戰
日本世界總力戰	實來正芳	二・五〇	菊	一〇四	山上進
日本將校論	皇戰會	一・一〇	圓	一三	畑中耕
日本戰爭學	清川太平		圓	三六	敗殘將政權と赤色ルートの戰慄
日本百年戰爭宣言	多田督知	二・八〇	圓	五三	大絲年夫
日獨伊對英佛ソ米の逼る世界大戰說を語る戰慄すべき原因と對策	高島辰彥	四〇	圓	九七	古木俊夫
日英戰爭論	山川直夫	一〇	圓	三	山口勝治
日英すでに戰ひつゝあり	同	一〇	圓	三	勝前編
日英必戰論	吉田益三	二〇	圓	九〇	赤松祐之
日ソ戰爭未來記「極東」ソ聯ではかく日ソ戰を見る	山梨芳隆 パウレンコ 圍部均譯	九〇	圓	一四	樋口正德
		一〇	圓	四	桶谷虎之助
					大場彌平
					中野宇三郎
					原圭二
					天野征記
					長谷川春子

幕末兵制改革史	大絲年夫	一・二〇	菊	二七四	公論社
ビンバー大尉の手記 外蒙古脫出記	古木俊夫	三〇	圓	二〇	昭和書房
火を吐く歐洲の宣傳戰	山口勝治	一〇	圓	三	亞細亞出版社
必勝前編	辻權作	九〇	圓	一二三	白揚社
プリント 遊擊隊と支那民衆	赤松祐之		菊	三	朝日新聞社
武漢攻略に從軍して	樋口正德	五〇	圓	一九三	厚生書院
船と戰爭	桶谷虎之助	八〇	圓	一五	事業部
ポケット兵法	大場彌平	五〇	菊	二五三	敬文堂
防空大鑑	中野宇三郎	一七・〇〇	菊	七二〇	日本國際協會調査部
防諜讀本 近代スパイ戰	原圭二	一・二〇	圓	三八	朝日新聞社
防共事情第二輯 防共の話	天野征記		圓	五六	大日本出版社
北支蒙疆戰線	長谷川春子	一・八〇	圓	三三六	峯文莊
					皇國報恩會
					六人社
					日、獨、伊親善協會
					曉書房

北岸部隊	林芙美子	一・〇〇	圓	二四九	中央公論社
步哨・斥候ノ參考	齋藤市平	三五	彩	一七三	尙兵館
步哨・斥候・傳令・連絡兵教育ノ詳解	同	六〇	彩	五六	同
譽れの鄕土部隊	原田兵次郎	五・〇〇	菊	四一六	大和旭新聞社
民族と戰爭	日本青年外交協會	一・五〇	圓	二四	日本青年外交協會
無敵海軍	島村金重郎	一・〇〇	圓	三八	八紘社
無敵師團血戰錄	安田清人	一・〇〇	圓	一八	日本談義社
無名戰士の忠誠（三）	佐々木一雄	一・五〇	圓	二四三	皇軍發行所
物・心兩面より見たる薩藩の軍備	林吉彥非賣		菊	四〇八	林吉彥
山ゆかば武漢攻略戰記	山本和夫	一・五〇	圓	三六五	河出書房
ロシア來るぞ	前田義雄	二〇	圓	九六	帝國軍事協會
われ等の陸海軍	平田晉策	一・七〇	菊	二九四	大日本雄辯會講談社
わが海軍はいかに戰ふか	柴田勝春	一・五〇	圓	二四九	興亞日本社
脇坂部隊	中山正男	一・〇〇	圓	三六四	陸軍畫報社

（二七）美術・工藝

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
新しい寫眞のうつし方	鈴木八郎	一・五〇	圓	一九四	アルス
油繪の實技（上）	石井柏亭	一・九〇	菊	一七四	アトリエ社
岩倉具方從軍畫集	岩倉綾子	五・〇〇	彩	三〇	故岩倉具方從軍遺作畫集刊行會
印度及南部アジア美術資料	美術研究所	三五・〇〇	彩	三五〇	美術研究所
ヴアン・ゴオホ	式場隆三郎	三・五〇	彩		同
うきよゑ絕品畫帖（七―一五）	上村益明		色	五枚	高見澤木版社
浮世繪絕品畫帖	同		彩	八	同
浮世繪讀本	吉田暎二	四・五〇	彩	三二〇	同
繪入籠耳（二）（五）	山田清作	非賣	彩	二三	米山堂
	同		彩	一五	同

繪本菊重ね	山田清作非	一四	米山堂	爽籟館欣賞 第二輯 附解說	阿部孝次郎非
繪畫美術教習錄 學習篇(2)	高松舵子非	一七五	東京繪畫極絹本彩浮世繪歌麿筆 釣魚	淺井忠吉	一五・〇〇
御新閲拜受記念寫眞帖	森川滉	三・五〇 約三〇〇	帝都教育會	同豐國筆 千鳥	同
小川芋錢翁草畫帖（第一輯）	横地信輔	二・〇〇	青果堂	同湖龍齋筆 雪	同
落合朗風遺作集	落合信子	三〇・〇〇	芸艸堂	同歌麿筆 あはびとり	同
太田三郎作品集 (2)	美術工藝會	二・〇〇	美術工藝會	同清長筆 江の島	同
畫室の言葉	三輪、鄰	二・〇〇	岡倉書房	同豐廣筆 たわむれ	同
雅邦集第八卷	橋本秀邦	約一〇〇	雅邦集刊行會	同一諦筆 微風	同
華甲記念墨蹟帖	豐田慶中	一〇・〇〇	同	同春信筆 流れ	同
觀崖畫集 巳卯帖	高倉觀崖	二二・〇〇	高倉觀崖	グスターヴ・ドーレ畫 新約聖書畫譜	横井憲太郎非
華岳	平塚薫	四・〇〇	芸艸堂	現代名畫鑑賞	難波專太郎
きよ志げ	山田清作非	四七	米山堂	現代人形名作集 和風・洋風・フランス人形	藤川フク
希臘彫刻	富永惣一	二・〇〇	アトリエ社	藝苑聚芳（一七）	源豐宗
協會檢討圖案展	高坂三之助	六・五〇 約一五〇	內田美術書肆	藝苑聚芳第一期繪畫篇第十九輯	藝苑聚芳刊行會
京洛人形づくし	山田德兵衛	三・〇〇	芸艸堂	第十八輯	同

藝苑聚芳第一期繪畫篇 第二十輯	藝苑聚芳刊行會	三・五〇	五枚	芸艸堂	江上清風
藝苑聚芳（第十六輯）	源豐宗	三・五〇	袋入五枚	同	冬木健之助
原色陶磁大觀(三)九谷	アトリエ社	三・八〇	五枚	アトリエ社	古典保存會
版コダツクウオーク入門	本間鐵雄	二・八〇	二六五	光大社	三訂文檢習字科精義
國寶書院圖聚	北尾春道	六・〇〇		洪洋社	常盤大定 關野貞
同	同	(8)		同	第一卷（圖版及解說）
同	同	(9)		同	同
同	同	(11)		同	同
同	同	(12)		同	同
國立公園雲仙大觀	橋本喜造	五・〇〇	二九〇	橋本喜造	寂園叟 鹽田力藏譯
國立公園雲仙大觀	同		二九〇	同	野村正治郎
光悅色紙帖	美術研究所	一〇・〇〇 五・〇〇	二冊	大塚巧藝社	時代小袖雛形屏風(九)
光悅書宗達畫四季草花繪卷	澁谷哲吉		卷物一卷	東京美術書院	同
古代埃及彫刻集	大橋孝吉		一〇〇枚	桑名文星堂	時代小袖雛形屏風八
兒玉希望畫伯作品展觀圖集	佐藤梅軒		約三〇	芸艸堂	同

江上清風	山元清秀	六・〇〇	三一	芸艸堂	時代小袖雛形屏風(一〇)
構圖と作畫の實際	冬木健之助	二・五〇	四二六	玄光社	同
三寶繪詞 上	古典保存會	非	約一〇〇	古典保存會	時代帛紗(下)
三訂文檢習字科精義	鈴木羽村	三・八〇	三〇	東洋圖書株式會社	同
支那文化史蹟第五輯 圖版及解說	常盤大定 關野貞	一八・〇〇	一二〇枚	法藏館	時代帛紗(上)
同	同	一八・〇〇	一二〇頁	同	同
支那古美術聚英	大阪市立美術館	二〇・〇〇	一〇〇	大阪市役所	同
支那古美術聚英	同	二〇・〇〇	一〇〇	便利堂	同
支那藝苑考	八幡關太郎	三・五〇	三六〇	古今書院	同
支那陶器精鑑	寂園叟 鹽田力藏譯	七・〇〇	五八三	雄山閣	同
時代小袖雛形屏風八	野村正治郎	一五・〇〇	帙入十枚	芸艸堂	同
時代小袖雛形屏風(九)	同	一五・〇〇	帙非十枚	同	同
時代帛紗(下)	同	一五・〇〇	二〇	同	同
時代帛紗(上)	同	一七・〇〇	三圖	同	同

時代蒔繪鞘漆集成 第一輯 別冊解說	吉野富雄 關宇一郎	一冊	彩華社	古今書院	書道研究要覽
時代椀大觀（第一輯）	松田權六 羽野禎三	四〇枚	寶雲舍	尺貫法存續聯盟	尺貫法存續聯盟紀念展觀六十五品
時代椀大觀（第一輯）	同	袋入八枚	同	東京帝室博物館	正倉院御物圖錄（十一）及目錄三冊
初等寫眞術百講	アサヒカメラ	二・〇〇	朝日新聞社	東京帝室博物館	續尺貫法存續聯盟
新板奈良名所八重櫻四	山田清作	非賣	米山堂	郷土史料寫眞	永江維章
新版 八重櫻（一）	同	一五	同	雄山閣	趣味の陶磁器
同（二）	同	三五	同	綜合美術研究所	色彩教養
同（三）	同	非賣	一四	雄山閣	夢二スケツチ帖抄
新考日本刀研究便覽	内田疎天	三・五〇	岡本偉業館	聖戰畫譜	相撲浮世繪複刻（1）十一枚
匠意玉寶（上）	福岡玉僊	彩色七圖	芸艸堂	聖戰美術展集	恩地孝四郎
同（中）	同	彩色七圖	同	聖戰美術	森下澄
同（下）	同	一〇〇・〇〇	二〇	栖鳳逸品集（第十輯）	松本金次
信樂伊賀	大村正夫	三・〇〇	七寶雲舍	非賣	比佐友香
實技詳解セメント工	矢崎好幸	二・八〇	三二	學校美術協會出版部	竹内栖鳳
書道・翰墨	竹内撫石庵	二・五〇	三三	健文社	川勝政太郎
會宮一念作品集（三）	美術工藝會	二・〇〇	彩色	美術工藝會	伊藤博精
增訂寰宇貞石圖第一卷	藤原楚水 非賣	一〇三	興文社	待賢門平氏合戰	山田清作 非賣
素明作品集	結城素明	三・〇〇	芸艸堂	茶入茶碗名器百圖上卷	遠藤敏夫 七・五〇
第二回文部省美術展覽會圖錄第二部 西洋畫	文部省	一四・〇〇	巧藝社	茶入名器百圖（下卷）	同 七・五〇
同 第一部繪畫日本畫	同	同	同	茶器仕覆の枝折	勝村左右治 三・〇〇
同 第四部 美術工藝	同	七・〇〇	同	晁勢作品集	三輪晁勢 三・〇〇
同 第三部 彫塑	同	八・〇〇	同	圖解圖案總說	遠藤敎三 二・八〇
第二回文部省美術展覽會原色畫帖	美術工藝會	七・〇〇	帙入	美術工藝會	デユトーと軟焦點寫眞 北野邦雄 二・〇〇
第三回文部省美術展覽會原色畫帖	同	七・〇〇	約五〇	同	帝室博物館圖錄第四期第十二輯 帝室博物館 二・〇〇
第二部三九三 日本文化名著選 エノロサ東亞美術史綱（4）	林愛作	一・二〇	創元社	篆書指南	石井雙石 三・八〇
第十回國風盆栽展寫眞帖	小林憲雄	一二〇	叢會	東亞美術史綱 I フエノロサ	林愛作 一・二〇
第廿六回日本美術院展覽會圖錄	日本美術院	一六・〇〇	大塚巧藝社	東洋花鳥寫眞集鳥之卷 第五輯 大鷲	岡本東洋 三・五〇
第九回 童寶展圖錄	童寶美術院	三・五〇	芸艸堂	同 (5)	蒼鷹 同
第廿九回染織美術展覽會圖錄	丸紅商店京都支店	一〇・〇〇	同	同 第四輯	鷗 同

東洋花鳥寫眞集鳥之巻 第七輯 眞鶴	岡本東洋	四・〇〇	菊 二〇	芸艸堂	日本
同 第六輯 眞雁	同	三・五〇	菊三〇枚	同	同
東洋美術大展覽會圖錄解說	大阪毎日新聞社	非	菊 三五一	便理堂	同
銅版繪本地上の祭	武井武雄	非	菊	アオイ書房	日本
陶磁往來	加藤春鼎 竹中久七	二・五〇	菊 一七	春岱寮美食會	同
陶器圖錄（第十卷）	長坂金雄		菊	雄山閣	日
陶器圖錄 第十二卷 茶器篇（下）	同		菊 一四〇	同	日
同 （第六卷）	同		菊	同	日
藤樹先生遺墨帖	藤樹頌德會	二〇・〇〇	菊 一〇〇	天晨堂書店	日
富田溪仙小品集	直木友次郎	七・〇〇	菊 五枚	美術思潮社	同
泥繪と大名屋敷	大熊喜邦	三・〇〇	菊 約三〇	大塚巧藝社	日
內外士俗品圖集（三）	長谷部言人		菊 袋入	寶雲舍	日
同 第一輯	同		菊 一五枚 袋入	同	日
同 第二輯	同		菊	寶雲舍	日
長崎派寫生南宗名畫選（附）著者略傳	恩賜京都博物館		菊 約一五〇	便利堂	日
日本南畫實習帖（一〇）山水篇	岸浪百艸居	二・〇〇	菊 二四	アトリエ社	日本
同 第八卷	同		菊 帙入	同	同
同 第九卷	同		菊 帙入	同	山
日本庭園史圖鑑 日本庭園史年表	重森三玲	六・〇〇	菊 三五七	有光社	
同 室町時代（2）	同	豫約	菊	同	同
日本美育論	金原省吾	一・五〇	四 二〇四	晃文社	日
日本美術資料 第二輯	美術研究所	一二・〇〇	菊 三〇枚	美術研究所	日
日本美術史圖版 奈良時代	小川晴暘	三〇	菊 三	飛鳥園	日
日本美術史資料（十一）室町時代解說（九・十）	美術史資料刊行會	二・五	四 五三	同	日
同 鎌倉時代解說	同	二・五	菊 八三	同	同
日本畫の描き方	川合玉堂	一・八〇	菊 二六	寶雲舍	日
日本古陶銘款集 關東・奥羽・北陸篇）	陶器全集刊行會	三・五〇	四 二五六	寶雲舍	日
日本肖像畫圖錄	奈良帝室博物館	三五・〇〇	菊 帙入	便利堂出版部	日本
日本中世思潮藝術	渡邊保	九五	小 二三三	三笠書房	日本
日本文化名著選 東亞美術史綱（三）	エルネスト・フェーロサ 有賀長雄譯	一・二〇	四 三五	創元社	日本

日本版畫變遷史	島屋政一	一五・〇〇	菊 八二六	大阪出版社	平八郎先生
西川春洞先生遺墨（二冊）	謙愼書道會	一二・〇〇	菊 六〇	晩翠軒	桂華先生
腦室反射鏡	式場隆三郎	五・〇〇	菊 三六四	高見澤木版社	大野隆德
能衣裳	恩賜京都博物館		四 八〇枚	中島泰成閣	寶
梅軒展畫集	佐藤梅軒		菊 五三	芸艸堂	芳
ピカソ（高見澤版）	上村益郎	一五・〇〇	菊 約一五〇	高見澤木版社	マ
引伸作畫の實際	上條泰雄	二・八〇	菊 二四九	玄光社	ミ
廣重江戸風景版畫集	松木喜八郎	三〇・〇〇	菊 一四三	松木喜八郎	名
佛教美術堂・塔・構成	中村亮平	三・五〇	四 四三七	寶雲社	同
佛像彫刻案內	奈良帝室博物館	一・〇〇	四 八〇	奈良帝室博物館	名
不折畫集	佐々貴義雄	非	四 一六頁 三五枚	大平洋美術學校	第三回
冨嶽百景	清水綠	三五・〇〇	菊 一〇〇	東方文化學會	名
富嶽十題展覽會圖錄	本田芳太郎		菊 一〇	芸艸堂	森
武顯戰跡畫集 上海編	三橋武顯	一・五〇	菊 五〇	塔影社	文
同	同	七・〇〇	菊 九〇	同	山
佐藤梅軒畫集	佐藤梅軒	四・〇〇	菊 一四枚	芸艸堂	平八郎先生
尾崎三吉 ポートレートの寫し方	尾崎三吉	三・五〇	菊 約二五〇	アルス	桂華先生
大野隆德北支中支從軍畫集	大野隆德	二・〇〇	菊 約四〇	美術工藝會	大野隆德
古典保存會寶物集第四	古典保存會	非	菊 約一〇〇	古典保存會	寶
石田貞吉 芳美帖	石田貞吉		菊 六〇	芸艸堂	芳
上村益郎 マチス 一八九〇—一九三九	上村益郎	三・〇〇	菊 一四三	高見澤木版社	マ
福田久雄 ミレー畫集	福田久雄	二・〇〇	菊 約一〇〇	大洋社	ミ
德力富吉郎 名作能衣裳 完結篇（第十輯）	德力富吉郎	八・五〇	菊 一〇〇枚	內田美術書肆	名
同 （第八輯）	同	八・五〇	菊 袋入 一〇枚	同	同
名作能衣裳	同	八・五〇	菊 一〇〇枚	同	名
大阪市立美術館 名物綿繡類纂第十二輯	明石染人 狩野秀峯	一〇・〇〇	帙入 五枚	便利堂 田中平安堂	第三回 名
佐藤梅軒 森守明個展作品集	佐藤梅軒	三・〇〇	菊 一三	芸艸堂	森
關宇一郎 文部省重要美術品圖錄 工藝篇 第二期一卷	關宇一郎	五・五〇	菊 一〇三	彩華社	文
朝日新聞社 山と岡ふ山岳寫眞傑作集	朝日新聞社	一・五〇	菊 圖九〇	朝日新聞社	山

（二八）音樂

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
夜江人作畫集	青霞會	一五・〇〇	菊三〇	芸艸堂
ライカの畫集（第一輯）	梶 榮之丞	六・〇〇	菊一四五	闘西ライカクラブ
賴先生游記帖（釋訓共二册）	本田壽次郎	一五・〇〇	菊二册	芸艸堂
良寛和尚墨蹟	小杉龜太郎		菊四七枚	小杉大雅堂
良寛遺墨	北原義雄	三・〇〇	菊	アトリエ社
麟作畫集	赤松麟作	一〇・〇〇	菊	赤松麟作
凌雲作畫集	清水眞輔		約	芸艸堂
渡邊華山と冷泉爲恭	藤森成吉	五・〇〇	菊一七一	高見澤木版社
哀歡の曲	河上渓介	五・〇〇	菊七〇二	双雅房
今樣能狂言	山田清作非		菊和裝二三	米山堂
ヴアイオリン獨奏名曲集 No.1	編輯部	一・〇〇	菊 二	シンフオニー樂譜出版社
ウクレレ、ハワイアン、伴奏 ギターメロディ	同	五〇	菊 三一	同
演奏會用ギター獨奏歌謠曲集 No.2	沖野達雄	五〇	菊 三五	同
御かぐら歌 初試驗附 太鼓の打ち處・鼓打ち方	今井留次郎	一五	菊 一八	今井天誠堂
音樂通論	小松耕輔	一・八〇	菊二五九	共益商社書店
音樂通論	長廣敏雄譯（ハンス・メルツン）	一・八〇	四 一九四	第一書房
音樂と文化	河上徹太郎	二・二〇	四 一九八	創元社
音樂名曲全書(4) 室內樂曲全書	服部龍太郎	三・八〇	菊四六	春陽堂

音樂名曲全書(1) 交響曲全書	服部龍太郎	三・八〇	菊四〇九	春陽堂
同 協奏曲(3)全書	同	三・八〇	菊四三	同
樂器大圖鑑 西洋篇	黒澤隆朝	八・五〇	菊三一〇	共益商社書店
河村童謠 第六曲集	河村光陽	五〇	中形 五三	シンフオニー樂譜出版社
歌謠集成	小谷實	二・八〇	菊六六八	櫻華社
ギター二重奏曲集	編輯部	一・〇〇	菊 三九	シンフオニー樂譜出版社
ギター伴奏付 抒情悲曲集	同	六〇	菊 一九	同
琴聲	都築眞琴		菊 三〇	古今堂
軍國愛唱歌集	編輯部	三〇	菊 七	シンフオニー樂譜出版社
現代伊太利亞音樂	天野秀延	三・五〇	菊 三六	アオイ書房
子供のためのオルガン曲集	佐和輝禧	一・〇〇	菊 六三	シンフオニー樂譜出版社
最新尺八流行名曲集 第6	菊地淡水	六〇	中形 五三	同
ジヤズと流行名歌集	編輯部	二五	菊 七	同
ジョオジダイヌン音樂文化史	大田黒元雄	一・五〇	四 二九五	第一書房
唱歌の研究授業	井上武士	一・八〇	四 二七四	賢文館
傷痍軍人聖戰歌集	佐々木信綱 伊藤嘉夫	一・〇〇	四 三〇八	人文書院
十八時の音樂浴	海野十三	一・五〇	四 五六三	ラヂオ科學社
尺八流行名曲集 第五	菊地淡水	六〇	中形 五三	シンフオニー樂譜出版社
同	同	六〇	中形 五三	同
女學生のオルガン曲集	佐和輝禧	一・〇〇	菊 六三	同
新男子音樂教科書 教授用書(三)	若狹萬次郎 非		菊 三三	共益商社
新選幼兒舞踊 第2集	賀來琢磨	六〇	菊 七七	シンフオニー樂譜出版社
新版ヴアイオリン奏法	レオポルド・アウア 阿部謙太郎譯	一・七二	四 二五四	平原社
新版西洋音樂解說	グレゴリー・メーソン 阿部謙太郎譯	一・七〇	四 三七一	同
大國舒光		一・〇〇	菊 五五	シンフオニー樂譜出版社
水品春樹		二・〇〇	四 二四四	梧桐書院
土岐善麿		二・二〇	四 三一〇	謠曲界發行所
木村富子		二・五〇	四 五〇〇	中央演劇社
乘杉嘉壽			菊 三七三	音樂教育書出版協會
宮本旅人		一・五〇	中形 四七	シンフオニー樂譜出版社

書名	著譯者	定價	形體	發行所
三浦環愛唱曲集	三浦　環	一・〇〇	菊 六三	シンフオニー樂譜出版社
名曲とそのレコード	神保璟一郎	一・八〇	四六 二七三	省堂
明治天皇御製百曲集 昭憲皇太后御歌百曲集	本居長豫非	一・〇〇	菊 二九〇	謹曲普及會
由利あけみ愛唱曲集	宮本旅人	一・五〇	中形 四七	シンフオニー樂譜出版社
流行歌のギター獨奏曲集	大國舒光	一・〇〇	菊 三一	同
レコード音樂名曲決定鑑	野村長一	二・五〇	四六 八〇三	中央公論社

（二九）運動・遊戲

書名	著譯者	定價	形體	發行所
アルプス及コーカサス登攀記	A・F・マンナリー 石一郎譯	二・五〇	四六 三九	朋文堂
改訂版岩登り術	水野祥太郎	一・八〇	菊 一八三	黒百合社
表千家流茶道（清寂之卷）	林利左衞門	三・〇〇	菊 二五〇	河原書店
學校・家庭・工場繩跳運動の指導	出口林次郎	三・二〇	四六 三四三	明治圖書株式會社
建設的學校體育の實踐	直田村太郎	三・〇〇	菊 一八〇	弘學社
劍道德本	野間恒	二・〇〇	菊 二四八	大日本雄辯會講談社
國民水泳教範附國民水泳體操	平野豐	一・五〇	菊 二冊	四海書房
子供の踊を描く	睦哲也	二・二〇	菊 一三	スクール舞踊研究會
最後の蠟燭	坂部護郎		四六	朋文堂
水泳入門讀本	中島博	一・五〇	四六 二四六	テンセン社

書名	著譯者	定價	形體	發行所
相撲鑑賞讀本	彥山光三	二・八〇	四六 四一〇	生活社
相撲基本の解說附技の教へ方	八尾秀雄	一・〇〇	四六 九三	精文堂
相撲展望	伊藤忍々洞	一・〇〇	四六 二八	雄生閣
體育眼に映じたる歐洲	飯塚晶山	一・〇〇	四六 二八八	警眼社
體操の研究授業	齋藤薫雄	一・八〇	四六 二四九	賢文館
大日本薙刀道教範	美田村邦彥	六・〇〇	菊 六五三	秋文堂書店
登山技術	高須茂	一・二〇	四六 一六〇	朋文堂
登山入門讀本	中島博	一・五〇	四六 二四一	テンセン社
北米劍道大鑑	籾井一劍	五・〇〇	菊 三五五	北米武德會
山の憶ひ出上卷	木暮理太郎	三・五〇	四六 五五六	龍星閣
山の仲間	千坂正郎	一・二〇	四六 二六〇	朋文堂

（三〇）娯樂・趣味

書名	著譯者	定價	形體	發行所
秋の寫眞の寫し方	下島勝信	一・五〇	四六 一七四	玄光社
岩と氷雪の登攀技術寫眞解說	海野治良 高橋照	三・〇〇	菊 一五八	三省堂
謠の基礎技術	三宅統一	四・〇〇	四六 六〇八	東文書院
映畫藝術の性格	今村太平	二・〇〇	四六 二八八	第一藝文社
映畫と批評	津村秀夫	二・二〇	四六 四四九	小山書店
續女の寫し方	福田勝治	三・五〇	菊 二三三	アルス
カンビ・瀞・峯	松矢郎	二・二〇	四六 二五四	三省堂
かねさは物語	關靖	三・〇〇	四六 五三二	萬朝報橫濱支局
釣魚大全（靜思する人の行樂）	アイザック・ウオールトン 谷島彥三郎譯	一・八〇	四六 三〇三	春秋社
錦繡盆栽	小林憲雄	一・五〇	菊 一五三	叢會

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近接撮影	吉川速男	二・五〇	四二七	玄光社
これだけは覺えて得な映畫法	北浦馨非	一・五〇	菊二五	新聞合同通信社映畫部
古今刀劍物語	前田稔靖	二・〇〇	四二七	大洋社出版部
寫眞解說日本の釣	松崎明治	三・五〇	菊一六〇	三省堂
紹興古鏡聚英	梅原末治	一八・〇〇	菊六三	桑名文星堂
スポーツ寫眞のコツ	三穗	一・五〇	四一六	玄光社
茶家必携茶道便覽	木下桂風	二・〇〇	四三四	鈴木書店
手段と作戰	加藤信	一・六〇	菊三七	博文館
陶器を見る眼	加藤春鼎・竹中久七	四・二〇	菊三五	春岱寮養會
籐工藝	大塚長四郎	一・八〇	菊二〇六	誠文堂新光社
パーレットの第一步	吉川速男	一・五〇	四二五	玄光社
花の寫し方	福田勝治	五〇	參七〇	アルス
ベビーパールの第二步	吉川速男	二・六〇	四二七〇	玄光社
名人上手打碁大觀	高部道平	二・五〇	菊三七三	荻原星文館
山とカメラ	諸江一郎	二・〇〇	四一八七	第一書房
落花帖記	西川一草亭	三・五〇	四一八三	河原書店
ローライテクニック	岡本守正	三・八〇	菊判形二七	玄光社
私の寫眞術	堀野正雄	三・〇〇	菊三三	新潮社

（三一）家政

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
愛の泉女性讀本	谷口雅春	一・三〇	四二四八	光明思想普及會
衣類整理の實際	田中たま・瀧浦	二・八〇	菊三六	光生館
歐米の洗濯業	五十嵐健治	一・八〇	四三五二	日本洗濯界社
家事衣類整理綱要	菱山衡平	二・八〇	菊三七三	文光社
形なき兒を愛せよ	太田脩三	一・五〇	四一六三	古泉洞
教育者としての母	兒玉九十	一・三〇	四二八八	主婦之友社
謹解幼學綱要婦女鑑	岡村利平	一・五〇	四五八	春陽堂
近代の結婚	堀秀彥	一・三〇	四二七三	實業之日本社
結婚讀本	日本青年社	八〇	四一八	大京堂書店
結婚の課題	志摩一枝	一・五〇	四三三	白揚社
國民服の考案	齋藤佳三	一・五〇	四一八一	秋豐園
厚生法	後藤清	一・〇〇	小二七	三笠書房
姑娘の父母	清水安三	一・三〇	四二五四	改造社
女性の勝利	村上瑚磨雄	一・三〇	四二六〇	冨山房
女性美增進の生活	高木逸雄	一・七〇	四二八八	實業の日本社
實際保育の要領	松石治子	一・三〇	四三四	峯文社
生活改善	下村海南	一・八〇	四二五	第一書房
裝身藝術の指導	松永イコオ	三・五〇	小三三	アールヴァイル裝身藝術部
ちちははの記	上林曉	一・六〇	四一九八	竹村書房
茶之湯早學び常識修了篇	戶田宗寬	五・〇〇	菊二四五	帝國茶道普及學會
日本女性の書	平林治德	一・五〇	四三三〇	積善館
日本の家庭道	田代助夫	一・〇〇	四一四六	ハクト社
姙娠育兒讀本	青木三千雄	一・〇〇	小二四	テンセン社
花嫁讀本	谷口雅春	一・三〇	四三〇	光明思想普及會
結婚の課題	藤原九十郎	三・五〇	菊四七七	文光社

輓近家事論纂(育兒論)	藤原九十郎	三・五〇	菊四四六	文光社
廢品利用の家事	河口愛子	二・八〇	四二七六	明治圖書株式會社
母に答ふ	大伴茂	一・八〇	四〇九	平凡社
非常時下日本女性讀本	杉田平十郎	一・〇〇	四一四	新科學社
婦人の醫學女性典	島田廣	二・〇〇	四五九	金正堂
婦人衛生讀本	岡田道一 岸田眞	・六〇	四一八	新東京社
母心	友松圓諦	一・五〇	四三四五	偕成社
母性	富野敬照	二・二〇	四四八六	白揚社
よき妻、よき母	マリノー・ストープス 黒川次郎譯	一・五〇	四二二七	日本公論社

(三二)叢書

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
あかね叢書(2) 女の一生	モンパッサン 井東憲譯	・三五	菊一三八	大東出版社
同 隊長ブーリバ(4)	ゴーゴリ 巽榮一譯	・三五	菊一三〇	同
同 人形の家(3)	イブセン 赤木春之譯	・三五	菊一三三	同
同 復活(1)	トルストイ 須賀三四郎譯	・三五	菊一三〇	同
同 血と砂(5)	イバニエス 立花士郎	・三五	菊一二八	同
同 テス(6)	ハアデイ 小野貞雄	・三五	菊一四七	同
同 椿姫(7)	デユーマ 松永穠	・三五	菊一五〇	同
同 赤と黒(8)	スタンダール 青木操	・三五	菊一三〇	同
同 里見八犬傳(9)	瀧澤馬琴 額田六福	・三五	菊一六二	同
同 水滸傳(10)	施耐庵 多摩松也	・三五	菊一四九	同

あかね叢書(11) 二都物語	ディッケンス 名原廣三郎	・三五	菊一五四	大東出版社
同 海の野獸(12)	メルヴイル 平井豐一	・三五	菊一三一	同
同 初戀(13)	ツルゲーネフ 鈴木清	・三五	菊一二五	同
同 憂愁夫人(14)	ズウデルマン 谷島主馬	・三五	菊一四四	同
同 スカラムツシユ(15)	サバチニ 細谷孝二郎	・三五	菊一四〇	同
同 寶島(16)	スチイウンソン 平田禿木	・三五	四一四五	同
同 西遊記(17)	吳承恩 額田六福	・三五	菊一六〇	同
同 純粹理性批判(18)	カント 谷口文夫	・三五	菊一三〇	同
同 禁慾と禁煙(19)	カアベンター 伊井藤吉郎	・三五	菊一三四	同
同 男性と女性(20)	ロバート・モリス 松本啓	・三五	菊一三三	同
同 わが哲學(22)	ニイチエ 平野岩夫	・三五	菊一三二	同
同 印度古譚集(25)	ヘルテル 永井照德	・三五	菊一四七	同
同 平妖傳(24)	羅貫中 白井三光	・三五	菊一五四	同
インフレーション研究叢書(2) 獨逸のインフレーション	勝田貞次	二・二〇	菊五三七	景氣研究所
インフレーション研究叢書(3) フランスのインフレーション	勝田貞次	二・二〇	四四七二	景氣研究所
海戀ひ(新選名作叢書)	大江賢次	一・二〇	四三一四	金星堂
演劇論叢書 新劇の書	久保榮	一・四〇	四二九	江津誠
同 演技論集	村山知義	一・五〇	四三四六	同
カント(西哲叢書XV)	高坂正顯	二・〇〇	四四二一	弘文堂書房
歌集烈風の街(生活派短歌叢書1)	渡邊順三	・八〇	四一三三	文泉閣
簡明齒科醫學叢書 第十編	オドント研究會		四	南江堂
開南叢書 第二編 往け矣海南島へ	多田惠一	・二五	四七〇	南洋開發社
關西學院經營原價研究叢書II 構成論	久保田音二郎	二・五〇	菊三〇一	關西學院經營研究會
樂聖傳記叢書(7) ショパン	小松耕輔	一・八〇	菊二三九	共益商社書店
教學叢書特輯 第一篇	教學局	・九〇	四二九〇	內閣印刷局
教學叢書(四)	同	・四五	菊二三九	同
教育革新叢書(1) 時局と教育の本義	小西重直	一・五〇	四二六一	玉川學園出版部
教養叢書(1) 科學的精神	石原純	・五〇	菊一一九	教育思潮研究會

基督教々程叢書(21)	渡邊善太	一・五〇	圓	三〇五	日獨書院
概說イスラエル民族史	早川榮				株式會社
基督教優越性叢書(13)	道旗泰誠	七〇	錢	九六	求道舍
佛菩薩を批判して基督の神を論ず					
共助叢書(1)	帝大學生基督教共助會	九〇	圓	二三	弘文堂
森明小選集	橋爪一男	一・七〇	錢	一二六	南山堂
木下産科婦人科叢書(24)	岡田昌藏	非賣	錢	九〇	東京銀行集會所
人工姙娠中絕の適應					
銀行叢書(40)	谷口知平	約三五〇	錢	有斐閣	工業
戰爭下に於ける我國金融經濟問題	外六氏				
現代外國法典叢書(13)	有斐閣	箱入	圓	五冊	同
五冊					
同(11)	柚木外七氏	全六冊	錢	六冊	同
同(14)	俵外六氏	全五冊	錢	五冊	同
同(15)	田中保太郎外五氏	六冊	錢	六冊	同
同(16)	柚木外五氏	五冊	錢	五冊	同
同(18)	八木弘		錢		同
同(19)	川上太郎外五氏	五冊	錢	五冊	同
同(20)	江草重忠	箱入六冊	錢		同
(12)					

原始民族の文化(文化と技術叢書16)	松井了穗譯	一・五〇	圓	三六八	三笠書房
經濟特殊研究叢書(6)	伊藤久秋	二・七〇	錢	三〇三	大同書院
經濟研究叢書36號	福林正之	非賣	圓	九六	日本工業クラブ經濟研究會
米國の貿易金融					
研究社英米文學評傳叢書(100)	高垣松雄	非賣	彩	二冊	研究社
サンドバーグ別冊(3)總索引	研究社編輯部				
こども叢書(3) ハンス物語	グイド・バガニーニ 小奈晴夫	一・〇〇	圓	二七二	聖パウロ會
工業動員叢書(一) 戰爭と工業	日本工業協會	一・〇〇	圓	一九七	日本評論社
同(一一) 物資動員	同	一・〇〇	圓	二〇八	同
同(一三) 戰爭と勞働	同	一・〇〇	圓	二五二	同
合同歌集 蒼穹叢書(5)	岡野直七郎	二・三〇	圓	三〇六	蒼穹社
講演叢書(11) 統制下の小賣商店問題	菊澤謙三	五〇	圓	二七八	波邊翁記念文化協會
同 不動産金融に關する若き問題(9)	杉本正幸	非賣	錢	一五二	全國地方銀行協會
同(12) 銀行事務の合理化に就いて	會志崎誠二	非賣	錢	一一〇	同
國際秘密力研究叢書(5) 國際結社の組織と秘密	佛國J・トゥール マンタン 國際政治學會調査部譯	五〇	圓	八六	政經・書房
國際事情叢書(3) 世界の航空機工業	B・マリノウスキイ	一・五〇	圓	二五二	タイムス出版社

國民自覺叢書(7)	本位田祥男	三〇	圓	七六	日本文化新聯盟
日本に於ける統制經濟					
同(6) 日本文化と日本精神	山田孝雄	三〇	圓	一〇六	同
同(5) 戰爭的世代と産業	高木友三郎	三〇	圓	七四	同
同(4) 日本文化の方法	芳賀檀	三〇	圓	九四	同
高日本叢書(2) 信濃健兒	藤原超然	一・八〇	圓	四三三	高日本社
黒白叢書(9) 若山牧水	大橋松平	一・六〇	圓	三一〇	砂子屋書房
最新工業材料叢書 建築用硝子	中村能一 宮崎雄二郎	一・二〇	圓	二八	共立社
最新工業材料叢書(12) 金屬塑性變形	山ノ内弘	七五	圓	二四	常磐書房
作曲理論叢書 管絃樂法原理(1)	小松清譯(コルサコフ リムスキイー)	二冊 一五・〇〇	函	一八八	創元社
(2)	同		錢	三三三	

新ぐろりあ叢書 現代の俳句	岩田潔	一・六〇	圓	二五三	ぐろりあ・そさえて
同 エルテルは何故死んだか	保田與重郎	一・二〇	圓	一四〇	同
新選隨筆感想叢書 裸(はだか)	尾崎士郎	一・二〇	圓	二七五	金星堂
同 一夜の姑娘	丹羽文雄	一・二〇	圓	二六三	同
新支那事情普及叢書(7) 聖戰滿二周年に際して最近の戰況を語る	松村秀逸		圓	四〇	東亞同文館
同 上海租界問題と其の對策	植田捷雄	一〇	圓	元	同
同 第十輯 支那新政權樹立に就いて	城内干城	非賣	圓	八	同
同(9) 支那の抗戰能力其他に就て	宇治田直義	非賣	圓	四	同
同 第一輯 法幣問題と其の對策	高垣寅次郎	一〇	圓	元	同
同 第八輯 事變の認識と教訓	岡部長景	非賣	圓	三五	同
新時代叢書(3) 統制下に於ける經濟問題	蠟川虎三	一〇	圓	三六	日本青年外交協會
社會事業叢書 第四卷 經濟保護事業	武島一義	非賣	圓	三六〇	常磐書房
同(12) 軍事援護事業概要	上平正治	非賣	圓	三六五	同
第十五卷 社會事業史	山口正春	非賣	圓	一七八	同

產業醫學叢書 第四册	勝木新次	二・八〇	圓	一四一	金原商店
產業衛生學的測定法 第一部物理的測定法	前川佐美雄	一・二〇	圓	一五三	ぐろりあ・そさえて
歌集 くれなゐの花の宴	伊藤佐喜雄	一・八〇	圓	三八	同
同 白日の師	藏原伸二郎	一・八〇	圓	三〇四	同

社會事業叢書(7) 社會教化事業概觀	生江孝之	非	四六 三〇四	常盤書房
同 第十三卷 厚生運動概説	磯村英一	非	四六 三一二	同
支那學翻譯叢書之六 左傳眞僞考	カールグレン 小野忍譯	一・〇〇	菊半 一五四	文求堂書店
同 (5) 史記著作考	エヅアール・シャヴァンヌ 岩村忍譯	一・〇〇	約四六 一五〇	同
實用機械工學叢書 內燃機關	築山閏二	三・八〇	菊 三七四	山海堂出版部
人類遺傳學叢書(1) 聾啞の遺傳	鈴木安恒	一・六〇	菊 八八	金原商店
司法保護叢書19 興亞の礎石(轉向者の大陸進出記錄)	福本覺見	・二〇	菊 四九	全日本司法保護事業聯盟
白百合叢書第一篇 迷信	光井節次郎	非	菊半 九〇	大阪府立泉尾高女白百合會
趣味の京阪叢書(2) 嵯峨野の表情	大塚五郎	・三〇	四六 一一八	京阪電氣鐵道株式會社
時局叢書(4) 日本精神の根抵	山田孝雄		菊 七五	金光教典籍出版部
同 第二輯 東亞問題と國際關係	金光教典籍出版部		菊 五四	同
同 第三輯 日本を中心とする國際思想の動向	同		菊 五八	同
同 第一輯 教育と信仰 財政經濟の現狀	同		菊 五三	同
時局問題叢書(1) 物價統制の大綱	國策研究會	・七〇	四六 一四七	モナス

信濃叢書 信濃昔話集	牧内武司	一・二〇	四六 三一八	山村書院
獸帶叢書 白羊宮	堀口雄造	・五〇	菊 九七	十字屋書店
植民地解放論 戰爭文化叢書(2)	清水宣雄	・三〇	四六 六三	世界創造社
至誠會叢書(6) 北支を語る	赤堀正平	非	四六 七六	學徒至誠會
白木清水レントゲン叢書第三卷 附屬器具編	白木正博 清水直太郎	三・三〇	菊半 一〇三	南江堂
戰爭文化叢書(16) 日本史代の建設	中村光	・四〇	四六 一五六	日本問題研究所
同 (6) 文學戰爭	丸山熊雄	・四〇	四六 一二四	映畫文化研究所
同 (7) 天皇政治	山本饒	・四〇	四六 九九	日本問題研究所
戰爭文化叢書(17) ルーデンドルフの國家總力戰	間野俊夫	・三〇	四六 九八	戰爭文化研究所
同 第三篇 植民地分割戰の歷史	佐藤弘	・一〇	四六 二八	日本青年外交協會
同 第二篇 蘇聯國防力の基礎に就いて	佐多忠隆	・一〇	四六 三四	同
同 第四篇 政治と文化	三木清	・一〇	四六 三一	同
同 (11) 日英支那戰爭	今藤茂樹	・四〇	四六 九六	支那問題研究所
同 (12) 日本世界戰爭	滿田巖	・四〇	四六 一〇四	北方問題研究所
同 (5) 支那人は日本人なり	アジア問題研究所	・三〇	四六 六九	アジア問題研究社

戰爭文化叢書(3) 八紘一宇	日本問題研究所	・三〇	四六 五〇	日本問題研究所
同 (15) 日本戰爭貨幣論	西谷彌兵衞	・四〇	四六 一四六	同
同 (10) 東亞協同體思想を擊つ	簑實	・四〇	四六 一〇六	支那問題研究所
同 (9) 東亞とイギリス	吉田三郎	・四〇	四六 一二六	同
同 第一篇 蘇聯民衆と社會	丸山政男	・一〇	四六 四八	日本青年外交協會
同 (13) 日本戰爭經濟試論	波多尙	・四〇	四六 一五六	日本問題研究所
同 (14) ファッシズム教育	渡邊誠	・三〇	四六 八八	ヨーロッパ問題研究所
同 (4) 獨伊の世界政策	小島威彥	・四〇	四六 九四	同
同 (8) 對英戰と被壓迫民族の解放	小倉虎治	・四〇	四六 一一七	アジア問題研究所
政友叢書(1) 議會制度改革資料	立憲政友會政務調査會	・五〇	四六 八二	立憲政友會政務調査會
西哲叢書(24) ショーペンハウエル	龍野健次郎	一・五〇	四六 二二四	弘文堂書房
同 (3) プロティノス	鹿野治助	一・三〇	四六 二三一	同
同 (25) フォイエルバッハ	伊達四郎	一・五〇	四六 二七二	同
青年佛教叢書第十六編 國文學と佛教	福井久藏	一・二〇	菊半 二一九	三省堂
稅の叢書 印紙稅	田中秀吉	二・五〇	菊 三八七	第一書房

稅の叢書 源泉控除稅	片岡政一	二・五〇	菊 三六五	第一書房
創元叢書 ロレンス	志賀勝	一・二〇	菊半 二八三	創元社
草莖叢書第三篇 句集 豐旗雲	宇田零雨	三・二〇	四六 四五三	草莖社
ダイヤモンド產業叢書12 石油	水田政吉	一・八〇	四六 四〇〇	ダイヤモンド社
同 13 映畫	吉岡重三郎	一・六〇	四六 二七四	同
同 14 罐詰	高崎達之助	一・二〇	四六 二六八	同
同 15 製鐵	中田義算	一・八〇	四六 二九八	同
大神宮叢書 神宮年中行事大成後篇	神宮司庁	七・五〇	菊 七七三	西濃印刷株式會社岐阜支店
畜產・加工叢書(4) 養兎と其の利用	陣內利孝	二・三〇	菊 一九九	育生社
中央アジア叢書(2) 中亞民族共和國事情	中央アジア研究會	非	四六 九六	中央アジア研究會
註釋叢書 改正商法總則會社法	梶田年	三・五〇	約四六 五六〇	法文社
士の文學叢書 野の斷層	間如茂輔	・五〇	四六 一九三	新潮社
同 葉山桃子	湯淺克衞	・五〇	四六 二〇〇	同
同 藪の中の家	德永直	・五〇	四六 二〇六	同
同 島の挿話	中本たか子	・五〇	四六 二二六	同

東方考古學叢刊第五册 東京城	島村孝三郎	三〇・〇〇	菊	東亞考古學會
東洋文化叢書 祭祀と事業衍義	相良政雄	・八〇	四 九六	興文社
時の論叢書(2) 支那の新勢 支那の基督教 支那の民族性	田川大吉郎 前島潔 高島平三郎	・七〇	四 一八八	教文館
同 米國の本音をつく 英獨の爭覇と日本	今井三郎 田川大吉郎	・七〇	四 一五一	同
南洋叢書第五卷 比律賓篇	佐田弘治郎	三・二〇	菊 五一三	東亞經濟調査局
南洋華僑叢書第一卷 タイ國に於ける華僑	中島宗一	二・〇〇	菊 三六六	滿鐵東亞調査局
同 比律賓に於ける華僑	同	一・七〇	菊 一九五	滿鐵東亞經濟調査局
同 (2) 佛領印度支那に於ける華僑	同	一・七〇	菊 二二五	同
同 (6) 南洋華僑と福建・廣東社會	同	一・七〇	菊 三二八	同
日本叢書索引	廣瀨敏	六・八〇	菊 六六九	東京武藏野書院
日本精神文獻叢書 第十五卷 民衆篇上	加藤咄堂		菊 三二八	大東出版社
同 士道篇下	同	一・一〇	菊 六〇六	同
同 民衆篇下	同	一・一〇	菊 五五四	同
同 心要篇全	同	一・一〇	菊 二八八	同
日本精神文獻叢書 第一卷	加藤咄堂	一・一〇	四 二五四	大東出版社
同 國體篇(4)(二)	河野省三	一・一〇	菊 二一〇	同
同 國體篇(3)(一)	同	一・一〇	菊 二六六	同
同 (第十三卷)	同	一・一〇	菊 二八九	同
同 神道篇下 第八卷	山口察常	一・一〇	菊 四五四	同
同 (第十卷)	同	一・一〇	菊 二七五	同
同 佛教篇(11)(上)	椎尾辨匡	一・一〇	菊 二三七	同
日本學叢書(靖獻遺言並講義)	淺見絅齋		菊 一六八	雄山閣
同 中朝事實(上) 第一卷	長坂金雄		菊 二四七	同
同 第七卷	同		菊 一八九	同
同 第二卷	同		四 一八一	同
同 志文遺文集第十卷	同		菊 一九五	同
日本經濟を護る 民衆叢書(1)	天野半三	・八〇	四 一四四	民衆時報社
日米提携の基調(叢書14)	大山卯次郎	非	菊 一二	國民文化協會
日本學叢書第六卷 奉公心得書・柳子新論	長坂金雄		菊 二〇六	雄山閣

泰文館の農村指導書

山崎延吉先生著	農村の新教育 全村學校	二、五〇	一、四〇
	農村瑣談	一、五〇	一、四〇
	農道說語	一、五〇	一、四〇
	世に立つ道	一、五〇	一、四〇
富田文雄	戰時農村對策と戰後の經營	二、〇〇	一、四〇
谷本龜次郎先生著	農家經營大全	三、〇〇	一、四〇
	農村文化の建設	二、五〇	一、四〇
	合理的農家經營の實際	一、八〇	一、四〇
	理想農村の建設	二、五〇	一、四〇
	農家を富ます道	一、三〇	一、四〇
香月秀雄	日本精神に基く優秀村建設	二、〇〇	一、四〇
菅原龜五郎	日本一の百姓 松本喜作翁の 農家經營	一、三〇	一、四〇
山本瀧之助	青年の天地	一、〇〇	一、四〇
秀島寅治郎	農民の歩みたき道	一、〇〇	一、四〇
增田亮一	銃後農民革新の書	一、五〇	一、四〇
	農村更生の秘訣	一、六〇	一、四〇
熊谷辰治郎	鄕土に輝く人々	一、五〇	一、四〇
	青年團の行くべき道	一、三〇	一、四〇
岩谷愛石	農村青年の行くべき道	一、〇〇	一、四〇
	自力更生に依て救はれた村々	二、二〇	一、四〇
堀先準生爾著	スイカ栽培の實際	一、五〇	一、四〇
	キウリ栽培の實際	一、三〇	一、四〇
	ナス栽培の實際	一、三〇	一、四〇
	トマト栽培の實際	一、五〇	一、四〇
	露地メロン栽培の實際	一、五〇	一、四〇
	玉ネギ栽培の實際	一、三〇	一、四〇
笠間治三郎	結球白菜の栽培法	一、二〇	一、四〇
	實地研究 漬物の漬け方	二、三〇	一、四〇
大石俊雄	高級葡萄露地栽培の實際	一、五〇	一、四〇
五十嵐孝治	實用果樹栽培と果樹園經營の實際	三、八〇	一、四〇
高橋廣治	高橋實驗養鷄法	三、八〇	一、四〇
	養鷄難問五百題	一、五〇	一、四〇
衣川義雄	實用家畜の飼ひ方	一、五〇	一、四〇
古谷春吉	狸の飼ひ方	一、五〇	一、四〇
新井德太郎	兎の飼ひ方と利用法	、九〇	九〇
深澤正策	實用養兎の新研究	一、二〇	一、四〇
米野與七郎	アヒルと七面鳥の飼ひ方	一、三〇	一、四〇
馬俊雄	アンゴラ兎の飼ひ方	一、二〇	一、四〇
谷本保夫	鰌の飼ひ方	、九〇	九〇
	蜜蜂の飼ひ方	一、二〇	一、四〇

泰文館 (圖書目錄進呈)
東京・神田・神保町一の五十
振替口座東京六七六〇三

定評ある森山書店の新刊重版書

東京・神田・小川町ビル
電話神田(25)三〇八〇
振替東京三二九一九

著譯者	書名	定價	送料
日本會計學會	會計學の諸問題Ⅰ會計理論	二・〇〇	一四
同	Ⅱ原價計算	二・〇〇	一四
同	Ⅲ會計監査	二・〇〇	一四
同	評價問題研究Ⅰ評價總論	二・〇〇	一四
同	Ⅱ評價各論	二・〇〇	一四
同	Ⅲ評價學說研究	二・〇〇	一四
日本會計研究學會	戰時體制下の會計問題	一・八〇	一四
吉田良三	間接費の研究	二・五〇	一四
土岐政藏	原價計算研究	二・五〇	一四
高瀨莊太郎	グッドウヰルの研究	四・八〇	三三
金子利八郎	簿記新論	三・二〇	三三
畠中福一	勘定學說研究	三・五〇	三三
佐藤雄能	鐵道會計研究	三・五〇	三三
大倉義雄	紡績業の會計と其經營	三・八〇	三三
井上達雄	例解會計簿記精義 增訂改版	二・三〇	二

著譯者	書名	定價	送料
西垣富治	會計學提要	二・五〇	一四
シュマーレンバッハ 土岐政藏	動的貸借對照表論 上卷 下卷	各二・六〇	各一四
青山金一郎	商業組合簿記精說	三・二〇	一四
野本悌之助 野瀨新藏	企業財政の比率分析	二・八〇	一四
長谷川安兵衛 增補	豫算統制の研究	一・六〇	一四
同	豫算統制の實證的研究	一・三〇	一〇
井上達雄	簿記組織論	二・〇〇	一四
古川榮一	豫算統制論	二・三〇	一四
酒井正三郎	經營技術學と經營經濟學	二・五〇	一四
同	保險經營學	一・八〇	一四
馬場敬治	經營學研究	三・五〇	三三
經營學研究會	米國の經營學	二・三〇	一四
池內信行	經營經濟學序說 第一分冊 第二分冊	一・〇〇 一・六〇	各一〇 三
A・ホフマン 向井梅次 改譯 增補	經營經濟學	五・五〇	三
福田德三博士 追憶論文集		七・五〇	四五

農民文學懇話會 責任編輯 四六上製函入 定價壹圓九十錢 總頁四五〇 送料十四錢

土の文學作品年鑑

昭和十四年版

農民文學作家の一九三八年度に於ける全收穫を懇話會が責任編輯せる決定版である。

	(内容)	
土堤の樣	和田傳	佐藤正夫
母おこ樣	丸山義二	佐藤惣永
燕	伊藤永之介	中本たか子
甍愁霜	打木村治	吉田十四雄
晩鐘	小山いと子	中本悟
朝峠のたより	橋本英吉	森山啓
牧場	佐藤民寶	鏑木研一
米山村の人々	佐々木幸一夫	和田勝史
	楠本雄	博
	石原文子	新居格

お百姓の重役
文學の新世代
今後の農民文學
農民演劇の發展
文學と政治の關係
日本文學と農民文學

四六版三八六頁 定價一・四〇 送料一四

敗走千里

陳登元著 別院一郎譯

既に十萬部突破！敗走兵の現實を描いた血の長篇

杉山平助氏曰く＝日支事變の支那軍の實情を知ることの手がかりになるのにこれ以上のものはないやうに思はれます。（大朝）

四六版三八三頁 定價一・四〇 送料一四

督戰隊

別院一郎著

督戰隊とは何か、といふ問ひに答へるしらべた藝術の最高峰であり、督戰隊といふ特殊な世界を徹底的に描いた神品であり、この種の小說としてそのトップに立つものである。

四六版五〇〇頁 定價一・四〇 送料一四

蔣介石

別院一郎著

著者曰く＝何れにせよ、この書が戰爭遂行中の日本にとつて何よりのよき記念となることは云ふまでもないが、同時に、蔣自身にとつても、絶好の記念となることを信じて疑はない。

秘密の上海

J・フオントノア著 市木亮譯

四六版三二〇頁 定價九四 送料一〇

＝謎の上海を背景に不可解な支那國民性の皮膚と血と肉をぢかに感覺せしめる驚嘆すべき好讀物！

和田傳著 小說 風土

四六版三二〇頁 定價一・四〇 送料一四

「沃土」以上の傑作！長塚節の「土」にも優る神品＝現代「土の文學者和田の代表作！

「風土」一卷に溢れるものは、限りなき土への愛着である。土に生れ、土と共に生き、土に還る。この農民の姿こそ尊い。土は生きてゐる。これはこの作者の信念である。だからこそ「風土」一卷には尊い眞實性が溢み出てゐる。

教材社
東京駕籠町 小石川區小町一八九
振替東京三四五六番

◇好評の機械参考書◇

宮脇先生著	自習機械製圖法	定價	1.50	
		送料	.12	
小林先生著	實用旋盤工作法と工具	〃	2.30	
		〃	.14	
林先生著	機械工作法熟練作業まで	〃	2.80	
		〃	.16	
宮脇先生著	新式機械圖面の讀み方	〃	1.80	
		〃	.12	
佐藤先生著	各種標準規格鐵鋼材料機械製作法薄鋼板	〃	3.00	
		〃	.24	
宮脇先生著	交換齒車計算法	〃	1.50	
		〃	.12	
中央工作研究所編	獨習旋盤でねぢを切る法	〃	.80	
		〃	.10	
吉原先生著	メートル吋齒車計算早見法	〃	1.20	
		〃	.10	
大塚先生著	板金工及製罐に必要な板取秘法	〃	1.80	
		〃	.10	
大塚先生著	作業指針鋼の燒入秘法	〃	1.30	
		〃	.10	
坂野先生著	機械工に必要な鍛工と燒入法	〃	1.20	
		〃	.12	
原先生著	金屬及非金屬一般材料實用機械	〃	1.80	
		〃	.12	
小林先生著	工場用旋盤工作法	〃	1.20	
		〃	.12	
宮脇先生著	工場用ケガキ作業	〃	1.20	
		〃	.12	
渡邊先生著	工場用齒車切削法	〃	1.20	
		〃	.12	
宮脇先生著	工場用手仕上作業法	〃	1.20	
		〃	.12	

東京市小石川區表町一〇九 **中央工學會** 振替東京六六一〇四 電話小石川三八六三

長崎書店

小店は基督教神學書類の刊行を主とするに付一般書店には常備せざる事多し。御購求希望の向は最寄書店に乞御註文。出版目錄申込呈

東京市豐島區西巢鴨三丁目七〇三
振替口座東京七一八八六番

小川正子著 **小島の春** 價一・二〇（〒一〇）文部省推薦 萬人感激の書。改版總ルビ付

ド・メーストル著 水谷謙三譯 **シベリアの少女** 價一・〇〇（〒一〇） 附 アオスタ市の癩者

內田守人編 **島田尺草全集** 上製價一・八〇（〒一四）

ジャックス著 林文雄譯 **モロカイのマザー・マリヤンヌ** 價一・〇〇（〒一〇）

基督教書類（刊行總數百餘點）

柏井園著 **基督教史** 價三・五〇（〒一四）

柏井園著 **基督教小史** 價一・〇〇（〒〇・〇六）

征矢野晃雄著 **アウグスチヌス研究** 價二・五〇（〒一四）

高桑純夫譯 **聖トマス・アクイナス** 價二・五〇（〒一四）

桑田秀延著 **神學の理解** 價二・五〇（〒一〇）

宮本武之助著 **基督教倫理學の根本問題** 價一・五〇（〒一〇）

岡田稔著 **改革派教會の神學** 價一・八〇（〒一四）

山谷省吾著 **パウロの神學** 價三・五〇（〒二二）

ロマ書（新譯と解釋） 價一・八〇（〒一四）

テサロニケ前後書 **ガラテヤ書** 價一・五〇（〒一〇）

コリント前書 價一・八〇（〒一四）

コリント後書 價一・五〇（〒一〇）

新約聖書要解（全十九卷） 刊行中

基督教文庫（既刊二十五卷）

基督教叢書（既刊十卷）

さくらフヰルム

寫眞器械
寫眞製版機械
同材料

日本橋區室町三丁目壹番地

株式會社 小西六

支店 大阪市南區長堀橋筋一丁目四六
出張所 福岡市上西町三一
出張所 大連市西通リ
配給所 京城府蓬萊町一丁目二七
工場 六櫻社 東京市淀橋區十二社三二〇
同分工場 東京府下日野町富士塚六八三八

電話日本橋(24)四一八一番(代表)
振替口座東京六〇〇番(9)一六六〇番

さくら印画紙

◆益々好評大増刷◆

燦たり文化日本

日本文化論纂

建國大學助教授 大森志朗編

悠久二千六百年興亞の春を壽くとき！
香り高い日本文化の琴線に觸れよ！

四六判箱入
クロース製寫眞版入
定價 一・二〇
送料 一二

△文化は歴史の相をもつて顯現する。日本にいかなる文化があり、日本文化とはいかなるものか具體的に理解し會得することは、緊要なるにも拘らず、甚だ容易とは言ひ難い。現代及び近代の知性を代表する諸家の卓越せる論説を、爰に、集錄せるは、日本三千年の歴史に脈うつ文化への反省と把握とが來るべき新東洋文化の建設に寄與するところ少からざるべきを信じてである。

日本文化の諸相は、もとより、爰に輯錄せるを以て盡きず、割愛せるものまた二三にして止まらないが、顯現せる日本文化への理解と反省とに機緣を供するを得ば幸。單に過ぎ來り過ぎ去しものは歴史にあらず、徒らなる過去の記憶や追憶は文化の把握とは言ひ得ざるのゆゑを以て（編者のことば）

發行所 東京市神田區美土代町二〇番地 振替東京六一五四番 拓文堂

上泉秀信著・中川一政裝幀

わが山河
伴野徳子著
四六判四二〇頁 上製函入 定價貳圓八拾錢 送料十四錢

倫敦の家
宮澤賢治著 坪田譲治解説 小穴隆一繪
四六判三五〇頁 寫眞五〇 定價壹圓六拾錢 送料十四錢

風の又三郎
童話集
ノート判二八四頁 挿繪八枚 定價貳圓 送料二十二錢

遊佐馬術
陸軍少將 遊佐幸平著
菊判二一〇頁 寫眞・布裝上製 定價貳圓 送料十四錢

馬の散歩
隨筆集
吉植庄亮著
四六判三六八頁 上製函入 定價貳圓 送料十四錢

宮澤賢治名作選
松田甚次郎編
四六判五九八頁 寫眞一一 布裝上製函入 定價三圓 送料十四錢

土に叫ぶ
普及版
松田甚次郎著
四六判四一四頁 寫眞三五 定價壹圓貳拾錢 送料十四錢

上泉秀信著・中川一政裝幀

愛の建設者
外務省情報部推薦
大日本青少年獨逸派遣團長 朝比奈策太郎著
四六判四三六頁 寫眞一一 定價壹圓八拾錢 送料十四錢

若きドイツ
清水玄著
四六判二三六頁 寫眞五〇 定價壹圓貳拾錢 送料十四錢

國民健康保險法
飯沼正明著
菊判二九八頁 定價貳圓五拾錢 送料十四錢

航空隨想
日高巳雄著（近刊）
四六判二二二頁 寫眞四 定價八拾五錢 送料十錢

軍機保護法
改訂版
日高巳雄編
菊判四七四頁 定價參圓五拾錢 送料二十一錢

軍機保護法
並ニ關係法規
日高巳雄著
菊判一四四頁 定價貳拾錢 送料三錢

軍用資源秘密保護法
近刊

發行所 羽田書店
東京・日本橋・通二丁目・エンパイヤビル
電話日本橋二八七〇番 振替東京七八二六六

定評ある桑文社の名著八點

海野昌平編著（増補二十五版）
趣味常識 故事と成語
四面楚歌、牛耳を執る、人口に膾炙等興味深き故事と熟語千五百語の起源と解説を施せる名著。
新四六判美裝 定價一・七〇 送二四

高橋福雄著（普及版）
士道至言
内外の兵書史書佛書和歌集漢詩集より含蓄あり迫力に富む名言名訓一千篇を收め解説を施せるもの。
四六判美裝 定價一・〇〇 送二四

高橋福雄著（好評十版）
趣味的解説 警句と名言
千餘句に亘る不滅の名語、警句に興味的解説と鋭き批判を加へたる現代知識人待望の書。
四六判美裝 定價一・四〇 送二四

高橋福雄著（改訂新裝版）
名言解説 日本精神
「士道至言」の拔萃版にして何れも日本精神の眞髓を衝く堂々たる格調を持つもの四百語を收載せる國民必讀の書。
菊半截判 定價一・八五 送〇九

渡部善彦著（好評四版）
迷信と事物の由來
丙午、鬼門、三隣亡等の代表的迷信の由來及び社會各部門に亘る興味的事物三百五十項の起源を解說す
四六判美裝 定價一・七〇 送二四

吉本英一著（好評十版）
文章資料 美辭と形容
文章談話演說の上に最も重要な要素をなす美辭的形容と譬喩千五百語の解說と適切なる運用を示したるもの。
菊半截判 定價一・九〇 送〇九

吉本英一著（好評十版）
同訓異字 用字便覽
漢字を使用する上に是非とも必要な同訓異字の使ひ分けを例を擧げて示した萬人必携のポケット辭典。
四六半截判 定價一・三五 送〇三

伏見韶望著（最新刊）
趣味常識 俚諺と世相
最も趣味深き七百餘の「ことわざ」を集錄し日常生活の話柄古今の名文小說中より該適な引例を求めて解說を施せるもの。
菊半截判 定價一・〇〇 送二四

發兌 桑文社
東京市神田區錦町一ノ三錦ビル
振替東京三五二二五番

東洋經濟新報社
發行圖書目錄

東京市日本橋區本石町三ノ二
振替口座東京六五一八番

週刊	東洋經濟新報	一ケ年前金一・九〇〇 半ケ年前金一・〇〇〇 部三〇（郵稅共）			
月刊	英文東洋經濟新報	一ケ年前金一一・〇〇 部一・〇二（郵稅共）			
月刊	東洋經濟 統計月報	一ケ年前金七・五〇 部〇・六五（郵稅共）			
東洋經濟編	株式會社年鑑（年一回發行）	四六倍六五〇頁	三・〇〇	一四〇	
東洋經濟編	經濟年鑑（年一回發行）	四六倍三四四頁	三・〇〇	〇〇〇	
東洋經濟編	生命保險會社の批判（年一回發行）	四六倍一六〇頁	一・〇	二〇	
東洋經濟編	株界二十年（圖表付）（年一回發行）	四六倍二八〇頁	一・五	〇〇	
東洋經濟編	會社かゞみ（年一回發行）	四六倍三〇四頁	一・二	六〇	
東洋經濟編	會社四季報（年四回發行）	ポケット型三八四頁			六〇
東洋經濟編	日本經濟年報（年四回發行）	四六判三二四頁			一・〇六〇
大藏省編	外國貿易月表	四六倍月一回	月一六	八六五	
加藤直士著	人の使ひ方使はれ方	四六判一六〇頁			五六〇
加藤直士著	就職より立身へ	四六判一四四頁			五六〇
菊地主計著	滿洲重要産業の構成	四六判三六〇頁			一・八二〇
吉田政治著	最近の支那通貨事情	四六判三五〇頁			一・五九〇
淺見審三著	コールマネー・マーケット	菊二三三頁判			二・〇五〇
中外商業編	商品辭典	袖珍四八〇頁判			一・八九〇
山邊習學著	心身鍛鍊の書	四六判四三〇頁			二・〇五〇
鶴井貫一郎著	ナチス國防經濟論	四六判四四〇頁			二・〇五〇
加藤直士著	世に勝つ	四六判三二〇頁			一・五二〇
渡邊昌太郎著	重工業經營の分析	四六判二八八頁			一・五二〇
井上秉雄著	長生きの科學	菊二六二頁判			一・八四〇
石橋湛山著	激變期の日本經濟	四六判六四四頁			二・五八〇
安田穗太郎著	化學療法の啓蒙	四六判三五〇頁			二・〇二〇
後藤朝太郎著	支那經濟夜話	四六判二一五頁			一・〇九〇
三澤弘次譯	ヨーロッパの外交戰	四六判二八五頁			一・五九〇
東洋經濟譯	英國の實力	四六判二六〇頁			一・五九〇

武士道	山岡鐵舟述 勝海舟評	改帖	送一・二〇〇

鐵舟命がけの武士道論。七萬部突破感激溢るゝの書。

死生一如	釋宗演述 太田悌藏編	送	一・八〇 一四

禪門の巨匠宗演禪師の禪話集、一讀生死一如を悟らん

道を求めて	文博 高楠順次郎著	送	一・八〇 一四

過去十年、博士が諄々として說ける名講話八十餘篇。

青春の息のあと	倉田百三著	送	一・三〇 一四

或る神學青年の手紙の束

光り合ふ女性たち	倉田百三著	送	一・五〇 一四

あらゆる階級の女性が、夫々悟りの道に入つた眞實の物語り書。

生活と一枚の宗教 附、治らずに治つた私の體驗	倉田百三著	送	一・三〇 一四

生活と信仰は常に全一にして初めて向上安易なる絕對の生活を得る。

法然と親鸞の信仰	倉田百三著	送	一・八〇 一四

法然の一枚起請文と、親鸞の歎異鈔を、信仰の最高峰文献として物語る。全卷信仰味に溢れ、恻々人の心を打つ

處世秘訣 孫子講話	塚原澁柿園著	送	一・八〇 一四

廿年絕版の名著遂に世に出づ。孫子の戰法を實戰に引例して生活勝利の法を說く。懇切を極む。

解脫への道	木村泰賢著	改帖 送	一・五〇 一四

人生の大問題、哲學、心靈、解脫の一大事を說ける名著。

清澤滿之先生の文と人	曉烏敏編	送	一・五〇 一四

近代の傑僧清澤先生の文と人を第一の弟子が編む。

隨筆 人	高嶋米峰著	送	一・五〇 一四

現代五十人物を月旦す。痛快他にその比を見ぬ名論集

日本年中行事講話	文部省認定	送	一・五〇 一四

日本に於ける年中行事の一切が懇切に解明さる。

佛敎美術講話	文博 小野玄妙著	送	八・〇〇 二二

印度、支那、日本に亘る佛敎美術の一切を圖版と共に解明す。

東京芝公園七ノ一〇
振替東京一九四七一番

大東出版社

好評最新刊並重版・改帖書（新刊書目、最後の表紙裏頁にもあり）

青年書房重版書！

室伏信高著
青年の書（決定普及版）
（四六判美裝三百餘頁 價一圓・稅十錢）

武者小路實篤著
愛と死
（四六判美裝三〇六頁 價一圓五〇錢・稅十錢）

醫聖ベルツ著 伊東鍈太郎譯
死と日本人
（四六判美裝一五〇頁 價九〇錢・稅十錢）

ヘルマン・ヘッセ作 伊東鍈太郎譯
郷愁 ペエテル・カーメンチント
（四六判美裝二六〇頁 價一圓三〇錢・稅十錢）

W・プライス著 澤田謙譯
日の出の子達
（四六判上製四八〇頁 價二圓二〇錢・稅十四錢）

ウイスコンシン大學教授 エックシタイン著 栗原古城・小田律共譯
全傳 野口英世
（四六判上製四三〇頁 價二圓・稅十四錢）

東京市神田區小川町二の十 振替東京七一五〇番
青年書房

本庄陸男著

石狩は懷く

「北海タイムス」十數萬の讀者を感動さした「石狩川は懷く」現代が扱はれ、その意味で未完の名作「石狩川」の現代篇が、本篇に想像されるものである。見よ、この良心！ この眞摯！

日本圖書館協會推薦圖書

四六判四五八頁
定價一圓六十錢
送料十四錢

長篇
石狩川（普及版）

「文藝春秋」九月號に川端康成氏曰く、本庄陸男氏の長篇力作「石狩川」は、墓碑銘を飾る意味もあつて、受賞したいものであつた。しかしこれは、芥川賞以上の方法で表彰されるべきかもしれない、と。既に「蒼氓」「阿部一族」の熊谷久虎氏映畫化權を獲得し、新協劇團にて上演した名篇。

五七〇餘頁
定價一圓七十錢
送料十四錢

長篇
堀田昇一著
自由ケ丘パルテノン（附 旋風）
定價一・三〇 送料・一四

近刊
石川巖著 **藤村書誌**
菊岡久利著 詩集 **見える天使**
限定三百五十部

東京市淀橋區戸塚町一丁目
大觀堂書店
振替東京四六八一 電話牛込六六六三

特選家庭料理千五百種

大好評！四版出來

何處にでもある材料で、いつでも直ぐ出來て、榮養美味理想的な家庭料理千五百種を集めた堂々たる內容であります。然かも索引に便利なるやう材料に依つて分類しました是非一家に一冊備へたい料理書であります。

大日本料理研究會編

總クロース函入金文字 菊判三二〇頁

定價金壹圓六拾錢 送料金十四錢

★料理報國の大殿堂

味噌汁百珍	定價・八五	〒一〇	接客讀本	定價一・八〇	〒一〇
モダン美味家庭食	一・三〇	一〇	支那料理基本知識	二・五〇	一四
惣菜料理顧問	・八五	一〇	病人料理献立	・三五	六
支那料理辭典	・七五	六	四季客膳家庭料理	・三〇	三
家庭洋菓子の拵へ方	・二五	三	廢物を出さぬ支那惣菜	・三〇	三
美味し果物料理	・二五	三	日支洋麵類料理	・三〇	三
サンドウヰツチ百種	・二五	三	支那精進料理	・三〇	三
玉子料理十二ヶ月	・三〇	三	日本菓子の拵へ方	・三〇	三
卽席支那料理百五十種	・三〇	三	兒童の榮養標準貪	・三〇	三
漬物の漬け方全集	・三〇	三	貪餌療法病人料理	・三〇	三

發行所 料理の友社

東京市小石川區駕籠町二三八 （電話大塚二四七四番・振替東京二四三九八番）

文學博士 近藤壽治著・文部省推薦並選定（昭和十年九月七日）

改訂 日本教育學

〔最新刊〕

近藤壽治博士の名著日本教育學一たび出るや、歐米教育學模倣の濃霧忽焉として四散し、我が國民教育の根本原理玆に定立せられ、昭和新日本の指導精神炳乎として輝くに至る。宜なる哉、斯界の景仰と嘆賞を恣にし、再刷復再刷、遂に十八版を重ねしを以て、新に博士に乞うて最近時の學的傾向を盛り、日本國民獨自の教育學としての具體的顯現に力を注ぎ、全然改稿、まつたく裝を新にして世に見ゆることとなれり。切に前著御購讀の士の御再讀を俟つ。

菊判全一冊 總布綴五百頁 定價金三圓三十錢 送料金二十二錢

文學博士 近藤壽治著・文部省推薦並選定（昭和九年一月十五日）

人間學と國民教育

〔好評〕

日本教育の使命は、日本人を日本人にまで陶冶することでなければならぬ、過去の教育學は概念の教育でなければ動物教育學であつて、眞に活きた人間の教育ではなかつた。本書は著者獨特の研究によつて、三千年來繼續し發展し來れる地上唯一獨特の我が國民存在の意義を闡明し、日本教育の原理を顯彰せんとしたものである。

菊判全一冊 總布綴二百五十頁 定價金二圓 送料金十四錢

東京市日本橋區室町四番 振替東京二八〇番 寶文館 大阪市西區阿波堀通四番 振替大阪四三番

全國書籍業界唯一の機關誌

圖書月報廣告募集

料金（表四 金拾圓 表二 金九圓
（表三 金八圓 普通場所 金七圓

圖書月報購讀料金

毎月一回十五日發行
一ケ年分（送料共）金壹圓

圖書月報新刊目錄

○書店にて得意先へ配付の爲め御入用の向へは百冊實費金貳圓貳拾錢にて御引受致します
○三百部以上は表紙へ店名印刷致します
○御申込は毎月五日までに御願致します

東京書籍商組合
圖書月報部
大明通信社

廣告取扱所

神保格著 **國語音聲學入門** 價一・〇〇 送・一二

川島秀二著 **國文學女性史** 價三・二〇 送・一二

小島好治著 **國語學史** 價六・八〇 送・一二

霜田靜志著 相談に現れたる **子供の問題** 價一・五〇 送・一二

尾高豐作著 **母性愛** 價・七〇 送・一二

尾高豐作編 **子供の取扱讀本** 價・六〇 送・一二

霜田靜志著 **子供への理解** 價一・二〇 送・一二

長沼依山著 少年少女軍國物語 **祖國の旗風** 價一・五〇 送・一二

田中秀央 黒田正利著 **ギリシア文學史** 價六・八〇 送・一二

尾高鮮之助著 **印度日記** 價五・〇〇 送・一二

菅原兵治著 **師弟論** 價一・〇〇 送・一二

井上雅二著 **興亞一路** 價二・〇〇 送・一二

松本學著 **文化と政治** 價二・〇〇 送・一二

清水幾太郎著 **人間の世間** 價一・二〇 送・一二

シャハト著 景山哲夫譯 **防共ナチスの經濟政策** 價一・〇〇 送・一二

百々巳之助著 **ナチス獨逸を動かす人々** 價一・五〇 送・一二

安岡正篤著 **童心殘筆** 價二・三〇 送・一二

東京市神田區駿河臺三ノ六 **刀江書院** 振替東京七三一一八

明解獨和辭典

DEUTSCH-JAPANISCHES TASCHENWÖRTERBUCH

同志社大學教授 **石原 質編·最新刊**

語學界に明光を點ず

これから獨逸語を學ぶ人々は先づ辭書の選擇から取り掛らねばならぬが、其の適、不適に依つて學習上甚大の影響あることは誰しも經驗の存するところである。

さて飜つて吾が語學界を觀るに既に數種の獨和辭典が刊行されてゐる。この際新に一書を世に送らうとする以上は、そこに何等かの著しき特色を發揮しなければ全く意義が無い。然るに此處に刊行を告げたる明解獨和辭典は編者の多大の抱負と卓拔なる見識を以て編纂されたもので、徹頭徹尾內容の明解を特色となす辭書の明朗化に見事成功するに至り、新時代の辭書として正に語學界に明光を點ぜんとするものである。

——內容見本送呈——

四六判·本綴·クロース製本堅牢·裝幀高雅二段組·紙數897頁　正價 4圓50錢　郵稅 內14錢 外21錢

東京市本鄉區龍岡町 振替東京6338番　**南山堂書店**　電話 小石川 0423番 4757番 4771番

片山正雄著	片山正雄著	片山正雄監修	橋本忠夫監修	醫學博士 高田蒔著	文學士 溝邊龍雄 文學士 篠田一人著	竹內萬兵衛著
雙解 **獨和大辭典**	雙解 **獨和小辭典**	袖珍 **獨和辭典**	假名發音附 **標準獨和辭典**	日獨 **醫學論文辭典**	**獨逸要語集解**	詳註 **獨文書簡**
縱廿一糎橫十二糎·紙數二千四百頁 特金一〇·〇〇〇 並金九·〇〇〇 送料(內地二二 領土六二	縱十八糎橫十糎·紙數一千三百頁 特金五·〇〇 並金四·五〇〇 送料(內地一四 領土三四	縱十六糎橫九糎·紙數六百五十頁 金二·八〇 送料(內地一〇 領土二二	縱十九糎橫十一糎·紙數八百頁 金三·八〇 送料(內地一四 領土二五	縱十七·五糎橫九·五糎紙數一千二百頁 金七·〇〇 送料(內地一四 領土三八	縱十八糎橫十糎·紙數四百十頁 金二·〇〇 送料(內地一〇 領土二二	縱十九糎橫十三糎·紙數二百頁 金二·〇〇 送料(內地一四 領土二五

東京市小石川電話 振替東京 小三〇五 御茶ノ水通町 池南〇〇 株式會社 **南江堂** 東京都中央區日本橋區通三丁目一九番地 電話 京橋 一五〇〇 振替東京 三一九四

文部省推薦

聖戰歌集

讀賣新聞社編

佐々木信綱 齋藤茂吉 北原白秋 選

眞實は何より胸を撲つ。この逼迫感は技巧を越え、類型を越えその本質を以つて直接に人を撲つのである。多少稚ではあつても止むに止まれぬ本然の感情がその身内を搖り動かし、この聖戰下に於ける日本精神と傳統の血脈とを以て萬人に共鳴せしむる力と響きとを放つ。是が爲に波瀾も生じ時代の新技巧をも爆發させる。輝やかしい未來への示唆をも感得せしめるものである。（北原白秋）

定價一・七〇

これは、著者が折にふれて文化と外交について、いろ〳〵のことどもを書かれたものを集めて新たに一本とされたものである。音樂・藝術・學術・スポーツ等が、一國と他國との外交の分野において、いかに大きな役割をつとめてゐるかを、興味深い實例をあげて誠に判りよく說明してある。古賀政男の「酒は涙か」の甘美な調子がラジオを通じて芬蘭の街々にながれ、日本版の「タンゴ」を南米の人達が樂しい一夜を踊り拔くといふような話を讀むとなにかなし、身の内がぞく〳〵するのを覺えて、日本文化の將來を想うと嬉しくなる。

外務省文化事業部第二課長 市河彥太郎著

文化と外交

定價一・六〇

女は働らかねばならぬ

R・オールデイントン 岡本隆三 牧屋善三 共譯

四六判三八〇頁 定價一・八〇

原著者は英國文壇の一明星、その小說はいづれも新しい意識をもつた面白い作品と云ふことになつてゐる。本著は歐洲大戰中のロンドンで、新しい時代にめざめた女性が職業戰線になめる苦難の數々を描寫したもので、大戰を物語つてゐる點で勝れた作品である、力のこもつたものだけに、現在の新しい情勢下についても考へ得るような重大問題がとりあつかつてある。（中外商業新報評）

支那の自畫像

張恨水著 山縣初男譯

定價一・四〇

原田謙次著

定價一・五〇

伊太利亞文學展望

軍閥の苛斂誅求に泣く慘めな支那四億の民衆？ 然しこれが支那の自畫像だ。本書は支那軍閥の內幕を曝露し、現代支那の社會相を如實に描破した問題の作だ。

東京市神田區淡路町二ノ七

岡倉書房

電話神田二〇一〇番 振替東京二五九三五番

文學士 青木武助先生著

新訂 大日本歷史集成

菊判一四〇〇頁、五卷通計七、〇〇〇頁餘 背皮製別漉用紙 小口マーブル付 最モ堅牢ナル最上製本

全五卷

定價各卷六圓五十錢

送料（書留）內地三十三錢 滿・鮮・臺六十二錢

新訂發賣

古事記・風土記の昔から、昭和の現代に至るまで、光輝ある帝國の歷史を叙した著述は、その類も數も、到底數へきれないのであるが、そのあるものは餘りに一方の見解にのみ偏して、多くの公論・定說を顧みず、あるものは餘りに專門に傾いて、國民的說話を忘れ、あるものは興味にのみ囚はれて中心を失ひ、あるものは細に流れて閱讀に堪へず、あるものは簡に過ぎて參考資料のもとむべきものなく、中で最も有力なものも、限られた時代、限られた部類のものが多く、といつて夫等のすべてを購讀する事は費用と時間と勞力の三者を徒費するに止まるので歷史を學ぶ學生、敎師の不便思ひやられる現狀である

本書は、これらの缺陷のすべてを補ふべく、著者畢生の努力によつて編述されたもので、小學校、中學校、高等女學校、師範學校等の敎科書の組織に準據し、古今幾多の公論、定說を集成して、日本全史の根幹となし、それに反說、傳說、その他一切の史料を參照し、個人の小傳、地名の解說、歷史地圖、各種の圖表を添へるなどして、日本歷史の一貫した。しかも細密な知識と共に、無數の參考資料を集めた一大國史圖書館たらしめてゐる。だから本書によつて學ぶ學生、これによつて導く敎師の利便は、他の如何なる史書にも優り、國史の研學は、この一部によつて完しといへるその第五卷末に添へた中等敎員試驗問題と解答は明治十八年該試驗開始以來今日に至るまでの日本史の問題の如きも必ず受驗者のよき友となるであらう。

本書は以上の特色をもつて、出版以來既に數萬部を賣つくしたものであるか、國家多事、國民精神作興の聲喧しい日に際し、その需要特に著しいものに鑑み、更に新訂を加へ、新裝を施し、定價の切下げ全五册を同時に發賣することになつたものである。敢て小學校、中學校、高等女學校、師範學校をはじめ、各種の中等學校、專門學校、その他、苟くも學校と名のつくところに、圖書館の名のつくところに、歷史の志ある人々の書架に、日本國民の家庭に、本書の備付けをおすゝめする所以である。

發行所 隆文館株式會社 東京・京橋・槇町一ノ一 振替東京八五三番

發賣所 文錄社 東京・京橋・銀座西一 電話京橋六六八五・六七一〇 振替東京三二三四六番

文部省推薦

理學博士 小倉金之助序

鏡淵稔★三名著

★兒童讀物の最高書として文部省推薦

趣味の世界數學史物語

四六判上製 定價二・〇〇 送料十四

本書は世界各國に於ける數學の歷史を面白く兒童に興味あるやうに書いたもので嫌な數學も本書を讀んでゐる中にズン〳〵興味を起させる。苦心の良書。

趣味の世界數學讀本

新菊判上裁 定價二・五〇 送料十四

世界各國に傳はる數學に關する面白い物語を兒童化し數學課外讀本として編述したもので本書を讀みゆく中に不知不識の間に數學がすきになる唯一の好著。

趣味の世界數學遊戲

四六判上製 定價二・五〇 送料十四

いやがるむつかしい數學を奇智とユーモアとで遊戲化したもので誰れが讀んでもとても面白く遊戲をなしつゝ數學がよくわかつてくる今迄にない良書。

發行所 東京市本郷區元町二の二一 振替東京五七五七番 啓文社

養賢堂發行 四大專門雜誌

▼斯道の學理と實際とに眞に役立つ最優雜誌！

農業及園藝

農學研究の一大文獻と、農村收益の實際方法と農村更生の根本對策とを包含せる最新智囊！

毎月一回（一日）發行 普通號三々判二三〇頁 一册 六十錢・送料四錢 六册前金 三圓六十錢 十二册分 七圓二十錢 （新年倍大號を含まず）

▼生物學の研究に、教材に、應用に、最適雜誌！

理論應用 植物及動物

生物研究家・博物教育家・醫學・獸醫・畜產・養蠶水產林學・作物・園藝各研究家の必讀新智囊

毎月一回（一日）發行 普通號三々判一六〇頁 一册 七十錢・送料三錢 六册前金 四圓二十錢 十二册分 八圓四十錢 （新年倍大號を含まず）

▼研究にも實地にも學修にも眞に役立つ最優誌

理論實際 機械及電氣

工業關係の學者技術者、教師當業者の最新智囊！學生、技工の將來技師に昇進の修學資料

毎月一回（一日）發行 普通號四六倍一五〇頁 一册 七十錢・送料四錢 六册前金 四圓二十錢 十二册分 八圓四十錢 （新年倍大號を含まず）

▼斯道の海外新智が出版後二ケ月に邦譯で讀める

內燃機關邦譯文獻集

東大教授・航研所員・工學博士富塚清氏編輯に係り、斯道卅餘の海外雜誌より摘錄全譯速報す

毎月五日・廿日發行 普通號四六倍判七十頁 一册 六十錢・送料二錢 三ケ月（六册）三圓十二錢 六ケ月前金六圓廿四錢 （臨時特大號を含まず）

發行所 東京市本郷森川町七〇〇 振替東京二五七〇〇番 （電話小石川六五九番） 養賢堂

老功技術者の編纂せる
我國空前の測量典籍

三角測量
多角測量

元陸地測量部長 陸軍中將 石井英橘閣下推奬
元陸地測量部教官朝鮮土地調査技術課長・内務省都市計畫復興局整地部測量主幹 豐田四郎先生編著

〔內容見本進呈〕

四六倍版箱入上製四百餘頁附圖百五十
定價六圓五十錢
送料 內地三十錢 外地五十錢

四六版箱入上製三百餘頁附圖百二十別冊規矩及經矩表添附
定價六圓五十錢
送料 內地三十錢 外地五十錢

主要目次
一 緒說 2 地球の形狀及大さ 3 撰點 4 造標 5 其線測量 6 水平角測量 7 眞方位測定・附緯度及時角に依る水準測量 8 觀測角値の調整 9 邊長・方位角 10 坐標計算 11 球面並に扁球面坐標 12 測地學的圖射影 13 垂直

附表目次
1 諸常數及其の對數 2 地球の大さに關する諸元 3 傾斜角に對する高程差・及傾斜に對する更正 4 曲率半徑表 5 SSS 計算に要する對數 6 係數緯度及經度弧長 7 緯度と方位角とに關する地球曲率半徑表

主要目次
1 諸說 2 計畫選點竝に設標 3 角測量 4 角測量 5 間接距離測量 6 多角測の測角と方位角算定 7 多角測量の計算 8 特殊の諸測算法 9 多角點の利用 10 術語日英對照

別冊規矩及經矩表目次
(1 視距化算表 2 邊長反數表 3 正切餘切眞數表 4 簡便經緯係數表 (正眞數表)

發賣所 東京市神保町二丁目六番地 電振替九段二四番 電話日本橋二六番
發行所 東京市神田區三橋通六番地 電振替東京八二〇番 電話日本橋三一二番
敬業社書店
丸善株式會社

實物集成 株主總會關係書式集 妹尾一雄編 菊判三七二頁 定價三·五〇 送料一四

會社實務と法律との交涉 井上勝馬著 菊判三八四頁 定價三·二〇 送料一四

新會社法の重要諸點 小林德三郎著 四六判二一五頁 定價一·二〇 送料一〇

株式事務の法律問題 太田義繁著 四六判二三四頁 定價一·三〇 送料一〇

取締役の會社取引 平井信也著 四六判二〇〇頁 定價一·二〇 送料一〇

有限會社法講話 岡野哲二著 四六判二六五頁 定價一·三〇 送料一〇

公社債券喪失と善後處置 柴田泰雄著 四六判二〇〇頁 定價一·二〇 送料一〇

外國爲替管理法精義 石卷良夫著 菊判五〇一頁 定價四·二〇 送料一四

外國爲替管理法と銀行業務 後藤篤夫著 四六判二一五頁 定價一·二〇 送料一〇

外國爲替管理法講話 石卷良夫著 四六判四六一頁 定價二·五〇 送料一四

發行所 東京市麹町區九段一丁目一番地 振替東京四二八番 電話四谷二一 文雅堂

ジイド・リスト共著
宮川貞一郎譯

經濟學說史

（上卷）定價三圓五十錢 送料二十二錢
（下卷）定價三圓八十錢 送料二十二錢

（上下）完成

世界的名聲を博せる經濟學說史の完譯成る！

安んじて世に薦める

慶大教授 高橋誠一郎氏

私が學窓を出でゝ經濟學史の研究を思ひ立つたのは明治四十一年春のことであつて、ジイド等の「經濟學說史」は未だ出版せられて居らず、依據し參考す可き經濟學說史に關する良書は極めて稀少であつて、已むなく唯盲目的に本源の資料にしがみついて居つたに過ぎなかつた。然るに其の後幾許ならずして本書の出版を見、之を手にすることを得るに及んで、愚昧魯鈍な私も暗夜に一條の光明を認め得たやうな氣持ちがした。

（中略）譯文は流暢を極め、些かも澁滯の跡を止めてゐない。恐らく は最も安んじて世に薦めることの出來る好飜譯の一つであらう。

（東京堂月報）

東京 東京堂 振替 東京 九二七〇番 京橋區 町 下 段 麴 町

八五八

好評裡にあり代表的參考書

★全國中等學校七百餘校御指定★

米本新次先生著 改訂	英語の第一歩	定價一圓五十錢 〒十四錢	紙數五二〇頁 挿圖豐富 總クロース製	小林幹雄先生著 受驗補習	代數學習の軌道	定價二圓 〒十六錢
米本新次先生著 改訂	英文法の第一歩	定價一圓五十錢 〒十四錢	紙數五四〇頁 挿圖豐富 總クロース製	佐野一郎先生著 受驗參考	英語便覽	定價一圓 〒十錢
米本新次先生著	英作文の第一歩	定價一圓五十錢 〒十四錢	紙數五四〇頁 挿圖豐富 總クロース製	佐野一郎先生著 受驗學習	力の英作文	定價一圓八十錢 〒十四錢	紙數五七〇頁 挿圖豐富 總クロース製
藤村與市先生著 學習受驗	物理學の第一歩	定價二圓 〒十四錢	紙數五百餘頁 挿圖六五〇個 總クロース製	田所正躬先生著 佐野一郎先生著 受驗學習	力の英語	定價一圓六十錢 〒十四錢	紙數五百餘頁 挿圖豐富 總クロース製
藤村與市先生著 學習受驗	化學の第一歩	定價二圓 〒十四錢	紙數五五〇頁 圖版三五〇個 總クロース製	藤村與市先生著 受驗學習	力の化學	定價一圓五十錢 〒十錢	紙數三〇〇頁 圖版豐富 總クロース製
藤村與市先生著 新制	化學問題解釋法	定價六十五錢 〒三錢	紙數二三〇頁 圖版挿入 極美裝紙				

發行所 東京市神田區錦町一丁目七番地 振替東京(25)五三八七番 電話神田二三五八九番 文修堂

八五九

電氣雜誌 オーム

識知新の面方際實ずせ偏にみのの說學や論理
をも網羅し電氣家の血となり肉となる記事
ばかりで、眞に斯界の壓倒的歡迎を受け發
行部數每號一萬を突破して居ります。——
定價 50 錢　送料 3 錢

次取・版出書學工氣電

オーム社

東京市神田區錦町（振替東京20018）
大阪市北區堂ビル（振替大阪69205）

コンサイス東京地圖　定價・八〇　送料六

コンサイス日本地圖　定價一・五〇　送料一〇

コンサイス滿洲國地圖　定價一・二〇　送料一〇

コンサイス新支那地圖　近刊

日滿支展開地圖　定價・五五　送料三

日英兩文 東亞大陸詳圖　定價・四五　送料三

最新世界大地圖　定價・五〇　送料三

防共世界大地圖　定價・七〇　送料六

動亂の歐洲詳細圖　定價・四〇　送料三

蒙古吳鶴齡編 蒙古民族分布圖　定價一・〇〇　送料三

最新世界白地圖　定價・三八　送料三

ポケット東京案內　定價・四〇　送料三

大東京觀光アルバム　定價一・〇〇　送料一〇

大東京表現地圖　定價・四〇　送料三

大東京白地圖　定價・三三　送料三

三十五圖帙入 大東京區分地圖　定價一七・〇〇　送料三八

東京地形社

東京日本橋人形町角

電話茅場五四〇一

振替東京七六二七七

相模書房版
新刊重版書

日本航空發達史

歩兵大佐 竹内正虎著

著者多年の研鑽こゝに完成、皇紀二千六百年航空發達三十年を記念として上梓 思想史に始り現在に至る貴重な記錄、文献・概表・挿圖寫眞等完璧を期したる名著

四六判上製函入 定價四・五〇 送料・二二

＊建築家隨筆評論集第五＊

陸屋根

藏田周忠著

定評ある名論卓說にスケツチ、寫眞を配し著者自らの裝幀の下に上梓

四六判上製函入 定價二・五〇 送料・一四

甍

【いらか】岸田日出刀著 定價二・三〇 送料・一四

—日本圖書館協會推薦—

堊

【か〔ベ〕】岸田日出刀著 定價二・五〇 送料・一四

匠人談義

藤島亥治郎著 定價二・三〇 送料・一四

無双窻

佐藤武夫著 定價二・五〇 送料・一四

廂

（假題）岸田日出刀著 五月刊行

—以下續刊—

登臨行

山の隨筆 藤木九三
山の繪 足立源一郎著

菊倍判上下二冊帙入十二ポ組和紙印刷
A版參拾部限定參拾圓 B版參百部限定拾圓

熱河遺跡の美

岸田日出刀
土浦龜城著

新菊倍判全アート紙印刷挿入 寫眞百五十葉 定價八圓 送料二十二錢

三浦定之助著

魚の國

定價一・七〇 送料・一四

久留島秀三郎著

印度印度支那

定價二・八〇 送料・一四

圖書目錄御申込次第進呈

相模書房

東京日本橋通ノ四日本橋ビル
振替東京一三〇四八〇番
日本橋 九八〇・九八一番

★版スムイタは學語★

米國政府選定編輯部編纂	英語基礎單語四〇〇〇	一・二〇 送・一四	
倉長眞著	受驗英語新單語	一・二〇・〇九	
倉長眞著	英語基礎熟語八〇〇	一・〇〇・〇九	
倉長眞著	新英文解釋基礎一五〇項	一・〇〇・〇九	
倉長眞著	新和文英譯基礎八〇項	一・〇〇・〇九	
倉長眞著	英語入試問題種本調べ	一・三五・〇四	
佐川春水閲 遠藤武男著	和文英譯基礎單語句四〇〇〇	一・二〇・一〇	
松村寛著	英語會話練習帳	二・〇〇・一〇	
松村寛著	新聞英語の讀み方	一・八〇・一〇	
松村寛著	英語對照現代米語小辭典	一・〇〇・〇九	
下總好昌 白井同風著	英語書取の聽き方書き方	一・〇〇・〇九	
城谷默著	英語のバンクチュエーション	一・五〇・〇六	
牧一著	分解式和文英譯	一・五〇・一四	
佐伯有三著	分解式英文和譯	一・五〇・一四	
小島嶽著	英文の公式	一・七〇・〇九	
鹿子木夫人 小出直三郎著	獨逸語基礎單語四〇〇〇	一・五〇・一四	
同	獨逸語慣用句二〇〇〇	一・八〇・一〇	
上西半三郎著	新聞獨逸語の讀み方	一・八〇・一〇	
大島桂吾著	獨逸語文法整理ノート	一・八〇・〇九	
鷲尾猛著	佛蘭西語基礎單語四〇〇〇	一・二〇・〇九	
鷲尾猛著	佛蘭西語基礎熟語二〇〇〇	一・二〇・〇九	
鷲尾猛著	鷲尾佛蘭西語自習書	二・五〇・一四	
大村雄治著	基本新佛蘭西語文法	一・二〇・〇九	
濱州一著	新聞佛蘭西語の讀方	一・八〇・一〇	
武中來著	新聞西班牙語の讀方	二・三〇・一〇	
松田衛著	露西亞語基礎單語四〇〇〇	一・二〇・〇九	
ウ・ゴロフ シチコフ著	露西亞語慣用句二〇〇〇	一・八〇・一〇	
編輯部編纂	露西亞語略語新語辭典	二・〇〇・一〇	
イ・ア・ワシリエフ著 金田常三郎編譯	露西亞語動詞圖解辭典	三・五〇・一〇	
表文化著	初等支那語教本	一・二〇・〇九	
入江啓四郎著	支那新聞の讀み方	一・八〇・一〇	

タイムス出版社

（承繼部版出スムイタンパヤジ）

東京市麴町區有樂町二丁目

振替東京六〇〇三一番
電話銀座 三四一二番 七四四八番

再版 **舊約聖書略註 上卷**

黒崎幸吉・畔上賢造・石原兵永・鈴木俊郎
塚本虎二・金澤常雄・山田幸三郎・藤本正高 共著

四六判一千百頁 定價四圓(送一四)

上中下三卷にて完了。上卷は創世記より士師記まで。

黒崎幸吉 著

註解新約聖書

四版 **コリント前後書** 菊判二〇〇頁 定價一圓五十錢
五版 **マタイ傳** 菊判二六〇頁 定價一圓八十錢
四版 **ヨハネ傳** 菊判二四〇頁 定價一圓七十錢
三版 **ペテロ前後書・ヤコブ書・ユダ書** 菊判二〇〇頁 定價一圓五十錢
三版 **ロマ書・ガラテヤ書** 菊判二二〇頁 定價一圓七十錢
再版 **默示錄・ヨハネ書簡** 菊判二二〇頁 定價一圓七十錢
新刊 **使徒行傳** 菊判二六〇頁 定價一圓八十錢
——以下續刊——
(送料各冊十四錢)

七版 **新約聖書略註 全**

黒崎幸吉・石原兵永・淺野猶三郎・畔上賢造 共著

四六判クロース 價三圓五十錢
一千百頁 (送料十四錢)

新刊 神學博士 小辻節三著
新刊 文法・構文法 本文解說付 **ヒブル語原典入門**
菊判 二五〇頁 定價二圓五十錢(〒一四)

新刊 青木澄十郎著
一日一文 使徒行傳靈解
四六判三六五頁 定價一圓三十錢(〒一〇)

新刊 金澤常雄著
ヨブ記講解
四六判二三〇頁 定價一圓(〒一〇)

再版 畔上賢造著
基督教讀本
四六判二八〇頁 定價一圓(〒一〇)

新刊 武本喜代藏著
日本的基督教の眞髓
四六判三二〇頁 定價一圓(〒一〇)

新刊 政池仁著
改革者マルチン・ルッター
四六判四〇〇頁 定價一圓五十錢(〒一四)

發行所 日英堂書店 東京市神田區一ツ橋通町四一 振替東京一一八六七番 電話神田二三一〇番

肥前叢書 第二輯	肥前史談會	四九	四六判クロース 價三圓五十錢	一千百頁 (送料十四錢)
フランス文藝思潮叢書(3)作家論	千住武次郎 ジユウル・ルメートル 朝倉季雄 櫛守攝一 雜賀鐵男 エミイル・ゾラ	一・三〇	四六	白水社
同 實驗小說論(4)	河內清譯	一・三〇	四	同 一九六
同 モンテーニュ小論(2)	渡邊一夫譯 サント・ブーヴ	一・〇〇	四	同 一五四
同 文學史の方法(7)	佐藤正彰 ギュスターヴ・チボオデ	一・三〇	四	同 一五一
同 ポールヴアレリイの方法序說(6)	平山正譯 マンドレ・モーロア	一・三〇	四	同 二三四
同 プルウスト文藝評論(5)	岡部正孝 アルベル・チボオデ	一・三〇	四	同 二三〇
同 ボオドレエル論(9)	笹森猛正譯 サント・ブーヴ	一・三〇	四	同 二〇五
同 パスカル小論(8)	平岡昇譯	一・三〇	四	同 二三六
文化と技術叢書(5) 神觀念の進化	栗山理一 G・アレン	一・五〇	四	三笠書房 二九〇
文藝文化叢書 風流論	篠田一人譯	一・二〇	四	子文書房 二七六
ポトナム叢書(31) 歌集 江南戰線	石毛源一	一・五〇	四	砂子屋書房 一五〇
貿易叢書第三輯 貿易組合の整備統合問題と貿易機構改革論	中井省三		四	兵庫縣貿易振興委員會 三八
羊門文庫(14) 現代宗教詩人叢書	長谷部足跡	一・三	菊	羊門社 一四三
旅行叢書 第十	秋守常太郎	非賣	四	秋守常太郎 三六
流線型叢書(2) 自動車と兵隊	爲國香苗	一・五	菊	流線型社 九三

（三三）講座

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
アジヤ問題講座 經濟產業篇（一）	矢部良策	一・五〇	四九三	創元社
同 政治・軍事篇（一）	同	一・六〇	四五七	同
同 政治・軍事篇（二）	同		五二四	同
同 政治・軍事篇（三）	同	一・六〇	四三四	同
同 經濟產業篇（三）	同	一・六〇	四五四	同
同 民族・歷史篇（1）	同	一・六〇	四七七	同
同 民族・歷史篇（2）	同	一・六〇	五三六	同
同 社會・習俗篇	同	一・六〇	四二三	同
同 思想・文化篇（1）	同	一・六〇	四四七	同
同 思想・文化篇（2）	同	一・六〇	四三八	同
アルス音樂大講座 音樂百科辭典	北原鐵雄	二・八〇	三七四	アルス
同 絃樂器の實技	同	二・八〇	三五七	同
同 作曲の實際	同	二・八〇	二四二	同
同 ジヤズ音樂	同	二・八〇	三七〇	同
同 聲樂と歌劇	同	二・八〇	三五〇	同
アルス機械工學大講座 工作機械	關口八重吉	三・五〇	二四八	同
同 航空機・航空發動機	長谷川一郎 小川太一郎 富塚清 梁田浩	四・〇〇	二九五	同
同 蒸氣タービン	大賀悳二	三・五〇	二七四	同
同 內燃機關・自動車	淺川權八	三・五〇	二一八	同
アルス新興機械工學講座（12） 煖冷房・冷凍機・送風機械	三木吉平 大澤一郎 栗屋良馬 中條德三郎	三・〇〇	三三三	同
同（1） 力學	田中敬吉	三・〇〇	三三〇	同
アルス電氣工學大講座 火力發電所	西脇仁一 赤澤政五郎 內野稔	三・五〇	三〇八	同
同 水銀整流器	密田良太郎 青木敏雄	三・五〇	三一六	同
同 水力發電所	大島滿一 多田耕象	三・五〇	二七一	同
同 電熱・電氣化學	大山松次郎 加藤與五郎	三・五〇	二八〇	同

アルス電氣工學大講座	丹保保次郎	三・五〇	三五	アルス
アルス土木工學大講座 溪流及砂防工事	赤木正雄	三・〇〇	三五五	同
同 隧道工學（上）	佐藤周一郎	三・二〇	二五〇	同
同 隧道工學（下）	同	三・二〇	六五八	同
朝日航空講座（上）	比佐友香	二・〇〇	三四七	東京朝日新聞社
同（下）	朝日新聞社	二・〇〇	三八七	同
岩波講座 物理學（全五册）	岩波茂雄		五册	岩波書店
同（第一回）	同		入五册	同
同（第二回）	同		入五册	同
同（第三回）	同		入四册	同
同（第五回）	同		三册	同
同（第六回）	同		四册	同
同（第七回）	同		五册	同
同（第八回）	同		四册	同
同（第九回）	同		五册	同
岩波講座 物理學（第十回）	岩波茂雄		五册	岩波書店
同（第十一回）	同		六册	同
同（第十三回）	同		五册	同
同（第二十回）	小谷正雄 外三名	豫約		同
同（7）	同		三〇七	同
同（8）	高柳米壽		一四	時事經濟社
同（7）	同		一五〇	同
易學院講座（第三卷）	中川善二		五七	易學院
易學大講座（第三卷）	加藤大岳	二・八〇	二九九	紀元書房
同（第四卷）	同	二・八〇	二九三	同
オールカメラ講座 第一卷	カメラと之友社編輯部	一・三〇	一四〇	平原社
同（2）	同	一・三〇	一四四	同
音樂講座第一講 樂典講座	黑澤隆朝	一・〇〇	二六	佐藤書店
弓一道講座	長坂金雄		三七〇	雄山閣

弓道講座第九卷	長坂金雄		[菊] 三三四	雄山閣
同 第十一卷	同		[菊] 四〇四	同
同 第十二卷	同		[菊] 五八〇	同
同 第十三卷	同		[菊] 五六〇	同
同 第十四卷	同		約[菊] 二五〇	同
同 第十五卷	同		[菊] 三〇〇	同
近代日本歷史講座(第二册)征韓論・西南戰爭	田中惣五郎	二・〇〇	[菊] 三三六	白揚社
教育方法學講座第八卷	和田利彥	一・二〇	約[菊] 二二〇	春陽堂
慶應義塾大學講座 經濟學(6)	新關庄藏	豫約	[菊]	慶應出版社
同 (12)	同		[菊] 全八册	同
同 (13)	同		[菊] 箱入 七册	同
同 (14)	同		[菊] 箱入 六册	同
同 (15)	同		[菊] 箱入 六册	同
同 (16)	同		約[四六] 三〇〇	同
同 (17)	同		[四六]	同

慶應義塾大學講座 經濟學(18)	新關庄藏		[四六] 七册	慶應出版社
同 經濟學 第二次(8)	同		[四六] 箱入 七册	同
同 (9)	同		[四六] 箱入 六册	同
同 (10)	同		[四六] 箱入 六册	同
同 (11)	同		[四六] 六册	同
同 (13)	同		[四六] 六册	同
同 (14)	同		[四六] 七册	同
同 (15)	同		[四六]	同
同 (16)	同		[四六] 七册	同
同 (17)	同		[四六] 七册	同
同 (18)	同		[四六] 六册	同
同 經濟學 第三次(2)	同		[四六] 六册	同
同 (3)	同		[四六] 七册	同
同 (4)	同		[四六] 七册	同
同 (5)	同		[四六] 五册	同

慶應義塾大學講座 經濟學 第三次(7)	新關庄藏		[菊] 七册	慶應出版社
同 (21)	同		[菊] 七册	同
現代教養講座第一卷 現代の教養	竹内富子	一・八〇	[四六] 二五三	三笠書房
同 第三卷 現代の自然科學	同	一・八〇	[四六] 二八九	同
現代支那講座	廣田嘉一	非	[四六] 一五〇	廣田嘉一
高等圍碁講座 第一册	鈴木爲次郎 木谷實		約[菊] 一五〇	誠文堂新光社
同 第二册	同		[彩] 一六三	同
算術教育實踐講座七 グラフの指導	佐藤武	一・五〇	[四六] 一七五	モナス
算術教育講座8 代數幾何の指導	同	一・三〇	[四六] 一九二	同
產業衞生講座(2) 勞働の生理及衞生	鯉沼茆吾	四・五〇	[菊] 三三三	保健衞生協會
時局經濟講座 戰時戰後の機械工業	小島精一	一・六〇	[四六] 二二七	昭和圖書株式會社
同 戰時戰後の中小商業	井上貞藏 土屋重隆	二・〇〇	[四六] 三七五	同
同 戰時戰後の物價問題(下)	岩崎松義	二・三〇	[四六] 四三九	同
時局講座第二輯 物價問題と國民生活	河上文太郎 山崎廣	・六〇	[四六] 一六九	清談社
支那知識普及講座(第一輯)	名古屋市社會教育課		[四六] 九一	名古屋市社會教育課

支那知識普及講座(第二輯)	名古屋市社會教育課		[四六] 一〇三	名古屋市社會教育課
主婦之友花嫁講座(1) お惣菜料理	主婦之友社	一・二〇	[四六] 三八三	主婦之友社
同 (2) 洋食と支那料理	同	一・二〇	[四六] 三八三	同
同 洋服裁縫(3)	同	一・二〇	[四六] 三八三	同
同 (3) お客料理	石川武美	一・二〇	[四六] 三八三	同
同 (4) 和服裁縫(上)	主婦之友社	一・二〇	[四六] 三八三	同
同 (5) 和裁裁縫(下)	石川武美	一・二〇	[四六] 三八三	同
同 (9) 生花と茶の湯(2)	同	一・二〇	[四六] 三五〇	同
同 (10) お作法と美容	同	一・二〇	[四六] 三五〇	同
職長講座(6) 仕事の計畫	矢持輝治	・五〇	[四六] 九一	マネジメント社調査部
人間學講座(4) 人間の宗教的歷史的考察	佐々木隆彥		[菊] 二九八	理想社
人類學・先史學講座	長坂金雄	豫約	[菊]	雄山閣
同 第六卷	同		[菊]	同
同 第七卷	同		[四六] 二九一	同
同 第八卷	同		[菊] 五八〇	同

人類學先史學講座 第九卷	長坂金雄		菊 二四一	雄山閣
同 第十卷	同		約菊 一九九	同
同 第十一卷	同		約菊 二五〇	同
新輯教育數學講座(5)	南條初五郎	二・〇〇	菊 箱入五册	共立社
同 (6)	同	二・〇〇	菊 七册	同
新文章講座 第二卷	日本文章學會		菊 一三八	日本文章學會
同 第三卷	同		菊 一三九	同
同 第四卷	同		菊 一三九	同
同 第六卷	同		菊 一三八	同
商業經營指導講座8	東京商工會議所	・四〇	菊 二〇	森山書店
ステープル・ファイバー講座(2) パルプ篇	中村一元	非	菊 二〇四	紡織雜誌社
同 製造篇	岩崎振一郎	非	菊 二〇三	同
同 (3)	山村清修 高橋勉治	非	菊 二四七	同
同 (4) 毛紡式紡績篇	木田經吉 市川爲雄	非	彩 二四七	同
同 (5) 絹紡式パーロック式紡績篇	鹽谷鑛司 中村岱馬	非	菊 一三五	同
ステープル・ファイバー講座(6) 織布篇	相田祐次郎	三・五〇	菊 二二六	紡織雜誌社
同 (7) 染色加工篇	山田廣	非	彩 二三三	同
同 (8) 試驗篇	新井幸長	非	菊 二三〇	同
同 (補) ス・フ紡績工場の設計と管理	山村清脩	三・五〇	菊 二三五	同
青年學校講座(第二卷)	宮邊富次郎		菊	建文館
同 (第七卷)	同		菊	同
同 普通學科篇(第一卷)	同		菊 二三〇	同
同 (第三卷)	同		約菊 二一八	同
同 (第四卷)	同		約菊 二五〇	同
同 (第五卷)	同		約菊 二五〇	同
青年學校要目講座 普通學科精說	石田磊三	二・五〇	菊 箱入五册	北海出版社
同 (第二卷)	同	二・五〇	菊 箱入四册	同
同 (第四卷)	同	二・五〇	菊 四册	同
世界と新大陸—戰時體制講座—	日本青年外交協會	・八〇	約菊 三〇〇	日本青年外交協會
禪の講座 第四卷 禪の書	和田利彦	二・〇〇	菊 四九九	春陽堂

體力向上講座(一) 國民病の豫防と撲滅	高野六郎		菊 四〇四	保健衞生協會
同 (二) 體力向上と優生斷種	青木延春		菊 三九六	同
同 (三) 健康增進と衣食住	杉本好一 入鹿山勝郎		菊 四一四	同
同 (七) 保險制度と國民保健	佐藤正		菊 三九四	同
哲學教養講座(2) 現代の哲學	竹內富子	一・五〇	四六 三五一	三笠書房
同 (3) 世界觀	同	一・五〇	四六 三四九	同
同 (4) 社會	同	一・五〇	四六 三一二	同
同 (5) 歷史	同	一・五〇	菊 三一九	同
轉業指導講座(2)	東京商工會議所	一・六〇	四六 二七六	昭和圖書株式會社
統制經濟講座(戰時經濟總論 貿易統制篇)	大阪每日・東京日日新聞社エコノミスト部	二・二〇	菊 二九五	一元社
同 (2)	大每・東日エコノミスト部	二・二〇	菊 三〇七	同
東亞研究講座89 三民主義概說	高橋勇治	・五〇	菊 七五	東亞研究會
東洋史基礎講座第二册	西村爲之助		菊 一四九	東亞出版社
陶器講座(第二十五卷)	長坂金雄		菊 一七五	雄山閣
佛教思想講座(1)	東京帝大佛教青年會	・八〇	四六 二一七	東京帝大佛教青年會
佛教思想講座(2)	東京帝大佛教青年會	・八〇	四六 二三五	東京帝大佛教青年會
同 (3)	同	・八〇	四六 一九一	同
同 (4)	同	・八〇	四六 二〇二	同
同 (5)	同	・八〇	四六 二四四	同
同 (6)	同	・八〇	四六 二〇四	同
同 (7)	同	・八〇	四六 二〇九	同
同 (8)	吉田龍英	・八〇	四六 一七三	同
碧巖錄大講座(1)	加藤咄堂		菊 四三〇	平凡社
同 (2)	同		菊 四四〇	同
同 (3) 自第九則 至第二六則	同		菊 四一四	同
同 (5) 自第二十四則 至第三十三則	同		菊 四一六	同
同 (6) (自三十四則 至四十三則)	同		菊 四〇一	同
同 (7) 自第四十四則 至第五十三則	同		菊 四一〇	同
同 (8) 自第五十四則 至第六十四則	同		菊 三九八	同
同 (9) 自第六十五則 至第七十四則	同		菊 四一九	同

書名	著譯者	定價	形體	發行所
碧巖錄大講座(第十卷)	加藤咄堂		菊四八	平凡社
同　自第十七則至第二三則第四卷	同		菊四三	同
防空常識講座	山田勇	一・六〇	四二八	朝日新聞社
明治會叢書(2)明治天皇御製講座第二卷	田中知學	一・三〇	菊二四	明治會本部

(三四)全集

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
アナトオ・フランス短篇小說全集第一卷タザアル	山內義雄	一・五〇	四三九	白水社
同　螺鈿の手箱	內藤濯	一・五〇	四二〇	同
同　第二卷				
同　聖女クララの泉	渡邊一夫	一・五〇	四二五	同
同　第三卷				
同　第四卷	山內義雄	一・五〇	四二八	同
クランクビーユ				
アリストテレス全集(9)小論集心理學(2)	副島民雄	三・五〇	菊二四〇	河出書房
同　經濟學・アテナイ人の國制	村川堅太郎	三・五〇	菊二一九	同
アンドレジイド全集(6)詩・散文	三好達治外三氏	一・八〇	四九七	建設社
アントニイ・アドヴァース・現代アメリカ小說全集十三卷	大久保康雄	一・五〇	四三二	三笠書房

安房先賢遺著全集	安房先賢偉人顯彰會	非賣	菊七九二	安房先賢偉人顯彰會
新編石川啄木全集第三卷詩	石川一	一・三〇	四三八	改造社
同　第八卷	同	一・三〇	四三九	同
同　第九卷書簡	同	一・三〇	四四九	同
同　第十卷書簡	同	一・三〇	四四五	同
岩波全書基督敎史	石原謙	八〇	四三三	岩波書店
芋錢子文翰全集(上卷)	小川茂吉	二・八〇	菊四七八	中央公論社
宇都野研全集(下卷)	宇都野龍一	五・〇〇	菊五〇九	相模書房
鷗外全集(第一卷)	森林太郎	豫約	四六四	岩波書店
鷗外全集翻譯篇第二卷	同	同	四六三	同
同　第四卷	同	同	四四三	同
同　第五卷	同	同	四六〇	同
同　第六卷	同	同	四五三	同
同　第八卷	同	同	四六四	同
同　第九同	同	同	四五三	同
鷗外全集翻譯篇第十卷	森林太郎		四五九三	岩波書店
同　第十二卷	同		四六〇	同
同　第十三卷	同	豫約	四三〇六	同
大國隆正全集第六卷	野村傳四郎	二・八〇	菊三九五	有光社
同　第七卷	同	二・八〇	菊五四〇	同
大橋訥菴先生全集中	平泉澄	三・五〇	菊四七四	至文堂
汪兆銘全集(第一卷)	河上純一	一・五〇	四三八八	東亞公論社
岡倉天心全集第一卷	岡倉一雄	一・一〇	四二八一	福田久道
同　第二卷	淺野晃岡倉一雄	一・一〇	四一四六	聖文閣
同　第三卷	岡倉一雄	一・一〇	四三三一	同
同　第四卷	同	一・一〇	四二六六	同
同　第五卷	同	一・一〇	四三一一	同
華山全集	鈴木清節	五・〇〇	菊三六五	華山會
片山伸全集(第一卷)	片上晨太郎	二・五〇	菊三九四	砂子屋書房
同　(全二卷)	同	二・五〇	菊四〇一	同

片山伸全集（第三巻）	片上晨太郎	二・五〇	菊 四三九	砂子屋書房	酵素化學工業全集（1）	田所哲太郎		菊 三〇七	厚生閣
川面凡兒全集 第一巻	川面凡兒	非賣品	菊 七六六	川面凡兒先生十周年記念會	同	中村幸彦		菊	同
勤儉貨殖全集（12）新混同秘策	谷孫六	六・〇〇	四六四四	商戰社	醱酵工業（三）8）	朝井勇宣		菊 二四一	同
經營計算全集Ⅵ有價證券及商品計算	加藤一	二・五〇	菊 二四五	河出書房	酵素化學工業全集15	野口寅之助		菊 三五〇	同
同 X 金利計算用諸表	佐々木道雄		菊 二八八	同	御靈告全集（下）	楠本幸覺	非賣品	菊 一四五	大日本御國教本部
ゲーテ全集第五ノ巻一	山木三生		四六 三九七	改造社	財界人物評論全集（10）半島の事業王野口遵	片桐龍吉	一・五〇	四六 三五〇	東海出版社
同 第五巻ノ二	同		四六 三四二	同	齋藤竹堂全集全廿一册	伊勢齋助	一〇・〇〇	菊 二冊	伊勢齋助
ゲーテ全集第六巻	同		四六 五〇三	同	佐々木邦全集（第一巻）	佐々木邦	一・五〇	四六 五二	大日本雄辯會講談社
同 第七巻	同		四六 八五一	同	酸素化學工業全集 酸素資源の研究(3)	伊藤光治		菊 三七	厚生閣
現代哲學全集第十五巻 教育哲學	入澤宗壽	二・〇〇	四六 三三	日本評論社	ジイド全集別巻 ジイド研究	渡邊一夫	一・八〇	四六 三五	建設社
小泉三申全集第一巻 織田信長明智光秀	小泉策太郎	一・八〇	四六 四二四	岩波書店	少年少女教育講談全集（二）	高木義賢	九〇	四六 四五〇	大日本雄辯會講談社
同 第三巻 隨筆西園寺公	同	一・八〇	四六 四九三	同	新經濟全集（2）	中山伊知郎 東畑精一		菊 五〇〇	日本評論社
小崎全集第四巻	小崎弘道	二・八〇	四六 六二三	警醒社	同 （3）	同		菊	同
小崎全集第五巻 復活の福音	小崎全集刊行會	二・八〇	四六 五五四	同	新作大衆小說全集（一）結婚天氣圖・女性の戰ひ	菊池寬	一・一〇	四六 六三〇	非凡閣
同	同	二・八〇	四六 五五八	同	同 （二）吾亦紅・光の漣	久米正雄	一・一〇	四六 七二三	同
新作大衆小說全集（六）海棠の歌・鷲鷲手綱	小島政二郎	一・二〇	四六 六〇三	非凡閣	新法學全集（第三十一回配本）	末弘嚴太郎		菊	日本評論社
同 （八）雨降り峠・俠客小政	村松梢風	一・二〇	四六 六一四	同	同 （第三十二回配本）	同		菊	同
同 （十七）合歡の並木・愛の山河	加藤武雄	一・二〇	四六 六五七	同	同 （第三十四回配本）	同		菊 約四〇〇	同
同 （十八）上杉謙信・後の月形半平太	白井喬二	一・二〇	四六 七二三	同	同 （第三十五回配本）	同		菊 七〇〇	同
新日本文學全集（26）火野葦平集	火野葦平	豫約 一・五〇	四六 六〇七	改造社	同 （第三十六回配本）	同		菊 五〇〇	同
新版ユーモア小說全集(5) 唖にされた音盤	德川夢聲	一・二〇	四六 三九六	アトリエ社	同 （第三十七回配本）	同		菊 六二四 菊	同
同 （13）ユーモア部隊長	中村正常	一・二〇	四六 四一六	同	同 （第三十八回配本）	同		約 三五〇	同
同 （9）百萬人の行進	乾信一郎	一・二〇	四六 三六八	同	鈴木三重吉全集第五巻	鈴木三重吉		四六 七一〇	岩波書店
同 （11）東洋平和巍	伊馬鵜平	一・二〇	四六 四一四	同	同 第六巻	同		四六 七二	同
同 （12）瓶上京	弘木丘太	一・二〇	四六 四〇〇	同	鈴木重胤全集（第七）	樹下快淳	非賣品	四六 六六八	鈴木重胤先生學德顯揚會
同 （15）父の禮帽	宮崎博史	一・二〇	四六 三六八	同	鈴木重胤全集（10）祝詞講義 卷一	同	非賣品	菊 六三	同
同 （16）青空ホテル	近江帆三	一・二〇	四六 四二九	同	同 祝詞講義 （11）卷二	同	非賣品	菊 六四	同
同 （17）花嫁いろは帖	小柴木禮助	一・二〇	四六 三五〇	同	鈴木重胤全集 第十二	同	非賣品	菊 六一	同
新編磯丸全集 全	愛知縣教育會	七・〇〇	菊 六一九	育生社	同 （第一巻）	薄田泣菫	二・八〇	菊 五〇三	創元社
新經濟學全集第一巻 經濟學一般理論	中山伊知郎 東畑精一		菊 約四〇〇	日本評論社	同 （詩篇第二巻）	同	二・八〇	菊 四九六	同

薄田泣菫全集（第四卷）	薄田泣菫	二・八〇	菊 四四九	創元社
同 隨筆篇（五）	同	二・八五	菊 四八二	同
同 隨筆篇（六）	同	二・八〇	菊 四七四	同
同 隨筆篇（七）	同	二・八〇	菊 四六六	同
同 隨筆篇（八）	同	二・八〇	菊 四六九	同
生長の家聖典全集第七卷 生命の實相 教育篇・倫理篇	谷口雅春	一・二〇	菊 四〇六	光明思想普及會
同 生命の實相第十卷	同	一・二〇	四六 四三七	同
戰爭文學全集 此一戰・空襲下の帝都・戰影・	水野廣德	二・三〇	四六 六七四	潮文閣
同 戰爭の足・火を吐く・張鼓峰・斥候・戰塵のかげに・赤い夕陽	中山正男 他四氏	二・三〇	四六 七三〇	同
同 長驅强行五百キロ・上海戰線・殘花一輪・飛行基地警備記	西田稔 外三名	二・三〇	四六 六九三	同
同 敗走千里・鐵血・海戰日錄・南京空爆・野戰郵便局	小笠原長生 外四氏	二・三〇	四六 七〇七	同
續名人圍碁全集 打碁全集 下卷	本因坊秀哉		菊變 一八六	誠文堂新光社
十三年集 溫故抄 楚人冠全集（第十六卷）	杉村廣太郎	一・八〇	四六 四四四	日本評論社

孫文全集第一卷 三民主義	外務省調査部	一・六〇	四六 四七二	第一公論社
同 第二卷	同	一・六〇	四六 六三三	同
ダーウィン全集(2) 二種の起原	内山賢次 石田周二	三・〇〇	四六 八〇九	白揚社
同 (3) 蘭の a 受精	正宗嚴敬	二・〇〇	四六 三六二	同
同 V 家畜栽培植物の變異（下）	篠遠喜人 湯淺明	三・〇〇	四六 七〇五	同
同 (7) 人間の由來（下）	内山賢次 石田周三	三・〇〇	四六 五一三	同
大トルストイ全集 第一卷	原久一郎		四六 八六六	中央公論社
同 第六卷	同		四六 八三三	同
同 第十五卷	同		四六 七六六	同
武郎創作全集（第一卷	有島行光 有島敏行	一・八〇	四六 六九二	新潮社
同 （第二卷）	有馬行光 外一氏	一・八〇	四六 三五九	同
同 （第三卷）	有島行光 有島敏行	二・三〇	四六 五七五	同
同 （第四卷）	同	一・八〇	四六 三七一	同
同 （第五卷）	同	一・八〇	四六 三七一	同
同 （第六卷）	同	二・〇〇	四六 四九三	同

チエーホフ一幕全集	米川正夫	・四〇	小型 二七〇	岩波書店
寺田寅彦全集科學篇（五）	寺田寅彦	豫約	菊變 三一八	同
日本小説代表作全集(2)	川端康成 外二氏	二・〇〇	四六 五五六	小山書店
日本國寶全集（第八十四輯）	文部省		菊變	日本國寶全集刊行會
日本古典全集 類聚名義抄假名索引アーカ	正宗敦夫	非	小型 三〇四	日本法典全集刊行會
同 キーツ	同	非	四六 二一五	同
日本古典全集 古今名物類聚（下）	同	非	約小型 七〇〇	同
同 本草通串	同	非	四六	同
同 顯傳明名錄 下	同	非	四六	同
同 諸家傳 一—三	町	非	小型 三〇七	同
同 同 四—七	同	非	小型 六二三	同
同 同 八—十一	同	非	小型 六二五 八七四	同
同 續教訓鈔（下） 九—一六	同	非	小型 三五〇	同
同 本草通串 自五二卷至五五卷	同	非	小型 三一三	同
同 自三九卷至四二卷	同	非	四六	同

日本古典全集 本草通串 自五六卷至六〇卷	正宗敦夫	非	四六 三〇五	日本古典全集刊行會
同 同 自六一卷至六九卷	同	非	四六 二五〇	同
同 同 自七〇卷至七九卷	同	非	四六 二五五	同
同 同 自八〇卷至八五卷	同	非	四六 三〇〇	同
日忠聖人全集 第一卷	日忠聖人全集刊行會	非	四六 四八〇	日忠聖人全集刊行會
日蓮聖人遺文全集講義 第九卷下	清水龍山		菊 六八六	大林閣
俳人眞蹟全集第八卷 天明時代（上）	潁原退藏		菊變 二〇〇	平凡社
橋本景岳全集 上卷	景岳會	一〇・〇〇	約菊 一六〇〇 二册	景岳會
同 下卷	同			同
平田篤胤全集第五卷 古史五	上田萬年 山本信哉 平田盛胤		菊 四三三	内外書籍株式會社
フランス短篇小説全集（1）	後藤末雄 外	・八〇	小型 三七三	冨山房
プロスペル、メリメ全集（第三卷）	淺野晃	二・三〇	四六 四七二	河出書房
同 （第四卷）	杉捷夫	二・三〇	四六 四〇八	同
同 （第五卷）	今日出海	二・三〇	四六 三九六	同
同 （第六卷）	前川堅市	二・三〇	四六 三八一	同

藤井武全集（第一・二巻）	矢内原忠雄	非	四九二	藤井武全集刊行會	
同（第五巻）	同	一・五〇	四六八	同	
同（第六巻）	同	二・八〇	四四四	同	
同（第七巻）	同	二・八〇	四六〇七	同	
同（第八巻）	同	二・八〇	四六一二	同	
同（第九巻）	同	二・八〇	四七一一	同	
同（第十一巻）	同	二・八〇	四六九八	同	
ヘルマン・ヘッセ全集 第三巻	秋山六郎兵衛	一・五〇	三八〇	三笠書房	
同 第五巻	豐永喜之	一・五〇	四三一一	同	
同 第八巻 さすらひ	澤西健	一・五〇	四三〇三	同	
同 第十三巻	手塚富雄	一・五〇	四三一七	同	
ボードレール全集 第一巻	村上菊一郎	二・八〇	四四八	河出書房	
同 第二巻	渡邊一夫	二・八〇	四四〇	同	
同 第三巻	平岡昇	二・八〇	四五一七	同	
浪曼派藝術論第四巻	佐藤正彰	二・八〇	四五二一	同	
ボードレール全集（第五巻）	河上徹太郎	二・八〇	四二〇	河出書房	
北條民雄全集 上	北條民雄	一・八〇	四八〇	創元社	
同 下	川端康成	一・八〇	四五八	同	
松平泰嶽全集（第一巻）	蘆田伊人 糟谷季之助		五六六	三秀社	
滿洲帝國經濟全集10（農政篇前篇）	五十子卷三	三・三〇	三九〇	滿洲國通信社出版部	
宮澤賢治全集 第三巻	宮澤賢治	三・二〇	五五五	十字屋書店	
模範綴方全集 一年生	綴方研究會	一・五〇	三九	中央公論社	
同 二年生	同	一・五〇	二七五	同	
同 三年生	同	一・五〇	二八一	同	
同 四年生	同	一・五〇	三四	同	
同 五年生	同	一・五〇	三三	同	
同 六年生	同	一・五〇	二九四	同	
山本有三全集 第一巻	山本有三	豫約	六六	岩波書店	
吉田松陰全集 第二巻	山口縣教育會		四五三	同	
同 第三巻	同		六八	同	

吉田松陰全集 第五巻	山口縣教育會		四六六	岩波書店	
同 第六巻	同		四三	同	
同 第七巻	同		四三三	同	
同 第八巻	同		四〇〇	同	
同 第十巻 齋藤彥一			四七八	同	
禮儀作法全集 第三巻	大江スミ	二・〇〇	升形六六二	中央公論社	
同 第七巻	同	二・〇〇	約二一〇	同	
同 第八巻	同	二・〇〇	二三三	同	

（三五）文庫

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
アド・スクラップ・ブック	光永眞三	六〇〇	一八八	日本電報通信社	
アルス寫眞文庫 トリミング實習帖	眞繼不二夫	五〇	六八	アルス	
同 引伸の第一歩	北野邦雄	五〇	七三	同	
同 ローライの第一歩	貴志義一	五〇	八〇	同	
同 中級カメラの選び方	北野邦雄	五〇	六七	同	
同 原板の整理	小黒誠	五〇	七〇	同	
同 軟焦點寫眞	猪野喜三郎	五〇	七二	同	
同 撮影・作畫の第一歩	眞繼不二夫	五〇	七〇	同	
同 靜物寫眞の作り方	福田勝治	五〇	六七	同	
同 高級カメラの選び方	北野邦雄	五〇	六四	同	

アルス寫眞文庫 スナップの撮り方	濱谷浩	五〇	図	六九	アルス
同 女の表情	福田勝治	五〇	仏	七〇	同
同 現像の第一歩	吉川速男	五〇	仏	六三	同
同 燒付の第一歩	同	五〇	仏	七四	同
同 人物寫眞の第一歩	尾崎三吉	五〇	仏	六八	同
同 印畫の仕上	上條春雄	五〇	図	七〇	同
同 實用寫眞處方集	鈴木八郎	五〇	図	七三	同
同 寫眞入門	吉川速男	五〇	図	八〇	同
同 海の寫眞術	師岡宏次	五〇	図	七〇	同
同 子供の世界	猪野喜三郎	五〇	図	七四	同
同 撮影用具の知識	師岡宏次	五〇	仏	七一	同
天草本伊會保物語	新村出	二〇	仏	二四	岩波書店
岩波文庫 大尉の娘 一九四九—一九四八	プーシキン 神西清譯	四〇	仏	二六三	同
同 一九六〇 闇櫻・うもれ木他二篇	樋口一葉	二〇	仏	二六	同
同 一九六一—一九六三 奇妙な幕間狂言	オニール 井上宗二譯 石田英二譯	六〇	仏	三三四	同
岩波文庫 一九四四—一九四五 金色夜叉（下）	尾崎紅葉	四〇	仏	二三二	岩波書店
同 二〇一四 經濟學の方法に關する研究	マルティン・ルター 石原謙譯	四〇	仏	一九〇	同
同 二〇〇一—二〇〇三 信仰要義	カルヴィン 渡邊信夫譯	六〇	仏	二七六	同
同 二〇〇三—二〇〇四 サイキス・タスク（俗信と社會制度）	フレイザー 永橋卓介譯	四〇	仏	二一〇	同
同 一九八九—一九九二 正法眼藏（上）	道元禪師	八〇	仏	四二九	同
同 一九七六—一九七八 小鳥の巢	鈴木三重吉	六〇	仏	三六八	同
同 一九七一—一九八八 人間の使命	フィヒテ 宮崎洋三譯	四〇	仏	二五二	同
同 一九七九—一九八〇 藝術を愛する一修道僧の眞情の披歷	ヴッケン ローダー 江川英一譯	四〇	仏	二三三	岩波書店
同 一九七四—一九七五 香川景樹歌集	桂園一枝 正宗敦夫校訂	四〇	仏	二一三	同
同 一九五三—一八五三 常山紀談（中）	湯淺常山 森銑三校訂	四〇	仏	二四一	同
同 一九八一—一九八二 フインランド叙事詩上	カレワラ 森本覺丹譯	四〇	仏	二四九	同
同 一九二三—一九三三 純粹現象學及現象學的哲學考（上）	フッセル 池上鎌三譯	四〇	仏	三三五	同
同 一八〇四 役者論語	守隨憲治	二〇	仏	九一	同

岩波文庫 一八〇二—一八〇三 日本外史（三）	賴山陽	四〇	仏	二四二	岩波書店
同 七九—七三 伊太利文藝復興期の文化	ブルックハルト 柴田治三郎 藤田健治譯	六〇	仏	三八五	同
同 一九六四—一九六五 耳袋（上）	根岸守信	四〇	仏	二六二	同
同 一九四六—一九六七 （下）	同	四〇	仏	二六四	同
同 一九六八 かくれんぼ 他二篇	齋藤綠雨	三〇	仏	一〇七	同
同 一九六九—一九七〇 お氣に召すまま	シェクスピア 阿部知二譯	四〇	仏	三三六	同
同 一九七一 ペールキン物語（短篇五種）	プーシキン 神西清譯	二〇	仏	一三四	同
同 一九七二—一九七三 音樂美論	ハンスリック 田村寛貞譯	四〇	仏	三三〇	同
同 五六八—五七〇 改訂版種の起源（上）	チャールズ・ダーウイン 小泉丹譯 並河亮訂	六〇	仏	三五八	同
同 二〇一五 義經千本櫻	竹田出雲等 守隨憲治校訂	二〇	仏	一〇六	同
同 一八七 虛榮の市	サッカレー 三宅嶽三郎譯	四〇	仏	二一〇	同
同 二〇四六 基督教の本質	ハルナック 山谷省吾譯	七〇	仏	三〇一	同
同 二〇二七 運命	國木田獨歩	四〇	仏	二四六	同
同 二〇三九 魔の山（一）	トオマスマン 望月市恵譯	四〇	仏	二四一	同
同 二〇四〇 人生の道（上）	トルストイ 原久一郎譯	六〇	仏	三〇九	同

岩波文庫 三〇三 息たちと戀人たち	ロレンス 本多顯彰譯	四〇	仏	二三二	岩波書店
同 二〇一四 經濟學の方法に關する研究	メンガー 吉田昇三譯	六〇	仏	二七六	同
同 三〇二 靖獻遺言	淺見絅齋 五弓安二郎譯註	六〇	仏	二七三	同
同 二〇一〇 炭燒の娘	長塚節	六〇	仏	三五八	同
同 二〇〇七 自筆本 折たく柴の記	新井白石 羽仁五郎校註	六〇	仏	二七八	同
同 一九五二—一九五三號 ボヴアリー夫人（上）	フローベル 伊吹武彥譯	四〇	仏	二六九	同
同 一九五四—一九五五號（下）	同	四〇	仏	二五五	同
同 一九四九號外 少年の悲哀 他六篇	國木田獨歩	二〇	仏	一〇八	同
同 一九五六—一九五八號 鑑草	中江藤樹 加藤盛一	六〇	仏	三九	同
同 一九五〇號 海へ騎りゆく人々他二篇	シング 山本修二譯	二〇	仏	一三〇	同
同 一九五一號 旅の日のモーツアルト	メーリケ 石川錬次譯	二〇	仏	一二五	同
同 一九七三—一九七四 一老人の幼時の追憶下	キユーゲルガン 田中耕太郎 外二氏譯	四〇	仏	二九四	同
同 一八二—一八三 エルマン論文集 經驗・人格・作法他五篇	エマスン 戸川秋骨譯	四〇	仏	二七八	同
同 一八〇三—一八〇四 日本外史（四）	賴山陽 賴成一譯	四〇	仏	二三六	同

岩波文庫	一八六五—一八六七 虞美人草	夏目漱石	・六〇	彩 四〇一	岩波書店
同	一八六八—一八六九 ヴェニスの商人	シェイクスピヤ 中野好夫譯	・四〇	彩 二三七	同
同	一八七〇 ヴェニスに死す	トオマス・マン 實吉捷郎譯	・二〇	彩 一三六	同
同	一八七一—一八七三 續コンゴ紀行	アンドレ・ジイド 杉捷夫譯	・四〇	彩 三三一	同
同	一八七三—一八七四 獵人日記 上	ツルゲーネフ 中山省三郎譯	・四〇	彩 二四七	同
同	一八五〇—一八五一 常山紀談 上卷	森銑三	・四〇	彩 二七〇	同
同	一八五六 ゆく雲 大つごもり 他二篇	樋口一葉	・二〇	彩 一一〇	同
同	一八五七 散文詩 夜の歌	フランシス・ジャム 三好達治譯	・二〇	彩 九二	同
同	一八五八 かもめ	チェーホフ 米川正夫譯	・二〇	彩 一二四	同
同	一八五九—一八六〇 余は如何にして基督教徒となりし乎	內村鑑三 鈴木俊郎譯		彩 二八〇	同
同	一八六一—一八六三 歷史的方法による國家經濟學講義要綱	ロッシアー 山田雄三譯	・六〇	彩 三三五	同
同	女の一生	杉捷夫	・六〇	彩 三五六	同
同	花	番匠谷英一	・二〇	彩 一〇八	同

岩波文庫	元祿快擧錄上篇	福本日南	・四〇	彩 二四九	岩波書店
同	求安錄	內村鑑三	・二〇	彩 一四六	同
同	一難去つて又一難	伊東勉	・二〇	彩 一三一	同
同	東邦近世史	田中萃一郎		彩 三六四	同
同	春雨物語・癇癖談	上田秋成		彩 一二四	同
同	一七一八—一七一九 ミルトン樂園喪失 下	藤井武	・四〇	彩 二三四	同
同	一七八五—一七八七 未來のイヴ 下	ヴィリエ・ド・リラダン 渡邊一夫譯	・六〇	彩 三三五	同
同	一八四四 菅原傳授手習鑑	竹田出雲 守隨憲治	・二〇	彩 一三一	同
同	一八四五 瀧口入道	高山樗牛	・二〇	彩 一一二	同
同	一八四六 オー・ヘンリー短篇集	清野暢一郎	・二〇	彩 一二四	同
同	一八四七—一八四九 實驗醫學序說	クロード・ベルナール 三浦岱榮譯	・六〇	彩 三八二	同
同	二〇六七—二〇六八 あられ酒	齋藤綠雨	・四〇	彩 一三〇	同
同	一八七五—一八七六 獵人日記（中）	ツルゲーネフ 中山省三郎譯	・四〇	彩 一四三	同
同	二〇四七—二〇四八 吾妻鏡（一）	龍肅譯註	・四〇	彩 一四四	同
同	二〇七一—二〇七三 心理學（上）	ウイリアム・ジェームス 今田惠譯	・六〇	彩 二九四	同

岩波文庫	一六六五—一六六六 三銃士（四）	デューマ 生島遼一譯	・四〇	彩 二七〇	岩波書店
同	一六八三—一六八四 フィンランド敍事詩 カレワラ（中）	森本覺丹	・四〇	彩 二六三	同
同	八八六 初戀	ツルゲーネフ 米川正夫譯	・二〇	彩 一一九	同
同	一四一三—一四一五 南總里見八犬傳 五	曲亭馬琴 小池藤五郎	・六〇	彩 三九〇	同
同	一八一八—一八一九 アンデルセン童話集 二	大畑末吉	・四〇	彩 二七五	同
同	一八七九 艷容女舞衣（一勝半七）	竹本三郎兵衞 頼桃三郎	・二〇	彩 九四	同
同	一八八〇 雪解 他六篇	永井荷風	・二〇	彩 一三四	同
同	一八八一—一八八三 サンファミーユ家なき兒	エクトル・マロ 津田穰譯	・六〇	彩 三七一	同
同	一八八八—一八九〇 禪源諸詮集都序	圭峯宗密 宇井伯壽	・六〇	彩 三〇七	同
同	二〇九九 助六所緣江戶櫻	守隨憲治	・二〇	彩 一〇三	同
同	三〇一—三〇三 シェイクスピア論	コールリッヂ 桂田利吉譯	・六〇	彩 三六六	同
同	三〇七—三〇九 「絕對」の探求	バルザック 水野亮譯	・六〇	彩 三七一	同
同	二一〇〇 藪柑子集	吉村冬彥	・二〇	彩 一四〇	同
同	三一〇—三一二 ミレー	ロマン・ロラン 蛯原德夫譯	・四〇	彩 一六五	同

岩波文庫	二〇四一—二〇四三 人生の道（下）	トルストイ 原久一郎譯	・六〇	彩 三一九	岩波書店
同	一七七八—一七八〇 小說思出の記 下	德富健次郎	・六〇	彩 三四五	同
同	一八九一 詞華和歌集	松田武夫	・二〇	彩 一一九	同
同	一八九二—一八九三 虛榮の市（一）	サッカレー 三宅幾三郎譯	・四〇	彩 二七五	同
同	一九〇三—一九〇四 綠のハインリヒ（一）	ケラー 伊藤武雄譯	・四〇	彩 二五三	同
同	二〇七四—二〇七六 心理學 下卷	ウイリアム・ジェームス 今田惠譯	・六〇	彩 二九九	同
同	三五四—三五六 白百合を紅い薔薇に	ケラー 道家忠道譯	・六〇	彩 三五八	同
同	二二〇六—二二〇七 アミエルの日記（七）	河野與一	・四〇	彩 二〇四	同
同	三六一—三六三 死に至る病	キエルケゴール 齋藤信治譯	・四〇	彩 二三二	同
同	三五〇 讚岐典侍日記	玉井幸助	・二〇	彩 九二	同
同	三五七—三六〇 血と砂	ブラスコ・イバーニェス 永田寬定譯	・八〇	彩 四六九	同
同	三五一—三五三 彼岸過迄	夏目漱石	・六〇	彩 三三一	同
同	二〇九一 近頃河原達引・桂川連理柵	頼桃三郎	・二〇	彩 一一三	同
同	一九八五—一九八六 フィンランド敍事詩 カレワラ（下）	森本覺丹譯	・四〇	彩 二六一	同

岩波文庫 二〇九六—二〇九七 デミアン	ヘルマン・ヘッセ 高橋健二譯	・四〇	〔小形〕 二二一	岩波書店
同 二〇九五 ギリシヤ悲劇 タウリケのイピゲネイア	ウエリピデイ 呉茂一譯	・二〇	〔小形〕 一三〇	同
同 一七五九—一七六〇 支那通史 中册	那河通世 和田清譯	・四〇	〔小形〕 二六四	同
同 三二二 その妹	武者小路實篤	・二〇	〔小形〕 一二四	同
同 二三三—二三三 芭蕉俳諧論集	小宮豐隆 横澤三郎	・六〇	〔小形〕 三〇八	同
同 二一四九 幽靈	イプセン 竹山道雄	・二〇	〔小形〕 一四〇	同
同 二八八—二〇九〇 西洋哲學史（下）	シュヴエーグラー 谷川徹三 松村一人譯	・六〇	〔小形〕 三五九	同
同 二四四—二四六 ベラミ 上卷	モーパツサン 杉捷夫譯	・六〇	〔小形〕 三五九	同
同 二三四—二三五 石橋忍月評論集	石橋忍月	・四〇	〔小形〕 二二七	同
同 二一一六 油地獄 他二篇	齋藤綠雨	・二〇	〔小形〕 一〇二	同
同 二二三—二二四 晩年の思想	アンリ・ポアンカレ 河野伊三郎譯	・六〇	〔小形〕 三四一	同
同 二二五—二二七 人間に就いて（上）	ケトレー 平貞藏 山村喬譯	・六〇	〔小形〕 三〇一	同
同 一七五—一七六 死せる魂（下）	ゴーゴリ 平井肇譯	・四〇	〔小形〕 二四七	同
同 二二三—二二三 王堂本曾我物語上卷	穴山孝道	・四〇	〔小形〕 二三二	同

岩波文庫 民衆の敵	イプセン 竹山道雄	・四〇	〔小形〕 二二三	岩波書店
同 三角帽子	アラルコン 會田由	・四〇	〔小形〕 二四八	同
同 南總里見八犬傳	曲亭馬琴 小池藤五郎	・六〇	〔小形〕 三八〇	同
同 蝴蝶 他五篇	山田美妙	・四〇	〔小形〕 一九三	同
同 アンデルセン童話集	大畑末吉	・四〇	〔小形〕 二二五	同
同 青い花	ノヴーリス 小牧健夫	・四〇	〔小形〕 二六四	同
同 二二七—二二〇 アベラールとエロイーズ—愛と修道の手紙	畠中尚志	・八〇	〔小形〕 三九八	同
同 二二二 マルコ ミミ・パンソン	ミュツセ 櫻田佐譯	・二〇	〔小形〕 一一一	同
同 三三三—三三四〇 改譯罪と罰第一卷	ドストエーフスキー 中村白葉譯	・六〇	〔小形〕 三一六	同
同 二〇四—二〇五 アミエルの日記六	河野與一	・四〇	〔小形〕 二〇五	同
同 死せる魂（中）	ゴーゴリ 平井肇	・四〇	〔小形〕 二四八	同
同 去來抄 三册子旅寢論	潁原退藏	・四〇	〔小形〕 二六五	同
同 武藏野	國木田獨歩	・四〇	〔小形〕 二五八	同
同 八八一—八八二 自然と人生	德富蘆花	・四〇	〔小形〕 二六〇	同
同 六九〇—六九二 懺悔錄	ルソオ 石川戲庵譯	・六〇	〔小形〕 三九六	同

岩波文庫 三六二—三六三 新撰山家集	佐々木信綱	・四〇	〔小形〕 二五一	岩波書店
同 三四—三五 戰爭と平和（一）	トルストイ 米川正夫譯	・四〇	〔小形〕 二四五	同
同 三六—三八 同（二）	同	・六〇	〔小形〕 三七八	同
同 六二 父	ストリンドベリ 小宮豐隆譯	・二〇	〔小形〕 一一六	同
同 二五四—二五五 ケーベル博士隨筆集	久保勉 安倍能成	・四〇	〔小形〕 二二三	同
同 一九五九 本朝廿四孝	近松半二 守隨憲治	・二〇	〔小形〕 一一二	同
同 一五七六—一五七八 笛師のむれ（下）	ジヨルジユ・サンド 宮崎嶺雄譯	・六〇	〔小形〕 三一八	同
同 文學論	夏目漱石	・八〇	〔小形〕 五二八	同
同 二〇四—二〇六 一青年の告白	ヂヨーヂ・ムア 崎山正毅譯	・六〇	〔小形〕 二七七	同
同 八九五—八九五a 陽氣なタルタラン	ドーデー 小川泰一譯	・四〇	〔小形〕 二〇八	同
同 青春は美し 他一篇	ヘルマン・ヘッセ 關泰祐譯	・二〇	〔小形〕 一二〇	同
同 一一七號 布施太子の入山	倉田百三	・二〇	〔小形〕 一二〇	同
同 二〇六九—二〇七〇 植村正久文集	齋藤勇	・四〇	〔小形〕 二三六	同
同 二〇九八 基督信徒のなぐさめ	内村鑑三	・二〇	〔小形〕 九九	同
同 五—七 新訓萬葉集下卷（改訂版）	佐々木信綱	・六〇	〔小形〕 三四一	同

岩波文庫 六六四 蒲團一兵卒	田山花袋	・二〇	〔小形〕 一一六	岩波書店
同 二三六—二三九 ニーベルンゲンの歌	雪山俊夫	・八〇	〔小形〕 四二三	同
同 二〇九二—二〇九四 多情多恨	尾崎紅葉	・六〇	〔小形〕 三四四	同
同 西洋哲學史	谷川徹三 松村一人	・六〇	〔小形〕 三一三	同
同 八三四 侏儒の言葉	芥川龍之介	・二〇	〔小形〕 一二六	同
同 一—四 新訓萬葉集 上卷	佐々木信綱	・八〇	〔小形〕 四二一	同
同 八二〇—八三〇A 人間の精神—心理學概說	レームケ 立花祐雄譯	・四〇	〔小形〕 一九八	同
岩波新書（10） 現代支那論	尾崎秀實	・五〇	〔小形〕 二一五	同
同 日本刀（34）	本間順治	・五〇	〔小形〕 二二五	同
同 死とは何か（13） その他	J・ハツクスリ 丘英通譯	・五〇	〔小形〕 二七八	同
同 大帝康熙（24）	長與善郎	・五〇	〔小形〕 二〇〇	同
同 日本的性格（26）	長谷川如是閑	・五〇	〔小形〕 二四〇	同
同 世界文化史概觀下卷（38）	ウエルズ 長谷部文雄譯	・五〇	〔小形〕 三一四	同
同 メチニコフの生涯下卷（30）	オリガ・メチニコフ 宮下義信譯	・五〇	〔小形〕 二三六	同
同 三民主義解說上卷（14）	周佛海 犬養健譯	・五〇	〔小形〕 二三一	同

岩波新書(31) アフリカ分割史	大熊眞	・五〇	〔小形〕二一八	岩波書店
同 (32) 鼠はまた生きてゐる	B・H・チエバレン 吉阪俊祓譯	・五〇	〔小形〕一五三	同
同 (35) 支那社會の科學的研究	ウイツト フオーゲル 平野義太郎 宇佐美誠次郎譯	・五〇	〔小形〕二〇三	同
同 (33) 回教徒	笠間杲雄	・五〇	〔小形〕二〇四	同
同 (36) 海	宇田道隆	・五〇	〔小形〕二〇七	同
同 (39) 日本美の再發見	ブルーノ・タルト 篠田英雄譯	・五〇	〔小形〕一六四	同
同 (42) 三民主義解說(下卷)	周佛海 犬養健	・五〇	〔小形〕一七一	同
同 (43) 野口英世	小泉丹	・五〇	〔小形〕一八七	同
同 (40) 北極飛行	ヴオドビヤーノフ 米川正夫譯	・五〇	〔小形〕二六一	同
同 (37) 物質と光(上)	ドウ・ブロイ 河野與一譯	・五〇	〔小形〕二〇七	同
同 (38) 同 (下)	同	・五〇	〔小形〕二〇〇	同
同 (44) 科學と宗教との鬪爭	ホワイト 森島恒雄譯	・五〇	〔小形〕二三三	同
同 (46) 雷	中谷宇吉郎	・五〇	〔小形〕一九五	同
同 (47) 戰爭とふたりの婦人	山本有三	・五〇	〔小形〕一八二	同
同 (49) 零の發見	吉田洋一	・五〇	〔小形〕一六五	同

岩波新書(54) 儒教の精神	武内義雄	・五〇	〔小形〕二一四	岩波書店
同 (48) 結婚・友情・幸福	アンドレ・モロフ 河盛好藏譯	・五〇	〔小形〕二一〇	同
同 (52) 芝居入門	小山内薫 北村喜八	・五〇	〔小形〕二六二	同
同 (50) 上卷 物理學はいかに創られたか	アインシユタイイン フエルト 石原純譯	・五〇	〔小形〕一九二	同
同 (53) 日本資本主義史上の指導者たち	土屋喬雄	・五〇	〔小形〕二二六	同
同 (55) バルカン	芦田均	・五〇	〔小形〕二一〇	同
同 インフレーション	木村禧八郎	・五〇	〔小形〕一八三	同
エマスン論文集	戸川秋骨	・四〇	〔小形〕二一四	同
櫻楓文庫(10) 成瀬先生講演集第六	仁科節	・四〇	〔小形〕一八七	日本女子大内櫻楓會出版部
同 (11) 同 第七	同	・四〇	〔小形〕二〇〇	同
同 (8) 同 第四	同	・三五	〔小形〕一九六	同
カメラの滿洲(其の一) 續東亞新滿洲文庫	石森延男	・六〇	〔四六〕五〇	修文館
同 (其の二)	同	・六〇	〔四六〕五四	同
改造文庫第二部四〇九 幼年時代上卷	マクシム・ゴーリキイ 上田進譯	・四〇	〔小形〕二二九	改造社

改造文庫第二部四〇〇 壺のアリヨーシヤ他八篇	トルストイ 梅田寛譯	・五〇	〔小形〕二五一	改造社
同 三九九 街の風景	杉木喬	・四〇	〔小形〕一九八	同
同 三九二 襯衣	八木さわ子	・三〇	〔小形〕一二一	同
同 決鬪(上)	クープリン 梅田寛譯	・五〇	〔小形〕二四六	同
同 機械	横光利一	・四〇	〔小形〕二二九	同
同 天地有情	土井晩翠	・五〇	〔小形〕二七六	同
同 おらが春、一茶文集	荻原井泉水	・五〇	〔小形〕二七五	同
同 死の勝利(上)	ダンヌンツイオ 原田謙次譯	・五〇	〔小形〕二六九	同
同 第一部一七四 劇作法(下)	フライタイク 末吉寛譯	・四〇	〔小形〕一八五	同
同 第二部四一二 現代語譯源氏物語(二)	窪田空穗	・五〇	〔小形〕二四九	同
同 第二部四〇五 東遊記	橘南谿 今泉忠義	・五〇	〔小形〕二五四	同
同 一—一五五 性と性格上卷	オツトオ・ワイニンゲル 村上啓夫譯	・四五	〔小形〕二三二	同
同 二—三五九 石川啄木	金田一京助	・五〇	〔小形〕二八二	同
同 第二部四〇一 化粧と口笛他三篇	川端康成	・五〇	〔小形〕二五五	同
同 ルーソーと浪漫主義	崔載瑞	・六〇	〔小形〕三三九	同

改造文庫第二部三四三篇 本居宣長全集(1) 古事記傳(1)	本居宣長 風巻景次郎校訂	・六〇	〔小形〕二七三	改造社
同 ふりだした雪	久保田万太郎	・五〇	〔小形〕二八五	同
同 第二部三八五篇 俳諧師・續俳諧師	高濱虚子	・五〇	〔小形〕二四八	同
同 三三九 南蠻更紗	新村出	・六〇	〔小形〕三四六	同
同 二—三五六 巴里の胃袋(上卷)	エミール・ゾラ 武林武想廉譯	・五〇	〔小形〕二六一	同
同 第一部一五三篇 文化と風土(英文學史其他)	イボリート・テーヌ 丸山誠次譯	・六〇	〔小形〕三〇四	同
同 全譯俳諧七部集 二—三六〇 第一卷冬の日	萩原蘿月	・三〇	〔小形〕一五六	同
同 第二部第三七九篇 母への手紙(下)	ボードレエル 祖川孝譯	・四〇	〔小形〕一八八	同
同 第一部一七九 告白・回想	ハイネ 土井義信譯	・四〇	〔小形〕二二〇	同
同 第二部四一〇 幼年時代(下)	マクシム・ゴーリキイ 上田進譯	・六〇	〔小形〕三〇〇	同
同 第二部三八三篇 牧水歌論歌話集	若山牧水	・五〇	〔小形〕二七五	同
同 第二部三八二篇 愛弟通信	國木田獨歩	・四〇	〔小形〕二一〇	同
同 三七一篇 決鬪(下)	クープリン 梅田寛	・五〇	〔小形〕二五七	同
同 第一部一七三 劇作法(上)	フライタイク 末吉寛譯	・五〇	〔小形〕二七六	同

改造文庫 プチ・ブルジョア	バルザック 芹澤光治良譯	・六〇	三〇九	改造社
同 第二部四〇二 ピノチオ	コロディ 佐藤春夫譯	・五〇	二六六	同
同 第一部一六七篇 藝術の限界・その他	アンドレ・ジイド 佐藤正彰譯	・二〇	九四	同
同 第一部一四六篇 ロシア文學講話(下)	クロポトキン 伊藤整譯	・五〇	二八一	同
同 第二部第三八八篇 うた日記	森鷗外	・三〇	一五〇	同
同 第三一一篇 穀物條例論—地代論	ロバアト・マルサス 鈴木鴻一郎譯	・三〇	一五九	同
同 第三九〇篇 みだれ髪・小扇・戀衣	與謝野晶子	・三〇	一六三	同
同 第二部三七七篇 智慧の悲しみ	グリボイエードス 八杉貞利譯	・三〇	一五八	同
同 第二部四二一 薄命のヂュード	トマス・ハーディ 内田精一譯	・四〇	二〇四	同
同 第二部四二四 上海	横光利一	・五〇	二八三	同
同 第三部四〇三 ヘンリ・ライクロフトの手記	谷崎精二	・五〇	二五四	同
同 四〇四 みだれ箱	齋藤綠雨	・四〇	二一〇	同
同 二―三五七 巴里の胃袋 下卷	エミール・ゾラ 武林無想庵譯	・四〇	二一三	同
同 第一部一六八 わが毒舌	サント・ブウブ 石川湧譯	・五〇	二五三	同
同 第二部第三八九篇 蒲生氏郷	幸田露伴	・二〇	一〇二	同

改造文庫第二部三九七 北條霞亭(上)	森鷗外	・五〇	二五四	改造社
同 第二部四一一 現代語譯源氏物語(一)	窪田空穗	・五〇	二四三	同
同 第二部三八七篇 藏の中 他四篇	宇野浩二	・五〇	二六五	同
同 一―一七〇 社會學入學	本田喜代治 牧野巽	・五〇	二六五	同
同 第二部第三八一篇 武藏野	國木田獨歩	・五〇	二六四	同
同 第二部三九六篇 人間嫌ひ、ブスイシェ	モリエール 吉江喬松譯	・五〇	二六三	同
同 第二部三七五編 ふるさと紀行(他六篇)	ヘルマン・ヘッセ 竹越和夫譯	・五〇	二五一	同
同 第二部四〇七 拾遺愚草(一)	藤原定家 佐々木信綱	・五〇	二三一	同
同 第二部三七八篇 母への手紙(上)	ボードレエル 祖川孝譯	・四〇	二〇七	同
同 二―三九九 第三卷 ブッデンブロオク家の人々	トオマス・マン 吉良良吉譯	・四〇	二一六	同
同 第一部一六九 トオマス・マン自傳	濱野修	・二〇	一〇三	同
同 第二部三九一 龍姿蛇姿	幸田露伴	・五〇	二四〇	同
改造文庫總目錄	改造社		五八	同
改造文庫第二部三九四 プチ・ブルジョア(下)	バルザック 芹澤光治良譯	・四〇	一八八	同
同 第一部一七二 ギヨオテ傳	森鷗外	・七〇	三八四	同

學生文庫 文學論	阿部知二	一・二〇	四六 一九五	河出書房
同 日本美術論	金原省吾	一・二〇	四六 二〇一	同
學生に與ふる書(岩波新書45)	天野貞祐	・五	二三三	岩波書店
海國兵談	村岡典嗣	・四〇	五六四	同
教養文庫1 人間のポリス的形成	山内得立	・五〇	一四三	弘文堂書房
同 日本精神と世界精神 2	柳田謙十郎	・五〇	一八八	同
同 文化類型學 4	高山岩男	・五〇	二四九	同
同 日本國家思想 5	肥後和男	・五〇	一七	同
同 大數學者(上) 9	小堀憲	・五〇	一八一	同
同 フランス古典悲劇(32)	田中敬次郎	・五〇	一五三	同
同 町人(28)	坂田吉雄	・五〇	一五八	同
同 ハムレット(30)	中西信太郎	・五〇	一六八	同
同 島崎藤村(29)	龜井勝一郎	・五〇	一八六	同
同 日本生物學の歷史(19)	上野益三	・五〇	一八八	同
同 量子論(17)	田村松平	・五〇	二六八	同

教養文庫(23) 自然哲學	下村寅太郎	・五〇	一七五	弘文堂書房
同 ドイツ戰爭文學(27)	石中象治	・五〇	一六八	同
同 希臘神話(31)	原隨園	・五〇	二〇〇	同
同 日本文化の話(26)	長與善郎	・五〇	一八六	同
同 カントと形而上學(24)	谷山隆夫	・五〇	一九一	同
同 原始社會(25)	岡田謙	・五〇	一六六	同
同 ランケンと世界史學(37)	鈴木茂高	・五〇	一七四	同
同 動物の感覺生活(22)	本城市次郎	・五〇	一六〇	同
同 支那思想とフランス(13)	小林太市郎	・五〇	一八九	同
同 フランス近代作家(8)	大宰施門	・五〇	一七六	同
同 社會存在論(11)	務臺理作	・五〇	一八七	同
同 最近の物質觀(18)	湯川秀樹	・五〇	一四八	同
同 國民と教養(21)	木村素衞	・五〇	二〇二	同
同 ビーダーマイヤー文化(33)	吹田順助	・五〇	一四三	同
金の星特選文庫(1) イソップ物語	金の星社	・八〇	一六六	金の星社

牛肉と馬鈴薯他三篇	國木田獨歩	・二〇	四 一三六	岩波書店
黑い眼と茶色の目	德富健次郎	・四〇	四 二六三	同
刑政文庫(3) 牢獄秘錄	尾佐竹猛	・一〇	四 九三	刑務協會 横濱支部
同 (2) 刑罰と犯罪	パウル・ボーリック 東邦彦譯	・三〇	四 二六九	同
興亞文庫(16) 體力向上に就て	天理教道友社		四 七一	天理教道友社
同 (15) 大平洋問題	同		四 七六	同
同 (13) 神道と日本精神	同		四 六五	同
同 (11) 皇室の教化事業御奬勵に就て	同		四 二三	同
同 (12) 事變下の財政經濟問題に就て	同		四 七一	同
同 (14) 國際情勢に就て	同		四 九〇	同
古代希臘文學總說	木下正路	・四〇	四 二七〇	岩波書店
サンフアミーニ(家なき兒)(中)	津田穰	・四〇	四 二二七	同
作品文庫 現代の記錄	三木清	・六〇	四 二〇五	作品社
同 ゴーゴリ夜中に死す	ツエンスキイ 八住利雄譯	・八〇	四 一九八	同
同 日本學の理念	藤澤親雄	・七五	四 一七八	同
作品文庫 毛髮と壽命	式場隆三郎	・六〇	四 一三四	作品社
同 心理學と教育	波多野完治	・五〇	四 一二四	同
同 五軒長屋	大江賢次	・六〇	四 一四八	同
西鄕南洲遺訓	山田濟齊	・二〇	四 一〇八	岩波書店
西國の伊達男	山本修二	・二〇	四 一四三	同
シエイクスピアの悲劇(下)	中西信太郎	・四〇	四 二四六	同
春陽堂文庫四六八 大阪落城後篇	直木三十五	・五〇	四 二八六	春陽堂書店
同 驗の母	長谷川伸	・五〇	四 三一九	同
同 四二八 人外境	黑岩涙香	・六〇	四 四五一	同
同 四六六 丸の内五人男	辰野九紫	・五〇	四 三〇八	同
同 四八三 赤い蝙蝠	木下宇陀兒	・四五	四 二八二	同
同 二六九 捕物女双六	佐々木味津三	・四五	四 二六八	同
同 四三六 破天荒	黑岩涙香	・五〇	四 二八八	同
同 四六九 浪人放浪記	湊邦三	・四五	四 二六二	同
同 四八一 血液型は語る	正木不如丘	・四五	四 二七八	同

春陽堂文庫二七四 居留地の丘	北林透馬	・四五	四 二七四	春陽堂書店
同 八八 八軒長屋前篇	村上浪六	・五五	四 三四九	同
同 八九 同 後篇	同	・五五	四 三六九	同
同 四七二 花嫁設計圖	中野實	・六五	四 四六〇	同
同 四八〇 當世五人男(6)吉田雄藏	村上浪六	・三五	四 一六八	同
同 四八八 曠野涯なく	大江賢次	・六五	四 四五四	同
同 四八六 警察官	竹田敏彦	・四五	四 二七五	同
同 四七九 當世五人男五川上三吉	村上浪六	・四五	四 二四三	同
同 三七八 黑手組	江戸川亂歩	・三五	四 一八七	同
同 四七六 當世五人男(2)黑田健次	村上浪六	・五〇	四 二五五	同
同 四八二 山國	正木不如丘	・四五	四 二八〇	同
同 一〇五六 盲目物語	谷崎潤一郎	・三〇	四 一五七	同
同 四七八 當世五人男(4)	倉橋幸藏 村上浪六	・五〇	四 二四八	同
同 四七七 同 (3)	上田力 村上浪六	・五〇	四 二六一	同
同 四七五 同	村上浪六	・五〇	四 三三〇	同
春陽堂文庫四八七 女よ男を裁け	竹田敏彦	・四五	四 二八〇	春陽堂書店
同 青春音頭	サトウ・ハチロー	・五五	四 三三六	同
新潮文庫三二七 7欺かざるの記青年時代	國木田獨歩	・四五	四 二六〇	新潮社
同 三二八 8戀愛日記	同	・四五	四 二五二	同
同 三二九 9詩及小品集	同	・三五	四 一六九	同
同 三五一 ユゴオ傳	レオポルド・マビヨオ 神部孝譯	・三五	四 一九九	同
同 三四二 七つの海上卷	牧逸馬	・六〇	四 三五一	同
同 三四三 同 下卷	同		四 二五八	同
同 三四六 山に入る心	田邊重治		四 一〇四	同
同 三三九 都會の憂鬱	佐藤春夫	・三〇	四 一七六	同
同 二四〇 戀愛合戰	宇野浩二	・七〇	四 四三二	同
同 三六〇 護持院ケ原の敵討 附大鹽平八郎	森鷗外	・二〇	四 一一五	同
同 三六五 四季の隨想	田部重治	・四〇	四 二一七	同
同 三六六 支那文學十五講	高須芳次郎	・六五	四 三三一	同

新潮文庫三六一	別れた妻	近松秋江	・三五	一六五 新潮社
同 三六二	受難華（上）	菊池寛	・四〇	五〇六 同
同 三六三	（下）	同	・四〇	二五六 同
同 三六四	ルーヂン	ワルグーネフ 米川正夫譯	・四〇	二四三 同
同 三四七	肉彈終篇 流血の丘	櫻井忠溫	・三五	二〇九 同
同 三四五	脂肪の塊	廣津和郎	・二〇	一一三 同
同 三四四	鶴八鶴次郎	川口松太郎	・四五	二四八 同
同 三九一	金色夜叉（上）	尾崎紅葉	・五〇	四九四 同
同 三九二	（下）	同	・四〇	二八八 同
同 三七三	有憂華	菊池寛	・六五	四〇八 同
同 三七八	六號室・黒衣の僧	チエーホフ 中村白葉譯	・三〇	一五九 同
同 三八四	夜	横光利一	・四〇	二三八 同
同 三八五	惡の序章	尾崎士郎	・四〇	二一九 同
同 三八九	剪燈新話	田中貢太郎	・四五	二七五 同
同 三六八	妻	田山花袋	・四〇	二八九 同

新潮文庫三六九	結婚二重奏	菊池寛	・四五	二六九 新潮社
同 三七〇	ロビンソン・クルーソー	ダニエル・デフオー 小山東一譯	・六〇	三八二 同
同 三八〇	紀行	林芙美子	・五〇	二九二 同
同 三七九	海賊	バイロン 岡本成蹊譯	・三〇	一五三 同
同 三九七	娘の嫉妬	フイリップ 堀口大學	・三五	二〇四 同
同 三九六	マレエヌ姫	マアテルリンク 山内義雄	・三五	一八八 同
同 三九四	相思樹	牧逸馬	・四〇	二一一 同
同 三八三	旅役者	長田幹彦	・三〇	一五四 同
同 三八六	根こぎにされた人々（上）	モオリス・パレス 吉江喬松譯	・五〇	五七七 同
同 三八七	（下）	同	・五〇	二九七 同
同 三六七	樋口一葉傑作抄	樋口一葉	・三〇	一五七 同
同 三七二	アンデルセン童話集	楠山正雄譯	・五〇	三〇六 同
同 三七一	プチビエール物語	アナトール・フランス 大井征譯	・四五	二六一 同
同 四〇二	三人（下）	ゴーリキイ 原久一郎譯	・五五	六九三 同
同 四〇五	人姉妹（下）	オールコット 松本惠子譯	・四〇	四八〇 同

新潮文庫四〇一	人（上巻）	ゴーリキイ 原久一郎譯	・六〇	三九九 新潮社
同 四〇四	四人姉妹 上巻	オールコット 松本惠子譯	・四〇	二四四 同
同 四〇六	検察官	コーゴリ 中村白葉譯	・三五	一六五 同
同 四〇三	彼岸過迄	夏目漱石	・五〇	三〇六 同
同	淺草日記	川端康成	・四〇	二一九 同
同	魔像	林不忘	・四五	二五七 同
同 三八二	小さき世界	武者小路實篤	・五五	三一二 同
同 三八八	猫橋	ズウデルマン 生田春月譯	・六五	三九六 同
同 三五五	隊長ブーリバ	ゴーゴリ 原久一郎譯	・五〇	二七五 同
同 三五九	生きんとする者	武者小路實篤	・五〇	三〇一 同
同 三九三	第二の接吻	菊池寛	・五〇	二八三 同
同 三九五	池水荘綺譚	甲賀三郎	・四〇	三一三 同
同 三九九	黒猫	エドガア・アラン・ポオ 谷崎精二譯	・四〇	二七 同
同 三九八	東京日記	内田百閒	・三〇	一五三 同
同 三七六	蓼喰ふ蟲	谷崎潤一郎	・三五	二〇九 同

新潮文庫三二六	獨歩書簡	國木田獨歩	・三五	二〇〇 新潮社
同 三七五	仇討淨瑠璃坂（下）	直木三十五	・四五	三三九 同
同 三三〇	獨歩病牀錄	眞山青果	・三五	一六〇 同
同 四一	受難者	江馬修	・八〇	四六八 同
同 三七四	仇討淨瑠璃坂（上）	直木三十五	・四〇	二三五 同
同 三九〇	乃木將軍詩歌物語	高須芳次郎	・三〇	二三六 同
同 三八一	盲目物語	谷崎潤一郎	・三五	一二八 同
同 三七七	闇の力	中村白葉譯 トルストイ	・五二	一五三 同

新潮文庫三二七	獨歩全集(6)獨歩書簡	國木田獨歩	・三五	二〇〇 新潮社
同 三七五	仇討淨瑠璃坂（下）	直木三十五	・四五	三三九 同
同 三三〇	獨歩全集10獨歩病牀錄	眞山青果	・三五	一六〇 同
同 四一	受難者	江馬修	・八〇	四六八 同
同 三七四	仇討淨瑠璃坂（上）	直木三十五	・四〇	二三五 同
同 三九〇	乃木將軍詩歌物語	高須芳次郎	・三〇	二三六 同
同 三八一	盲目物語	谷崎潤一郎	・三五	一二八 同
同 三七七	闇の力	中村白葉譯 トルストイ	・五二	一五三 同

書道文庫(29)	俊成・良經・雅經・家隆・定家・爲家	相澤春洋	・八〇	四四 アトリエ社
同 (14)	徐浩・柳公權・楊凝式・李北海・松岡巖雪	松岡巖雪	・八〇	四四 同
同 (19)	鄧完白・包世臣・吳讓之・趙之謙・吳昌碩	楠瀬日年	・九五	四四 同
同 (11)	緒良	手島右卿	・八〇	四四 同
同 (13)	遂志・懷素・張旭	高橋竹村	・八〇	四四 同

書道文庫(21) 寂澄・橘逸勢	山田菱花	・八〇	四 三九	アトリエ社
同 東坡・黄山谷・光元章(15) 蔡襄・蘇	石橋犀水	・八〇	四 九〇	同
同 佐理(25)	桑原江南	・八〇	四 八六	同
同 池大雅(36)	山中蘭徑	・八〇	四 八九	同
同 空海	上田桑鳩	・八〇	四 一〇〇	同
書窓遠景其他 基督教文庫(21)	柏井光藏	・五〇	彩 二〇〇	長崎書店
信仰再建文庫(13)「歴史上繼續せる監督」職	稲垣陽一郎	四・四〇	四 二六九	聖アタナシオ會
新日本少年少女文庫(4) 國の護り(陸・海・空)	福永恭助	一・五〇	菊 二八四	新潮社
同 心を清くする話(11)	吉江喬松	一・五〇	四 三〇〇	同
人生文庫第八篇 新しき母	松山悅三	・七〇	四 一二六	人生社
少年少女世界文庫十四 狐の裁判	内田百間	・五〇	彩 一五八	小山書店
同 十五 イソプ物語	新村出	・五〇	四 一九六	同
少年少女愛國文庫 風習の話	野瀬寛顯	一・〇〇	四 二一六	厚生閣
同 偉人の話	同	一・〇〇	四 二〇六	同
少年少女讀物文庫 大鬼賊	南洋一郎	・九〇	四 二五四	湯川弘文社
少年少女讀物文庫 火線の三人兵	山中峯太郎	・九〇	四 二八六	湯川弘文社
西洋美術文庫 デュフイ	佐波甫	・八〇	四 三四	アトリエ社
東洋美術文庫 遠州	江守奈比古	・八〇	四 五二	同
西洋美術文庫(23) エルンスト	福澤一郎	・八〇	四 八五	同
同 モネ(10)	森口多里	・八〇	四 八二	同
同 コロ	内田巖	・八〇	四 三六	同
同 ルオー	武者小路實篤	・八〇	四 三九	同
同 「ゴヤ」	伊藤廉	・八〇	四 四五	同
同 ルノアル(14)	今泉篤男	・八〇	四 三六	同
同 (モデリアニ)	荒城季夫	・八〇	四 三六	同
同 ドガ(13)	佐藤敬	・八〇	四 八三	同
同 シヤルダン(7)	坂崎坦	・八〇	四 八一	同
同 ドラン(17)	伊原宇三郎	・八〇	四 八四	同
同 ボナール(15)	柳亮	・八〇	彩 八〇	同
同 マイヨール(16)	山本豐市	・九五	四 八一	同

同 ゴツホ 第十二卷	大森啓助	・八〇	四 四三	同
同 グレコ(3)	須田國太郎	・八〇	四 七九	同
同 ダリ 第二十四卷	瀧口修造		四	同
世界大衆文學の名作選集(10) 水滸傳	施耐庵 笹川臨風譯	・八〇	四 五四六	改造社
タイヤモンド文庫(11) 電氣料金の話	森右作	・七〇	四 二九六	ダイヤモンド社
同 (10) 總動員法と經濟	松澤勇雄	・七〇	彩 二七二	同
同 (12) 實用カナモジ速記	黒川薫	・六〇	彩 二〇八	同
同 (6) 新しき社員道	松本伊勢之丞	・六〇	菊 二三一	同
同 (7) 新興コンツエルン物語	神長倉眞民	・六〇	菊 二四四	同
同 (8) わが社の行き方	松下幸之助	・六〇	彩 二一八	同
同 (9) 經濟學の新傾向	田沼征	・六〇	彩 二三五	同
同 (13) 鑛山の話	松村元	・六〇	四 二五二	同
大教育家文庫 プラトン、シュライエルマツヘル	久保勉 外一氏	一・五〇	四 四三〇	岩波書店
同 コメニウス、フレーベル 第十回	佐々木秀一 倉橋惣三	一・五〇	四 二冊	同
大教育家文庫(12) (8)ソクラテス (22)スペンサノ	三木清 長谷川如是閑	一・五〇	四 二冊	岩波書店
大日本文庫文學篇 南總里見八犬傳(二)	和田利彦	非	四 七一〇	大日本文庫刊行會
大日本文庫勤王篇 水戸學派其他	同	非	四 四三九	同
大日本文庫佛教篇 法然上人集	長井直琴	非	四 五三〇	同
大日本文庫國史篇 續日本紀上卷	和田利彦	非	四 四七八	同
大學書林文庫(13) 否定の研究	生駒佳年	・三〇	彩 五六	大學書林
同 詩的想像力と狂想(一一六)	W・デイルクイ 佐久間政一譯	・三〇	彩 六五	同
同 全體戰爭(一二〇)	G・ブイツシヤー 木村岩藏譯	・三〇	彩 六一	同
對英對ソ同時作戰と國内革新	三島助治	・一〇	四 二九	亞細亞出版社
茶庭茶道文庫	重森三冷	一・五〇	四 一五二	河原書店
茶道文庫 3 裏千家流點前	井口三郎	一・二〇	四 一三一	同
同 茶花 4	西堀一三	一・五〇	四 二二四	同
東洋美術文庫 牧溪	金原省吾	・八〇	四	アトリエ社
同 光琳	佐藤良	・八〇	四	同

西洋美術文庫	デオツト	相良徳三	・八〇	岡 二一〇
同	マネ	富永次郎	・八〇	同
東洋美術文庫(14)	擧應	鈴木進	・八〇	岡 二一三
同	三銃士(17) 第五巻	仲田勝之助	・八〇	岡 二一三 同
同	春信(37)	藤懸静也	・八〇	岡 九一 同
同	松花堂(7)	佐藤虎雄	・九五	岡 八七 同
同	等伯	土井次義	・九五	岡 一〇五 同
同	第廿三巻	外狩素心菴	・八〇	岡 九一 同
同	竹田(24)齋	水澤澄夫	・八〇	岡 五一 同
同	鐵(38)齋	佐藤良	・九五	岡 約七〇 同
同	近世風俗圖第四巻	熊谷宣夫	・八〇	岡 四三 同
同	雪舟	横川毅一郎	・八〇	岡 同
同	第八巻 悦光	森銑三	・八〇	岡 五〇 同
同	探幽	野田九浦	・八〇	岡 一〇〇 同
同	大雅	東洋思想文庫刊行會	・九八	岡 一九六 第一出版協會
同	與亞國民論語讀本(上論語)	相良徳三	・八〇	岡 二一〇 啓文社
同	童話講談文庫	相良徳三	・八〇	岡 二一〇 アトリエ社
同	拳固和尚	鷹谷光久	・六五	岡 二〇二 金の星社
同	南總里見八犬傳(六)	曲亭馬琴	・四〇	岡 二八一 岩波書店
同	日本歷史文庫 鐵砲傳來記	小池藤五郎	・四〇	岡 二九〇 白揚社
同	洞富雄	一・二〇		
同	秀吉の朝鮮經略	京口元吉	一・五〇	岡 三四五 同
同	武士團と神道	奥田眞啓	一・二〇	岡 二九 同
同	丸山清康	一・二〇	岡 二八八 同	
同	封建社會の通貨問題	羽原又吉	一・二〇	岡 二四八 同
同	アイヌ社會經濟史	圭室諦成	一・二〇	岡 二五一 同
同	明治維新廢佛毀釋	中山久四郎	一・二〇	岡 一九五 啓文社
同	日本教育家文庫 山鹿素行	中山久四郎	一・二〇	岡 一九五 同
同	細井平洲	後藤三郎	一・二〇	岡 一七八 同
同	本居宣長 十一	河野省三	一・二〇	岡 一七六 同
同	山鹿素行 十二	中山久四郎		岡 一九五 同
同	細井平洲 第七巻	後藤三郎		岡 一七八 同
同	北條泰時・北條實時 第八巻	中村光靖		岡 二三 同
同	人麿憶良家持	志田延義		岡 二〇三 同

日本教育家文庫九巻第	高野長英、杉田玄白	吉田三郎	・八〇	岡 二一〇 啓文社
同	第十巻 本居宣長	河野省三	・八〇	岡 一七六 同
日本精神文庫(1)	川中島合戰	三島霜川	・九〇	岡 一八四 金の星社
日本精神文庫(2)	關ヶ原合戰	同	・九〇	岡 一八六 同
日本英雄昔話	金の星特選文庫(4)	齋藤公一	・八〇	岡 二〇〇 同
日本外史(二)		賴成一	・四〇	岩 二四一 岩波書店
日本童話集	金の星特選文庫(5)	竹山道雄	・八〇	岡 一八七 金の星社
人形の家		モーリス・ルヴェル 田中早苗譯 アーネスト・ウイリアム・ホーナング 田中早苗譯 J・ビース 炭尾韶夫譯 トウマス・ハンショウ 吉田甲子太郎譯 オースチン・フリーマン 炭尾韶夫譯 ・ドウービ 小酒井不木譯	・二〇	岩 一五〇 岩波書店
博文館文庫(64)	青蝿		・二〇	岩 二八七 博文館
同	義賊ラツフルズ(60)		・二〇	岩 二七三 同
同	人間豹(63)		・二〇	岩 三〇七 同
同	天國の門(65)		・二〇	岩 二八四 同
同	青い甲蟲(66)		・二〇	岩 三〇一 同
同	スミルノ博士の日記(74)		・二〇	岩 三〇五 同
同	昭和實戰棋集(76)	小泉盛吉	・二〇	岩 一一八 同
同	魔海の音樂師(84)	吉川英治	・二〇	岩 一五六 博文館
同	農業世界編輯局		・二五	岩 一八四 同
同	園藝術奥傳圖解(77)		・二五	岩 一七六 同
同	トマトと甜瓜(70)		・二五	岩 一八四 同
同	魔境の寶庫(83)	黒部溪一	・二〇	岩 二〇六 同
同	奇巖城(81)	ルブラン 伊藤松雄譯	・二五	岩 二二八 同
同	百萬兩の佳人(80)	野村無名庵	・二五	岩 一七六 同
同	右門捕物帖(27)	佐々木味津三	・二〇	岩 二〇六 同
同	旗本退屈男(28)		・二〇	岩 二〇六 同
同	黄昏地藏(29)	子母澤寛	・二〇	岩 二〇六 同
同	局詳解近代中心篇(50)	古今名士居市太郎	・二五	岩 二一七 同
同	初學將棋讀本(52)	建部和歌夫	・二五	岩 二〇八 同
同	寄せの手筋(54)	梶一郎	・二五	岩 二〇三 同
同	開戰の時機(55)	同	・二五	岩 二〇六 同
月	長石(75)	ウイリアム・ウイルキ・コリンズ 森下雨村譯	・二〇	岩 三一三 同

博文館文庫(32) 春の盆栽	農業世界編輯局	・三〇	〔小形〕	二〇〇	博文館
同 大菊の作り方(40)	同	・三〇	〔小形〕	一九二	同
同 夏の盆栽(33)	同	・三〇	〔小形〕	一九二	同
同 渦巻く濃霧(68)	エドガア・ウオレース 延原謙譯	・三〇	〔小形〕	二九八	同
同 リンクスの殺人事件(70)	マガサ・クリスティ 延原謙譯	・三〇	〔小形〕	三〇七	同
同 風神門(56)	吉川英治	・二〇	〔小形〕	二〇六	同
同 鞍馬天狗餘聞(25)	大佛次郎	・五〇	〔小形〕	四〇九	同
同 朝顔の作り方(42)	農業世界編輯局	・三〇	〔小形〕	二〇〇	同
同 草花二百種の作り方(43)	同	・三〇	〔小形〕	二〇〇	同
同 俺の故郷(87)	佐藤八郎	・四〇	〔小形〕	二九二	同
同 江戸捕物帖(82)	横溝正史・野村胡堂・佐木味津三 岡本綺堂	・二五	〔小形〕	一四四	同
同 海底の黄金(61)	フオルチユネ・デユ・ボアゴベイ 妹尾韶夫譯	・四五	〔小形〕	四二八	同
同 人情舗道(88)	山岡莊八	・五〇	〔小形〕	三七七	同
同 スキー術入門(87)	小島六郎	・四〇	〔小形〕	一五八	同
同 書類第百十三(59)	エミール・ガボリオー 田中早苗譯	・三五	〔小形〕	三三九	同

博文館文庫(62) 鎖の環	アルフレツド・マシヤール 水谷準譯	・三〇	〔小形〕	二九六	博文館
同 二輪馬車の秘密(73)	フアーガス・ヒユーム 横溝正史譯	・三〇	〔小形〕	二七九	同
同 グリイン家慘殺事件(71)	ワシ・ダイン 平林初之輔譯	・四〇	〔四六〕	三八三	同
同 バスカーヴイルの犬(69)	サー・アーサ・コオナン・ドイル 延原謙譯	・三〇	〔小形〕	二七八	同
同 鞍馬天狗餘燼(26)	大佛次郎	・五〇	〔小形〕	四七六	同
同 シシリアの貴族(72)	パロネス・エムムスカ・オルチイ 上塚貞雄譯	・三〇	〔小形〕	三〇四	同
同 錢形平次(30)	野村胡堂	・五〇	〔小形〕	四四四	同
同 海底軍艦(22)	押川春浪	・二〇	〔小形〕	二一七	同
同 綠のダイヤ(67)	アーサー・モリスン 延原謙	・三〇	〔小形〕	二八二	同
花籠文庫(10) 陣中通信 後篇	大谷勉庵	・五〇	〔四六〕	五七	草莖社
母の文庫(2) 姙娠と安産の心得	吉岡彌生	一・二〇	〔四六〕	二六〇	婦女界社
引伸機の選び方 アルス寫眞文庫	北野邦夫	・五〇	〔四六〕	七二	アルス
プルス寫眞文庫 家庭暗室の作り方	永井三郎	・五〇	〔四六〕	六七	同
冨山房百科文庫(96) シヤルル・ブランシヤール	ルイ・フイリツプ 吉江喬松譯	・四〇	〔小形〕	一三八	冨山房
同 三つの物語(95)	フローベール 中村星湖譯	・五〇	〔小形〕	二一二	同

冨山房百科文庫(91) 佛陀の生涯(佛所行讃)	馬鳴 平等通昭譯	・六〇	〔小形〕	二八八	冨山房
同 現はれたる笑の研究(92)	成瀬無極	・七〇	〔小形〕	二六六	同
同 十九世紀獨逸哲學思潮(93)	ヴインデルバント 岡田隆平譯	・四〇	〔小形〕	一四〇	同
同 改訂下谷叢話(94)	永井荷風	・七〇	〔小形〕	三〇二	同
冨山房百科文庫(82) 騎士道時代	バルフインチ 中島孤島譯	・六〇	〔小形〕	二七八	同
同 旅こそよけれ(79)	近松秋江	・六〇	〔小形〕	二七〇	同
同 成年の秘密(89)	ハンス・カロツサ 高橋義孝譯	・五〇	〔小形〕	二〇八	同
同 建禮門院右京大夫集(78)	佐々木信綱校註	・四〇	〔小形〕	一二五	同
同 序曲・入江のほとり(84)	マンスフイールド 佐佐木直次郎	・四〇	〔小形〕	一六八	同
同 椋鳥の夢	濱田廣介	・八〇	〔小形〕	四〇八	同
同 惡魔の靈藥(82)	ホフマン 國松孝二譯	・四〇	〔小形〕	一八二	同
文化生活新家庭文庫 前篇	永原松五郎	五・五〇	〔菊〕	七四二	東京家事研究會
同 同 後篇	同	五・五〇	〔菊〕	七四〇	同
法藏文庫(6) 蓮如上人言行錄	稲葉昌丸	・六〇	〔四六〕	一八八	法藏館
同 歎異抄新註(7)	多屋頼俊	・三〇	〔四六〕	一二三	同

綠のハインリヒ(二)	伊藤武雄	・四〇	〔小形〕	二四六	岩波書店
物語近世文學第三卷 眞書太閤記上	五十嵐力	二・五〇	〔菊〕	三三五	雄山閣
羊門文庫(16) 聖書と進化論	ブライアン 榊原アキラ譯	・一〇	〔小形〕	五四	羊門社
同 聖書と傳道(15)	フオルサイス 菟原八郎譯	・二〇	〔小形〕	八一	同
義經記	島津久基	・六〇	〔小形〕	三六一	岩波書店
レナナルド・ダ・ヴインチ 西洋美術文庫	山川智三郎	・九五	〔四六〕	九五	アトリエ社

（三六）年鑑・統計・報告書

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
アルミニウム年鑑・マグネシウム總覽（新版）	一條諦吉	七・八〇	四六四〇	金物時代社
一九三九年版 ブラッセー海軍年鑑	海軍有終會	非賣	菊三五六	海軍有終會
同 世界年鑑	日本國際問題調査會	一二・〇〇	菊四七六	創美社
同 蘇聯邦年鑑	日蘇通信社	一二・〇〇	菊二二九	日蘇通信社
一九三九年巴里萬國博覽會協會事務報告	山田廣	非賣	菊四八	同協會
一宮市年表（一宮市史拔刷）	一宮市	非賣	菊四二	一宮市
遺德顯彰會故人年鑑 昭和十四年第一輯	大日本頌德會	非賣	菊七四五	大日本頌德會
1939—40年版 Glimpses of the East（英文世界貿易年鑑）	川田友之		約八〇〇	川田友之
英文日滿年鑑（一九三九）	芝東吾		菊二一八	ジヤパン・マンチュコー年鑑社
大藏省第三十六回年報	大藏省	三・〇〇	菊三六三	内閣印刷局
大阪帝國大學理學部研究報告 第二類 物理學 第六卷昭和十三年	大阪帝國大學		菊五一	大阪帝國大學
同 第三類 化學 第六卷昭和十三年	同		菊一五〇	同
大相撲年代鑑前篇	山本義一	二・五〇	菊二六〇	兩國書房
大日本協同組合年鑑	森德久	二・〇〇	菊四一五	農村經濟調査局
小河內村報告書	小河內村	非賣	菊三一	小河內村
音樂年鑑 昭和十四年度	增澤健美	一・〇〇	四三五	共益商社書店
海外販路擴張ニ關スル報告書	大阪府貿易組合聯盟		菊一六八	大阪府貿易組合聯盟
化學工業年鑑（昭和十四年）	本松憲相	二・五〇	四九〇三	時報化學工業社
經濟統計論	森文三郎	二・〇〇	菊一四三	叢文閣

京城帝大蒙疆學術探檢隊報告書 蒙疆の自然と文化	京城帝大大陸文化研究會	五・〇〇	菊三七一	古今書院
ゲーテ年鑑（第七卷一九三八年）	雪山俊夫	二・五〇	菊二二	南江堂
同（第八卷 千九百三十九年）	日本ゲーテ協會	三・五〇	約三二〇	同
現地報告農村總動員	東京朝日新聞社	一・六〇	四三二	東京朝日新聞社
今日の歐洲現地報告	加瀨俊一	一・四〇	四八九	東京日日新聞社
興亞産業の現地報告	山崎光夫	二・五〇	四二四	興亞産業の現地報告刊行會
公社債年鑑（昭和十四年版）	野村證券株式會社調査部	五・〇〇	菊二三六	野村證券株式會社調査部
工事年鑑（皇紀二五九九）	株式會社清水組	非賣	菊一七八	株式會社清水組
國際勞働年鑑（昭和十三年版）	鮎澤巖	一・二〇	四三三	國際勞働局
産業組合年鑑（昭和十四年用）	中島寅之助	一・〇〇	菊四五五	中央産業組合會
市政年鑑（昭和十四年版）	朴石憲	三・〇〇	四四五	市政研究社
思想對策委員會の審議經過に關する中間報告	國策研究會	非賣	菊四〇	國策研究會
商大研究年報 法學研究（四）	中山伊知郎	二・八〇	菊四七八	岩波書店
自動車年鑑（一九三九年版）	白井實	一・五〇	四	工業日々新聞社
靜岡縣磐田郡松林山古墳發掘調査報告	大場磐雄	非賣	菊八	磐田郡御厨村鄉土教育研究會
支那經濟年報第二輯 一九三八年下半期	支那經濟年報刊行會	一・八〇	四三三	白揚社
支那經濟年報	山口高商東亞經濟研究所	三・七〇	菊六三八	改造社
支那事變報告錄銃後篇	伊藤盛兄	非賣	四五〇	高知市役所
宗教年鑑	村田鐵三郎	二・〇〇	菊	有光社
柔道年鑑（昭和十四年）	講道館	二・〇〇	四七四	講道館
昭和十年國勢調査報告 第二卷 和歌山縣	內閣統計局	一・五	菊二一六	東京統計協會
同 第二卷 山口縣	同	一・四〇	菊五〇	同
同 第二卷 沖繩縣	同	一・五	菊三	同
同 第二卷 高知縣	同	一・五	菊三九	同
昭和十一年日本外國貿易年表 下篇 上篇	大藏省	一・〇〇	菊二四〇	內閣印刷局
同	同	五・〇〇	菊一〇九七	同
昭和十二年度直轄工事年報	內務省土木局河川課		菊九五八	內務省土木局河川課
昭和十三年度學徒至誠會派遣團報告 滿洲篇研究報告	藤本治義	非賣	菊八五	學徒至誠會

昭和十三年 航空年鑑	北尾龜男	三・五〇	菊	八一六	帝國飛行協會
昭和十三年度 セメント聯合會年鑑	セメント聯合會	非賣品		四〇〇	セメント聯合會
昭和十四年運動年鑑 別冊 各種運動競技規則全集	朝日新聞社運動部	一・二〇	圓	二冊	朝日新聞社
昭和十四年度 株式年鑑	大阪屋商店調査部	六・〇〇	菊	一二七六	大同書院
昭和十四・十五年版 海事年鑑	畝川鎭夫	三・〇〇	圓	六五〇	海事彙報社
昭和十四年上半期 活動報告書	平野學	非賣品	菊	七二	社會大衆黨同盟出版部
昭和十四年版 建築年鑑	建築學會	一・五〇	菊	三七八	建築學會
同 工業藥品年鑑	東京藥品日報社調査部	五・〇〇	菊	七三一	東京藥品日報社
同 廣告年鑑	大橋和夫	二・〇〇	圓		萬年社
昭和十年國勢調査報告 第一卷全國編	內閣統計局	一・〇〇	菊	二三五	東京統計協會
昭和十四年 產業年鑑	白井實	二・〇〇	圓		工業日々社
同 雜誌年鑑	日本讀書新聞社	二・〇〇	圓	七五七	日本讀書新聞社
同 人絹年鑑	大川幸之助	五・〇〇	菊	二五〇	同盟通信社
同 出版年鑑	日黑甚七	五〇	圓	九六三	東京書籍商組合
昭和十四年版 出版年鑑	北尾龜男	三・五〇	菊	八一六	帝國飛行協會
同 第十七回 東洋經濟株式會社年鑑	セメント聯合會	非賣品		四〇〇	セメント聯合會
昭和十四年版 土の文學作品年鑑	朝日新聞社運動部	一・二〇	圓	二冊	朝日新聞社
同 日本官界年鑑	大阪屋商店調査部	六・〇〇	菊	一二七六	大同書院
同 日本經濟年誌	畝川鎭夫	三・〇〇	圓	六五〇	海事彙報社
同 日本新聞年鑑	平野學	非賣品	菊	七二	社會大衆黨同盟出版部
同 日本文化團體年鑑	田口章太	二・〇〇	圓	八三二	日本文化團體聯盟中央聯絡部
同 （一九三九年） 日露年鑑	日露通信社	一〇・〇〇	菊	三三六	日露通信社
昭和十四年新版 肥料年鑑	平野茂之	四・〇〇	菊	四〇〇	大阪肥料報社
作品 昭和十四年度版 文藝豆年鑑	作品社	二・五〇	圓	一四六	作品社
昭和十五年朝日年鑑 附錄歐洲大動亂地圖	樋口正德	一・二〇	圓	一〇〇六	朝日新聞社
昭和十五年版 漁業組合年鑑	水產社	二・五〇	約	四五〇	水產社
昭和十五年國民年鑑	楓井金之助	一・〇〇	圓	一〇四九	國民新聞社
昭和十五年版 工業藥品年鑑	東京藥品日報社調査部	五・〇〇	約	一〇〇〇	東京藥品日報社
（昭和十五年合同年鑑 （別冊）吉備三千六百年史	周藤二郎	一・〇〇	圓	二冊	合同新聞社
昭和十五年版 小學年鑑	小學年鑑刊行會	一・八五	圓	三六八	小學年鑑刊行會
同 少國民年鑑	東京教育會	一・六五	圓	三九三	東雲堂
同 兒童年鑑	志村文藏	一・〇〇	圓	一五一	野ばら社
同 學友年鑑	同	一・〇〇	圓	五一二	同
同 昭和年鑑	同	一・〇〇	圓	五一二	同
同 新愛知年鑑	福永祖恭	一・〇〇	圓	一〇四九	新愛知新聞社
同 同盟時事年鑑	同盟通信社	三・〇〇	菊	九六七	同盟通信社
同 日本農業年鑑	富民協會	一・〇〇	圓	四三四	富民協會
同 發明年鑑	帝國發明協會	二・〇〇	別	六七七	帝國發明協會
昭和十五年每日年鑑 別冊附錄 昭和十五年日本人名選二千六百年 ボケット世界年表	大阪每日新聞社 東京日日新聞社	一・〇〇	圓	三冊	大阪每日新聞社 新東京日日新聞社
スキー年鑑 （一九三八―一九三九）	小川勝次	一・二〇	菊	三六六	全日本スキー聯盟
生物統計學概論（上）	川上理一	三・〇〇	菊	一五六	金原商店
政界裏面史年鑑	時局解剖調査所	非賣品	菊	約四〇〇	日本文化出版協會
政學科研究年報 第五輯第一部	臺北帝大政學科研究會	二・三〇	圓	三〇三	臺北帝大政學科研究會
政學科研究年報 第五輯第二部	臺北帝大政學科研究會	二・五〇	圓	三四	臺北帝大政學科研究會
世界政治・金融年報 第一輯	アインチッヒ著 川貞雄譯	二・五〇	菊	三八五	白揚社
世界貿易年鑑 昭和十四年版	齋藤眞	三・〇〇	菊	八〇六	橫濱貿易協會
染料年報第三卷	黑田泰造	三・五〇	菊	四八〇	共立社
ソ聯報告	布施勝治	一・三〇	圓	二九三	大阪每日新聞社
ソ聯邦小型年鑑	ソ聯研究會	三・五〇	圓	六一六	興亞文化協會
ダイヤモンド經濟統計年鑑 昭和十四年版	石山皆男	二・八〇	圓	六一五	ダイヤモンド社
體力統計の作り方と見方	鈴木繁	一・五〇	菊	一五一	三省堂
第一次滿蒙學術調査研究團報告 第五部 第五、七、九、十一、十三編	德永重康		菊	八四	第一次滿蒙學術調査研究團
第二回人口問題全國協議會報告書	人口問題研究會	三・〇〇	菊	一〇四	厚生省內人口問題研究會
社會大衆黨パンフレット 第七回興亞議會活動報告豫算及重要立法解說	平野學	二五	圓	二九	社會大衆黨出版部
第四十七回 警視廳統計書	警視廳官房文書課統計係	二・五	圓	一三三	警視廳

書名	編著者	定價	判型	頁數	發行所
第七十四議會報告書	立憲民政黨本部		菊	五八	百々吾郎
第五十七回大日本帝國統計年鑑	內閣統計局	二・五〇	變形	五三五	東京統計協會
第十六回赤十字國際會議派遣委員報告	日本赤十字社	非	菊	二四三	日本赤十字社
第八回大會議案並報告書	渡邊年之助	非	菊	四五	社會大衆黨東京府支部聯合會
朝鮮經濟年報 昭和十四年版	福井隆一	三・〇〇	菊	五七六	改造社
鳥獸調査報告(第九號)	農林省山林局	二・二〇	變形	二四七	東京帝大內日本鳥學會
綴方現地報告	新居格	・七八	四六	四七一	第一書房
帝國議會議事堂建築報告書	營繕管財局	非	變形	七一〇	營繕管財局
同 附圖	同	非	變形	二一七	同
哲學科年報 第二輯	菅圓吉	・七〇	菊	一三七	立教大學哲學研究室
哲學年誌 (8)	早稻田大學文學部	一・〇〇	菊	二四三	理想社
哲學年誌(第九卷)	同	一・〇〇	菊	二三二	理想社出版部
東京商大研究年報 經濟學研究 六	中山伊知郎	二・〇〇	菊	三三五	岩波書店
東北帝大法文學部奧羽史料調査部研究報告第一 宮城縣利府春日瓦燒場大澤瓦窯址研究調報告	內藤政恒	非	變形		奧羽史料調査部

書名	編著者	定價	判型	頁數	發行所
東洋經濟 經濟年鑑 昭和十四年版	神原周平	三・〇〇	變形	五四六	東洋經濟新報社
統計學大綱	小林新	三・五〇	菊	四三三	東京泰文社
統計學大意	郡菊之助	一・七〇	四六	二三三	同
統計學原論	竹下清松	三・二〇	菊	三四七	巖松堂
統計學通論	宗藤圭三	一・一〇	菊	二八〇	有斐閣
統計學の理論と方法	寺尾琢磨	三・〇〇	菊	三三九	同
統計學發達史	郡菊之助	二・五〇	菊	二五二	巖松堂
同盟時事年鑑 昭和十五年版	同盟通信社	三・〇〇	菊	八六八	同盟通信社
內外綿業年鑑(昭和十三年版)	松原肇	五・〇〇	菊	八九二	日本綿業俱樂部
同(昭和十四年版)	同	五・〇〇	菊	約一〇〇〇	同
南洋印度等に於ける支那人の排日貨に關する報告	白石源吉	非	菊	八五	同盟通信社內通信調査會
同 日本海外放送に關する報告	同	非	菊	四七	同
日本畫傑作年鑑(昭和十三年度)	芳川赳	六・〇〇	變形	一三〇	美術春秋社
日本學術振興會第廿一小委員會報告 時局と農村(3)	河田嗣郎	二・二〇	四六	四七三	有斐閣

書名	編著者	定價	判型	頁數	發行所
日本經濟年報	東洋經濟新報社	一・〇〇	四六	二八六	東洋經濟新報社
日本經濟年報(第三十四輯)	神原周平	一・〇〇	四六	二八六	同
同 昭和十四年第二輯 (36)	東洋經濟新報社	一・〇〇	四六	二八六	同
同 第三七輯	同	一・〇〇	四六	二六三	同
同 昭和十四年第四輯 (39)	神原周平	一・〇〇	四六	二七八	同
日本古文化研究所報告第九	黑板勝美		變形		日本古文化研究所
日本産業勞働年報 昭和十四年第一輯	産業勞働調査所	四・五〇	四六	四八七	産業勞働調査所
日本諸學振興委員會研究報告	教學局	・九〇	菊	三〇八	教學局
日本水産年報第三輯 戰時水産統制の發展	田口新治	三・〇〇	菊	四五四	水産社
日本統計學會年報	中山伊知郎		菊	六〇七	日本統計學會
日本貿易年報 第一輯	日本貿易研究會	一・五〇	四六	二八六	高山書院
日本勞働年鑑(昭和十三年)	大原社會問題研究所	三・五〇	菊	五二八	栗田書店
日滿支工業年鑑(昭和十四年版)	堤憲治		四六		日滿工業新聞社
日滿支經濟懇談會報告書	中沖壽	非	變形	四〇六	日滿中央協會
新潟縣土木季鑑 昭和十四年版	渡邊鶴藏	五・〇〇	變形	五七五	新潟新聞社

書名	編著者	定價	判型	頁數	發行所
發明年鑑(昭和十四年)	佐治克巳	二・〇〇	四六	六四七	帝國發明協會
美術年鑑(昭和十四年版)	山田正道	二・〇〇	四六	三五一	美術年鑑社
比律賓年鑑(昭和十四年版)	大谷純一	三・〇〇	四六	六六九	田中守一
婦人年鑑(昭和十四年版)	村上秀子	二・〇〇	四六	五九八	東京婦人聯合會
佛の降誕を紀元と爲る佛教大年表	重田勘次郎	二・五〇	菊	二八〇	冨山房
ブロック經濟の本質に關する報告	菅沼秀助	非	菊	四四六	昭和研究會
文藝年鑑 一九三九	文藝家協會	二・五〇	菊	四一八	第一書房
報告書	永井松三	非	變形	四三九	第十二回オリンピック東京大會組織委員會
同(英文)	同	非	變形	一八一	同
法律年鑑(昭和十三年)	高窪喜八郎	二・〇〇	四六		法律評論社
同(昭和十四年版)	末弘嚴太郎	二・八〇	四六	七〇〇	日本評論社
北海タイムス年鑑 昭和十四年版	北海タイムス社	一・〇〇	四六	六七九	北海タイムス社
同(昭和十五年版)	戶倉忠次	一・〇〇	四六	六九七	同
北支蒙疆商工名鑑 昭和十四年版	日本商業通信社	五・〇〇	菊	一五〇〇	日本商業通信社
滿洲經濟年報(昭和十三年版)	滿鐵調査部	二・五〇	菊	六五〇	改造社

（三七）雜書

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
萬葉集研究年報（第九輯）	藤森朋夫	二・二〇	菊 一二八	岩波書店
民族學年報（第一卷）	古野清人	三・〇〇	菊 三七六	三省堂
融和事業年鑑（昭和十三年度版）	中央融和事業協會	一・〇〇	菊 三七	中央融和事業協會
陸海軍軍事年鑑（昭和十四年版）	平田重三	一・二〇	四 八六〇	軍人會館出版部
歷代天皇聖蹟史蹟調查報告（12）	文部省		國 七六	文部省
アドルフ・ヒトラー われらの建設	安居憲太郎	一・三〇	四 二三六	青年書房
アメリカ百日記	中山正善		菊 四二〇	天理教道友社
ある便衣隊員の日記	黃磨仙（和田與三郎譯）	一・〇	四 三	アジア研究會
愛知縣史第三卷	愛知縣		菊 六六	愛知縣
同 別卷	同		菊 九八	同
朝日東亞リポート(3) 支那の租界	大西齋	三〇	四 一五	朝日新聞社
荒鷲の母の日記	濱野修	一・六〇	四 三四〇	改造社
會地村一農村の寫眞記錄	熊谷元一	二・〇〇	菊 一七五	朝日新聞社
曉の大陸	青地光弘	二五	菊 三八	同盟ペンクラブ
亞細亞人	山本實譯（ブロッシュ）	一・五〇	四 三八二	三笠書房

一九三八年に於ける北氷洋工作	黒田乙吉		菊 五四	東亞研究所内 月曜會
一身奉還論	藤田悟	一〇	四 四〇	同盟ペンクラブ
一枚の切手	掛樋松治郎		菊 二六九	濟美少年團
印度日記	尾高鮮之助	五・〇〇	菊 五六〇	刀江書院
池田町史 第一篇 風物誌	荒木藤市郎	非賣	菊 四五	大阪府豐能郡池田町
移民	クハン・ボエール宮原晃一郎譯（西外次）	一・九〇	四 四七	元社
石川縣史（第二編）	石川縣		菊 三七八	石川縣
岩手縣神社事務提要	岩手縣神職會	非賣	菊 三〇	岩手縣神職會
右門捕物帖（上卷）	佐々木味津三	九五	四 四三	新潮社
同（下卷）	同	九五	四 四五	同
エコノミスト監修法學博士岡實先生記念論文集	大毎・東日エコノミスト部			
江之島記	間宮雄太郎	一・〇〇	四 一四二	間宮雄太郎
映畫法は標準を玆に置け	市川彩	非賣	菊 三	國民文化映畫協會
援助姉妹會の創立者御擇理のマリア童貞	中山久子	一・〇〇	四 二六九	援助姉妹會
演能手記	喜多實	二・六〇	四 三五	謠曲界發行所
英靈に捧ぐ	渡邊晉		四 六二	渡邊晉
英帝國及英國人	伊東敬	二・三〇	四 四七	青年書房
英佛が負けたら世界はどうなる	山川直夫	一〇	四 三二	東京情報社
鉛筆書きいろ〳〵	秋山安三郎	一・〇〇	菊 二六三	秋山安三郎
大分縣民話集	三ヶ尻浩	一・二〇	四 二〇〇	朋文堂
大阪紙器同業組合沿革史	柳原信興	非賣	菊 四八	大阪紙器同業組合
大分縣鄉土史料集成（戰記篇）	垣本言雄	非賣	菊 九三五	大分縣鄉土史料刊行會
歐洲戰爭と各國の臨時措置第一輯	猪谷善一	六〇	菊 四〇	大阪商工會議所
歐洲大戰畫報 第一篇	石原俊明	一・五〇	菊 約六〇	國際情報社
歐米の物心兩面に觸れて	中塚榮次郎	二・五〇	四 四一八	ジヤパンマガジーン社
往時を偲びて吳佩孚氏を語る 附洛陽訪問記	鈴木一馬	五〇	菊 四二	國防協會
恐るべきアジア民族	立花士郎（ハンス・コオン）譯	一・八〇	四 二七	大東出版社
尾道小史	尾道市役所		菊 一三〇	尾道市役所
外野の爲に	森克彥	二・〇〇	四 二六八	保險春秋社
外南洋在留邦人の現狀	本間善庫	一〇	四 二元	拓殖奬勵館

家族と村落（一）	渡邊萬壽太郎	二・八〇	圓	三三	日光書院	桐生織物史（中卷）	桐生織物史編纂會
改作所舊記（中編）	石川縣圖書館協會		圓	三四	石川縣圖書館協會	鄉音記	羽田三吉
改訂增補負債整理組合指針	東隆	非・五〇	圓	三三〇	理事業協會	貴族院要覽（乙）	貴族院事務局
金澤文庫古書目錄	關靖	非	圓	五四	嚴松堂	同（丙）	同
華北經濟便節團訪目錄	瀨戶本君夫	非	圓	四三	日本優良物產協會	貴族院兩議院宗教團體法案速記錄	宗教調查會
華族大觀	西邑木一	一〇・〇〇	圓	七六	華族大觀刊行會	貴族院事務局	同
海事論文集	向井榮之助		圓	三〇〇	對米船舶提供記念財團	同（丙）	同
學生と學園	河合榮治郎	二・五〇	圓	六二	日本評論社	金の函讀本	婦人體位向上會
株式會社設立案內	大村聖友	三・八〇	圓	二六	東榮堂	諸橋轍次	靜嘉堂文庫
巨人頭山滿翁は語る	吉田鞆明	二・五〇	圓	五五	感山莊	三土幸太郎	更生館書店
居住習俗語彙	柳田國男山口貞夫	一・〇〇	圓	三八	民間傳承の會	永丘智太郎	拓殖奬勵館
北區財產區誌	大阪市北區役所	非	圓	四六	大阪市北區役所	角花子	角花子
北日本汽船株式會社二十五年史	田邊貞造畠中隆輔	非	圓	五四	北日本汽船株式會社	辻善之助	大洋社
季節保育所指針	船本數江	六五	圓	一六六	常磐書房	中野重治	改造社
京都電燈株式會社五十年史	芹高堅作	非	圓	五〇〇	京都電燈株式會社	大村宇八郎	大村印刷所

熊本市政五十年史	大眉一未	二〇・〇〇	圓	五九八	九州中央新聞社出版部	國民食糧の現狀	日本學術振興會
建白書	山中豐吉	非	圓	一九七	山中豐吉	國民警防必携	森育三
警察幹部裕恩館講話錄	內務省警保局	六〇	錢	三五	警察協會	國勢人物選集（一）	人事通信社	一〇・〇〇	圓	五八八
結婚國策の提唱	板井武雄	一〇	圓	三〇	太陽堂書房	國文學名家肖像集	永井如雲	八・五〇	錢	九七
慶應義塾圖書館和漢圖書分類目錄第三卷第三門文學語學	慶應義塾圖書館		圓	一四五	慶應義塾圖書館	佛國J・ド・ロータリ倶樂部とボアステル・マソン結社	佛國J・ド・ロータリ倶樂部とボアステル・マソン結社	五〇	圓	八〇
決定的の勝利へ	大西靜史	一・二〇	圓	一九九	新聞時代社	國際通運株式會社史	中野金次郎	非	錢	二九九
警察隨筆 時局と熱情	佐藤彰三	一・一〇	圓	二〇〇	新光閣	國際情勢と日本の地位	松下傳吉	一〇	圓	二七
現代世界通信	清澤洌	一・八〇	圓	五九	中央公論社	國際事情昭和十四年版世界の動き	外務省情報部	三・五〇	錢	四五
皇紀二千六百年記念自治產業發達誌	國際通信社	非	圓	一〇九八	國際通信社	國寶建造物略說目錄	川上邦基	二・五〇	錢	三六四
同 自治・產業・教化躍進日本	長里清		錢	約一〇〇〇	株式會社帝國聯合通信社	國寶成巽閣	石黑文吉	非	錢	
皇道と實生活	牧宏安	一〇	圓	三六	日本聯合通信社	國司浩助氏論叢	桑田透一	七〇〇	錢	一二二
皇國の蘊奧三大皇學の發表	熊谷禎總		錢	三三	三大皇學所	國境の話	國松久彌	一八〇	圓	六八
皇民自覺書	山田主一郎		圓	一六	實教學會	國旗・皇道・正中思想	熊崎健翁	一〇〇	圓	三七
近衞步兵第三聯隊史	谷口貞市	一・四〇	圓	一九三	軍人會館出版部	國士龜井陸良記念集	非	錢	四六二
國民貯蓄奬勵講演速記	國民貯蓄奬勵局	非	錢	二四八	國民貯蓄奬勵局	國威宣揚祈願講演速記	川田聖見	非	錢	一四

江南百題	西晴雲	一・五〇	四	二二三
工場防空講習錄	警視廳警防課	非	菊	三〇八
子ども圖書館	塚原健二郎	一・五〇	四	二五七
子供の目と耳	團田可六	一・二〇	菊	一三六
黑色共產黨檢擧手記	海野兵吾	・九〇	四	二五八
興亞議會論策全書(2) 註解第七十四議會通過產業經濟法律集覽	日滿工業新聞社	一・〇〇	四	三三三
故砲兵軍曹多田正治君追悼(和歌・俳句・漢詩・川柳)集	難波一郎	非	菊	二六
小石川區會史(上下)	小石川區役所		菊	二冊
耕地水地事業功勳錄	恒田嘉文	一〇・〇〇	菊	五四五
滬抗日記	中谷孝雄	一・五〇	四	二七〇
航空記翼(つばさ)	北村小松	一・三〇	四	三四〇
五高五十年史	第五高校開校五十年記念會	非	菊	五八〇
神戶市水害復興勤勞奉仕記念	田淵潔	非	菊	

富山房	光輝奈良・和歌山・三重縣勢總覽	伽藍康裕	非	菊 二〇〇
東京工場協會	雜司谷若葉集	兜木正亨	・七〇	四 一一三
方面事業調査會方面事業大鑑刊行會	雜誌懇談會席上に於ける講演速記錄	山端祥玉	非	菊 三七
內外出版印刷株式會社	在支列國權益概說	植田捷雄	四・五〇	菊 五三七
新光閣	在米の日本民族五百年の大計	新里貫一	・二五	四 七四
日滿工業新聞社	坐の研究	平田內藏吉	一・五〇	四 三七〇
	產業報國會の發展に伴ふ社會大衆黨の內紛	小島喜一郎		菊 四八
	ジユリオ・ド・ラ・モランディエール現代法の諸問題	杉山直治郎	二・五〇	菊 四六八
	新電話規則要論	山下武	三・八〇	菊 五五四
	新聞記者生活五十年	福良虎雄	一・六〇	四 二五二
	新聞廣告總覽一九三九	光永眞三	六・〇〇	菊 一九九
	新聞論說集(1) 東日・大每・東朝・大朝揭載	篠原月	一・〇〇	四 二三〇
	新聞研究概論	鷲野芳雄	非	菊 三七四
	新聞記事の取材と表現	山根眞治郎	非	四 二七二
	新聞活殺劍(續篇)	式正次	一・〇〇	四 四六七

日本同盟通信社	聖典輪讀會	ジーチササン商會	巖松堂	新報社
山雅房	小島政治經濟研究所	日本佛語法曹會日佛會館	交通經濟社	福良竹亭記者生活五十年祝賀記念出版事務所
日本電報通信社內新聞廣告獎勵會	警文社	縣立廣島商業學校	日本新聞協會	精華書房

新聞活殺劍(第三篇)	愚鱈生	一・〇〇	四	二九七
新聞廣告圖案傑作集	光永眞三	六・〇〇	菊	一八八
若越新文化史	石橋重吉	二・〇〇	菊	二六八
情報	伊藤稔	・四〇	四	一四三
常會の組織とその運營	中央教化團體聯合會	・四〇	四	一九三
支那の自畫像	張恨水山縣初男譯	一・四〇	四	三四七
支那資本機構・財閥・政權	濱田峰太郎	三・〇〇	菊	三五三
支那事變誠忠錄(壹)	岩井福男	非	菊	三七四
支那地方自治發達史	和田清	二・五〇	菊	二七八
支那事變從軍記蒐錄第二編	宮居康太郎		菊	七五九
支那事變寫眞全輯五	東京朝日新聞社	二・五〇	菊	一六〇
支那事變聖戰博覽會大觀	樋口正德	非	菊	一二〇
支那事變軍人軍屬に關する戶籍事務通牒回答集	野本定治	非	菊	六八
支那事變經過日誌	陸軍省情報部		四	一二八
支那街頭風俗集	宮尾しげを	一・三〇	四	二四〇

精華書房	支那に於ける婚姻及び家族史	陶希聖天野元之助	一・八〇	菊 一六九
日本電報通信社	支那食糧政策史	馮柳堂金坂博譯	四・〇〇	菊 三九六
咬菜文庫	支那人	東京日日新聞社大阪每日新聞社	一・三〇	四 二七九
三邦出版社	支那人の見た日本人	信濃憂人	一・三〇	四 二五八
中央教化團體聯合會	支那民族論	A・フォルケ高山洋吉譯	二・二〇	菊 一五五
岡倉書房	支那の下層民	後藤朝太郎	一・五〇	四 三三九
叢文閣	支那の男と女(現代支那の生活相)	同	・九五	四 三〇七
岩井珍品屋	支那の土地と人	クレツシイ三好武二譯	三・八〇	四 六二五
中央大學	商工省要覽	商工行政調査會	五・〇〇	菊 六一六
興亞協會	人生愚感	岡五朗	一・二〇	菊 一八三
東京朝日新聞社	人を生す道	品川義介	一・三〇	四 二一九
同	昭和青年雄辯集	大日本雄辯會講談社	一・五〇	四 三四九
野本定治	昭和十二年選擧肅正中央聯盟事業概要	橫山正一	非	菊 三二〇
陸軍省情報部	昭和十二・十三年支那事變永津部隊出征記念寫眞帖	福崎定則		菊 五〇
實業之日本社	昭和十三年日本火災史第十三卷	山川秀好	一・三〇	菊 二〇一

生活社	同	東京日日新聞社	青年書房	生活社
高山書院	大東出版社	偕成社	商工行政社	刑務協會
大日本法令出版株式會社	大日本雄辯會講談社	選擧肅正中央聯盟	風光社印刷所	雪州會

週報昭和十三年下篇 自第九十號至第百十五號	内閣情報部	一・三〇	菊	内閣印刷局
昭和十四年度 帝國歲入歲出豫算	大藏省主計局	・八〇	四六 四四八	同
昭和十四年版 新聞總覽	光永眞三	一五・〇〇	菊 一〇〇〇	日本電報通信社
昭和十四年四月刊行 帝國信用錄	帝國興信所	非	四六倍 三五〇〇	帝國興信所
昭和十四年版 横濱商工名鑑	横濱商工會議所	七・〇〇	約 菊 六〇〇	横濱商工會議所
昭和十四年 日本本船名錄	三枝康高	六・一〇	四六倍 八三〇	三枝康高
昭和十四年改正 附役員 第四十七回 日本全國銀行會社錄	上野薫	三〇・〇〇	四六倍 二四五三	商業興信所
昭和十四年刊 日本紳士錄 第四三版	淺野松次良	二五・〇〇	四六倍 三〇〇〇	交詢社
昭和十四年第四十版 銀行會社要錄附役員錄	安藤仁隆	三〇・〇〇	四六倍 三五〇〇	株式會社東京興信所
昭和十五年版 早稻田大學紳士錄	早稻田大學紳士錄刊行會	一〇・〇〇	四六倍 九四六	早稻田大學紳士錄刊行會
昭和十五年版 紡織要覽	宇野米吉	一〇・〇〇	菊	紡織雜誌社
昭和醫學專門學校十年記念誌	助川邦彥	非	菊 四二七	昭和醫學專門學校
鹽田大觀（寫眞23枚・說明書一册）	吉本元德	九・〇〇	四六倍 一册	牧笛社
純正日本人	日本革新黨本部	非	四六 一三三	日本革新黨本部

失明勇士の手記 闇をひらく	元田宗行 元田喜代子	一・〇〇	四六 一六八	人文書院
出版の研究	關根康喜	一・五〇	四六 二九〇	成史書院
週報合本 昭和十三年上篇	内閣情報部	一・三〇	菊	内閣印刷局
修補甲南閑話	平尾善保	一・二〇	四六 二九一	日本電建株式會社出版部
神戸市水害誌	神戸市役所		菊 一三六八	神戸市役所
神戸市水害誌附圖	同		四六倍 一册 二圖	同
神國日本の全貌	藤井清治	一・〇〇	菊 七四	世界平和研究會
神兵隊決裂の眞相と我等の態度・神兵隊有志	神兵隊有志		菊 三〇	白井爲雄
神兵隊事件公判速記錄 第三輯	阿部達朗	非	四六 二〇四	神兵隊事件速記錄頒布會
就業制限と災害扶助	大西清治	四・五〇	菊 四九三	保健衞生協會
松韻遺稿（上・下）	犬養溫	非	菊 二册	犬養六郎
自治制發布五十周年記念帖	大谷仁兵衞	一五・〇〇	四六倍	帝國地方行政學會
自治座談（實績篇）	横山正一	・五〇	四六 一七二	選擧肅正中央聯盟
同（經驗篇）	同	・五〇	四六 二三三	同
自治精神を護れ―續後任廣島市長問題―	福間一郎	・一〇	四六 六	藝備春秋社

情報	伊藤稔	・四〇	四六 一四三	三邦出版社
島津化學器械目錄	角田輝海	三・〇〇	約 四六倍 四〇〇	島津製作所
時務論策	安藤良信	三・〇〇	菊 三一九	復興社
時局と發明 第一輯	榊原周 外一氏	・二〇	菊 一九	帝國發明協會
時局と國民自覺大講演集21 何を期待すべきか	太田正孝 服部文藏	・一〇	四六 七〇	日本文化中央聯盟
從軍五十日	岸田國士	一・五〇	四六 二四六	創元社
十年後の日本帝國	竹中吉郎	一・二〇	四六 一七二	日本新時代社
上海共同租界と工部局	野口謹次郎 渡邊義雄	一・五〇	四六 一八七	日光書院
商工信用錄 第七八版	東京興信所	非	四六倍 一五〇〇	東京興信所
商工省編纂昭和十四年版 全國工場通覽	安養寺敏郎	八・〇〇	約 菊 二三〇〇	日刊工業新聞社
商業組合の新目標	東京府商業組合研究會	一・三〇	四六 一八二	昭和圖書株式會社
書祭（天）	齋藤昌三	三・五〇	菊 三四〇	書物展望社
知つて置くべき支那人の人情風俗	佐賀縣立伊萬里商業學校	非	四六 四三	佐賀縣立伊萬里商業學校
須崎屋	大谷藤子	一・五〇	四六 三三三	版畫莊
健かに匡すべしこの不合理なる徵兵保險	安田保郎	・二〇	四六 五九	安田保郎

宣傳省を創設せよ	若杉浪雄	非	菊 二二	東亞國勢調査所
生活手帖	伊福部隆彥	一・二〇	四六 二九七	創元社
生活を正す	同	一・六〇	四六 三四五	今日の問題社
前線に贈る銃後展望	萬福寺志元 神宮正樹	・六〇	四六 二六八	京極書店
精神彈藥の威力 歐洲大戰と雜誌讀物の調査	奈良靜馬	非	四六 七七	大日本雄辯會講談社
戰爭經濟と商工會議所	小穴毅	一・六〇	四六 二一六	商工行政社
戰爭・政治・人間 ―ナポレオンの言葉―	柳澤恭雄	二・五〇	四六 四〇二	河出書房
戰時擧國總動員體制に對處すべき新海上協同體々制確立に關する最高指標と其の具有すべき要綱試案	時局海上協議會	非	菊 一四	時局海上協議會
戰場繪日記 藤田少佐遺稿	藤田敏郎	三・二〇	四六倍 二七一	高見澤木版社
世界興廢大戰史總觀 第七卷 人類政治闘爭史	仲小路彰	非	四六倍 三八二	戰爭文化研究所
全國一千農家の經濟近況調査	協調會	一・五〇	菊 三〇〇	協調會
世界平和への道	藤田謙一	一・〇〇	四六 一九一	興成館
世間雜話	野間清治	・五〇	四六 二九八	大日本雄辯會講談社
全國市長會史	全國市長會	五・〇〇	菊 五四七	全國市長會

前進の綱領	久原房之助	一・二〇	四 二三六	大地社	自第一回議會至第七十四回議會 貴族院先例錄	貴族院事務局	菊 三六〇	貴族院事務局
洗硯（第一期第一輯）	横川毅一郎	三・五〇	菊 一〇三	洗硯社	第七十四回帝國議會 衆議院議事摘要（下）	衆議院事務局	菊 六二八	衆議院事務局
靜嘉堂文庫 國書分類目錄續	靜嘉堂文庫		菊 六〇三	靜嘉堂文庫	自第一回議會 至第七十四回議會 貴族院委員會先例錄	貴族院事務局	菊 一七三	貴族院事務局
聖夢集	吉本康		四 三八三	吉本康	第七十三回帝國議會 衆議院議事摘要（上卷）	衆議院事務局	菊 四五三	衆議院事務局
聖戰手記 征旅二千哩	片岡正年	一・〇〇	四 二四四	金正堂	同 （中卷）	同	菊 七〇一	同
尊經閣文庫 加越能文獻書目	石黒文吉		菊 三五六	石黒文吉	同 （下卷）	同	菊 七九	同
同 國書分類目錄	同		菊 九七一	同	第七十四回帝國議會 衆議院議事摘要（上）	同	菊 四五六	同
綜合鄉土研究 秋田縣	秋田縣師範學校 秋田縣女子師範學校	一三・〇〇	菊 一二〇八	秋田縣師範學校 秋田縣女子師範學校	同 （中）	同	菊 一三六四	同
第一高等學校六十年史	第一高等學校	非	菊 六〇二	第一高等學校	第八回全國大會議案	平野學	非	菊 三〇 社會大衆黨本部
第二の開闢	橋本欣五郎	一・〇〇	四 三一七	大日本青年黨本部	第七四回帝國議會 議事速記錄集 自昭和十三年十二月 至昭和十四年三月	內閣印刷局	三・八〇	菊 九〇二 內閣印刷局
第七四回 帝國議會を了へて	木村作次郎		四 二三	木村作次郎	第二回會社信用錄	株式會社商業興信所	非	菊 六〇〇 株式會社商業興信所
第十三版 大衆人事錄東京篇	谷元二	一五・〇〇	菊 八六一	帝國秘密探偵社國勢協會	第二十七版 帝國銀行會社要錄附役員錄	帝國興信所	三三・〇〇	菊 二九〇〇 帝國興信所
第五十二回第五十三回 神兵隊公判速記錄	長谷川幸男	非	菊 一〇三	大東塾	大東京自治半世紀	藤本富十郎	一三・〇〇	菊 一〇一一 日出新聞社
第十二版人事興信錄上	內尾直二	二冊 五〇・〇〇	約一四〇〇 菊	人事興信所				
同 同 下	同		約一四〇〇 菊	同				

大滿洲正義團略史	大久保隆		菊 六七	正義時報社出版部	地方巡察使復命資料 復命書摘要及 千葉縣之部	關口泰	非	菊 二一七 地方巡察使復命資料刊行會
大陸の雷雨	曹禹 多摩松也譯	一・二〇	四 二八二	天松堂	同 茨城縣之部	同	非	菊 三三二 同
第六作 ―ゲ・ペ・ウ・業地 囚人の手記	ヂョーヂ・キチン 淺川次郎	一・六〇	四 三三三	時代社	樗堂言行錄	須永元	非	菊 一三七 政教社
大亞細亞に五千年間眠つてゐた大道念について	磯部武次郎	・八〇	四 四〇	興亞協同書院	勅定褒章錄	藤樫準二	五・八	菊 五九一 生活社
大人前	三枝康高	非	四 一六一	三枝康高	父の日記など	澁澤秀雄	一・五〇	四 二七六 實業之日本社
對米認識の統一に關する所見	小林勇堂 宮島一郎		菊 六〇	自衛社	陣中漫畫 スケツチ甕風呂	三上卯之介	一・二〇	四 二二五 三友社
臺灣國立公園寫眞帖	長崎浩	三・〇〇	約一五〇 菊	臺灣國立公園協會	中國の姿	寺下宗孝	・八〇	四 一九三 健文社
臺灣製糖株式會社史	伊藤重郎	非	菊 四六一	臺灣製糖株式會社	銚子市政史（昭和八年度）	銚子市役所		菊 三八〇 銚子市役所
臺灣天然ガスの絕對安全利用法と綜合的に利用する企業の優越性に就いて	花田才助	非	菊 六五	片山謙	長驅强行五百キロ、上海戰線、殘花一輪、飛行基地警備記	西田隆 林房雄 市川彌海 渡邊正治	二・三〇	四 六九三 潮文閣
臺灣銀行四十年誌	名倉喜作	非	菊 四八	名倉喜作	千嶋丸	大鹿卓	一・六〇	四 三三九 人文書院
多甚古村	井伏鱒二	一・八〇	四 二三二	河出書房	調査（33）國策會社概要	渡邊鉄藏	非	菊 七八〇 渡邊經濟研究所
探鑛日記	大鹿卓	一・四〇	四 三〇五	竹村書房	土の唄と民話	伊藤信吉	一・八〇	四 二八八 四元社
地方	犬田卯	一・八〇	四 三七二	平凡社	土と戰ふ	菅野正男	・五〇	四 一六二 滿洲移住協會
地方巡察使復命書資料 復命書摘要及東京府之部	關口泰	非	菊 一〇八	地方巡察使復命資料刊行會	通信理業人事管理	中村俊一	三・五〇	菊 四二三 交通經濟社

帝室林野局五十年史	帝室林野局	非	圖	一〇九七
帝國生命保險株式會社五十年史	脇坂虎雄	非	圖	六三五
亭主教育・女の問題	阿部靜枝	一・〇〇	圖	二八
天來先生戊寅帖	上田順	六・五〇	圖	和裝
ドイツは語る	日・シャハト 谷口啓次譯	一・七〇	圖	三四
とらんぷ	阿部德藏	二・〇〇	圖	三八
東京ベルリンローマ	伊藤稔	四・〇〇	圖	一四〇
東京市民讀本	竹澤義夫		圖	三〇〇
東京市の學校建設事業	東京市役所	四・二〇	圖	六三
東京・神奈川・川口機械器具商工業者要覽	酒井信一	五・五〇	圖	三〇〇
東京帝國大學病理學教室五十年史（上）	東京帝大病理學教室五十周年記念會	非	圖	五七
東京紙商同業組合史	東京紙商同業組合	非	圖	五〇
東京出版協會二十五年史	江草重忠	非	圖	二七〇
東京府勢概要	東京府總務部調査課	非	圖	七三
	東京商工會議所			三六
東洋文化研究會時局講演會講演集（一）	志田延義	非	圖	八一
東洋文庫十五年史	岩井大慧		圖	八三
東方文化講演集第二輯	對支文化工作協議會	・五〇	圖	一三
東方學報 東京第九册	東方文化學院	五・〇〇	圖	四二
東北振興史中卷	淺野源吾	非	圖	二六七
東亞の開展 新支那の史觀	田中香苗	二・二〇	圖	三四
刀匠銘集錄	高瀨梧堂	五・〇〇	圖	七二
囚はれの日の日記	M・ウアンコ ウイソツ 永井直二譯	一・〇〇	圖	一九〇
頭山精神	藤本尙則	二・〇〇	圖	三〇五
圖書館の實際的經營	乙部泉三郎	三・〇〇	圖	三六三
統制一年	大日本輸入食肉組合聯合會	非	圖	一七四
特別講習會講義錄	佐野豐		圖	二一
獨逸大觀（一九三九年）	光永星郎	一・八〇	圖	三〇〇
栃木縣史 第十三卷傳記編	田代善吉	五・五〇	圖	五六三
同（第十四卷文化編）	同		圖	五四五

名古屋市會史 第一卷	名古屋市會事務局	非	圖	八四
名古屋市政概要（昭和十四年版）	名古屋市役所		圖	三四八
波岡茂輝集	波岡茂輝	非	圖	七〇
南洋記	安藤盛	一・五〇	圖	三五
中津町史	筒井有		圖	九五〇
日本協同組合史	奧谷松治	・九五	圖	二八六
日本帝國國勢一班（第五十五回）	內務大臣官房文書課	二・〇〇	圖	九八一
日本放送協會史	松田儀一郎	非	圖	三八九
日本橋總覽	小林春吉	九・五〇	圖	六〇〇
日本工業會講演（第八輯）	日本工業會	非	圖	三
同（第九輯）	同	非	圖	三
日本思想史 中世國民の精神生活	清原貞雄	五・五〇	圖	三六五
日本十進分類法	森清	五・〇〇	圖	三七
日本の前進	永田秀次郎	一・〇〇	圖	三八
日本・今日・明日	室伏高信	一・三〇	圖	三〇六
日本發送電株式會社大觀	電氣新報社	三・五〇	圖	四八
日本死刑史	布施彌平治	二・五〇	圖	三八
日本は南進す 南洋に探る魅惑の珍奇相	澁川喬	・一〇	圖	三〇
日本家蓄防疫史	山脇圭吉	六・〇〇	圖	五九七
日本百貨店總覽	百貨店新聞社	一五・〇〇	圖	二〇〇
日本之生命—古事記とバイブルの比較—	渥美勝	・一〇	圖	二八
日本へ寄せる書	米國・ギユーリック博士 相馬基編		圖	二三〇
日本なくむば亞細亞なし	永井柳太郎	・一〇	圖	二六
「日本人に苦言を呈す」歐米人は日本人をかく批評する	石部達人	・一〇	圖	四〇
日本家族制度の研究	大間知篤三	・三〇	圖	四八
日本曹達工業史	庄司務	非	圖	七二
日滿華親善書 道展覽會圖錄	橫山房雄	三・〇〇	圖	約二五〇
日滿經濟懇談會議事要錄	日滿中央協會	非	圖	二七八
日・獨・伊親善藝術使節寶塚少女歌劇團渡歐記念アルバム		二・〇〇	圖	約一〇〇

日ソ漁業問題座談會	阜月會		圖	八九	阜月會
人間と結婚	E・ウエスターマーク 原田東壽譯	一・五〇	岡	四五	大東出版社
白頭山定界碑	篠田治策	二・〇〇	岡	四三	樂浪書院
橋本欣五郎宣言解說	戸部敏一	一・一〇	岡	三五	千葉縣聯合支部準備會
博物誌	ジユウル・ルナアル 岸田國士譯	三・五〇	菊	二三五	白水社
二十日鼠と人間と	足立重	一・〇〇	岡	二五四	大隣社
ヒトラーと平沼騏一郎 男は何故獨身か	喋木寛	一・一〇	岡	三	協同書房
東本願寺史料	宗學院編輯部	七・〇〇	菊	八五六	宗學院
東區史（第五卷人物篇）	大阪市東區法圓坂町外百五十七箇町區會		菊	九三〇	東區役所
東置賜郡史下卷	東置賜郡教育會		菊	一四八	東置賜郡教育會
拓け大陸—大陸視察の栞	大阪市役所		岡	九二	大阪市役所
非常時局と雜誌の重大使命	川村新次郎	非	岡	一七	大日本雄辯會講談社
貧苦の人々を護りて方面委員は語る	山田節夫	一・五〇	岡	二五三	日本評論社
ブロツサ陣中日記	高橋健二	一・〇〇	岡	三一	建設社
奮ひ立つた外務省	齋木武	一・一〇	岡	六	國策研究社
滿支へ使ひして	石井傳一	一・五〇	岡	二〇六	北隆館
滿蒙開拓青少年義勇軍	比佐友香	一・五〇	岡	二四八	東京朝日新聞社
前田本入木秘書	石黒文吉	非	菊	箱入一冊	侯爵前田家育德財團
益田孝雜話	益田孝	二・〇〇	岡	四九	糧友會
民族・國家・經濟・法律	ゴツトル金子弘	二・〇〇	岡	三三	白揚社
民族協和と滿洲開拓民の使命	加藤完治	非	岡	三五	滿洲帝國協和會
三井物産株式會社造船部二十年史	玉造船所	非	菊	一五〇	玉造船所
三重縣鄉土史	三重縣警察部	非	菊	三五七	三重縣警察部
三宅雪嶺述 今の時局に野依君が十人あれば	小貫修一郎 宇野正盛	一・五〇	岡	二三八	實業之世界社 帝都日日新聞社
道以前	井村清	一・八〇	菊	三九五	同志同行社
明日の大陸	竹中吉郎	九五	岡	二五四	日本新時代社
明治大正保險史料第三卷第二編	玉木爲三郎	非	菊	一〇〇〇	生命保險協會
明日の自動車	山本惣治	六〇	岡	二五	東洋經濟出版部
明朗雜談（修補版）	平尾善保	一・三〇	岡	二六〇	日本電建株式會社出版部
滅共讀本	五來欣造	一・〇〇	菊	二七七	國際反共聯盟
モスクワ藝術座の回想	ニエミロヴイツチ・ダンチエンコ 内山敏譯	二・〇〇	岡	三八二	テアトロ社
蒙古游牧記	張穆 須佐嘉橋	八・〇〇	菊	六八四	開明堂出版部
蒙古人の友となりて	ジエイムズ・ギル・モア 後藤富男譯	二・六〇	岡	四一九	生活社
大和魂を喰ふもの	坂本正義	一〇	岡	五〇	櫻民會出版部
山の遭難生還者	春日俊吉	一・五〇	岡	二四	朋文堂
山と雪の受難者	春日俊吉	一・六〇	岡	二九六	朋文堂
山縣有朋遺稿越の山風	鶴本丑之介	二・〇〇	岡	三三五	東京書房
郵便の常識利用の仕方	野中正俊	一・八〇	岡	五四三	遞信青年社
郵便爲替貯金業務狀況昭和十四年三月調			菊	五三〇	貯金局
湯淺內大臣閣下に對して國體明徵禮裝に關する建言	多木久米次郎 岸本直太郎	非	菊	六	岸本成誠堂
遊興飲食稅關係速記錄抄	三宅孤軒	三・〇〇	岡	四三三	全國料理業同盟會本部
揚子江艦隊從軍記	杉山平助	一・七〇	岡	三七八	第一出版社
吉田博士祝賀記念誌欽慕篇（第三卷）	岩田正俊		菊	四四八	大阪博物學會
布施市住民の生活（文化）	布施市役所		菊	三七五	布施市役所
細川藩士殉忠錄	植山矢一	一・〇〇	岡	二四	四海書房
法人個人職業別調査錄 九版	佐久間晃	三五・〇〇	菊		國際探偵社
方面委員會施行記念方面事業大鑑	青柳勇	非	菊	約八〇〇	方面事業調査會方面事業大鑑刊行會
北海道士功組合史	藤森四平	非	菊	九〇〇	藤森四平
北海道炭礦汽船株式會社五十年史	中山督	非	菊	二八〇	北海道炭礦汽船株式會社
北聯二十週年記念誌	津田潔	非	菊	四五五	津田潔
保險文集（上）	麻生義一郎	非	菊	七一〇	麻生義一郎
同（下）	同	非	菊	八一〇	同
暮相と家運	今井鴻象	二・八〇	菊	三〇六	東學社
本草通串 四十三 四十四 四十五	正宗敦夫	非	岡		日本古典全集刊行會
房總の一隅から	福田祐泉	五・〇〇	菊	一八八	房總時代社
マリイの仕事場	マルグリット・オオドソウ 堀口大學譯	一・三〇	岡	三五四	第一書房
滿ソ國境紛爭史	中村敏	二・〇〇	岡	四〇〇	改造社
滿支雜記	安藤德器	一・五〇	岡	四一九	白揚社

吉田博士祝賀記念誌 論文篇	岩田正俊		菊二三八	大阪博物學會
同 歐文篇（第二卷）	同		菊七七〇	同
雷庵贅錄	雷庵生	三・〇〇	四四三	仁川堂出版部
隣保制度史	細川龜市	一・三〇	四二九	白揚社
立憲養正會十年史	田村益喜 加藤喜孝	一・五〇	菊二七四	養正時評社書籍部
龍谷大學三百年史	足利瑞義		四一〇	龍谷大學出版部
療養本位溫泉案內	溫泉調査會	二・〇〇	四五〇	白揚社
理論と實際人の統率法	高山晴州	一・〇〇	四三三	教材社
ルテツイア（第二部）	土井義信	・五五	菊三〇三	改造社
六十年史	永田義直	・六〇	菊七三三	縣立第一神戸商業學校
廬山之面目	野口信二 非		四二五六	野口信二
露文獵人日記抄	奥澤文朗	・六〇	四五〇	瞻文社
若きドイツ	朝比奈策太郎	一・二〇	四二七	羽田書店
我が荊棘之道	井上貞治郎 非		四五四	聯合紙器株式會社
吾等の主張	辻本晴一	・五〇	菊八五	辻本晴一

忘られた眞戰場　渡邊晉

和漢書目錄法　田中敬　五・五〇　四二五　渡邊晉

菊五一八　日本圖書館協會

書籍の名稱

古來書籍の名稱は大體左の如くである。

△大本　△中本　△小本、豆本　△三切本　△半紙本　△美濃板　△菊判　△四六判
△三五判　△菊倍判　△菊半截　△四六半截　△四六倍判　△ポケット　△折本　△切付本
△横本　△枕本　△地本　△赤本　△青本　△黒本　△五行本　△六行本
△床本　△小說本　△講談本　△軍談本　△音曲本　△巻談本　△草双紙　△黄表紙本
△物語本　△蒟蒻本　△西鶴本　△合巻本　△金平本　△光悦本　△京傳本　△奈良繪本
△智恩院本　△讀本　△八文字屋本　△浮世草紙　△小泉本　△唐本　△朝鮮本
△字典　△石刻　△石摺　△和刻　△畫帖　△淨瑠璃本　△畫譜　△原稿本
△院本　△人情本　△手入本　△シラミ本　△手擇本　△抄本　△嵯峨本　△元本
△古渡り本　△角倉本　△初版本　△創刊本　△節用　△初摺本　△卷物　△官碑
△復製本　△寫本　△丹册　△書き本　△繪本　△錦繪　△唐刻　△卷子本
△古文書　△草稿本　△書入本　△初印本　△再版本　△改版本

出版年鑑輯錄圖書統計表

皇室	三〇	外國語	公五	軍事	一七三
神書・宗教	四一四	歷史・傳記	五三七	美術・工藝	一九七
哲學	二三五	地理・地圖・紀行	一八〇	音樂・映畫・演劇	四六
修養	四六	法律	二四五	娛樂・趣味・遊藝	二八
教育	三五三	政治・經濟・社會	一〇一〇	運動・遊戲	二一
科學	一三	數學	二五	家政婦人讀物	二四
青年	四	理學	二三	叢書・講座	二七三
少年少女讀物	七二	醫學・衞生	二〇二	文庫・全集	二八三
文學・語學	六七三	商業	二一〇	年鑑・統計・報告書	一七二
小說	二一四	工業	二九	雜書	四六
國語	二五	交通・通信	三	計	八、一五〇
辭典	九三	產業	四		

定價五拾錢

昭和十五年三月二十日印刷
昭和十五年三月二十五日發行

東京市神田區駿河臺一丁目二番地
東京書籍商組合

編輯兼發行者 東京市神田區小川町一丁目十一番地 目黑甚七

印刷所 東京市神田區駿河臺一丁目二番地 宮本印刷所

發行所 東京市神田區神保町一丁目廿三番地 東京書籍商組合
電話神田八五四番 振替東京三一〇〇三番

發賣所 東京市神田區神保町一丁目廿三番地 東都書籍株式會社
振替東京九三九〇番
電話 神田(25) 二一一七 二一一八 二一一九番

＝紀元二千六百年記念出版二大名著＝

里見岸雄著

八紘一宇

◇東亞新秩序と日本國體◇

「八紘一宇」を推す

貴族院議員 子爵 三島通陽

鳳歴二千六百年を迎へ、今や神武創業以來曾てなき大業たる支那事變の處理及び東亞新秩序の建設に國家總力を傾注しつつある秋に際しその根本的指導原理たる國體明徴を深き信念と情熱とを以て簡明且つ平明に叙述せられたるは意義深きものあるを感じ殊に現下の青少年指導者に奬めたし。

興亞委員會幹事 高木陸郎

行文の壯重なるは皇道國體を説かるるに寔に好適、又事實と歴史に即せられし御構想は克く讀者を首肯せしむるに足り、殊に百年以來東漸せし西力をここに掃蕩するを以て東亞新秩序の第一要諦とせられし御高見は贊同措く能はざる所、若し夫れ本質國家具現の指導原理を御高唱、よりて軍閥國家や官僚國家を斥けられるに至りては正に愼世の至言

詔勅講究所長 森清人

今日、八紘一宇といふことばほどひろく叫ばれ、しかもこのことばほど、その意味を誤解されてゐることばも少いと思はれます。英國のウイラート・プライスをして『新日本の標語である八紘一宇とは(全世界を吾々の領土とする)ことであると錯覺せしめた罪は、むしろ日本人にあると思ひます。現に日本の指導者中には、このことばを侵略主義的に解してゐるものも少くありません。東亞新秩序の建設も國内の革新も、一切は建國精神の理解の上に打ちたてられねばならぬと思ひます。この意味に於て本書はまことに時宜に適したものであり、且つ振古未曾有の國難に當面せる日本人に一大信念と自覺とを與へるものと確信します。

菊判 一八六頁 定價一圓五十錢 送料四錢

小倉鏗爾著

國體神祇辭典

菊判一六〇〇頁 定價十五圓

内容見本御申込み次第進呈(國體・神道・皇道・日本精神・神社・神祇の總辭典)

發行所 東京市神田區錦町一ノ六 錦正社 電話神田一二八七番 振替東京一六五三五番

要解 國體の本義

高校・專門校受驗生必讀
不可缺の要書出づ！

青少年に賜はりたる勅語の謹解と內閣告諭の註解等を加ふ！

本書の五大特徴

要旨・大意を別記したこと
熟語・單語を適記したこと
入試問題のあらゆる形式によつて原文を研究したこと
聖語・要語を集錄したこと
本書は類書中の壓卷！

★現代文の入試問題中、俄然、その重要なる出典として登場したものが、この「國體の本義」です。今や「國體の本義」のマスターは受驗生の必須事項です。

★本書は「國體の本義」の要旨・大意・全解・或は傍線解・內容探究等、あらゆる角度よりこれを精解したものです。

★尙且、「參考問題」「書取問題」「作文類題」等を加へ最後に術語・要語を統一解釋し、國體明徵に關する和歌或は文等を纏めて附錄とし、受驗生諸君の知識を豐富にすべく努めたものです。

增補版

東京府立一中元教諭 澤田總清先生著
新四六判二百餘頁
定價七拾錢 送料六錢

愛吟詩集
日本國民の愛誦し來れる和漢の名詩三百餘首を讀み易く、味ひ易く、訓讀・註を施したもので日常生活、受驗準備生活中の精神の糧です
川口白浦編 定價五拾錢 送料六錢

弓道
武德會答案集を添ふ。改訂六十五版！本書は初て弓を引かんとする人の唯一無二の入門書で有更に奧義を究めんとする人の參考書。
竹內尉著 貳圓五拾錢 送料十五錢

弓道新射法
武德會試驗答案集附 增訂版出來！弓道の一層高い段階に進むには新しい時代の認識と弓道觀を立てなくてはならぬ。その進軍喇叭
竹內尉著 壹圓八拾錢 送料十五錢

書道翰墨
最新刊！書道は東洋人の特異な藝術である。しかも大陸と共通性があるのだから魂から魂へ直接觸れる興亞精神である！
竹內撫石庵著 貳圓五拾錢 送料十五錢

健文社 東京・神田・美土代町
振替東京48904・電話神田1665

權威ある內容!! 絕讚！ 白熱的好評！

—特選圖書—

英語發達史	金子健二著	價七・〇〇 送三三
現代アメリカ文學	高垣松雄著	價三・〇〇 送二四
英國小說研究	寺井邦男著	價二・八〇 送二四
英文の鑑賞と分析	高垣松雄著	價一・〇〇 送〇九
近代英文學雜考	富田彬著	價二・三〇 送三三
英國文學巡禮	濱林生之助著	價二・五〇 送一五
英吉利中世紀 物語詩集	金子健二著	價二・五〇 送一五
ローマ七賢物語	金子健二著	價三・五〇 送一八
英語發音と綴字法	上阪泰次著	價・八〇 送〇九
ラテン語階梯	若目田武次著	價二・五〇 送一五
フランス語階梯	若目田武次著	價一・五〇 送一九
日本 國史學發達史	川口白浦著	價二・五〇 送二
支那時文新講	岡田稔著	價一・五〇 送一五
莊子新講	齋伯・澤田著	價一・五〇 送三
書經新釋	永野忠一著	價一・〇〇 送〇九
全譯 古事記精解	澤田總清著	價二・三〇 送二四
紫式部日記評釋	永野忠一著	價一・五〇 送三
全譯 落窪物語精解	石橋健夫著	價二・八〇 送二
校定 吉野拾遺評釋	永野忠一著	價一・四〇 送三
花道	齋藤巢潮著	價二・五〇 送一五
茶道	竹內無石庵著	價三・五〇 送一八
書道・翰墨	竹內無石庵著	價二・五〇 送一五

—總目錄進呈—

全國書店・デパートにありますが、萬一ない節は直接本社へ御註文下さい。

健文社 東京・神田・美土代町
振替東京48904・電話神田1665